

財務省委託

広報活動の改善を目的とした調査
- WEB調査 報告書 -



1 調査概要	3
1-1 調査の目的	4
1-2 調査の設計	4
1-3 分析方法	4
1-4 アンケート調査票	6
2 単純集計の結果	13
2-1 結果の要約	14
2-2 回答者プロフィール	16
2-3 単純集計の詳細	22
3 性年齢別の結果	42
3-1 結果の要約	43
3-2 性年齢別のプロフィール	53
3-3 性年齢別の詳細	63
4 時系列の結果	109
4-1 結果の要約	110
4-2 時系列のプロフィール	112
4-3 時系列結果の詳細	115
5 総括	134

第1章 調査の概要

1-1 調査の目的

日本の財政や税・保険料等について国民の意識を確認するとともに、財政政策及びその背景にある社会構造の変化がどの程度認知・理解されているのかを調査することを目的とする。

1-2 調査の設計

- 地域 全国47 都道府県
- 調査方法 インターネットによるアンケート調査
- 調査内容
 - ・日本の財政に関する現状認識と予測
 - ・税や保険料に対する意識
 - ・財政に対する意識
 - ・利用情報源と情報源に対する意識
 - ・SNS等による情報共有・拡散行動の実態
- 調査対象 18 歳～74 歳の男女個人、10,000 サンプル。 ※性年齢別、地域別の割付と回収は次頁参照
- 実施期間 2023年2月7日(火) ～2023年2月9日(木)
- 実施機関 株式会社ネオマーケティング

1-3 分析方法

- 全調査質問に対する回答を集計した。
- 単純集計に加え、性別・年齢別分析、5年間の時系列分析を行い、広報活動改善に資すると考えられる特徴を、チャートとコメントでまとめた。

1 調査概要

回収サンプル数	男性						女性						総計
	18-24歳	25-34歳	35-44歳	45-54歳	55-64歳	65-74歳	18-24歳	25-34歳	35-44歳	45-54歳	55-64歳	65-74歳	
北海道地域 (北海道)	18	27	36	41	37	43	17	27	36	43	41	51	417
東北地域 (青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)	29	45	60	66	66	74	27	42	58	65	68	79	679
関東地域 (茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県)	197	311	375	437	333	341	189	295	357	418	322	366	3,941
北陸地域 (富山県、石川県、福井県)	11	16	20	24	20	24	10	15	19	24	21	26	230
東海地域 (岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)	58	91	109	129	101	109	55	82	103	123	101	118	1,179
近畿地域 (滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)	82	114	139	171	132	148	82	116	144	178	141	168	1,615
中国地域 (鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)	26	39	49	56	48	58	25	37	48	57	50	64	557
四国地域 (徳島県、香川県、愛媛県、高知県)	12	18	24	28	26	32	11	17	24	29	27	35	283
九州北部地域 (福岡県、佐賀県、長崎県)	27	39	50	53	48	56	27	41	52	57	52	63	565
九州南部地域 (熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)	23	36	47	49	50	56	23	37	48	51	53	61	534
計	483	736	909	1,054	861	941	466	709	889	1,045	876	1,031	10,000

※ 回答者サンプルの割付は、日本の人口構成を踏まえ、「性別の割付」「年齢の割付」「地域の割付」の条件を全て満たすように行った。また、割付された各セグメントにおける各サンプル数は、有意水準を5%と設定したときに有意であると認められるに足るサンプル数を確保した。

1-4 アンケート調査票

1-4 アンケート調査票

■スクリーニング

全員回答 ※F1~F3は基本設問（設問数には含まれません）

F1 SA あなたの性別をお答えください。
(お答えは1つ)

○1	男性
○2	女性

F2 NUM あなたの年齢をお答えください。
(お答えは半角数字で)

歳 ※半角数字のみ 17歳以下75歳以上は調査終了

F3 SA あなたのお住まいの地域をお答えください。
(お答えは1つ)

▼フルタウン	
1	北海道
2	青森県
3	岩手県
4	宮城県
5	秋田県
6	山形県
7	福島県
8	茨城県
9	栃木県
10	群馬県
11	埼玉県
12	千葉県
13	東京都
14	神奈川県
15	新潟県
16	富山県
17	石川県
18	福井県
19	山梨県
20	長野県
21	岐阜県
22	静岡県
23	愛知県
24	三重県
25	滋賀県
26	京都府
27	大阪府
28	兵庫県
29	奈良県
30	和歌山県
31	鳥取県
32	島根県
33	岡山県
34	広島県
35	山口県
36	徳島県
37	香川県
38	愛媛県
39	高知県
40	福岡県
41	佐賀県
42	長崎県
43	熊本県
44	大分県
45	宮崎県
46	鹿児島県
47	沖縄県
48	海外

→調査終了

■本調査

全員回答

Q1 SA あなたの現在のご職業をお答えください。
(お答えは1つ)

○1	会社員（正社員）
○2	会社員（契約／嘱託／派遣社員）
○3	公務員（正規職員）
○4	公務員（非正規職員）
○5	自営業／自由業
○6	高校生
○7	大学生／大学院生
○8	パート／アルバイト
○9	主婦・主夫
○10	年金生活者・無職
○11	その他（ <input type="text"/> ）

回答者：Q1=○1~5、8（有職者）

Q2 SA あなたの勤務先の業種をお答えください。
(お答えは1つ)

○1	農林漁業、鉱業
○2	建設・土木業
○3	製造業
○4	印刷・出版業
○5	電気・ガス・水道業
○6	情報通信業
○7	運輸業、郵便業
○8	卸売業、小売業
○9	金融業、保険業
○10	不動産業、物品賃貸業
○11	学術研究、専門・技術サービス業
○12	宿泊業、飲食サービス業
○13	教育、学習支援業
○14	医療、福祉
○15	サービス業（他に分類されないもの）
○16	その他（ <input type="text"/> ）

回答者：Q1=○1~5、8（有職者）

Q3 SA あなたの現在の職種をお答えください。
(お答えは1つ)

○1	経営・管理職
○2	専門・技術職
○3	事務職
○4	営業職
○5	販売職
○6	労務・技能職
○7	その他（ <input type="text"/> ）

回答者：Q1=○1~5、8~11（高校生、大学生／大学院生以外）

Q4 SA あなたの最終学歴をお答えください。
(お答えは1つ)

○1	大学院
○2	大学
○3	専修学校専門課程・短期大学、高等専門学校
○4	高等学校
○5	小中学校
○6	その他（ <input type="text"/> ）

全員回答

Q5 SA あなたの婚姻状況をお答えください。
(お答えは1つ)

○1	未婚
○2	既婚（配偶者あり）
○3	既婚（配偶者死別・離婚）

1-4 アンケート調査票

全員回答 Q6 MA あなたと同居しているご家族をすべてお答えください。
(お答えはいくつでも) [改ページ](#)

<input type="checkbox"/> 1	同居の家族はいない(一人暮らし)	※排他 ←Q5=O2で表示
<input type="checkbox"/> 2	配偶者	
<input type="checkbox"/> 3	子ども	
<input type="checkbox"/> 4	父親(配偶者の父親を含む)	
<input type="checkbox"/> 5	母親(配偶者の母親を含む)	
<input type="checkbox"/> 6	祖父母	
<input type="checkbox"/> 7	孫	
<input type="checkbox"/> 8	兄弟姉妹	
<input type="checkbox"/> 9	その他()	

回答者: Q6=3にONがある(子供と同居している) [改ページ](#)

Q7 MA あなたが同居している子どもの年齢をすべてお答えください。
(お答えはいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1	0~2歳
<input type="checkbox"/> 2	3~6歳
<input type="checkbox"/> 3	小学校低学年(1~3年)
<input type="checkbox"/> 4	小学校高学年(4~6年)
<input type="checkbox"/> 5	中学生
<input type="checkbox"/> 6	高校生
<input type="checkbox"/> 7	大学生
<input type="checkbox"/> 8	社会人年齢以上(18歳以上)

全員回答 Q8 SA あなたの個人の年収をお答えください。
あなたの世帯の年収をお答えください。
(お答えは1つ) [改ページ](#)

←Q6=1にONがある方に表示
←Q6=2~9いずれかにONがある方に表示

<input type="checkbox"/> 1	所得無し
<input type="checkbox"/> 2	100万円未満
<input type="checkbox"/> 3	100~200万円未満
<input type="checkbox"/> 4	200~300万円未満
<input type="checkbox"/> 5	300~400万円未満
<input type="checkbox"/> 6	400~500万円未満
<input type="checkbox"/> 7	500~600万円未満
<input type="checkbox"/> 8	600~800万円未満
<input type="checkbox"/> 9	800~1,000万円未満
<input type="checkbox"/> 10	1,000~1,500万円未満
<input type="checkbox"/> 11	1,500~2,000万円未満
<input type="checkbox"/> 12	2,000万円以上
<input type="checkbox"/> 13	わからない

全員回答 Q9 SA 日本の財政について質問します。
国の収入と支出のバランスを「財政」と言います。
あなたは現在の日本の財政状況について、どう感じていますか。あてはまるものをお選びください。
(お答えは1つ) [改ページ](#)

<input type="checkbox"/> 1	とても安心している
<input type="checkbox"/> 2	安心している
<input type="checkbox"/> 3	やや安心している
<input type="checkbox"/> 4	どちらともいえない
<input type="checkbox"/> 5	やや不安を感じている
<input type="checkbox"/> 6	不安を感じている
<input type="checkbox"/> 7	とても不安を感じている

全員回答 Q11 SA あなたは10年後の日本の財政はどうなっていると思いますか。あてはまるものをお選びください。
(お答えは1つ) [改ページ](#)

<input type="checkbox"/> 1	今よりとても良い状態になっている
<input type="checkbox"/> 2	今より良い状態になっている
<input type="checkbox"/> 3	今よりやや良い状態になっている
<input type="checkbox"/> 4	今と変わらない
<input type="checkbox"/> 5	今よりやや悪い状態になっている
<input type="checkbox"/> 6	今より悪い状態になっている
<input type="checkbox"/> 7	今よりとても悪い状態になっている

回答者: Q11=O5~7(10年後の日本の財政は厳しい状態になっている) [改ページ](#)

Q12 MA 10年後の日本の財政について「厳しい状態になっている」と回答された方におかけいたします。
あなたが10年後の日本の財政について厳しい状態になると思う理由をお選びください。
(お答えはいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1	国の収入(税収)が減りそうだから
<input type="checkbox"/> 2	国の支出(歳出)が増えそうだから
<input type="checkbox"/> 3	日本経済は良くなりなさそうだから
<input type="checkbox"/> 4	少子高齢化で働く人の数が減って税収も減りそうだから
<input type="checkbox"/> 5	安定的な税収を得るための税制改革が進まなさそうだから
<input type="checkbox"/> 6	無駄な支出(歳出)を削減できなさそうだから
<input type="checkbox"/> 7	高齢者の増加が様々な影響を与えそうだから
<input type="checkbox"/> 8	社会保険費の増加を抑える政策が進まなさそうだから
<input type="checkbox"/> 9	国の借金が増えそうだから
<input type="checkbox"/> 10	金利が上昇して経済に悪影響が出そうだから
<input type="checkbox"/> 11	その他()

回答者: Q11=O1~4(10年後の日本の財政は今と変わらない、良い状態になっている) [改ページ](#)

Q13 MA 「10年後の日本の財政について「今と変わらない」もしくは「良い状態になっている」と回答された方におかけいたします。
あなたが10年後の日本の財政について今と変わらない/良い状態になると思う理由をお選びください。
(お答えはいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1	国の収入(税収)が増えそうだから
<input type="checkbox"/> 2	国の支出(歳出)が減りそうだから
<input type="checkbox"/> 3	日本経済が良くなりそうだから
<input type="checkbox"/> 4	働き方改革や技術革新などで生産性が向上しそうだから
<input type="checkbox"/> 5	安定的な税収を得る税制改革が進みそうだから
<input type="checkbox"/> 6	無駄な支出(歳出)の削減が進みそうだから
<input type="checkbox"/> 7	社会保険費の増加を抑えたり、減らしたりする政策が進みそうだから
<input type="checkbox"/> 8	金利が低く維持され、経済に好影響を与えそうだから
<input type="checkbox"/> 9	借金(国債)は日本国内で消化されていて、財政破綻の懸念は少なそうだから
<input type="checkbox"/> 10	国には有価証券や国有財産等の資産があって、そもそも借金は小さそうだから
<input type="checkbox"/> 11	日銀が買い取る国債には利息も返済義務もなく、そもそも借金は小さそうだから
<input type="checkbox"/> 12	日本は世界有数の経済大国であり続けそうだから
<input type="checkbox"/> 13	その他()

1-4 アンケート調査票

回答者：Q1=O1~5、8~11（高校生、大学生/大学院生以外）

Q14 SAMT

税の負担と受益についておうかがいします。

あなたは、あなた自身または世帯にかかる税と保険料についてどの程度、負担に感じていますか。
以下それぞれの税と保険料について、生活費を「とても圧迫する」から「全く圧迫しない」までの中であてはまるものをお選びください。
※所得税、住民税、健康保険料、年金保険料、介護保険料、雇用保険料、消費税、相続税、酒税、たばこ税
(お答えはそれぞれ1つ)

	とても圧迫する	圧迫する	まあまあ圧迫する	あまり圧迫しない	圧迫しない	全く圧迫しない	自分と関係ない
※表例：Q14_9~10→F2=20以上で表示							
Q14_1 所得税	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7
Q14_2 住民税	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7
Q14_3 健康保険料	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7
Q14_4 年金保険料	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7
Q14_5 介護保険料	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7
Q14_6 雇用保険料	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7
Q14_7 消費税	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7
Q14_8 相続税	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7
Q14_9 酒税	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7
Q14_10 たばこ税	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7

改ページ
(横回答)

全員回答

Q16 MAMT

以下の項目の中から、税が自分の生活に還元されていると感じる公共サービスをすべてお選びください。
(お答えはいくつでも)
また、そのなかからあなたが強く実感するものを3つまでお選びください。
(お答えは3つまで)
※当てはまるものがない方は、それぞれいって言えばお答えください。

	Q16_1	Q16_2
→Q16_1でONのある項目のみQ16_2に選択可 ※表例：ランダムイズ	る税もてのる活と実感さ	強く実感するもの
1 年金	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1
2 医療	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2
3 救急医療	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 3
4 介護	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 4
5 保育サービス等・子育て支援	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 5
6 生活保護（障害や高齢時の生活支援）	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 6
7 地方への補助金	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 7
8 公共事業（道路、ダム等国土整備）	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 8
9 防衛	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 9
10 警察	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 10
11 消防	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 11
12 防災	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 12
13 文化振興	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 13
14 スポーツ振興	<input type="checkbox"/> 14	<input type="checkbox"/> 14
15 教育	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 15
16 科学技術研究	<input type="checkbox"/> 16	<input type="checkbox"/> 16
17 公衆衛生（ゴミ対策・感染症予防等）	<input type="checkbox"/> 17	<input type="checkbox"/> 17
18 食料安定供給・農業の発展	<input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/> 18
19 エネルギー対策（石油ガス等の安定供給、研究等）	<input type="checkbox"/> 19	<input type="checkbox"/> 19
20 国際協力ODA（途上国への経済・技術協力）	<input type="checkbox"/> 20	<input type="checkbox"/> 20

改ページ
(横回答)

全員回答

Q15 MAMT

あなたは国に納める税と保険料について、どんなイメージを持っていますか。あてはまるものすべてお答えください。
(お答えはそれぞれいくつでも)

	Q15_1	Q15_2
	税	保険料
1 国や社会づくりのためのもの	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1
2 相互に助け合う仕組み	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2
3 国がとりたてる	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 3
4 国が使い方を決める	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 4
5 払う意義はわかる	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 5
6 払う意義がわからない	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 6
7 自分に利益が還元される	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 7
8 弱者に利益が還元される	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 8
9 払えるなら払う	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 9
10 なるべく払いたくない	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 10
11 この中では一つもない	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 11

※Q6と同時ON不可
※Q5と同時ON不可

※Q10と10同時ON不可
※Q10と9同時ON不可

※併他

改ページ
(横回答)

全員回答

Q17 SA

支払われた税により、Q16の公共サービスは賄われています。あなたの感覚に近いものをお選びください。
(お答えは1つ)

<input type="checkbox"/> 1 払う税に比べて、公共サービスをとても受けている
<input type="checkbox"/> 2 払う税に比べて、公共サービスを受けている
<input type="checkbox"/> 3 払う税に比べて、公共サービスをまあ受けている
<input type="checkbox"/> 4 払う税と受ける公共サービスのバランスは同じ
<input type="checkbox"/> 5 払う税に比べて、公共サービスをあまり受けていない
<input type="checkbox"/> 6 払う税に比べて、公共サービスを受けていない
<input type="checkbox"/> 7 払う税に比べて、公共サービスを全く受けていない

改ページ

全員回答

Q18 M TSA

以下の5つの記述について、あなたの意見に近いものを選んでください。
(お答えはそれぞれ1つ)

	A	にと賛成もA	Aに賛成	賛成やAに	いもちえらなど	賛成やBに	Bに賛成	にと賛成もB	B
Q18_1 日本の財政が吉しくなった主な理由は社会保障費の増加である	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	日本の財政が吉しくなった主な理由は社会保障費の増加ではない	
Q18_2 社会保障制度の充実を望む	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	社会保障制度に必ずしも充実を望まない	
Q18_3 社会保障に使われるなら、私は税や保険料を今より多く払ってもいい	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	社会保障に使われると私は、私は税や保険料を今より多く払って	
Q18_4 今後、経済成長によって税収は増えると思う	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	今後、経済成長によって税収は増えないと思う	
Q18_5 財源を確保するために、国は借金をすべきでない	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	財源を確保するために、国は借金をすべきでない	

改ページ
(横回答)

1-4 アンケート調査票

全員回答 Q19 MA 借金（国債）に依存した財政を続けた場合、将来、どのようなことが問題になりそうだと思いますか。（お答えはいくつでも） [改ページ](#)

<input type="checkbox"/> 1	借金（国債）の返済が増え、現在と同じ水準の公共サービスを維持できなくなる
<input type="checkbox"/> 2	財政支出に対するチェックが甘くなりやすい
<input type="checkbox"/> 3	子どもや孫の世代の税負担により、借金（国債）を返済することになる
<input type="checkbox"/> 4	経済危機や自然災害が起こったときの財政支出の余地が狭められる
<input type="checkbox"/> 5	国債や通貨の信頼が低下し、金利や物価に影響が生じる
<input type="checkbox"/> 6	借金（国債）に依存した財政でも問題はない
<input type="checkbox"/> 7	わからない ※排他

全員回答 Q20 SA 今後の財政のあり方について、あなたの考え方にもっとも近いものを選んでください。（お答えは1つ） [改ページ](#)

<input type="checkbox"/> 1	財政収支が赤字だから、財政による支援は、あくまでも必要な人に絞って行うべき
<input type="checkbox"/> 2	個々の税の負担能力に応じて税を負担しているのだから、国債をさらに増加させてでも、財政による支援は、全員に公平に届くようにすべき
<input type="checkbox"/> 3	国債の増加は子どもや孫の世代に負担していることになるため、税や保険料の負担を増やして、財政による支援を手厚くすべき
<input type="checkbox"/> 4	税や保険料の負担を増やさずに、社会保障の水準も含めて、歳出削減を行うことを優先すべき
<input type="checkbox"/> 5	税や保険料の見直し、歳出削減、国債の増発を行わなくても、成長戦略に重点をおいて収支を増やすことで、財政状況は改善するはず
<input type="checkbox"/> 6	財政状況をチェックするための客観的な指標に基づく財政運営を導入すべき

全員回答 Q21 SA この1年間で、日本の財政への興味・関心の度合いに変化がありましたか。（お答えは1つ） [改ページ](#)

<input type="checkbox"/> 1	大きく増加した
<input type="checkbox"/> 2	少し増加した
<input type="checkbox"/> 3	変わらない
<input type="checkbox"/> 4	少し減少した
<input type="checkbox"/> 5	大きく減少した

回答者：Q21=〇1~2（日本の財政への興味・関心の度合いが増加した） [改ページ](#)
 Q22 MA 日本の財政への興味・関心が大きく増加した/少し増加した理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

<input type="checkbox"/> 1	選挙で投票する機会があったから
<input type="checkbox"/> 2	財政による支援（給付金等）を受ける機会があったから
<input type="checkbox"/> 3	財政に関するニュース等を見る機会が増えたから
<input type="checkbox"/> 4	政治・経済への興味・関心が増加したから
<input type="checkbox"/> 5	債務残高が増加したから
<input type="checkbox"/> 6	社会保障費にかかる費用が年々増加する中で、予算全体も増加しているから
<input type="checkbox"/> 7	財政収支が悪化したから
<input type="checkbox"/> 8	その他（ ）

回答者：Q21=〇4~5（日本の財政への興味・関心の度合いが減少した） [改ページ](#)
 Q23 MA 日本の財政への興味・関心が大きく減少した/少し減少した理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

<input type="checkbox"/> 1	財政問題より、新型コロナウイルス感染症対策や経済対策の方が重要だと思うから
<input type="checkbox"/> 2	財政問題より、社会保障（医療、年金、介護等）の更なる充実の方が重要だと思うから
<input type="checkbox"/> 3	財政に関するニュース等を見る機会が減ったから
<input type="checkbox"/> 4	政治・経済への興味・関心が薄れたから
<input type="checkbox"/> 5	財政収支が悪化した状況が長く続いていても、日本国債がデフォルトしていないから
<input type="checkbox"/> 6	社会保障にかかる費用が年々増加している中、財政再建は無理だと思うから
<input type="checkbox"/> 7	財政が悪くなっても、自分の生活には関係ないと思うから
<input type="checkbox"/> 8	その他（ ）

全員回答 Q24_1 MASA MT あなたが普段利用する情報源をすべてお選びください。（お答えはいくつでも） [改ページ](#)
 (補回答)
 その中で、「政治・経済、財政や社会保障等」について、利用する情報源をすべてお選びください。（お答えはいくつでも）
 また、その中で、「政治・経済、財政や社会保障等」について、最も利用する情報源をお選びください。（お答えは1つ）

	Q24_1_1	Q24_1_2	Q24_1_3
	普 段 利 用 す る 情 報 源	会 社 の 経 済 情 報 源 に 関 する 情 報 源	会 社 の 経 済 情 報 源 に 関 する 情 報 源
	→Q24_1_1でONのある項目のみQ24_1_2に選択可（排他除く） →Q24_1_2でONのある項目のみQ24_1_3に選択可（排他含む）		
1	テレビ	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1
2	ラジオ	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2
3	新聞	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 3
4	雑誌	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 4
5	交通広告（電車やバス、タクシーなどのスペースを利用した広告）	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 5
6	屋外広告（電柱広告、広告塔、ネオン、電気看板など）	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 6
7	インターネット広告（Yahoo! JAPANのような検索サイトのトップページに掲載されたり、キーワード検索に連動して表示されたり）	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 7
8	フリーペーパー	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 8
9	パンフレット、リーフレット、ポスターなど	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 9
10	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ（Yahoo!ニュース、LINE NEWSなどのパソコンやスマートフォンから閲覧可能なもの）	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 10
11	Webサイト、ホームページからの情報	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 11
12	LINE、Twitter、Facebook等のSNSからの情報	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 12
13	官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）の広報誌	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 13
14	官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）のホームページ	<input type="checkbox"/> 14	<input type="checkbox"/> 14
15	官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）が発信しているSNS	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 15
16	専門書	<input type="checkbox"/> 16	<input type="checkbox"/> 16
17	専門家による講演・講座など	<input type="checkbox"/> 17	<input type="checkbox"/> 17
18	家族・親せきの話	<input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/> 18
19	友人・知人の話	<input type="checkbox"/> 19	<input type="checkbox"/> 19
20	町内会・自治会などのイベントや集会	<input type="checkbox"/> 20	<input type="checkbox"/> 20
21	勤務先のイベントや会議	<input type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 21
22	その他のイベント	<input type="checkbox"/> 22	<input type="checkbox"/> 22
23	学校の授業	<input type="checkbox"/> 23	<input type="checkbox"/> 23
24	その他（ ）	<input type="checkbox"/> 24	<input type="checkbox"/> 24
25	入手していない	<input type="checkbox"/> 25	<input type="checkbox"/> 25

1-4 アンケート調査票

回答者：Q24_1_2=1~24いずれかに2つ以上ONがある（「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報源が2つ以上ある）

改ページ

Q24_2 MASA 「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報源がある方におうかがいします。
MT 「政治・経済、財政や社会保障等」について、一番最初に知る情報源をお選びください。
(お答えは1つ)
また、「政治・経済、財政や社会保障等」について、より詳しく知るための情報源をお選びください。
(お答えはいくつでも)

Q24_2_1 Q24_2_2

	一 番 最 初 に 知 る 情 報 源	情 報 源 の 詳 し く 知 る た め の
※表例：Q24_1_2でONがある選択肢を表示		
1 テレビ	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1
2 ラジオ	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2
3 新聞	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 3
4 雑誌	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 4
5 交通広告（電車やバス、タクシーなどのスペースを利用した広告）	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 5
6 屋外広告（電柱広告、広告塔、ネオン、電気看板など）	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 6
7 インターネット広告（Yahoo! JAPANのような検索サイトのトップページに掲載されたり、キーワード検索に連動して表示されたり）	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 7
8 フリーペーパー	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 8
9 パンフレット、リーフレット、ポスターなど	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 9
10 ニュース・情報サイト、ニュースアプリ（Yahoo!ニュース、LINE NEWSなどのパソコンやスマートフォンから閲覧可能なWebサイト、ホームページからの情報）	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 10
11 Webサイト、ホームページからの情報	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 11
12 LINE、Twitter、Facebook等のSNSからの情報	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 12
13 官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）の広報誌	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 13
14 官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）のホームページ	<input type="checkbox"/> 14	<input type="checkbox"/> 14
15 官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）が発信しているSNS	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 15
16 専門書	<input type="checkbox"/> 16	<input type="checkbox"/> 16
17 専門家による講演・講座など	<input type="checkbox"/> 17	<input type="checkbox"/> 17
18 家族・親せきの話	<input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/> 18
19 友人・知人の話	<input type="checkbox"/> 19	<input type="checkbox"/> 19
20 町内会・自治会などのイベントや集会	<input type="checkbox"/> 20	<input type="checkbox"/> 20
21 勤務先のイベントや会議	<input type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 21
22 その他のイベント	<input type="checkbox"/> 22	<input type="checkbox"/> 22
23 学校の授業	<input type="checkbox"/> 23	<input type="checkbox"/> 23
24 その他（【Q24_1その他回答表示】）	<input type="checkbox"/> 24	<input type="checkbox"/> 24
25 あてはまるものはない	-	<input type="checkbox"/> 25

※排他

回答者：Q24_1_2=1~24いずれかに2つ以上ONがある（「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報源が2つ以上ある）

改ページ

Q24_3 MASA 引き続き、「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報源がある方におうかがいします。
「政治・経済、財政や社会保障等」について、信用できる情報源をお選びください。
(お答えはいくつでも)
また、その中で、「政治・経済、財政や社会保障等」について、最も信用できる情報源をお選びください。
(お答えは1つ)

Q24_3_1 Q24_3_2

	信 用 で き る 情 報 源	報 信 も 信 用 で き る 情 報 源
※表例：Q24_1_2でONがある選択肢を表示 →Q24_3_1でONのある項目のみQ24_3_2に選択可（排他含む）		
1 テレビ	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1
2 ラジオ	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2
3 新聞	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 3
4 雑誌	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 4
5 交通広告（電車やバス、タクシーなどのスペースを利用した広告）	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 5
6 屋外広告（電柱広告、広告塔、ネオン、電気看板など）	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 6
7 インターネット広告（Yahoo! JAPANのような検索サイトのトップページに掲載されたり、キーワード検索に連動して表示されたり）	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 7
8 フリーペーパー	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 8
9 パンフレット、リーフレット、ポスターなど	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 9
10 ニュース・情報サイト、ニュースアプリ（Yahoo!ニュース、LINE NEWSなどのパソコンやスマートフォンから閲覧可能なWebサイト、ホームページからの情報）	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 10
11 Webサイト、ホームページからの情報	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 11
12 LINE、Twitter、Facebook等のSNSからの情報	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 12
13 官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）の広報誌	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 13
14 官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）のホームページ	<input type="checkbox"/> 14	<input type="checkbox"/> 14
15 官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）が発信しているSNS	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 15
16 専門書	<input type="checkbox"/> 16	<input type="checkbox"/> 16
17 専門家による講演・講座など	<input type="checkbox"/> 17	<input type="checkbox"/> 17
18 家族・親せきの話	<input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/> 18
19 友人・知人の話	<input type="checkbox"/> 19	<input type="checkbox"/> 19
20 町内会・自治会などのイベントや集会	<input type="checkbox"/> 20	<input type="checkbox"/> 20
21 勤務先のイベントや会議	<input type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 21
22 その他のイベント	<input type="checkbox"/> 22	<input type="checkbox"/> 22
23 学校の授業	<input type="checkbox"/> 23	<input type="checkbox"/> 23
24 その他（【Q24_1その他回答表示】）	<input type="checkbox"/> 24	<input type="checkbox"/> 24
25 あてはまるものはない	<input type="checkbox"/> 25	<input type="checkbox"/> 25

※排他

1-4 アンケート調査票

全員回答 改ページ

Q25 SAMT 「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報を得る際に、重視することを、順位の高い順に3つまでお選びください。
(お答えはそれぞれ1つ)

(横回答)

	Q25_1 Q25_2 Q25_3		
	1位	2位	3位
※1~3位の同時ON不可(その他除く) ※Q25_1=○11の場合、Q25_2~3=○11のみ選択可 ※Q25_2=○11の場合、Q25_3=○11のみ選択可			
1 情報の速報性	○1	○1	○1
2 情報量の多さ	○2	○2	○2
3 内容の分かりやすさ	○3	○3	○3
4 内容の正確性	○4	○4	○4
5 情報の信頼性	○5	○5	○5
6 SNSでしか得られない情報	○6	○6	○6
7 写真・動画等の視覚的な情報	○7	○7	○7
8 分かりやすいデータやグラフ・図表	○8	○8	○8
9 親しみやすさ	○9	○9	○9
10 その他	○10	○10	○10
11 特になし	○11	○11	○11

回答者: Q25_1~3いずれかに○10にON(その他) 改ページ

Q25SQ FA Q25で、「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報を得る際に、重視することについて「その他」と回答された方におうかがいします。
「その他」の内容について具体的にお答えください。
(お答えは具体的に)

↓Q25_1~3いずれかに○10にONのある項目のみ表示

Q25SQ_1 1位	必須
Q25SQ_2 2位	必須
Q25SQ_3 3位	必須

全員回答 改ページ

Q26 MA 「政治・経済、財政や社会保障等」に関する理解を深めるために、どのようなツールであれば、利用したいと思いますか。
(お答えはいくつでも)

※選択肢ランダムミス、□1~2、□8~9、□12~13はブロック(ブロック内ランダムミスなし)

□1	NHKの情報番組	
□2	民放テレビの情報番組	
□3	新聞や雑誌の特集記事	
□4	ラジオやポッドキャスト	
□5	インターネットで閲覧できる特集記事	
□6	ハンズレット・リーフレット	
□7	動画	
□8	イラストや漫画による解説	
□9	分かりやすいグラフ等のデータを用いた解説	
□10	大学や研究機関の発行物	
□11	専門家の書籍	
□12	職場・学校での出前講座	
□13	専門家・有識者による講演会	
□14	著名人・タレント等によるトークイベント	
□15	その他()	※固定
□16	利用したいと思うものはない	※排他 ※固定

委員回答 改ページ

Q27 MA 「政治・経済、財政や社会保障等」に関して、あなたが最近とった情報共有・拡散行動として、次のうち当てはまるものをお選びください。
(お答えはいくつでも)

□1	家族や友人などの周囲の人へ伝えた	
□2	実際の人が集まる公共の場で発表した	
□3	インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた	
□4	情報共有・拡散行動はしていない	※排他

回答者: Q27=□1~3いずれかにONがある(インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた) 改ページ

Q28 MA Q27で、「政治・経済、財政や社会保障等」に関して、あなたが最近とった情報共有・拡散行動として、「インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた」とお答えの方に、どのようなツールを使って情報共有・拡散をしましたか。
(お答えはいくつでも)

□1	動画を制作してYouTube等に投稿した	
□2	自身のブログやSNS等に文章を書いて投稿した	
□3	掲示板や他の人のブログ、SNS等へ書き込んだ(コメントした)	
□4	情報源のニュースや動画のURL等を引用してSNS等に投稿した	
□5	情報源の記事やSNS投稿等をシェアした	
□6	その他()	

回答者: Q27=□1~3いずれかにONがある(情報共有・拡散行動はしていない以外の方) 改ページ

Q29 MA Q27で、「政治・経済、財政や社会保障等」に関して、情報共有・拡散行動をした方にお伺いします。
「政治・経済、財政や社会保障等」の分野の中でも、特に「財政」に関して、あなたが最近とった行動として、次のうち当てはまるものをお選びください。
(お答えはいくつでも)

□1	家族や友人などの周囲の人へ伝えた	
□2	実際の人が集まる公共の場で発表した	
□3	インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた	
□4	「財政」に関して情報共有・拡散行動はしていない	※排他

全員回答 改ページ

Q30 SA 「政治・経済、財政や社会保障等」に関して、著名人や、いわゆるYouTuber等が解説する動画をどの程度見ますか。
(お答えは1つ)

○1	特定の著名人やYouTuber等の動画をチャンネル登録し、新しい動画が公開されるとすぐに視聴する
○2	動画アプリ(YouTube等)を何気なく開くと、おすすりなどでそういった動画が良く出てきて、視聴する
○3	興味があった時に、ときどき視聴する
○4	まったく視聴しない

回答者: Q30=○1~3(「政治・経済や財政・社会保障等」に関する動画を視聴する) 改ページ

Q31 FA 「政治・経済、財政や社会保障等」に関して、こういった方の動画を見ますか。
分かる方は具体的なチャンネル名、登壇者や発信者名(インフルエンサー、YouTuber名)までお書き下さい。
(お答えは具体的に)

全員回答 改ページ

Q32 SAMT 次のうち、あなたが普段インターネットやSNS等で誰かに情報を共有するとき、こういったケースが多いですか。
多い順に3つまでお選びください。
(お答えはそれぞれ1つ)

	Q32_1 Q32_2 Q32_3		
	1位	2位	3位
※1~3位の同時ON不可 ※Q32_1=○6の場合、Q32_2~3=○6のみ選択可 ※Q32_2=○6の場合、Q32_3=○6のみ選択可			
1 面白いから拡散する	○1	○1	○1
2 詳しい情報を他の人に解説してほしいと思って拡散する	○2	○2	○2
3 他の人にも正しい知識を身につけてほしいと思って拡散する	○3	○3	○3
4 他の人の意見も聞きたいと思って拡散する	○4	○4	○4
5 デマを信じて行動すると危険だから拡散する	○5	○5	○5
6 誰かに情報を共有することはない	○6	○6	○6

1-4 アンケート調査票

全員回答

Q33 MA

以下の項目の中で、あなたの関心のある分野をお選びください。
(お答えはいくつでも)

[改ページ](#)

※選択肢ランダムイズ

<input type="checkbox"/>	1	新型コロナウイルス対策
<input type="checkbox"/>	2	物価高対策
<input type="checkbox"/>	3	グリーン社会の実現
<input type="checkbox"/>	4	デジタル化の推進
<input type="checkbox"/>	5	事業者への支援
<input type="checkbox"/>	6	観光・インバウンドの再生
<input type="checkbox"/>	7	賃上げの推進
<input type="checkbox"/>	8	多様な働き方の推進
<input type="checkbox"/>	9	子育て支援・教育
<input type="checkbox"/>	10	年金・社会保障
<input type="checkbox"/>	11	外交・安全保障 (防衛含む)
<input type="checkbox"/>	12	地方創生・デジタル田園都市国家構想
<input type="checkbox"/>	13	防災・減災、国土強靱化の推進
<input type="checkbox"/>	14	その他 ()
<input type="checkbox"/>	15	関心のある分野はない

※固定
※固定
※排他

第2章 単純集計の結果

■ 日本の財政に対する認識

- 日本の財政に対して、現在については不安を感じている人が多く、10年後については悲観的に思っている人が多い
 - 現在の財政：「安心している計」10.3%／「不安を感じている計」70.8%
 - 10年後の財政：「良い状態になる計」8.5%／「厳しい状態になる計」68.4%
- 現在不安を感じている主な理由は、「国の予算の使い方に無駄が多そうだから」「今後も消費税率引き上げなど、増税がありそうだから」「自分の年金が減額される／受け取れない可能性がありそうだから」など。
- 10年後に厳しい状態になると思う主な理由は、「少子高齢化で働く人の数が減って税収も減りそうだから」57.3%が最多、次いで「日本経済は良くならなさそうだから」など。

■ 税の負担と受益の認識

- 10項目の税・保険料に対する負担感を聞いたところ、いずれの税・保険料も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を上回っており、「消費税」「健康保険料」「所得税」「住民税」「年金保険料」「介護保険料」の6項目で「圧迫する計」が7割以上を占める。
- 国に収める税のイメージは「国や社会づくりのためのもの」54.0%で最多、保険料のイメージは「相互に助け合う仕組み」41.9%で最多。
- 保険料に比べ税の方が、「払えるなら払う」が低く「なるべく払いたくない」が高い。
- 税と受益のバランスについては、「（払う税に比べて公共サービスを）受けていない計」62.8%が「受けている・バランスは同じ計」37.3%を大きく上回っている。
- 税が生活に活かされていると実感するものは、「医療」「公共事業」「公衆衛生」などが比較的高い。

■ 財政に対する意見と興味・関心度

- 日本の財政が苦しくなった主な理由は、「社会保障費の増加である」が「社会保障費の増加ではない」を上回っている。
- 社会保障制度の充実に対しては、「充実を望む」が「必ずしも充実を望まない」を大きく上回っている。
- 社会保障費の増加が日本の財政を苦しんでいると考えてはいるものの、一方で社会保障制度の充実を望んでいる。
- 借金（国債）に依存した財政を続けた場合に将来生じる問題としては、「子どもや孫の世代の税負担により、借金（国債）を返済することになる」が最も多い。現在のことだけを考えれば社会保障制度の充実を望むが、子どもや孫の将来のことを考えた場合はそれも問題との意識がうかがえる。
- この1年間での日本の財政への興味・関心度の変化は、「変わらない」が半数以上を占めるが、変化した人は「増加した計」が「減少した計」を大きく上回る。
- この1年間で日本の財政への興味・関心が増加した人の理由は、「財政に関するニュース等を見る機会が増えたから」が最も多く半数以上が回答しており、普段接触するメディアでの情報発信が重要であることを物語っている。

■ 財政に関する情報源

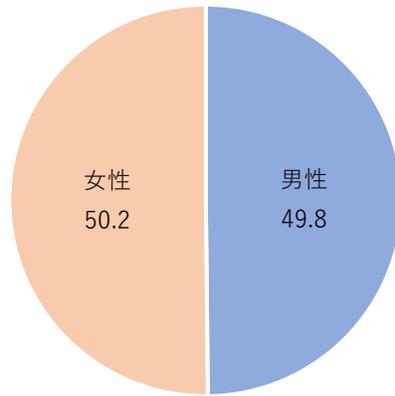
- 普段利用する情報源、政治・経済、財政や社会保障等に関して<利用する情報源><1番最初に知る情報源><より詳しく知るための情報源><信用できる情報源>のいずれも「テレビ」「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」「新聞」などが上位にあがっている。（下表参照）
- 政治・経済、財政や社会保障等の情報に対しては、「内容の正確性」「情報の信頼性」「内容の分かりやすさ」などが重視されている。
- 政治・経済、財政や社会保障等の理解を深めるために利用したいツールは、「インターネットで閲覧できる特集記事」「民放テレビの情報番組」「NHKの情報番組」などが多い。

(%)

普段利用する情報源		「政治・経済、財政や社会保障等」で 利用する 情報源		「政治・経済、財政や社会保障等」に関して 最初 に知る情報源		「政治・経済、財政や社会保障等」に関して より詳しく知る ための情報源		「政治・経済、財政や社会保障等」に関して 信用 できる情報源		
1	テレビ	78.7	テレビ	63.3	テレビ	54.2	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	34.2	テレビ	43.3
2	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	46.5	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	30.6	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	20.4	テレビ	28.7	新聞	31.8
3	新聞	33.4	新聞	25.1	新聞	7.8	新聞	27.5	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	23.4
4	インターネット広告	32.9	Webサイト、ホームページ	13.5	LINE、Twitter、Facebook等のSNS	5.0	Webサイト、ホームページ	15.6	Webサイト、ホームページ	11.4
5	Webサイト、ホームページ	31.9	インターネット広告	12.7	インターネット広告	4.3	インターネット広告	9.0	官公庁・地方自治体の広報誌	8.3

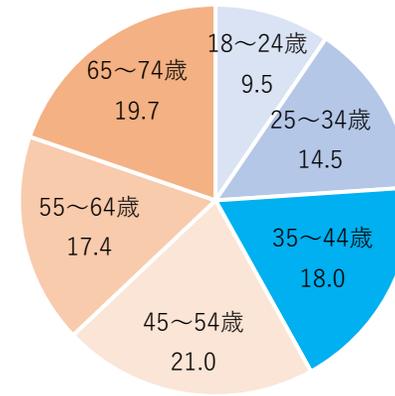
有効回答総数は10,000 サンプル、回答者のデモグラフィックプロフィールは以下の通り。

■ 性別(n=10,000) [%]



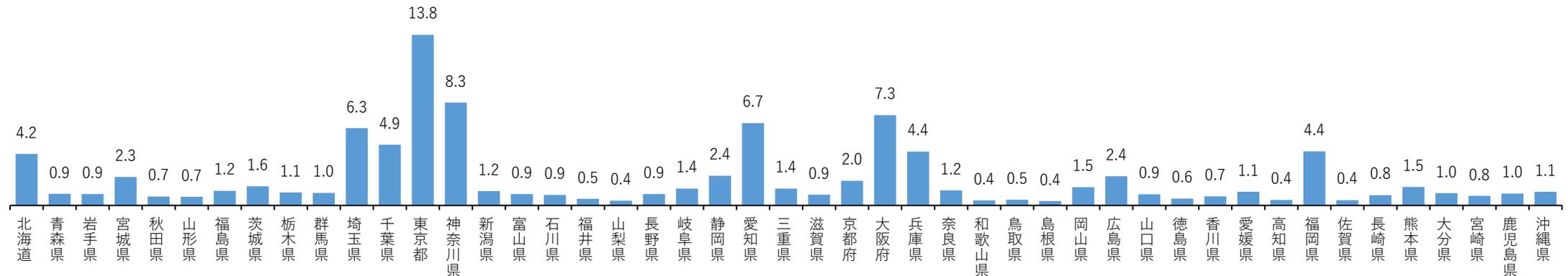
- 回収総数10,000 サンプルの内、「男性」49.8%、「女性」50.2%。
(小数点第2位は四捨五入している)
- 回収結果はこの割付と同じ比率になっており、日本の男女別構成比を反映している。

■ 年齢(n=10,000) [%]



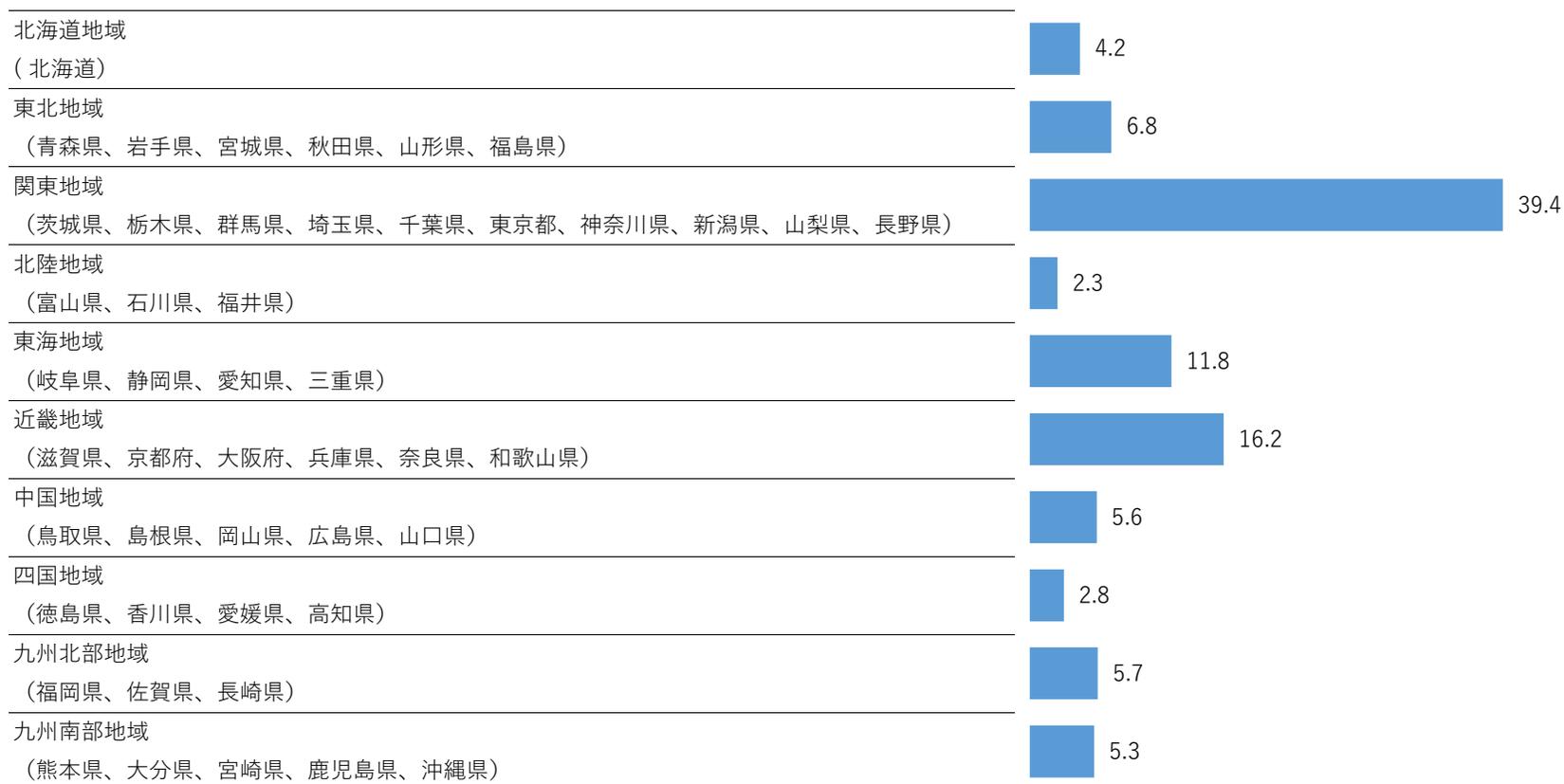
- 回収総数10,000 サンプルの内、「18~24歳」9.5%、「25~34歳」14.5%、「35~44歳」18.0%、「45~54歳」21.0%、「55~64歳」17.4%、「65~74歳」19.7%であった。
- 回収結果はこの割付と同じ比率になっており、日本の年齢別構成比を反映している。

■ 居住地 都道府県 (n=10,000) [%]

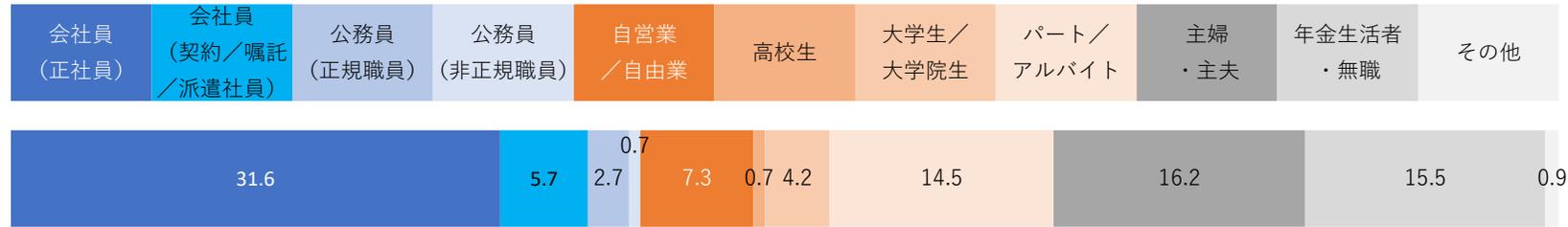


■ 地域（財務局・財務支局の管轄区分による割り付け地域）（n=10,000） [%]

- 回収総数10,000 サンプルの内、「北海道地域」4.2%、「東北地域」6.8%、「関東地域」39.4%、「北陸地域」2.3%、「東海地域」11.8%、「近畿地域」16.2%、「中国地域」5.6%、「四国地域」2.8%、「九州北部地域」5.7%、「九州南部地域」5.3%であった。
- 回収結果はこの割付と同じ比率になっており、日本の地域別構成比を反映している。



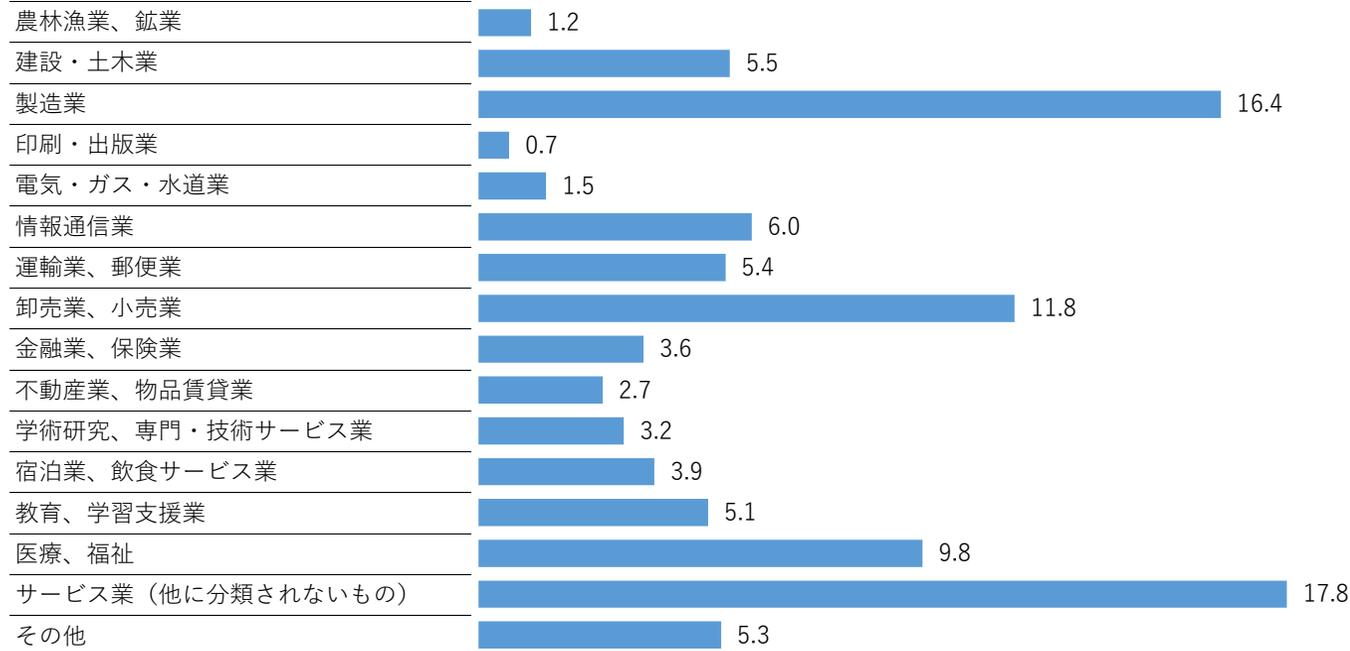
■ 職業(n=10,000) [%]



- 「会社員 (正社員)」38.3%が最多。他に「会社員 (契約/嘱託/派遣社員)」5.7%、「公務員 (正規職員)」2.7%、「公務員 (非正規職員)」0.7%、「自営業/自由業」7.3%、「パート/アルバイト」14.5%で、現役の生産労働人口に相当する人々は62.4%。
- 「主婦・主夫」16.2%、「年金生活者・無職」15.5%、「高校生」0.7%、「大学生/大学院生」4.2%の合計36.7%がいわゆる非生産労働人口となっている。

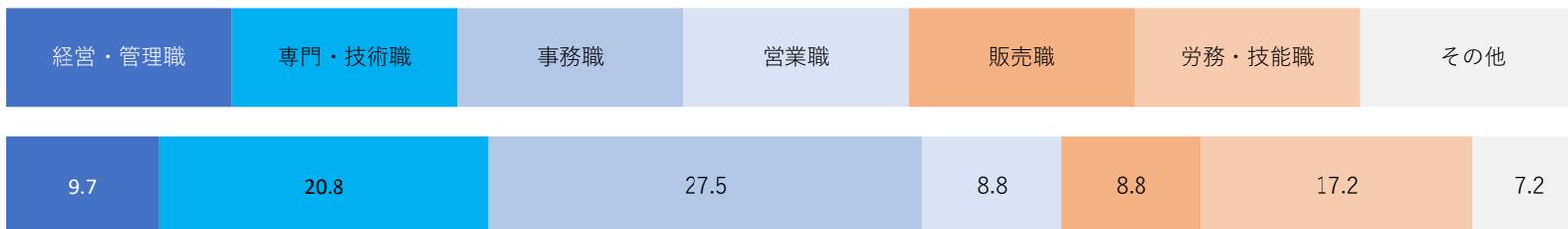
■ 業種(n=6,243) ※現役の生産労働人口に相当する人 [%]

※単一回答



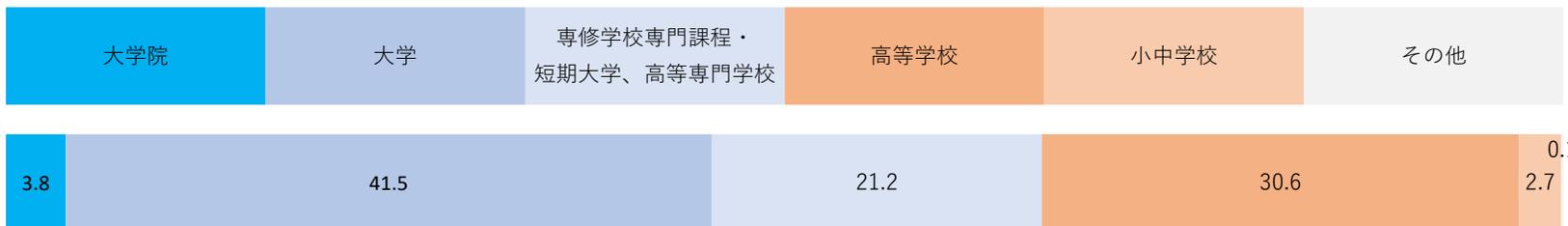
- 有職者が従事する業種は「サービス業 (他に分類されないもの)」17.8%が最多、次いで「製造業」の16.4%。

■ 職種(n=6,243) ※現役の生産労働人口に相当する人 [%]



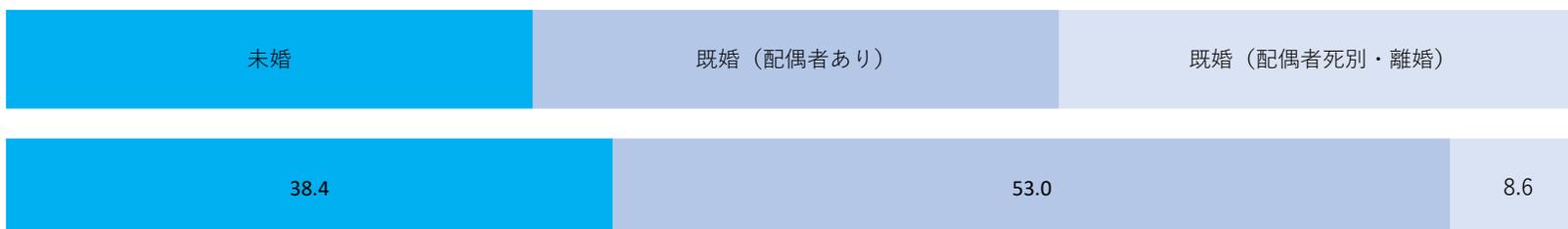
- 有職者が従事する職種は「事務職」27.5%が最多、次いで「専門・技術職」の20.8%。

■ 最終学歴(n=9,506) ※職業が「高校生」「大学生／大学院生」以外 [%]



- 「大学卒」41.5%が最多、次いで「高等学校卒」30.6%、「専修学校専門課程・短期大学卒、高等専門学校卒」21.2%。

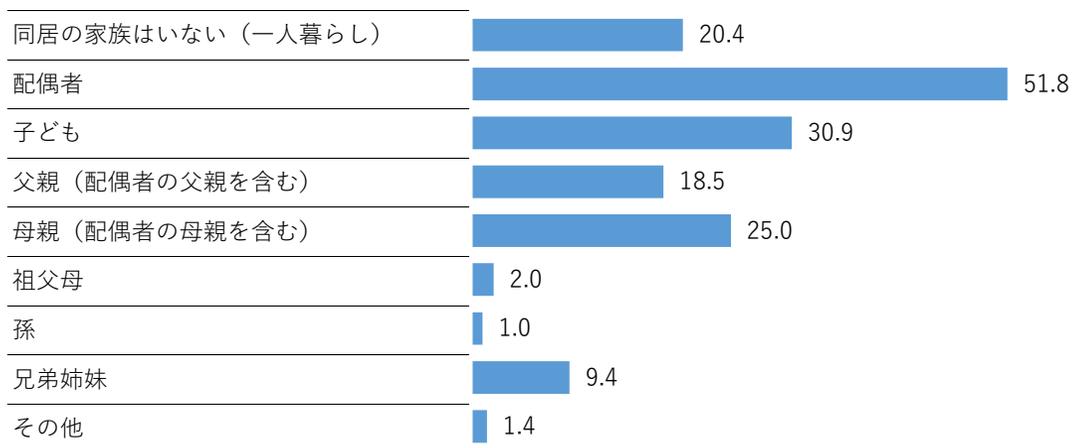
■ 未既(n=10,000) [%]



- 「既婚（配偶者あり）」53.0%が最多、「未婚」が38.4%、「既婚（配偶者死別・離婚）」9.3%。

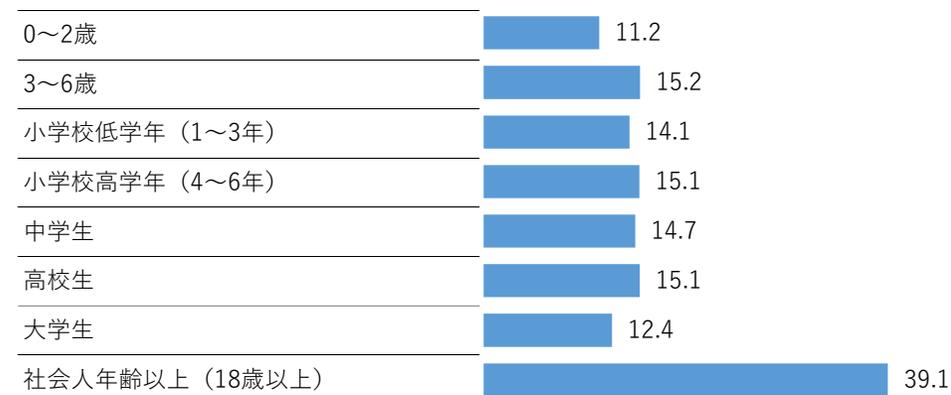
■ 同居家族(n=10,000) [%]

- 「配偶者」51.8%が最多、次いで「子ども」30.9%。
- 「父親（配偶者の父親を含む）」18.5%に比べ「母親（配偶者の母親を含む）」25.0%の方が高い。



■ 同居の子供の年齢(n=3,089) ※同居家族での「子ども」選択者 [%]

- 「社会人年齢以上（18歳以上）」39.1%が最多。
- 1人あたりの平均回答項目数は1.37（子供の平均人数=1.37人）。

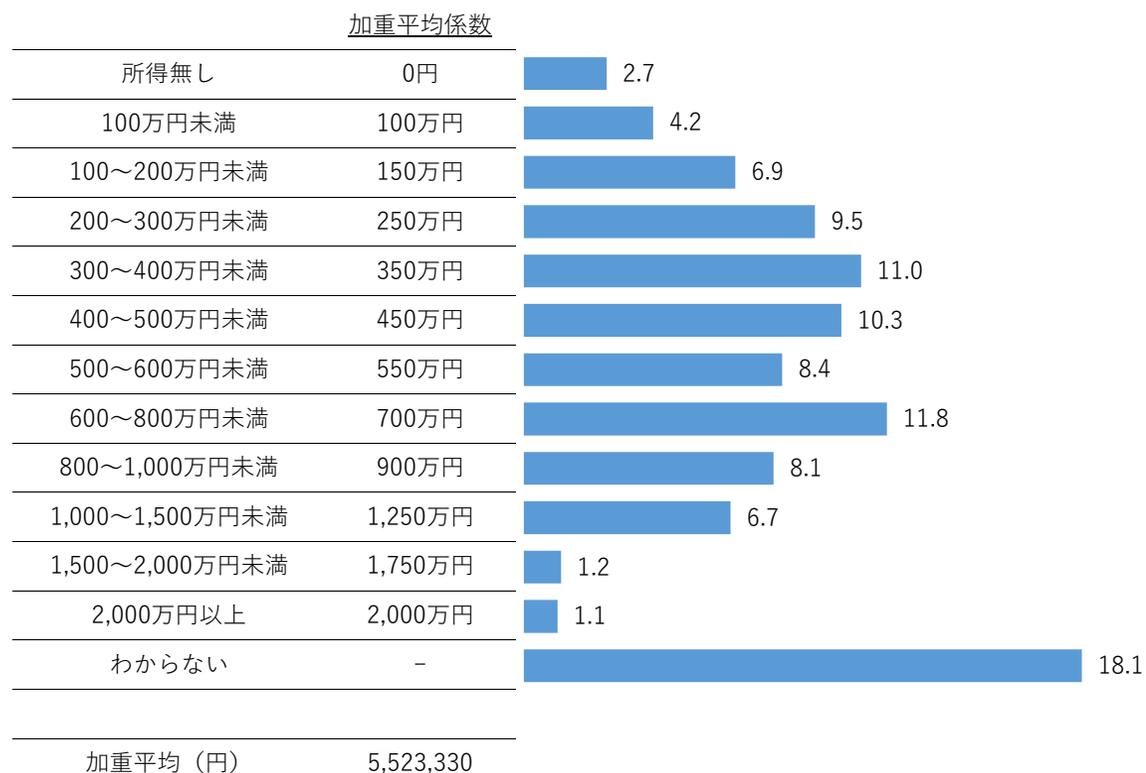


一人あたりの平均回答項目数= 1.37

■ 世帯年収(n=10,000) [%]

- 「わからない」を除くと「600～800万円未満」11.8%が最多、次いで「300～400万円未満」11.0%、「400～500万円未満」10.7%の順。

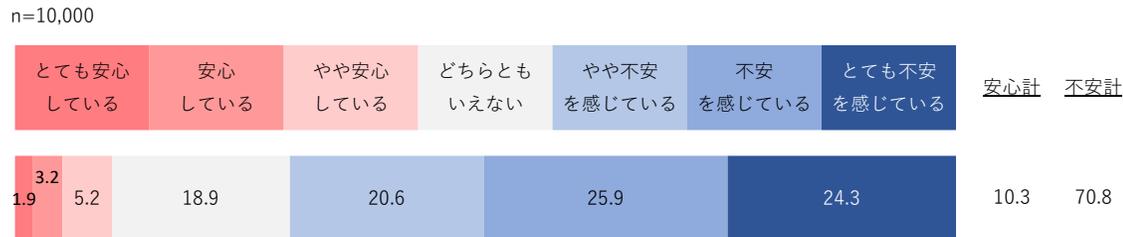
※ 「わからない」18.1%は、学生などその場で答えられなかった者で、調査ではやむを得ず一定の割合で発生する。



2-3 単純集計の詳細 1.日本の財政の現状認識／現状に不安を感じている理由

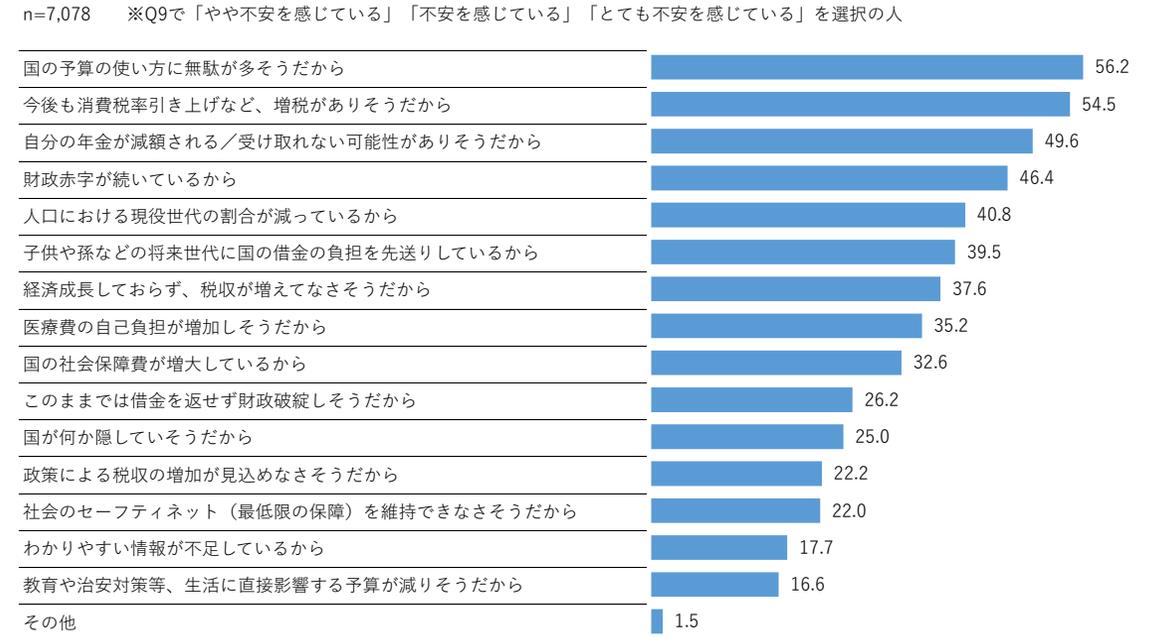
Q9 日本の財政について質問します。国の収入と支出のバランスを「財政」と言います。あなたは現在の日本の財政状況について、どう感じていますか。あてはまるものをお選びください。（お答えは1つ）

- 現在の日本の財政状況について、「不安を感じている計」70.8%が「安心している計」10.3%を大きく上回っている。
- また、「とても不安を感じている」が24.3%を占める。



Q10 あなたが現在の財政状況に不安を感じている理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

- 現在の財政状況に不安を感じている理由は、「国の予算の使い方に無駄が多そうだから」56.2%が最多、次いで「今後も消費税率引き上げなど、増税がありそうだから」54.5%、「自分の年金が減額される／受け取れない可能性がありそうだから」49.6%と続いており、この3項目は約50%以上が回答。



Q11 あなたは10年後の日本の財政はどうなっていると思いますか。あてはまるものをお選びください。（お答えは1つ）

- 10年後の日本の財政の予測は、「厳しい状態になる計」68.4%が「良い状態になる計」8.5%を大きく上回っている。

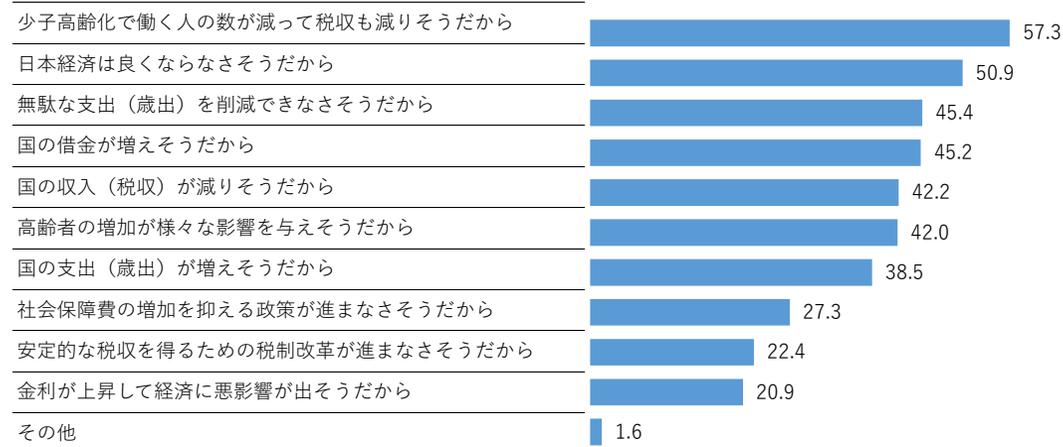
n=10,000



Q12あなたが10年後の日本の財政について厳しい状態になると思う理由をお選びください。
(お答えはいくつでも)

- 10年後に日本の財政が厳しい状態になると思う理由は、「少子高齢化で働く人の数が減って税収も減りそうだから」57.3%が最多、次いで「日本経済は良くなさそうだから」50.9%で、この2項目は50%以上が回答。

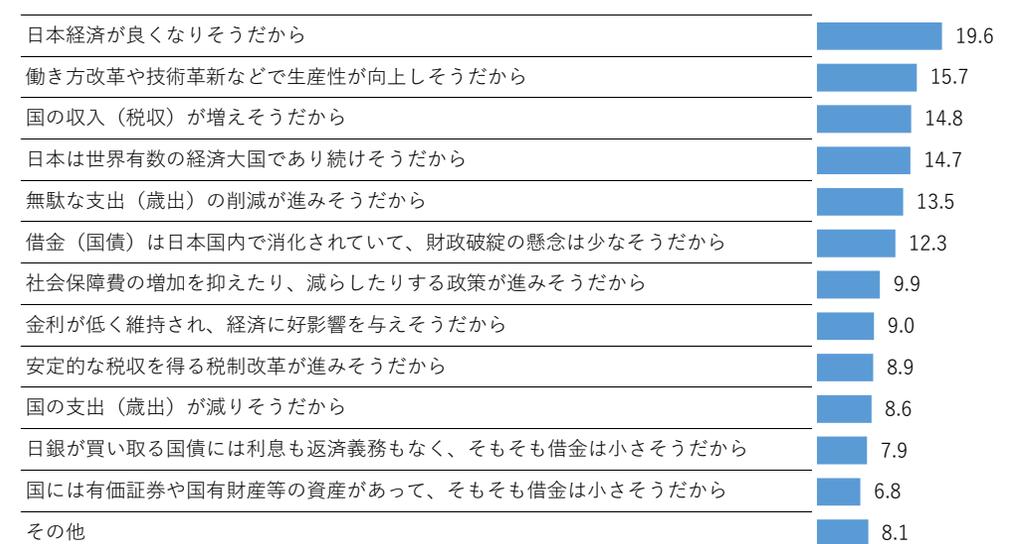
n=6,837 ※Q11で「今よりやや厳しい状態になっている」「今より厳しい状態になっている」「今よりとても厳しい状態になっている」を選択の人



Q13あなたが10年後の日本の財政について今と変わらない／良い状態になると思う理由をお選びください。(お答えはいくつでも)

- 10年後に日本の財政が今と変わらないか今より良い状態になると思う理由は、「日本経済が良くなりそうだから」19.6%が最多、「働き方改革や技術革新などで生産性が向上しそうだから」15.7%となっているが、それ以下も僅差で続いている。

n= 3,163 ※Q11で「今と変わらない」「今よりとても良い状態になっている」「今より良い状態になっている」「今よりやや良い状態になっている」を選択の人

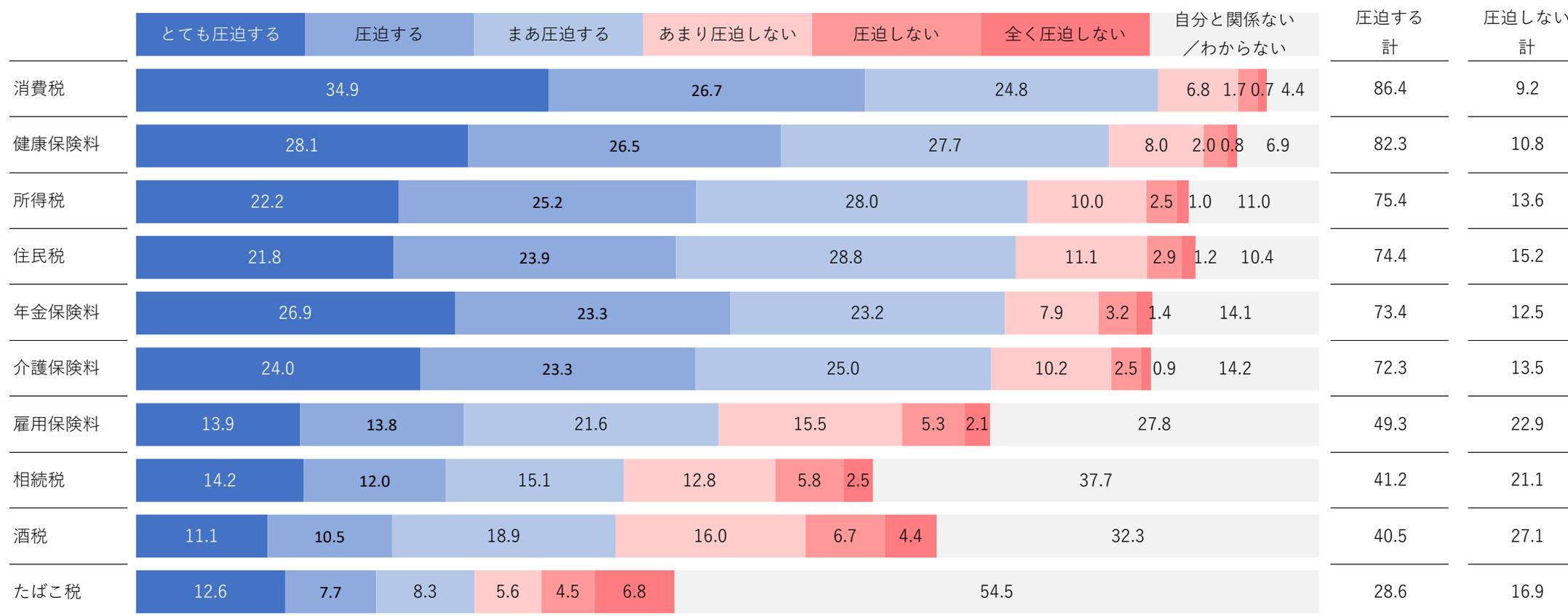


2-3 単純集計の詳細 4.税と保険料の負担感

Q14 あなたは、あなたご自身または世帯にかかる税と保険料についてどの程度、負担に感じていますか。以下それぞれの税と保険料について、生活費を「とても圧迫する」から「全く圧迫しない」までの中であてはまるものをお選びください。（お答えはそれぞれ1つ）

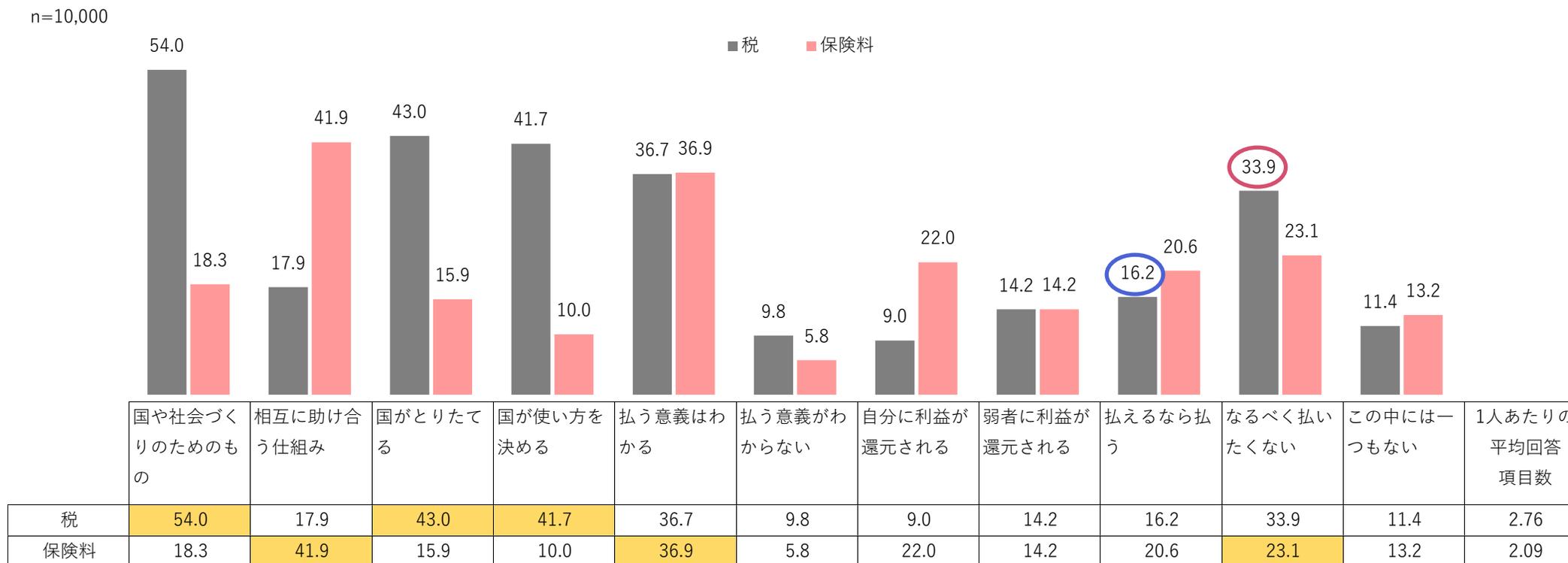
- いずれの税・保険料も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を上回っており、「圧迫する計」は「消費税」86.4%が最多、他に「健康保険料」「所得税」「住民税」「年金保険料」「介護保険料」が7割以上を占める。

n=9,506 ※「高校生」「大学生/大学院生」以外



Q15 あなたは国に納める税と保険料について、どんなイメージを持っていますか。あてはまるものをすべてお答えください。（お答えはそれぞれいくつでも）

- 国に収める税のイメージは、「国や社会づくりのためのもの」54.0%が最多、以下「国がとりたてる」43.0%、「国が使い方を決める」41.7%の順。
- 保険料のイメージは、「相互に助け合う仕組み」41.9%が最多、次いで「払う意義はわかる」の36.9%となっている。
- 保険料に比べ税の方が、「払えるなら払う」が低く「なるべく払いたくない」が高い。



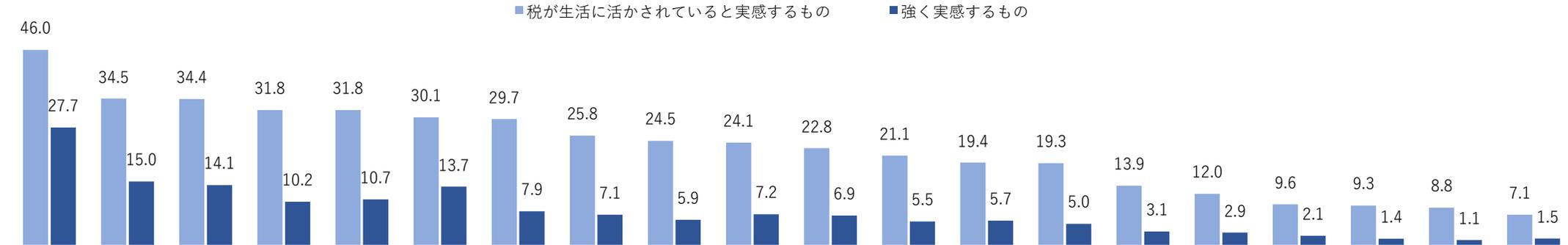
■ TOP3の項目

2-3 単純集計の詳細 6.税が自分の生活に還元されていると感じる公共サービス

Q16 以下の項目の中から、税が自分の生活に還元されていると感じる公共サービスをすべてお選びください。（お答えはいくつでも） また、そのなかからあなたが強く実感するものを3つまでお選びください。（お答えは3つまで）

- 税が生活に活かされていると実感するものは、「医療」46.0%が最多、次いで「公共事業」34.5%、「公衆衛生」34.4%の順。
- 実感するものでは6番目の「年金」が、強く実感するものでは4番目にあがっている。

n=10,000

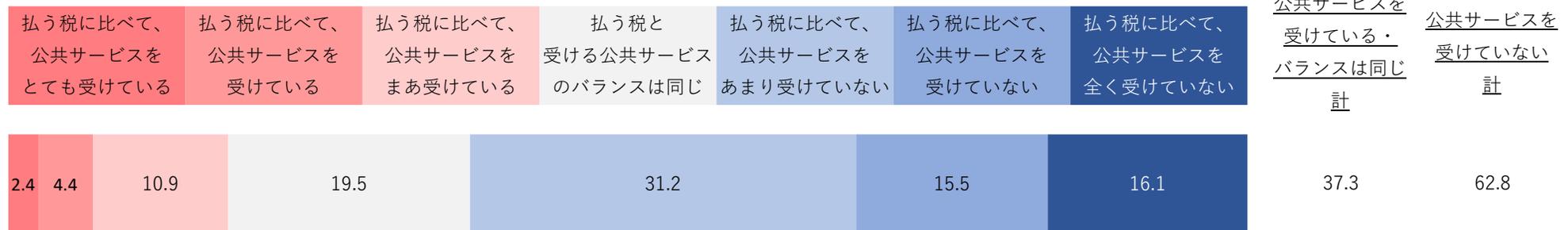


項目	税が生活に活かされていると実感するもの (%)	強く実感するもの (%)
医療	46.0	27.7
ダム等国土基盤整備	34.5	15.0
公共事業（道路、橋、下水道、河川整備等）	34.4	14.1
警察	31.8	10.2
救急医療	31.8	10.7
年金	30.1	13.7
消防	29.7	7.9
教育	25.8	7.1
防災	24.5	5.9
生活困窮時の生活支援	24.1	7.2
防衛	22.8	6.9
介護	21.1	5.5
子育て支援等	19.4	5.7
地方への補助金	19.3	5.0
（エネルギー対策）	13.9	3.1
（給油ガソリン等）	12.0	2.9
（食料安定供給・農業）	9.6	2.1
（途上国へのODA）	9.3	1.4
（国際協力）	8.8	1.1
科学技術研究	7.1	1.5
文化振興	7.1	1.5
スポーツ振興	7.1	1.5
その他	6.29	2.23

Q17 支払われた税により、Q16の公共サービスは賄われています。あなたの感覚に近いものをお選びください。（お答えは1つ）

- 払う税と受ける公共サービスのバランスについては、「（払う税に比べて公共サービスを）受けていない計」62.8%が「受けている・バランスは同じ計」37.3%を大きく上回っている。

n=10,000



2-3 単純集計の詳細 8.財政や税に関する意見

Q18 以下の5つの記述について、あなたの意見に近いものを選んでください。（お答えはそれぞれ1つ）

- いずれも「どちらともいえない」が4割前後を占める。
- 賛成計が多いのは以下のとおりで、特に社会保障制度の充実について「充実を望む」と「望まない」との差が大きい。
 - 日本の財政が苦しくなった主な理由：「社会保障費の増加である」
 - 社会保障制度の充実：「充実を望む」
 - 社会保障か減税か：「税や保険料を今より多く払いたくない」
 - 経済成長によって税収は増えると思うか：「増えないと思う」
 - 財源を補うために国は借金をしても良いか：「借金をすべきでない」

n=10,000

【A】	Aに賛成計	意見の割合							Bに賛成計	【B】
		とてもAに賛成	Aに賛成	ややAに賛成	どちらともいえない	ややBに賛成	Bに賛成	とてもBに賛成		
日本の財政が苦しくなった主な理由は社会保障費の増加である	35.0	6.7	10.5	17.8	40.2	11.1	7.1	6.7	24.9	日本の財政が苦しくなった主な理由は社会保障費の増加ではない
社会保障制度の充実を望む	49.5	9.8	15.7	24.0	38.7	6.8	2.5	2.6	11.9	社会保障制度に必ずしも充実を望まない
社会保障に使われるなら、私は税や保険料を今より多く払っても良い	20.5	2.4	4.8	13.3	44.9	15.1	8.4	11.2	34.7	社会保障に使われるとはいえ、私は税や保険料を今より多く払いたくない
今後、経済成長によって税収は増えると思う	24.1	4.6	6.4	13.1	40.8	15.1	9.8	10.1	35.1	今後、経済成長によって税収は増えないと思う
財源を補うために、国は借金をしても良い	19.5	4.2	4.7	10.6	46.0	16.5	9.5	8.5	34.5	財源を補うためとはいえ、国は借金をすべきでない

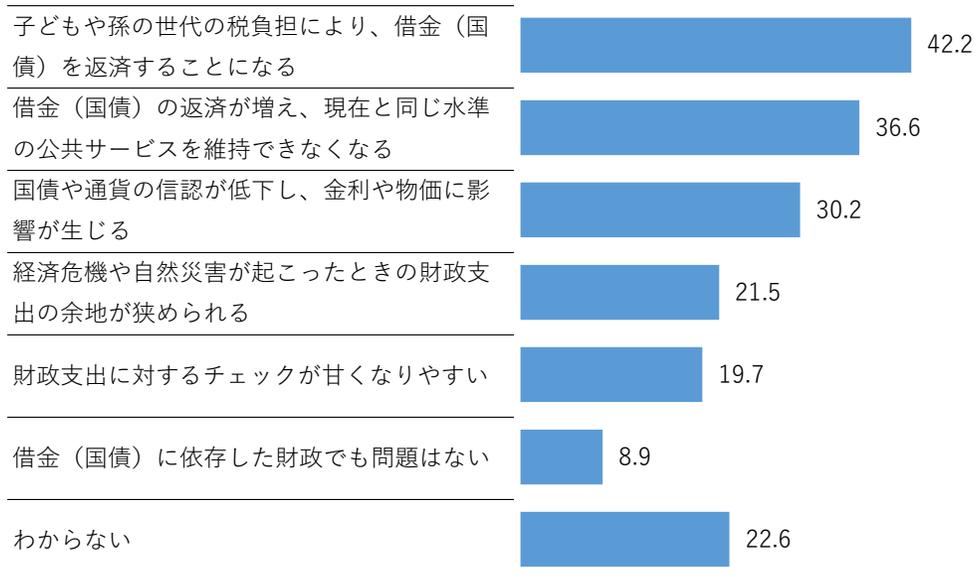
Q19 借金（国債）に依存した財政を続けた場合、将来、どのようなことが問題になりそうだと思いますか。（お答えはいくつでも）

- 借金（国債）に依存した財政を続けた場合の将来生じる問題では、「子どもや孫の世代の税負担により、借金（国債）を返済することになる」42.2%が最多、次いで「借金（国債）の返済が増え、現在と同じ水準の公共サービスを維持できなくなる」36.6%。

Q20 今後の財政のあり方について、あなたの考え方にもっとも近いものを選んでください。（お答えは1つ）

- 今後の財政のあり方については、「財政状況をチェックするための客観的な指標に基づく財政運営を導入すべきだ」27.6%が最多、次いで「税や保険料の負担を増やさずに、社会保障の水準も含めて、歳出削減を行うことを優先すべきだ」23.4%で、この2項目で半数以上を占める。

n=10,000



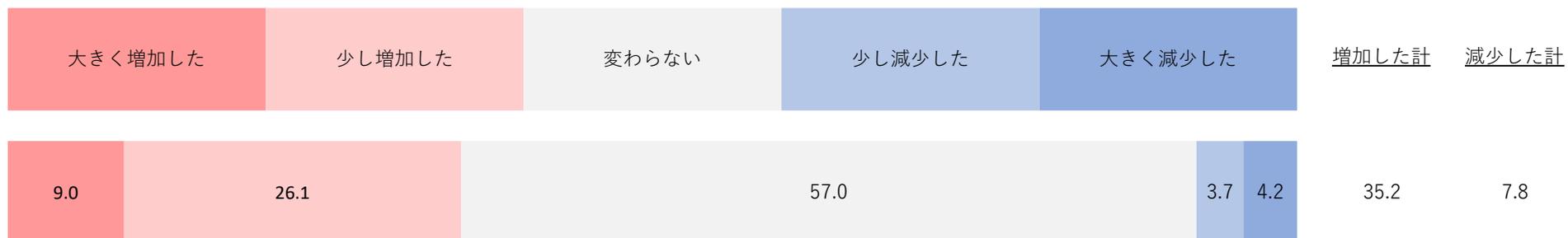
n=10,000



Q21 この1年間で、日本の財政への興味・関心の度合いに変化はありましたか。（お答えは1つ）

- この1年間での日本の財政への興味・関心度は、「変わらない」57.0%が半数以上を占める。
- 変化した人は、「増加した計」35.2%が「減少した計」7.8%を大きく上回っている。

n=10,000

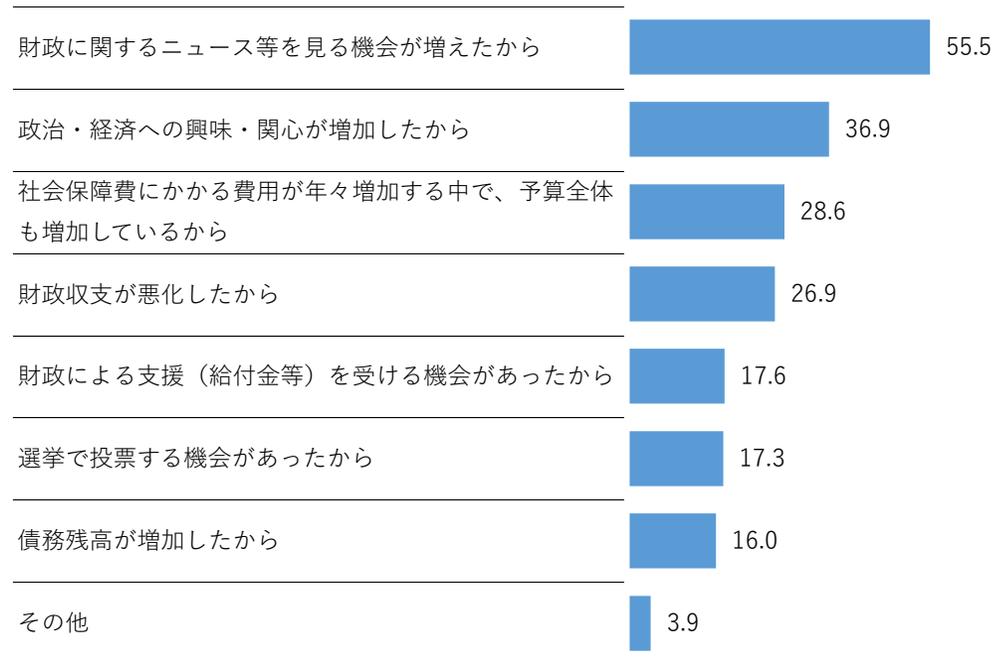


2-3 単純集計の詳細 11.財政への興味・関心度合いの変化の理由

Q22 日本の財政への興味・関心が大きく増加した／少し増加した理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

- この1年間で日本の財政への興味・関心が増加した理由は、「財政に関するニュース等を見る機会が増えたから」55.5%が最多、次いで「政治・経済への興味・関心が増加したから」36.9%。

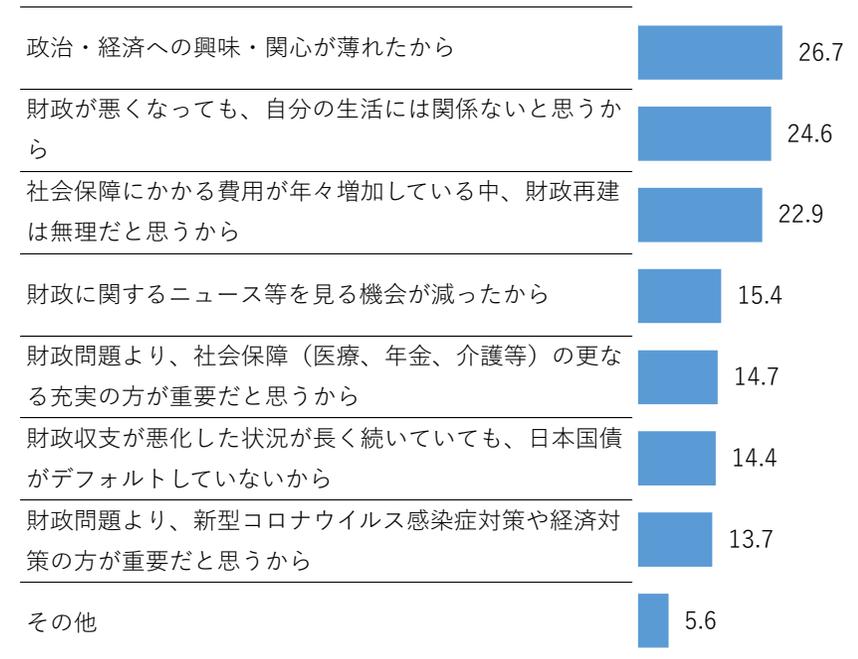
n=3,516 ※Q21で「大きく増加した」「少し増加した」を選択の人



Q23 日本の財政への興味・関心が大きく減少した／少し減少した理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

- この1年間で日本の財政への興味・関心が減少した理由は、「政治・経済への興味・関心が薄れたから」26.7%が最多だが、「財政が悪くなっても、自分の生活には関係ないと思うから」24.6%、「社会保障にかかる費用が年々増加している中、財政再建は無理だと思うから」22.9%も僅差で続いている。

n=780 ※Q21で「大きく減少した」「少し減少した」を選択の人

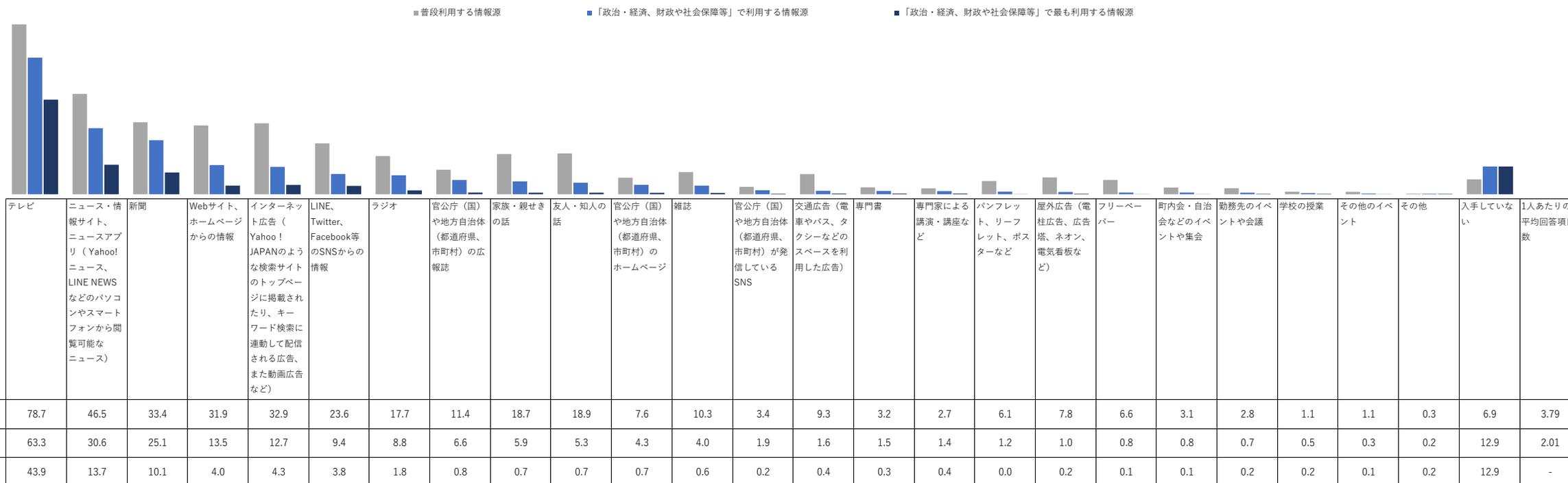


2-3 単純集計の詳細 12.利用している情報源

Q24_1 あなたが普段利用する情報源をすべてお選びください。（お答えはいくつでも）その中で、「政治・経済、財政や社会保障等」について、利用する情報源をすべてお選びください。（お答えはいくつでも）また、その中で、「政治・経済、財政や社会保障等」について、最も利用する情報源をお選びください。（お答えは1つ）

- 「政治・経済、財政や社会保障等」で何らかの情報源を利用しているのは87.1%（「入手していない」12.9%）。
- 普段利用する情報源、「政治・経済、財政や社会保障等」で利用する情報源ともに「テレビ」が最多、以下「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」「新聞」「インターネット広告」「Webサイト、ホームページからの情報」が上位。

n=10,000

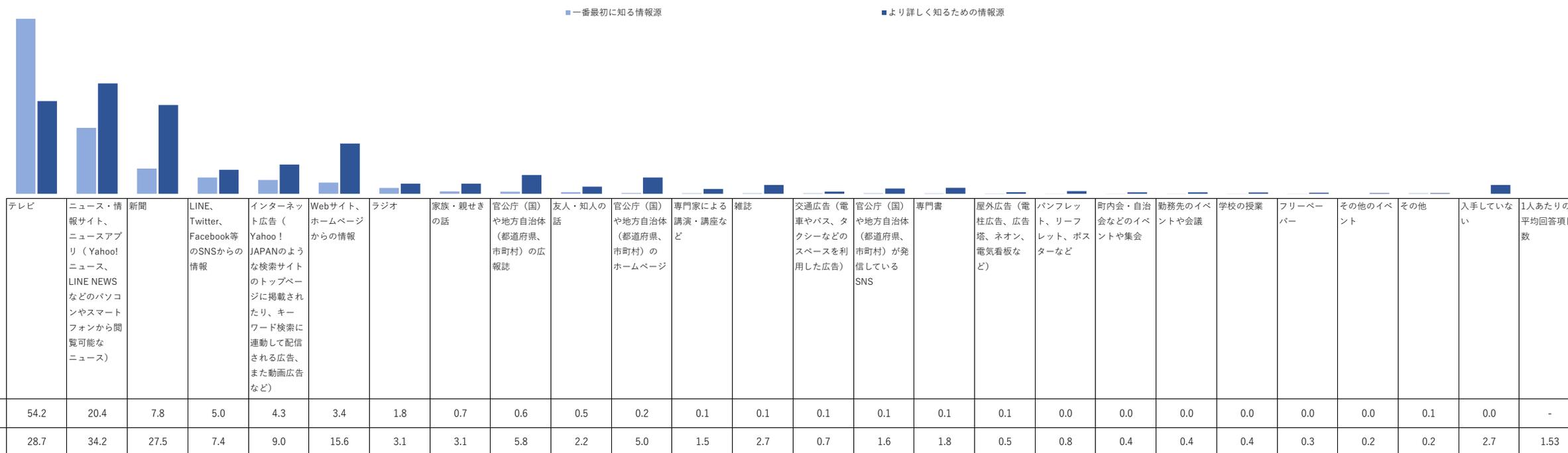


2-3 単純集計の詳細 13. 政治・経済、財政や社会保障等で最初を知る・詳しく知る情報源

Q24_2「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報源がある方におうかがいします。「政治・経済、財政や社会保障等」について、一番最初を知る情報源をお選びください。（お答えは1つ）また、「政治・経済、財政や社会保障等」について、より詳しく知るための情報源をお選びください。（お答えはいくつでも）

- 「政治・経済、財政や社会保障等」について一番最初を知る情報源は、「テレビ」54.2%が最多で50%を超える。次いで「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」20.4%。
- より詳しく知るための情報源は、「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」34.2%が最多、次いで「テレビ」28.7%、「新聞」27.5%。

n=4,755 ※「政治・経済、財政や社会保障等」に関して何らかの情報源を利用している人

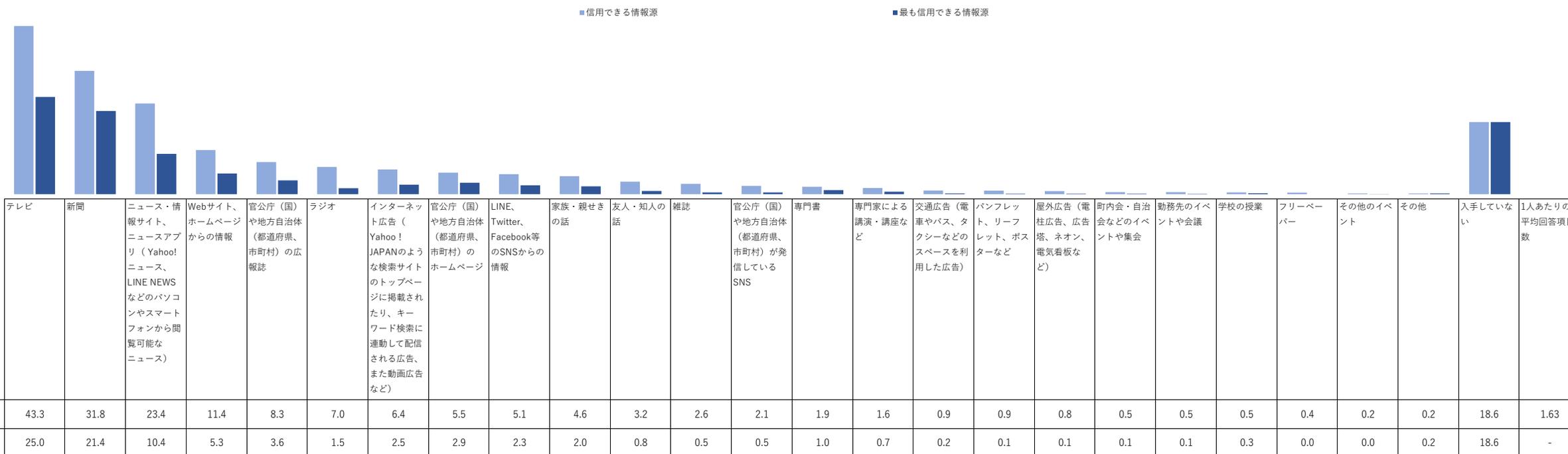


2-3 単純集計の詳細 14.政治・経済、財政や社会保障等で信用できる情報源

Q24_3 引き続き、「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報源がある方におうかがいします。「政治・経済、財政や社会保障等」について、信用できる情報源をお選びください。
 (お答えはいくつでも) また、その中で、「政治・経済、財政や社会保障等」について、最も信用できる情報源をお選びください。(お答えは1つ)

- 「政治・経済、財政や社会保障等」について信用できる情報源は、「テレビ」43.3%が最多、以下「新聞」31.8%、「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」23.4%。
- 最も信用できる情報源でも「テレビ」と「新聞」が上位にあがっており、この2媒体で半数近くを占める。

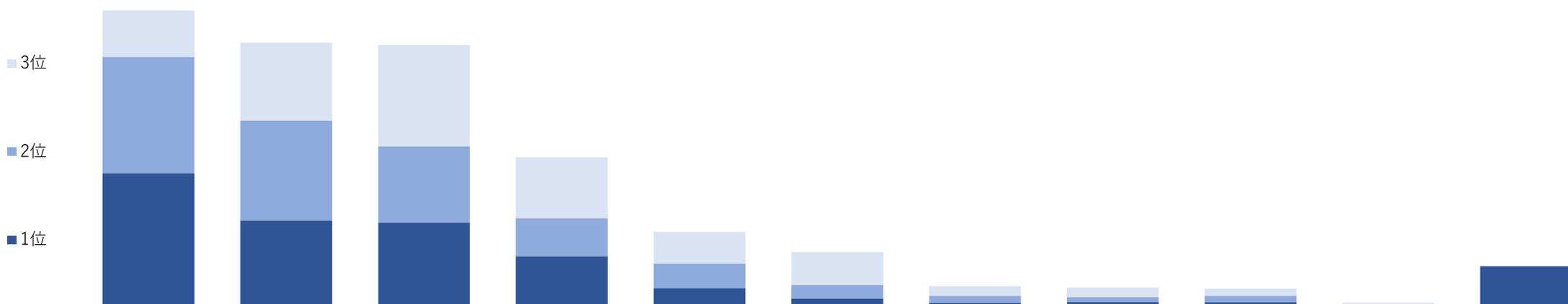
n=4,755 ※「政治・経済、財政や社会保障等」に関して何らかの情報源を利用している人



Q25 「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報を得る際に、重視することを、順位の高い順に3つまでお選びください。（お答えはそれぞれ1つ）

- 「政治・経済、財政や社会保障等」の情報に対する重視点について、1位にあがったのは「内容の正確性」が最多、次いで「情報の信頼性」「内容の分かりやすさ」の順。1~3位合計も同様である。

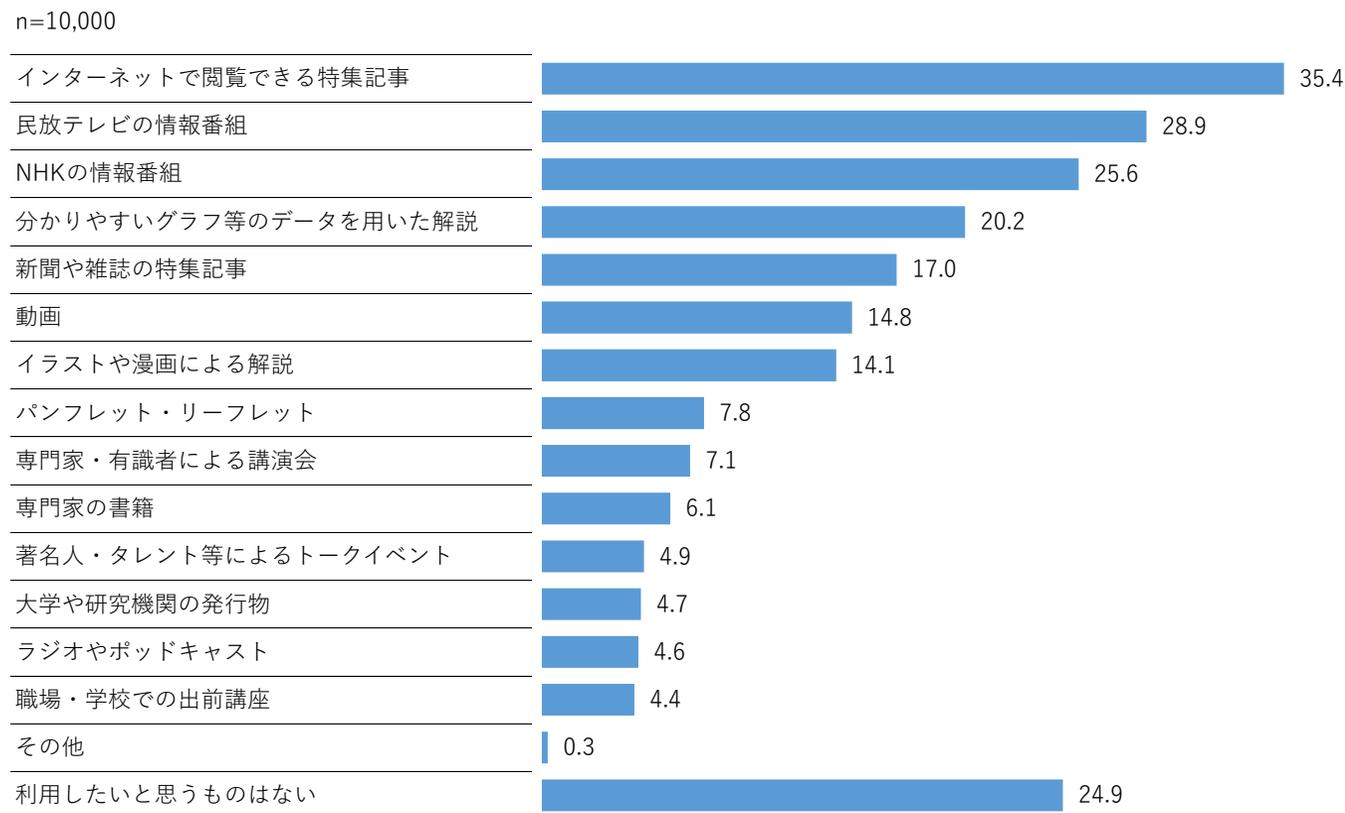
n=10,000



	内容の正確性	情報の信頼性	内容の分かりやすさ	情報の速報性	情報量の多さ	分かりやすいデータやグラフ・図表	写真・動画等の視覚的な情報	親しみやすさ	SNSでしか得られない情報	その他	特になし
1位	30.8	19.9	19.4	11.6	4.2	1.8	0.8	1.0	0.9	0.2	9.3
2位	26.9	23.1	17.6	8.9	5.6	3.1	1.6	1.1	1.5	0.2	-
3位	10.8	18.0	23.4	14.1	7.3	7.7	2.3	2.2	1.7	0.4	-
合計	68.5	61.0	60.4	34.5	17.2	12.6	4.7	4.3	4.1	0.8	9.3

Q26 「政治・経済、財政や社会保障等」に関する理解を深めるために、どのようなツールであれば、利用したいと思いますか。（お答えはいくつでも）

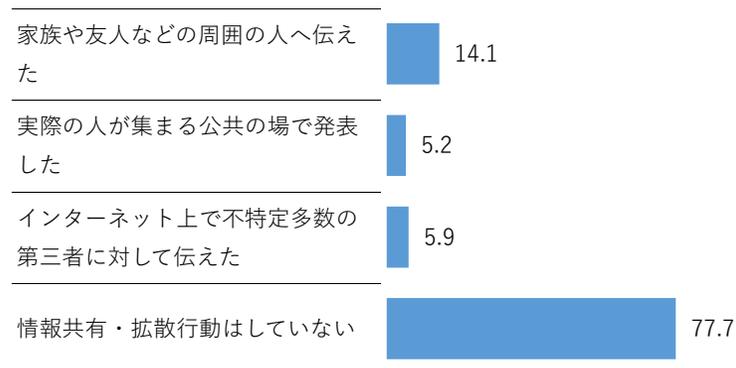
- 政治・経済、財政や社会保障等の理解を深めるために、利用したいツールがある人は75.1%（「利用したいと思うものはない」24.9%）。
- 利用したいツールは、「インターネットで閲覧できる特集記事」35.4%が最多、次いで「民放テレビの情報番組」28.9%、「NHKの情報番組」25.6%。



Q27「政治・経済、財政や社会保障等」に関して、あなたが最近とった情報共有・拡散行動として、次のうち当てはまるものをお選びください。（お答えはいくつでも）

- 「政治・経済、財政や社会保障等」の情報共有・拡散行動をしているのは22.3%。
- 情報共有・拡散行動の中では「家族や友人などの周囲の人へ伝えた」14.1%が最多。

n=10,000

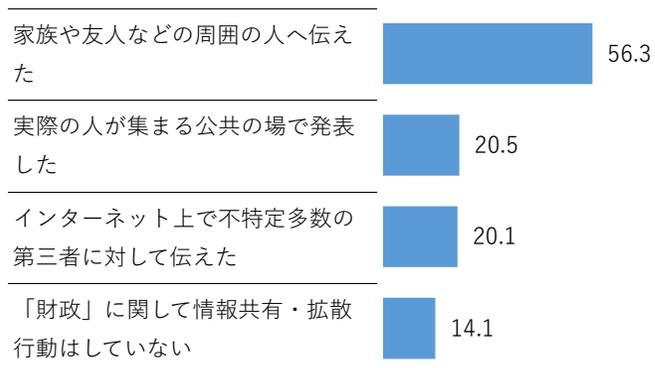


Q29「政治・経済、財政や社会保障等」の分野の中でも、特に「財政」に関して、あなたが最近とった行動として、次のうち当てはまるものをお選びください。（お答えはいくつでも）

- 「政治・経済、財政や社会保障等」で情報共有・拡散行動した人のうち、「財政」に関して情報共有・拡散行動をしているのは85.9%。
- 情報共有・拡散行動の中では「家族や友人などの周囲の人へ伝えた」56.3%が最多。

n=2,229

※「政治・経済、財政や社会保障等」で情報共有・拡散行動した人

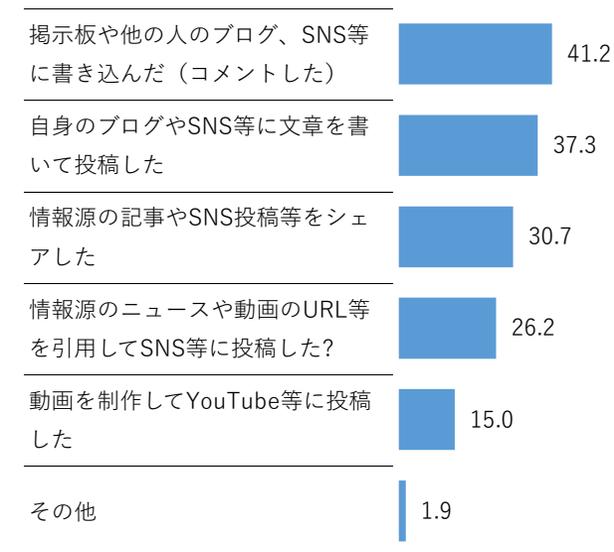


Q28「政治・経済、財政や社会保障等」に関して、あなたが最近とった情報共有・拡散行動として、「インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた」とお答えの方にお伺いします。どのようなツールを使って情報共有・拡散をしましたか。（お答えはいくつでも）

- 「インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた」人が情報共有・拡散をしたツールは、「掲示板や他の人のブログ、SNS等」に書き込んだ」41.2%が最多、次いで「自身のブログやSNS等に文章を書いて投稿した」37.3%

n=592

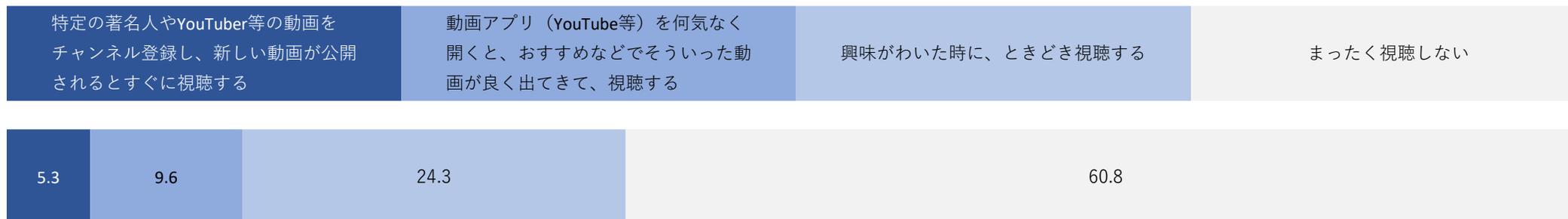
※「インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた」人



Q30 「政治・経済、財政や社会保障等」に関して、著名人や、いわゆるYouTuber等が解説する動画をどの程度見ますか。（お答えは1つ）

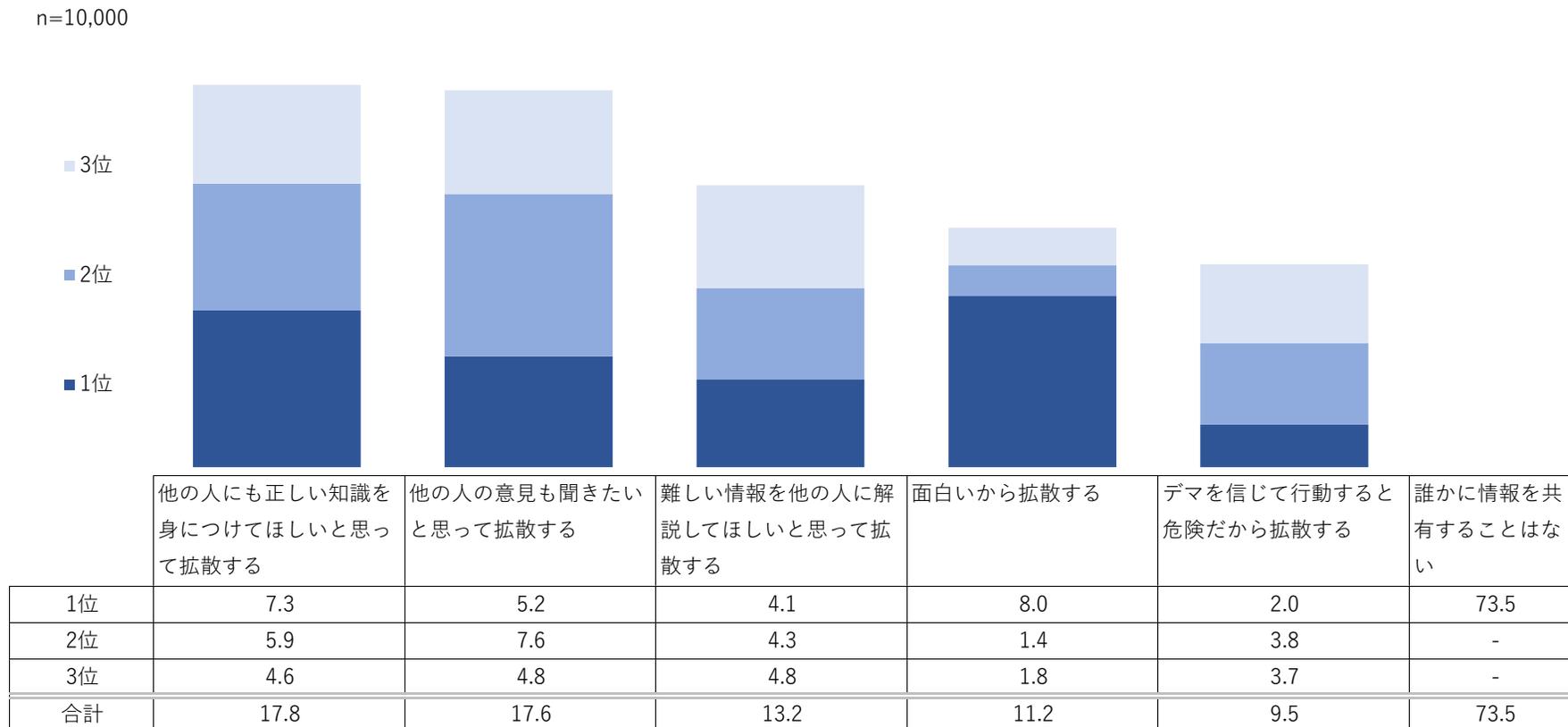
- YouTuber等が解説する動画での「政治・経済、財政や社会保障等」の視聴実態は、視聴する人が29.2%（「全く視聴しない」60.8%）。
- 「興味がわいた時に、ときどき視聴する」が24.3%、「特定の著名人やYouTuber等の動画をチャンネル登録し、新しい動画が公開されるとすぐに視聴する」は5.3%。

n=10,000



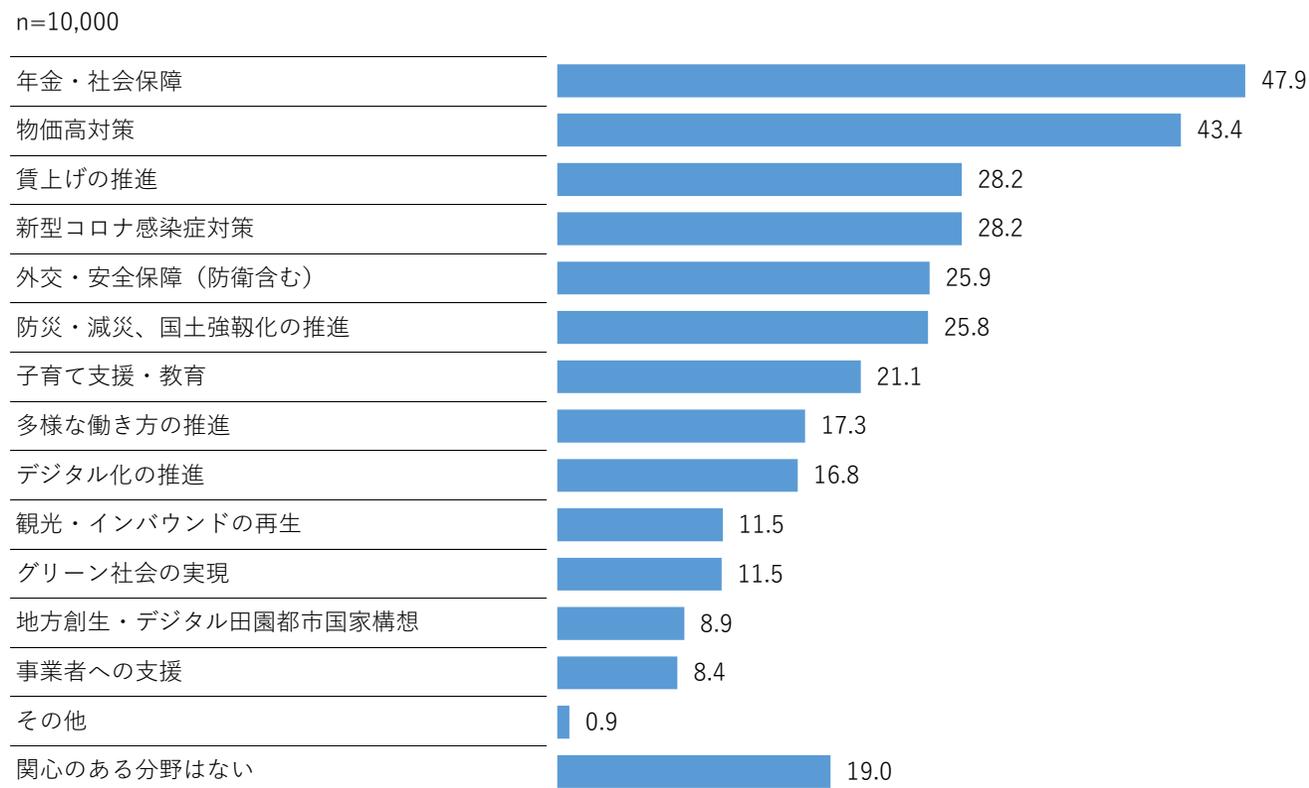
Q32 次のうち、あなたが普段インターネットやSNS等で誰かに情報を共有するとき、こういったケースが多いですか。多い順に3つまでお選びください。（お答えはそれぞれ1つ）

- 普段インターネットやSNS等で情報を共有しているのは26.5%（「誰かに情報を共有することはない」73.5%）。
- 情報共有することが多いケースで1位にあがったのは、「面白いから拡散する」8.0%が最多、次いで「他の人にも正しい知識を身につけてほしいと思って拡散する」7.3%。
- 1～3位合計では、「他の人にも正しい知識を身につけてほしいと思って拡散する」17.8%と「他の人の意見も聞きたいと思って拡散する」17.6%が高い。



Q33 以下の項目の中で、あなたの関心のある分野をお選びください。（お答えはいくつでも）

- 関心のある分野は、「年金・社会保障」47.9%が最多、次いで「物価高対策」43.4%で、この2分野が高い。
- 「新型コロナウイルス感染症対策」は「賃上げの推進」と同率の28.2%で3番目となっている。



第3章

性・年齢別の調査結果

■ 日本の財政に対する認識

- いずれの性年代も、日本の財政の現状に対して不安を持つ人が多く、10年後は今より厳しい状態になると考えている人が多い。
- 男性より女性の方が、現状に対して不安感を持つ人多く、10年後は今より厳しい状態になる人と考えている人が多い。
- 年代別では、年代が高い程現状に対して不安感を持つ人多く、10年後は今より厳しい状態になる人と考えている人が多い。
- 65～74歳の高齢層は、現状に対する不安の理由として「財政赤字が続いているから」「子供や孫などの将来世代に国の借金の負担を先送りしているから」などが他の年代より高い。
- また、10年後は今より厳しい状態になる理由として、「少子高齢化で働く人の数が減って税収も減りそうだから」「国の借金が増えそうだから」などが他の年代より高い。
- また、10年後は今より厳しい状態になる理由では、未就学児などの子育て世代である25～34歳女性は、「日本経済は良くならなさそうだから」と考えている人が他の性年代より多い。

	男女差	年代差				
		18～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳
現状認識	いずれの性年代も「不安計」が「安心計」を大きく上回る					
	男性より女性で「不安」－「安心」の差が大きい	年代が高い程「不安」－「安心」の差が大きい				
					45歳以上で「不安」－「安心」の差が大きい（女性）	
現状に不安を感じている理由				「自分の年金が減額される／受け取れない可能性がありそうだから」が高い（女性）		「財政赤字が続いているから」「子供や孫などの将来世代に国の借金の負担を先送りしているから」が高い

	男女差	年代差					
		18～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳
10年後の予測	いずれの性年代も「厳しい状態になる計」が「良い状態になる計」を大きく上回る						
	男性より女性で「厳しい状態」－「良い状態」の差が大きい	年代が高い程「厳しい状態」－「良い状態」の差が大きい					
10年後厳しい状態になると思う理由			「日本経済は良くならなさそうだから」が高い（女性）				「厳しい状態」－「良い状態」の差が大きい（女性）
10年後現状維持／良い状態になると思う理由							「日本経済が良くなりそうだから」「借金（国債）は日本国内で消化されていて、財政破綻の懸念は少なそうだから」が高い（男性）

■ 税の負担と受益の認識

- いずれの税・保険料も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を上回るが、所得税、住民税、健康保険料、年金保険料、介護保険料、消費税は「圧迫する計」が高く「圧迫しない計」との差が特に大きい。
- 所得税、住民税、年金保険料は、女性35～54歳で「圧迫する計」と「圧迫しない計」との差が大きい。
- また、介護保険料、消費税、相続税は、男性より女性で「圧迫する計」と「圧迫しない計」との差が大きい。
- 税に対する「国や社会づくりのためのもの」とのイメージ、保険料に対する「相互に助け合う仕組み」とのイメージは、いずれも44歳以下で低く45歳以上で高い。ただし、18～24歳の税に対する「国や社会づくりのためのもの」とのイメージは低くない。
- 払う税と受ける公共サービスのバランス感覚は、いずれの性年代も「（払う税に比べて公共サービスを）受けていない計」が「受けている・バランスは同じ計」を上回っており、55～64歳で「受けていない計」と「受けている計」の差が大きい。
- また、25～44歳は税が還元されていると感じる公共サービスの割合が、他の年代に比べ全体的に低い。

	男女差	年代差					
		18～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳
所得税の負担感	いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回る						
	男性より女性で「圧迫する計」－「圧迫しない計」の差が大きい			「圧迫する計」－「圧迫しない計」の差が大きい（女性）			
住民税の負担感	いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回る						
					「圧迫する計」－「圧迫しない計」の差が大きい（女性）		

	男女差	年代差					
		18～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳
健康保険料の負担感		いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回る					
年金保険料の負担感		いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回る					
				「圧迫する計」－ 「圧迫しない計」の 差が大きい（女性）	「圧迫する計」－ 「圧迫しない計」の 差が大きい		
介護保険料の負担感		いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回る					
	男性より女性で「圧迫する計」－「圧迫しない計」の差が大きい						「圧迫する計」－ 「圧迫しない計」の 差が大きい。
雇用保険料の負担感		男性65～74歳以外の性年代で「圧迫する計」が「圧迫しない計」を上回る					
		18～54歳で「圧迫する計」－「圧迫しない計」の差が大きい（女性）					
消費税の負担感		いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回る					
	男性より女性で「圧迫する計」－「圧迫しない計」の差が大きい	55～64歳をピークに年代が上がるほど「圧迫する計」と「圧迫しない計」の差が大きい					
相続税の負担感		いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を上回る					
	男性より女性で「圧迫する計」－「圧迫しない計」の差が大きい						

	男女差	年代差					
		18～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳
酒税の負担感	いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を上回る						
たばこ税の負担感	いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回るが、「自分と関係ない／わからない」が半数以上を占める						
国に納める税のイメージ			25～44歳は他の年代に比べ「国や社会づくりのためのもの」が低い				「国や社会づくりのためのもの」「国が使い方を決める」が高い 「払う意義はわかる」も高い（男性）
国に納める保険料のイメージ		18～44歳で「相互に助け合う仕組み」低い				55～74歳で「相互に助け合う仕組み」が高い	
税が還元されていると感じる公共サービス			「払う意義はわかる」が低い（男性）				全体的に高い
払う税と受ける公共サービスのバランス感覚	いずれの性年代も「（払う税に比べて公共サービスを）受けていない計」が「受けている・バランスは同じ計」を上回る						
						「受けていない計」－「受けている計」の差が大きい	

■ 財政に対する意見と興味・関心度

- 財政に日本の財政が苦しくなった理由は、女性65～74歳以外の性年代で「社会保障費の増加である」が「社会保障費の増加ではない」を上回る。
- 社会保障制度の充実については、いずれの性年代も「充実を望む」が「必ずしも充実を望まない」を大きく上回る。
- 社会保障か減税かについては、男性65～74歳以外の性年代で社会保障の充実よりも減税を望んでいる。
- 経済成長によって税収は増えると思うかについては、男女18～24歳以外の性年代で「増えないと思う」が「増えると思う」を上回る。
- 財源を補うために国は借金をしても良いかについては、男性18～34歳以外の性年代で「国は借金をすべきでない」が「国は借金をしても良い」を上回る。
- 借金に依存した財政を続けた場合に将来生じると思われる問題では、44歳以下は「わからない」が多く上位項目での割合も低い。
- いずれの性年代も、この1年間での日本の財政への興味・関心度は「変わらない」人が多い。ただし、男性18～24歳は「増加した計」が他の年代より高く、その理由として「選挙で投票する機会があったから」が高い。
- 逆に、若年層で興味・関心度が減少した理由として「財政が悪くなっても、自分の生活には関係ないと思うから」が高い。

	男女差	年代差				
		18～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳
日本の財政が苦しくなった理由	女性65～74歳以外の性年代で「社会保障費の増加である」が「社会保障費の増加ではない」を上回る					
社会保障制度の充実	いずれの性年代も「充実を望む」が「必ずしも充実を望まない」を大きく上回る					
社会保障か減税か	男性65～74歳以外の性年代で「税や保険料を今より多く払いたくない」が高く、社会保障の充実よりも減税を望んでいる					
経済成長によって税収は増えると思うか	男女18～24歳以外の性年代で「増えないと思う」が「増えると思う」を上回る					

「充実を望む」 - 「充実を望まない」の差が大きい

男女差	年代差					
	18～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳
財源を補うために国は借金をしても良いか	男性18～34歳以外の性年代で「国は借金をすべきでない」が「国は借金をしても良い」を上回る					
借金に依存した財政を続けた場合に将来生じると思われる問題	44歳以下は上位にあがっている項目での割合が低い 44歳以下は「わからない」の割合が高い				「国は借金をすべきでない」－「国は借金をしても良い」の差が大きい。	
この1年間での日本の財政への興味・関心度合いの変化	いずれの性年代も「変わらない」が高い					
日本の財政への興味・関心が増加した理由	全体との比較で「増加した計」が高い（男性）					
日本の財政への興味・関心が減少した理由	「選挙で投票する機会があったから」が高い	「財政による支援（給付金等）を受けられる機会があったから」が高い（男性）				「社会保障費にかかる費用が年々増加する中で、予算全体も増加しているから」が高い（男性）
日本の財政への興味・関心が減少した理由	「財政が悪くなっても、自分の生活には関係ないと思うから」が高い（男性）	「財政が悪くなっても、自分の生活には関係ないと思うから」が高い（女性）				「政治・経済への興味・関心が薄れたから」が高い（女性）

■ 財政に関する情報源

- 普段利用する情報源と政治・経済、財政や社会保障等で利用する情報源は同様の傾向が見られ、いずれの年代も「テレビ」と「ニュースサイト」は高いが、他に高齢層は「新聞」が高く若年層は「SNS」が高いというように、高齢層と若年層で利用媒体は異なる。
- 政治・経済、財政や社会保障等の情報に関して最初に知る情報源では、若年層は「SNS」が多く、55～74歳女性は「テレビ」が多い。
- 詳しく知るための情報源でも、若年層は「SNS」が多く、65～74歳は「新聞」が多い。
- 信用できる情報源も、詳しく知るための情報源とほぼ同様の傾向である。
- 情報取得時の重視点は、高齢層は「内容の正確性」や「情報の信頼性」が高い。
- 理解を深めるために利用したいツールでは、65～74歳は「インターネットで閲覧できる特集記事」を含め上位の項目で利用意向ツールが多い。
- 財政に関する情報共有・拡散行動の実態では、男性若年層は「実際の人が集まる公共の場で発表した」「インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた」が高く、高齢層は「家族や友人などの周囲の人へ伝えた」が高い。
- 政治・経済、財政や社会保障等のYouTuber等が解説する動画視聴実態は、多くの性年代で非視聴が半数以上を占めるが、男性18～24歳と男性65～74歳は視聴が半数以上を占める。

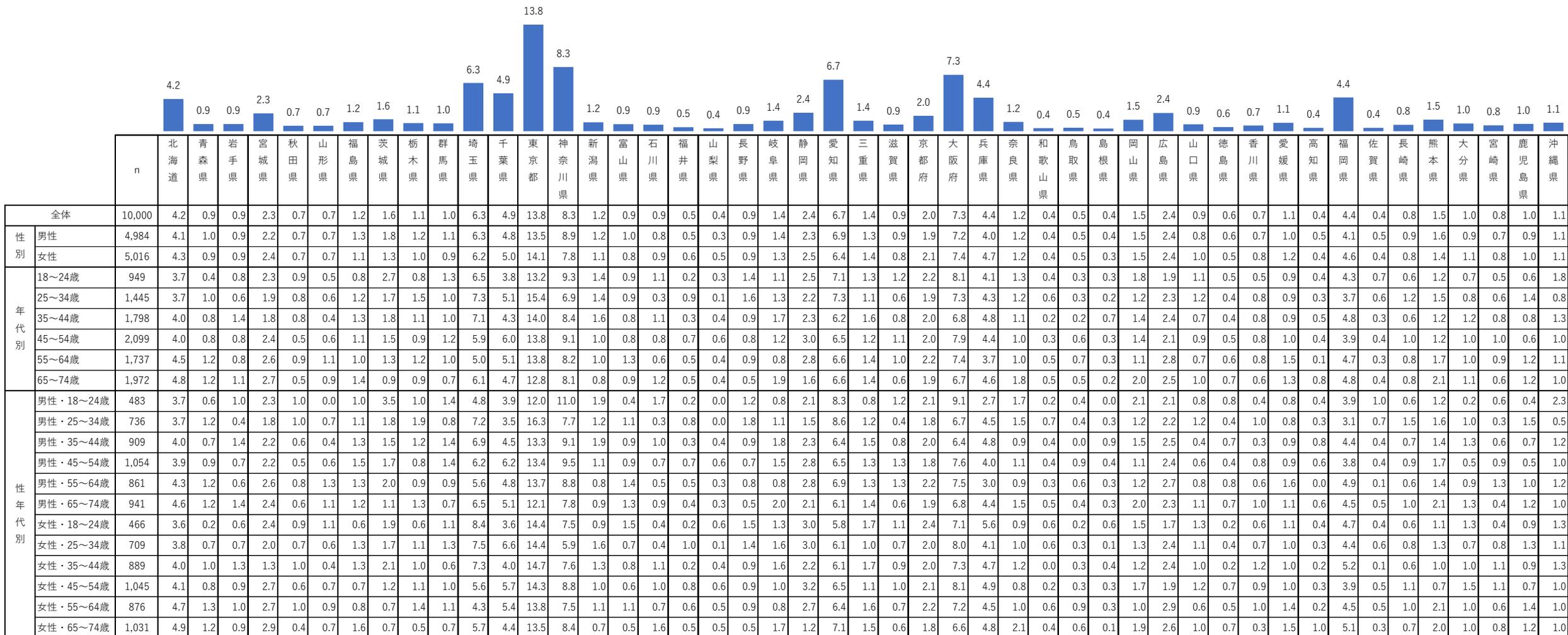
		年代差					
		18～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳
普段利用する情報源		「テレビ」と「ニュースサイト」は全年代で利用率が高いが、「新聞」と「SNS」は高齢層と若年層で大きく異なる。					
		18～34歳は「LINE、Twitter、Facebook等のSNSからの情報」が高い			55～74歳は「テレビ」「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」「新聞」が高い		
							「官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）の広報誌」が高い

		年代差					
		18～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳
政治・経済、 財政や社会保障等の情報に関して	利用する情報源	「テレビ」と「ニュースサイト」は全年代で利用率が高いが、「新聞」と「SNS」は高齢層と若年層で大きく異なるなど、普段利用する情報源と同様の傾向					
	最初に知る情報源	18～34歳で「SNS」が高い			55～74歳は「テレビ」「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」「新聞」が高い		
	詳しく知るための情報源	18～34歳で「SNS」が高い			「新聞」が高い		
	信用できる情報源	「SNS」が高い (男性)	「Webサイト、ホームページからの情報」が高い (男性)		「新聞」が高い		
	情報取得時の重視点				「情報の信頼性」が高い (女性)		「内容の正確性」「情報の信頼性」が高い
	理解を深めるために利用したいツール	「利用したいと思うものはない」人が多い			「インターネットで閲覧できる特集記事」など上位の項目で高い		
	情報共有・拡散行動の実態	情報共有・拡散行動を取っている人が他の年代に比べ多い(男性)					

		年代差					
		18～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳
政治・経済、財政や 社会保障等の情報に関して	第三者に対して情報共有・拡散の利用ツール	「掲示板や他の人のブログ、SNS等を書き込んだ」が高い（男性）	「動画を制作してYouTube等に投稿した」が高い（男性）		「情報源のニュースや動画のURL等を引用してSNS等に投稿した」が高い（女性）		
	財政に関する情報共有・拡散行動の実態	「実際の人が集まる公共の場で発表した」「インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた」が高い（男性）		「実際の人が集まる公共の場で発表した」が高い（男性）		55～74歳で「家族や友人などの周囲の人へ伝えた」が高い	
			「インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた」が高い（女性）				
	動画視聴実態	男性18～24歳と男性65～74歳以外は動画を「全く視聴しない」が半数以上を占める					
	情報共有することが多いケース	インターネット・SNS等で情報共有することが多いケースは若年層が高い傾向					

3-2 回答者のプロフィール

■ 居住地 [%]



3-2 回答者のプロフィール

■ 地域（財務局・財務支局の管轄区分による割り付け地域） [%]

		n	北海道地域 (北海道)	東北地域 (青森県、岩手県、 宮城県、秋田県、山 形県、福島県)	関東地域 (茨城県、栃木県、 群馬県、埼玉県、千 葉県、東京都、神奈 川県、新潟県、山梨 県、長野県)	北陸地域 (富山県、石川県、 福井県)	東海地域 (岐阜県、静岡県、 愛知県、三重県)	近畿地域 (滋賀県、京都府、 大阪府、兵庫県、奈 良県、和歌山県)	中国地域 (鳥取県、島根県、 岡山県、広島県、山 口県)	四国地域 (徳島県、香川県、 愛媛県、高知県)	九州北部地域 (福岡県、佐賀県、 長崎県)	九州南部地域 (熊本県、大分県、 宮崎県、鹿児島県、 沖縄県)
全体		10,000	4.2	6.8	39.4	2.3	11.8	16.2	5.6	2.8	5.7	5.3
性別	男性	4,984	4.1	6.8	40.0	2.3	12.0	15.8	5.5	2.8	5.5	5.2
	女性	5,016	4.3	6.8	38.8	2.3	11.6	16.5	5.6	2.9	5.8	5.4
年代別	18～24歳	949	3.7	5.9	40.7	2.2	11.9	17.3	5.4	2.4	5.7	4.8
	25～34歳	1,445	3.7	6.0	41.9	2.1	12.0	15.9	5.3	2.4	5.5	5.1
	35～44歳	1,798	4.0	6.6	40.7	2.2	11.8	15.7	5.4	2.7	5.7	5.3
	45～54歳	2,099	4.0	6.2	40.7	2.3	12.0	16.6	5.4	2.7	5.2	4.8
	55～64歳	1,737	4.5	7.7	37.7	2.4	11.6	15.7	5.6	3.1	5.8	5.9
	65～74歳	1,972	4.8	7.8	35.9	2.5	11.5	16.0	6.2	3.4	6.0	5.9
性年代別	男性・18～24歳	483	3.7	6.0	40.8	2.3	12.0	17.0	5.4	2.5	5.6	4.8
	男性・25～34歳	736	3.7	6.1	42.3	2.2	12.4	15.5	5.3	2.4	5.3	4.9
	男性・35～44歳	909	4.0	6.6	41.3	2.2	12.0	15.3	5.4	2.6	5.5	5.2
	男性・45～54歳	1,054	3.9	6.3	41.5	2.3	12.2	16.2	5.3	2.7	5.0	4.6
	男性・55～64歳	861	4.3	7.7	38.7	2.3	11.7	15.3	5.6	3.0	5.6	5.8
	男性・65～74歳	941	4.6	7.9	36.2	2.6	11.6	15.7	6.2	3.4	6.0	6.0
	女性・18～24歳	466	3.6	5.8	40.6	2.1	11.8	17.6	5.4	2.4	5.8	4.9
	女性・25～34歳	709	3.8	5.9	41.6	2.1	11.6	16.4	5.2	2.4	5.8	5.2
	女性・35～44歳	889	4.0	6.5	40.2	2.1	11.6	16.2	5.4	2.7	5.8	5.4
	女性・45～54歳	1,045	4.1	6.2	40.0	2.3	11.8	17.0	5.5	2.8	5.5	4.9
	女性・55～64歳	876	4.7	7.8	36.8	2.4	11.5	16.1	5.7	3.1	5.9	6.1
	女性・65～74歳	1,031	4.9	7.7	35.5	2.5	11.4	16.3	6.2	3.4	6.1	5.9

3-2 回答者のプロフィール

■ 職業 [%]



n

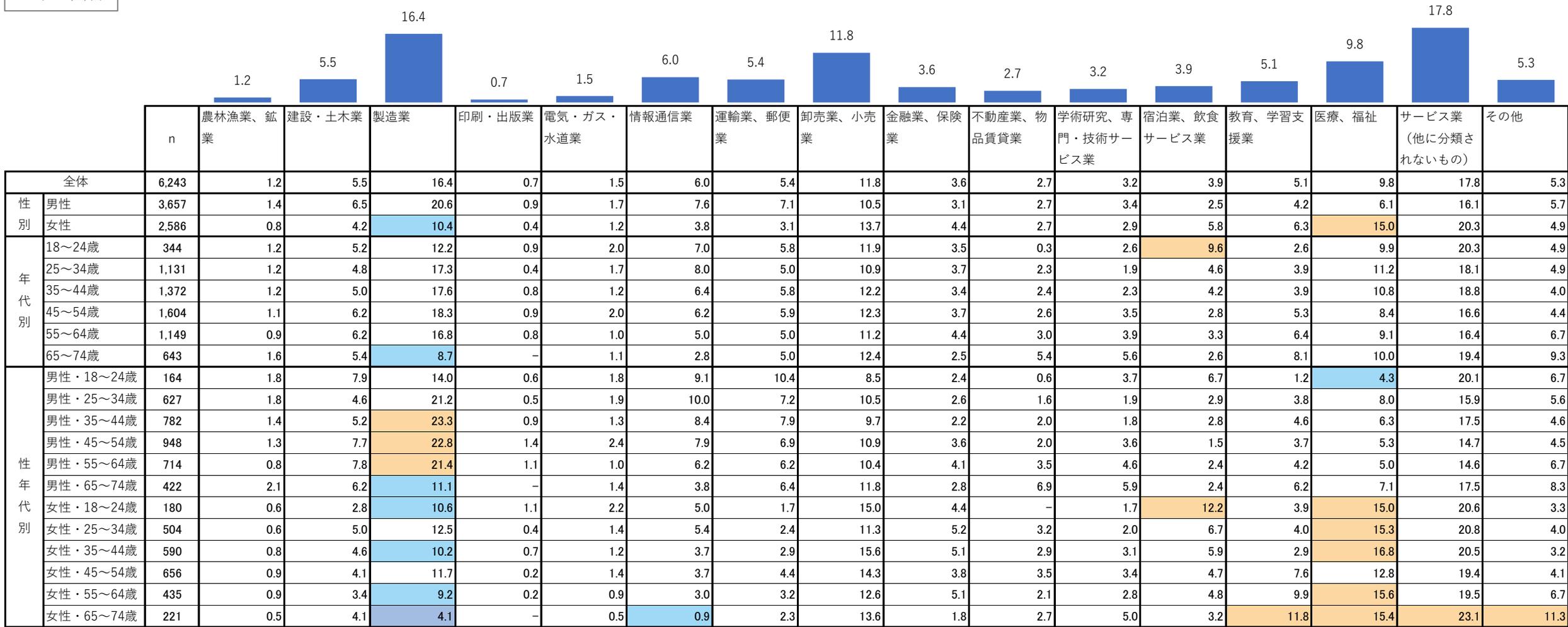
		n	会社員（正社員）	会社員（契約/嘱託/派遣社員）	公務員（正規職員）	公務員（非正規職員）	自営業/自由業	高校生	大学生/大学院生	パート/アルバイト	主婦・主夫	年金生活者・無職	その他
全体		10,000	31.6	5.7	2.7	7.3	4.2	14.5	16.2	15.5	0.9		
性別	男性	4,984	43.2	6.2	4.2	10.3	4.6	8.8	19.8	1.0			
	女性	5,016	20.1	5.1	1.2	4.3	3.8	20.1	31.9	11.3			
年代別	18~24歳	949	19.8	2.1	1.4	1.7	7.6	42.6	11.0	1.8	10.7	1.1	
	25~34歳	1,445	46.6	5.5	4.2	1.0	4.9	16.1	8.9	11.6			
	35~44歳	1,798	43.7	5.6	3.6	6.5	16.1	13.4	9.4				
	45~54歳	2,099	42.1	5.4	3.1	8.7	16.6	14.7	7.8				
	55~64歳	1,737	27.9	8.9	3.5	0.8	10.9	14.2	20.3	12.3	1.2		
	65~74歳	1,972	7.4	5.0	7.8	11.5	29.2	37.3					
性別年代別	男性・18~24歳	483	18.8	1.4	1.4	1.2	7.7	45.3	10.6	11.6	1.4		
	男性・25~34歳	736	53.9	4.1	5.7	6.9	0.1	13.7	13.5				
	男性・35~44歳	909	58.5	4.2	5.4	7.9	9.5	12.2	1.1				
	男性・45~54歳	1,054	62.0	4.5	5.5	11.7	6.1	0.4	8.3	1.1			
	男性・55~64歳	861	41.7	12.2	5.8	1.0	16.8	5.3	1.0	14.6	1.4		
	男性・65~74歳	941	12.6	8.6	1.3	12.5	9.5	53.7	1.0				
	女性・18~24歳	466	20.8	2.8	1.3	2.1	7.5	39.7	11.4	3.6	9.9		
	女性・25~34歳	709	38.9	7.1	2.5	1.3	2.8	18.5	18.1	9.7			
	女性・35~44歳	889	28.6	7.0	1.7	1.2	5.1	22.8	26.4	6.5			
	女性・45~54歳	1,045	22.0	6.4	5.7	27.2	29.2	7.3					
	女性・55~64歳	876	14.4	5.6	1.3	5.0	22.8	39.3	9.9	1.0			
	女性・65~74歳	1,031	2.5	1.6	3.5	13.4	55.4	22.4					

※1%未満の値は非表示

3-2 回答者のプロフィール

■ 業種 [%]

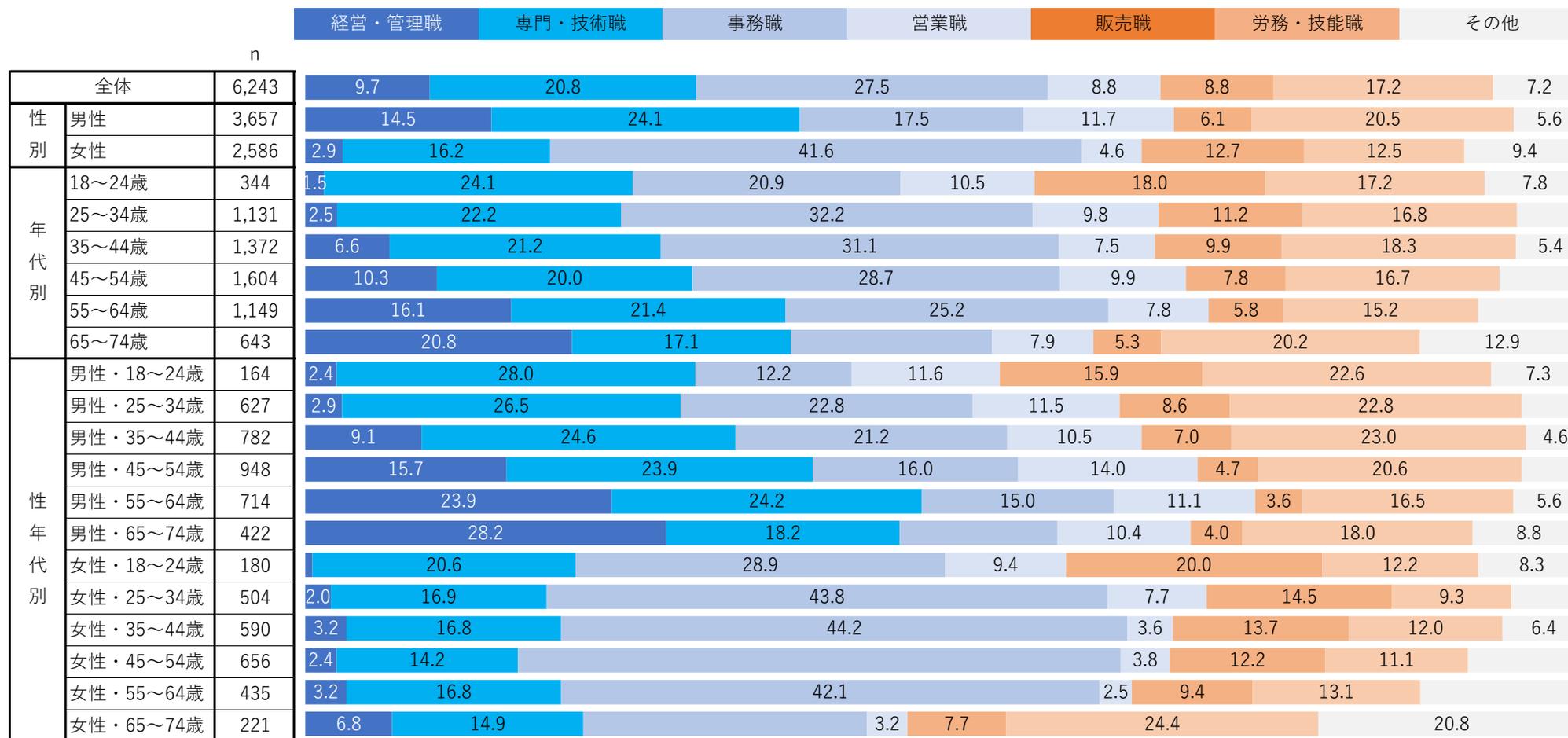
※単一回答



■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

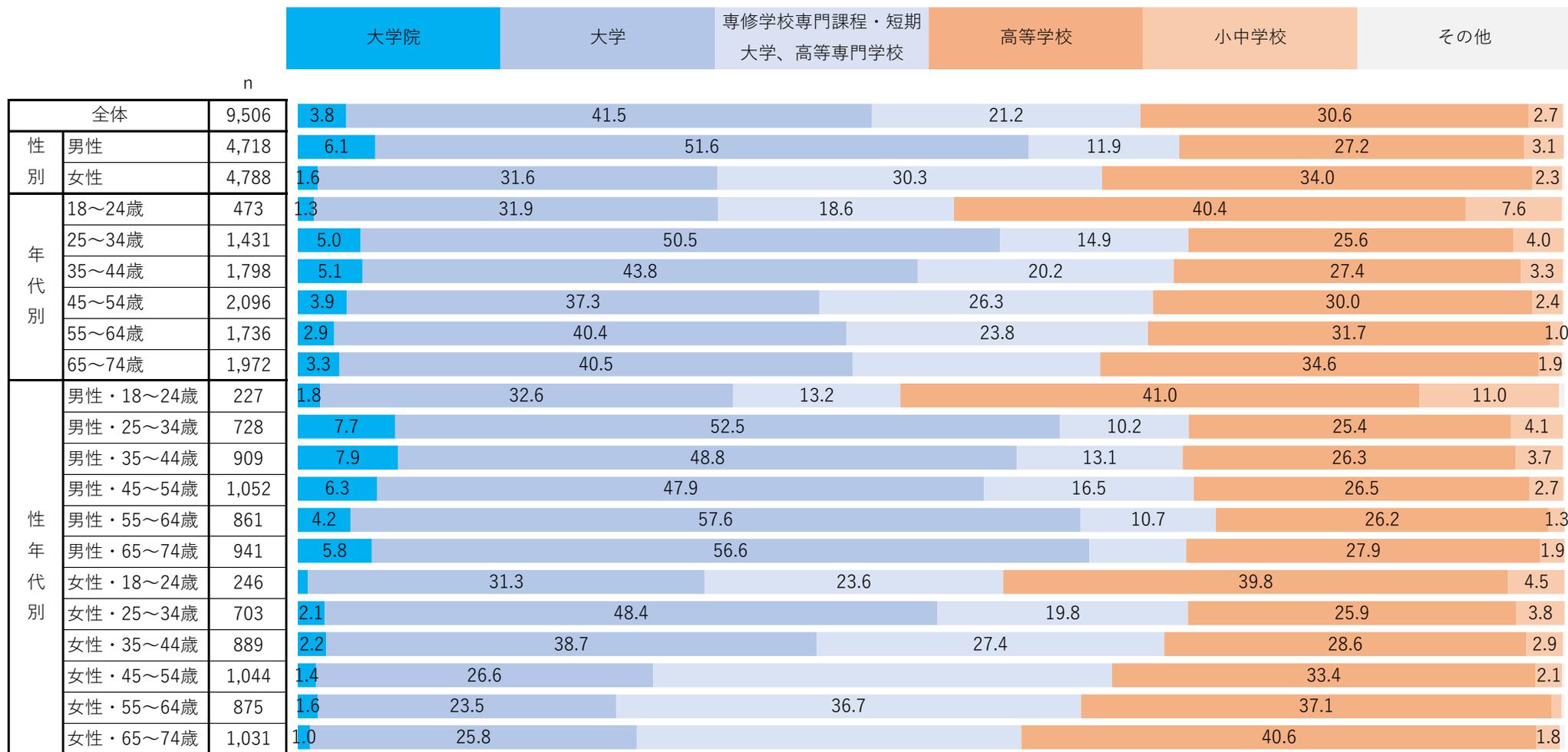
3-2 回答者のプロフィール

■ 職種 [%]



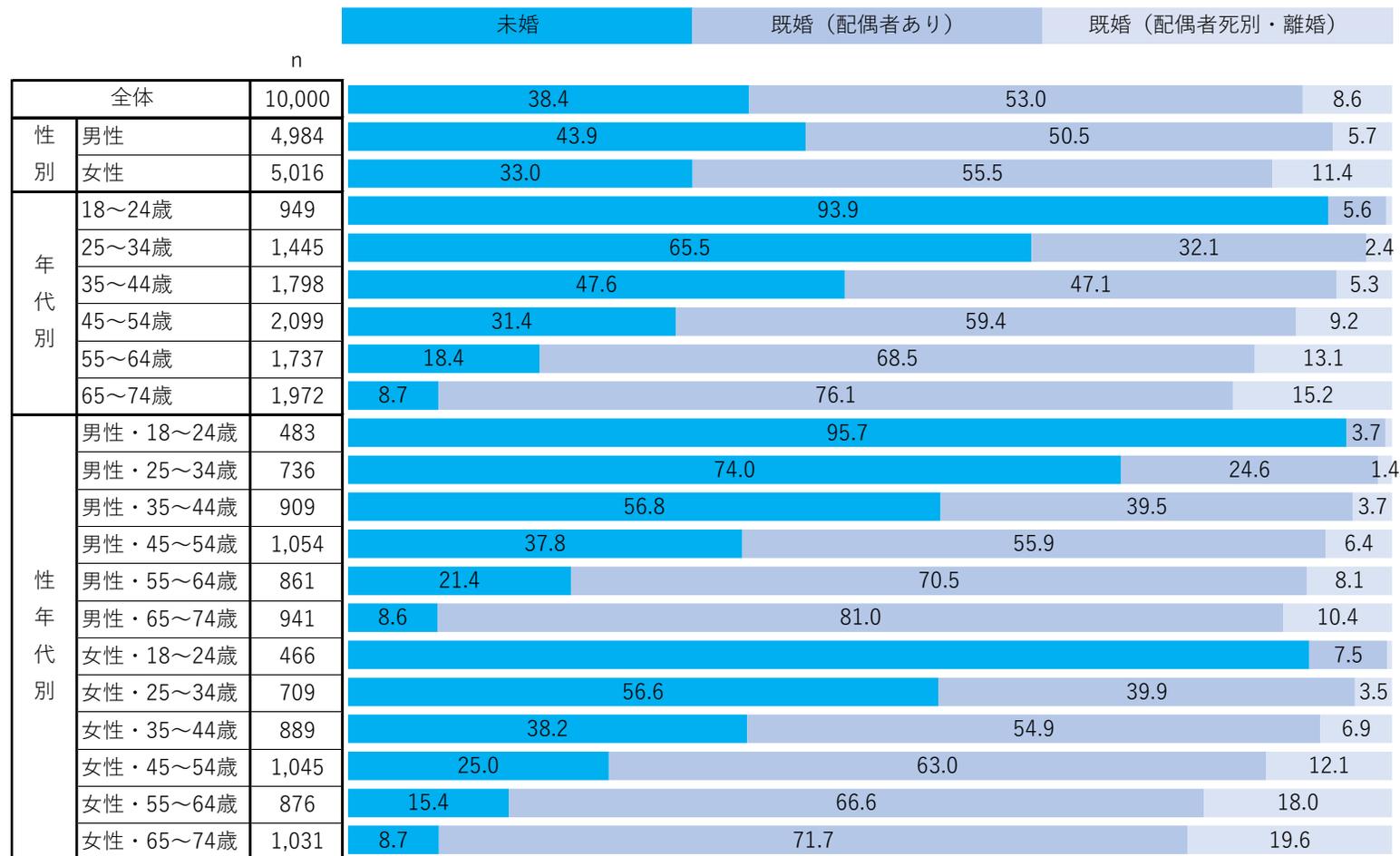
※1%未満の値は非表示

■ 最終学歴 ※職業が「高校生」「大学生／大学院生」以外 [%]



※1%未満の値は非表示

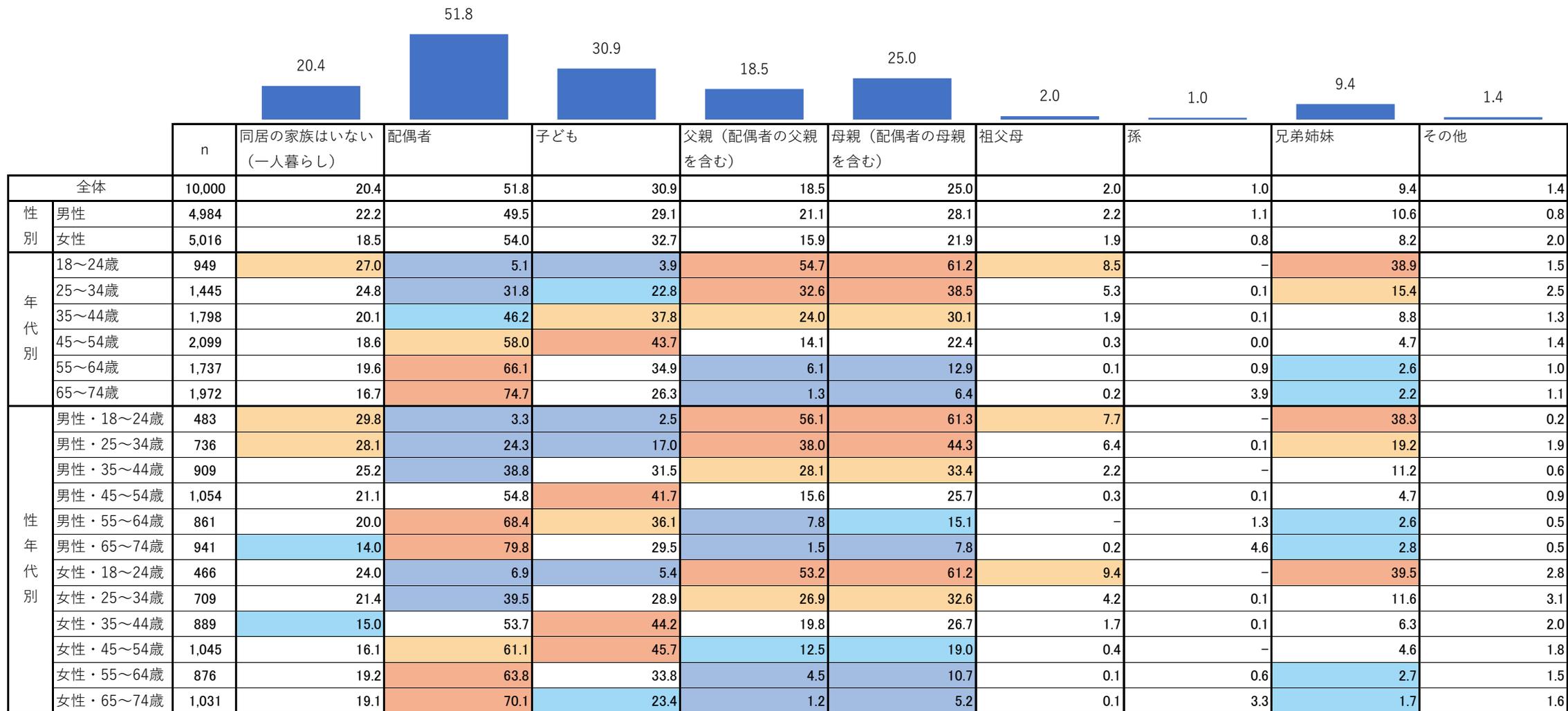
■ 未既 [%]



※1%未満の値は非表示

3-2 回答者のプロフィール

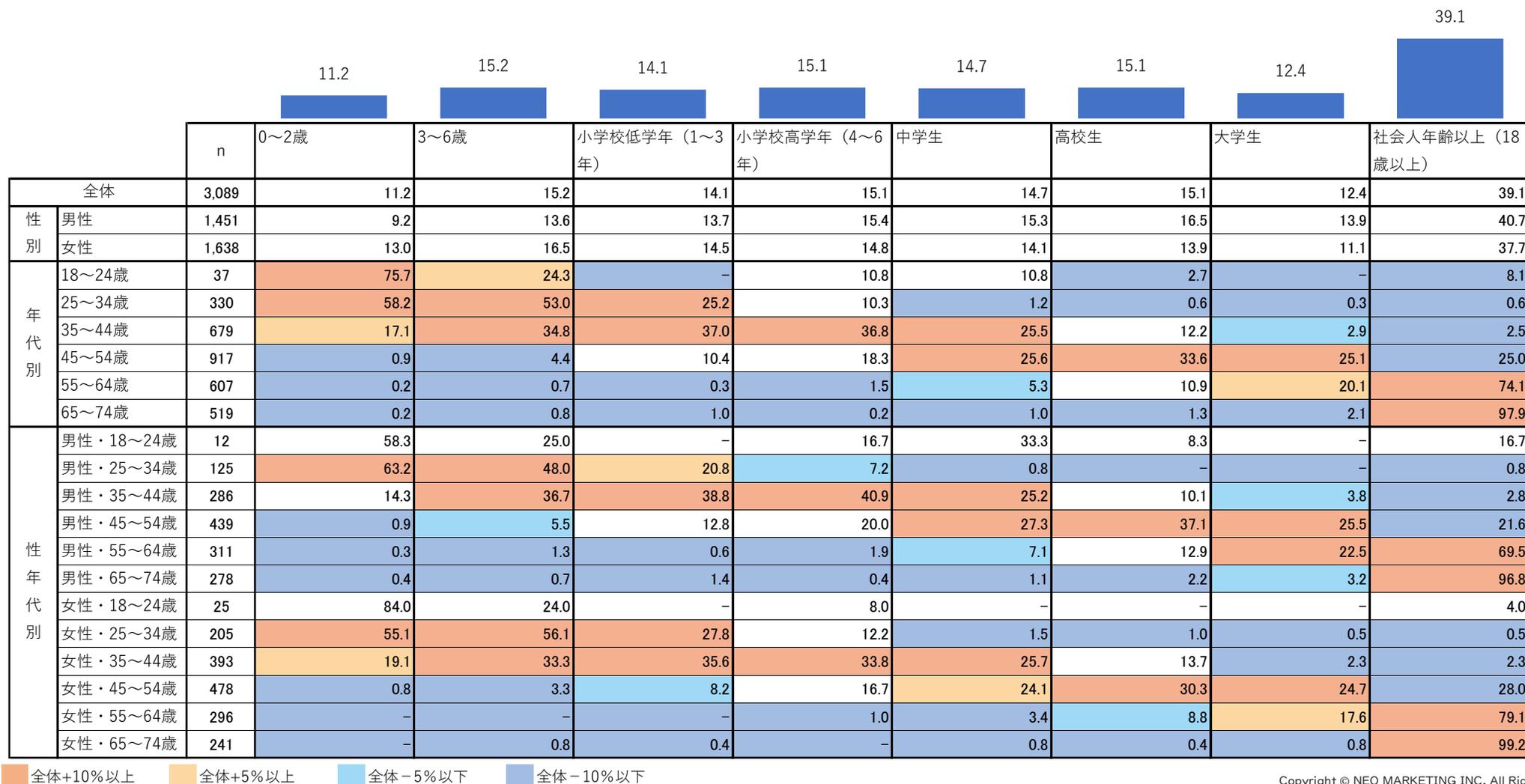
■ 同居家族 [%]



全体+10%以上
全体+5%以上
全体-5%以下
全体-10%以下

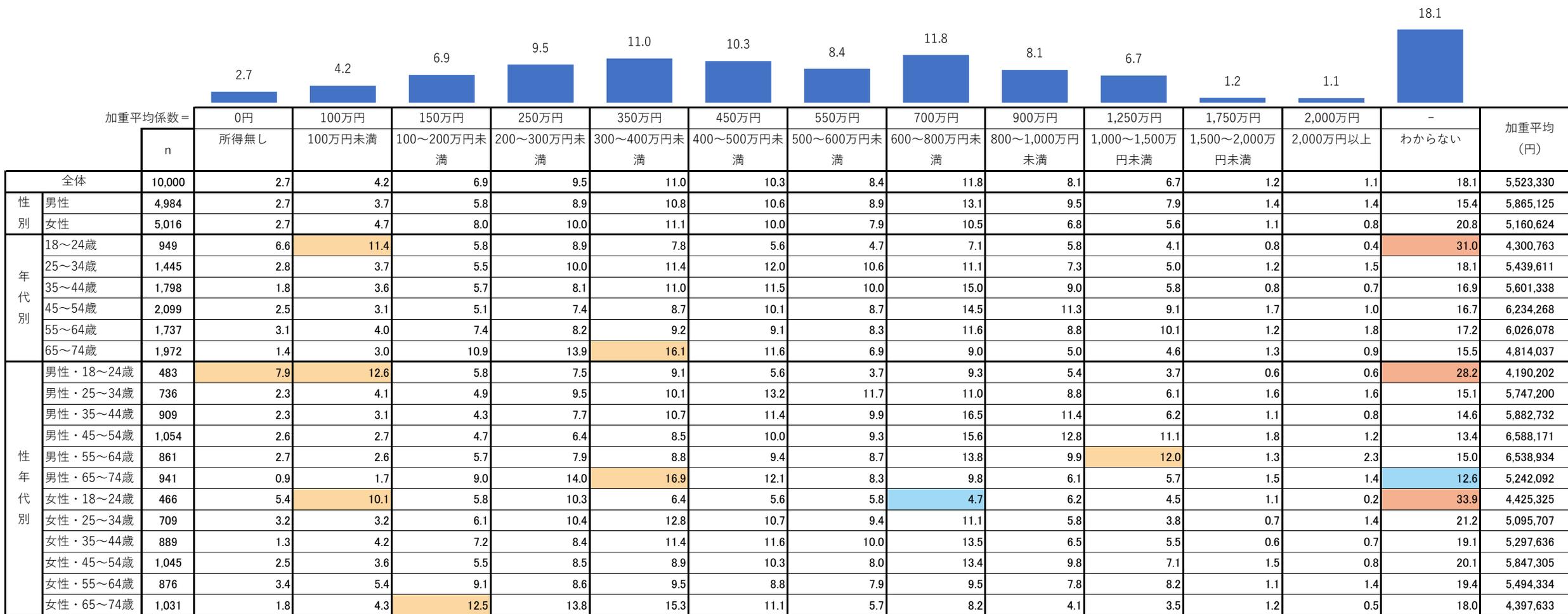
3-2 回答者のプロフィール

■ 同居の子供の年齢 ※同居家族での「子ども」選択者 [%]



3-2 回答者のプロフィール

■ 世帯年収 [%]

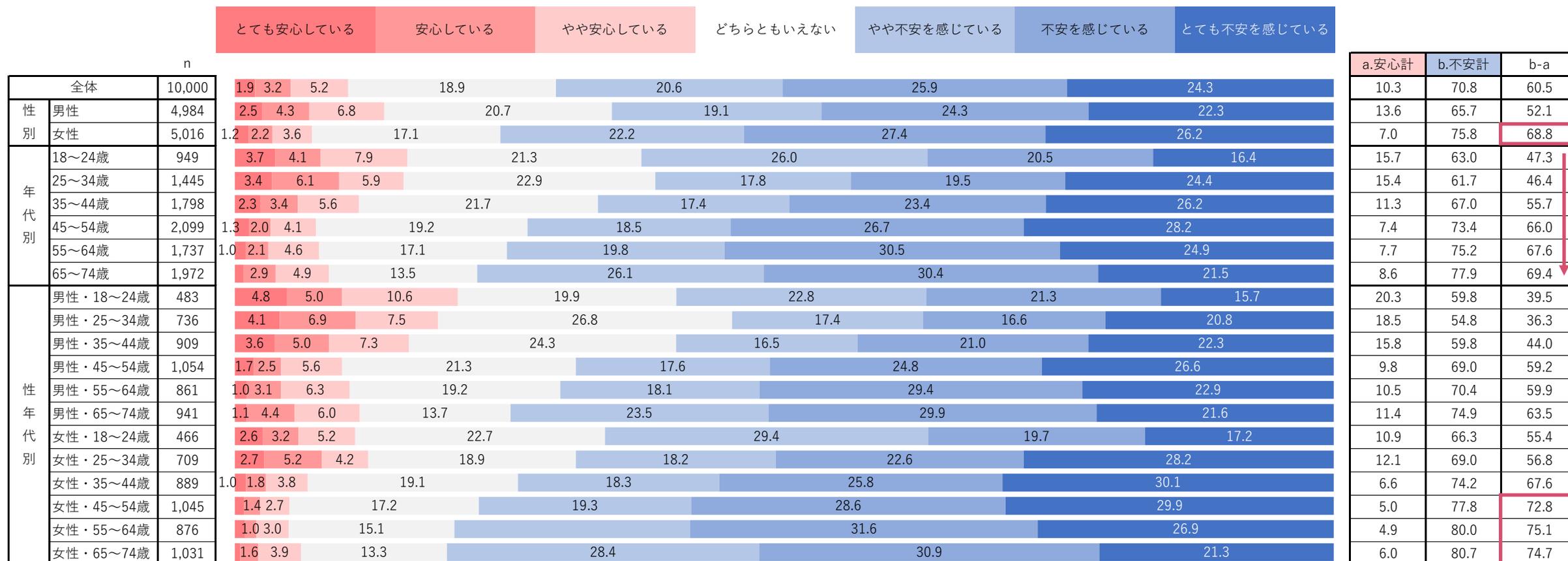


■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

3-3性・年齢別の結果 1.日本の財政の現状認識

Q9 日本の財政について質問します。国の収入と支出のバランスを「財政」と言います。あなたは現在の日本の財政状況について、どう感じていますか。あてはまるものをお選びください。
(お答えは1つ)

- 日本の財政の現状認識は、いずれの性年代も「不安計」が「安心計」を大きく上回っている。
- 男性より女性で差が大きく、年代が高い程差が大きい。特に女性45歳以上で差が大きい。



※1%未満の値は非表示

3-3性・年齢別の詳細 2.日本の財政の現状に不安を感じている理由

Q10 あなたが現在の財政状況に不安を感じている理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

- 日本の財政の現状に不安を感じている理由では、全体との比較で女性45～54歳は「自分の年金が減額される／受け取れない可能性がありそうだから」が高く、全項目中トップにあがっている。
- 年代別の65～74歳は、「財政赤字が続いているから」「子供や孫などの将来世代に国の借金の負担を先送りしているから」が高い。

Q9で「(とても～やや)不安を感じている」回答者ベース



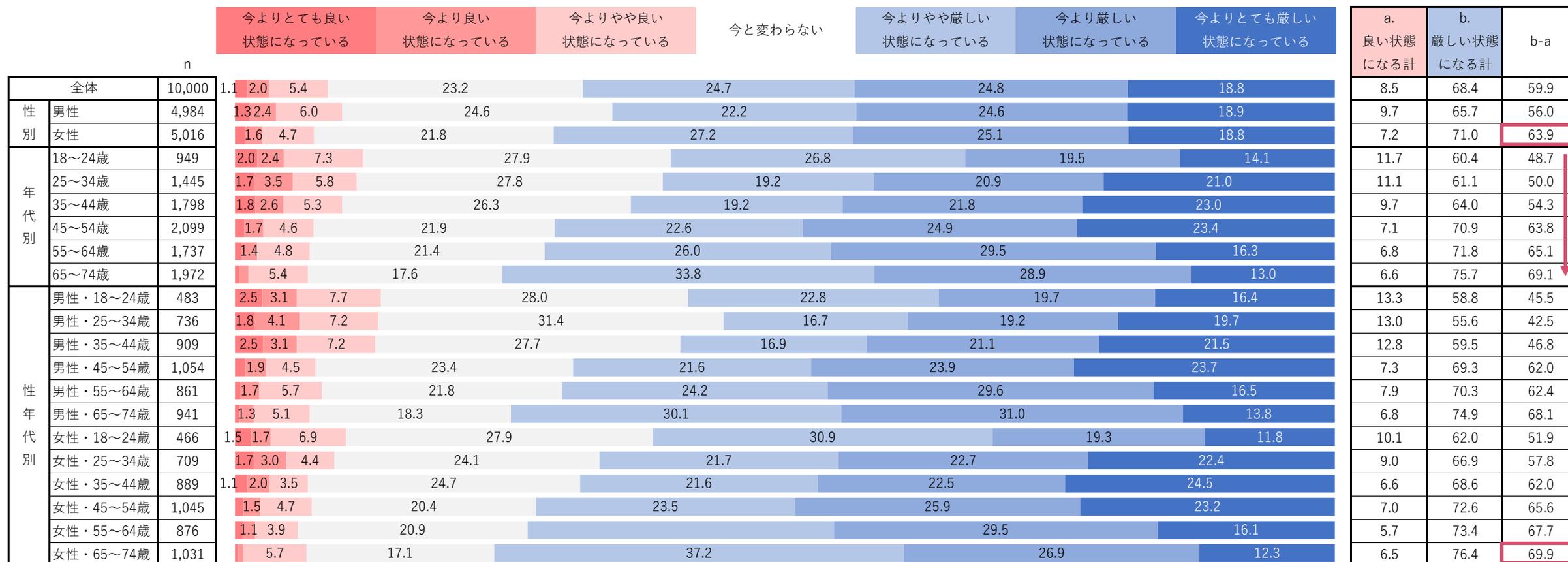
	n	国の予算の使い方に無駄が多そうだから	今後も消費税率引き上げなど、増税がありそうだから	自分の年金が減額される／受け取れない可能性がありそうだから	財政赤字が続いているから	人口における現役世代の割合が減っているから	子供や孫などの将来世代に国の借金の負担を先送りしているから	経済成長しておらず、税収が増えてなさそうだから	医療費の自己負担が増加しそうだから	国の社会保障費が増大しているから	このままでは借金を返せず財政破綻しそうだから	国が何か隠しているそうだから	政策による税収の増加が見込めなさそうだから	社会のセーフティネット（最低限の保障）を維持できなさそうだから	わかりやすい情報が不足しているから	教育や治安対策等、生活に直接影響する予算が減りそうだから	その他	
全体	7,078	56.2	54.5	49.6	46.4	40.8	39.5	37.6	35.2	32.6	26.2	25.0	22.2	22.0	17.7	16.6	1.5	
性別	男性	3,274	54.5	51.2	45.8	48.0	42.9	36.8	41.2	34.0	36.2	28.5	26.1	24.9	22.7	18.2	16.6	1.8
	女性	3,804	57.7	57.3	52.9	44.9	39.1	41.9	34.6	36.3	29.4	24.2	24.1	19.9	21.3	17.2	16.5	1.2
年代別	18～24歳	598	46.5	53.8	45.0	32.8	31.6	28.8	32.4	25.3	22.1	14.5	27.1	16.2	13.2	21.6	18.7	0.7
	25～34歳	892	52.5	56.7	50.0	38.2	36.0	29.1	37.1	31.7	30.4	23.2	29.1	22.0	19.8	18.7	18.3	1.2
	35～44歳	1,204	52.2	53.5	52.2	40.4	36.2	33.8	34.0	33.0	31.6	21.4	27.3	21.3	24.7	19.3	18.4	2.0
	45～54歳	1,540	57.4	57.0	56.5	46.4	40.5	38.4	37.5	34.2	26.9	26.8	23.6	24.2	16.4	16.4	1.8	
	55～64歳	1,307	57.3	53.9	50.7	49.0	42.6	41.3	37.3	37.9	35.4	28.7	21.0	22.5	22.6	16.2	15.0	1.1
	65～74歳	1,537	63.1	52.2	41.4	58.8	49.7	53.8	42.3	38.3	34.6	33.3	21.5	23.7	21.7	17.0	14.8	1.6
性年代別	男性・18～24歳	289	46.7	51.9	40.5	33.6	34.9	28.4	35.6	21.5	28.7	16.6	29.4	17.6	15.9	26.0	20.4	0.7
	男性・25～34歳	403	50.1	51.9	43.2	41.9	40.4	28.3	41.9	29.0	36.0	25.6	29.5	24.8	18.9	18.1	18.4	2.0
	男性・35～44歳	544	50.6	50.9	46.9	40.4	37.1	29.4	38.4	32.9	36.4	22.8	28.9	25.0	24.1	18.9	16.5	2.4
	男性・45～54歳	727	56.1	53.2	52.0	49.7	42.9	36.9	43.7	37.0	37.7	29.6	28.6	27.6	25.0	17.9	16.9	1.9
	男性・55～64歳	606	53.6	49.7	46.0	48.7	42.9	35.3	38.9	35.8	36.8	29.9	21.0	23.9	21.8	15.5	13.9	1.3
	男性・65～74歳	705	62.1	50.1	42.0	61.1	51.9	51.9	44.4	38.0	37.3	37.0	22.3	25.7	25.0	17.3	16.2	2.0
	女性・18～24歳	309	46.3	55.7	49.2	32.0	28.5	29.1	29.4	28.8	15.9	12.6	24.9	14.9	10.7	17.5	17.2	0.6
	女性・25～34歳	489	54.4	60.7	55.6	35.2	32.3	29.9	33.1	33.9	25.8	21.3	28.8	19.6	20.7	19.2	18.2	0.6
	女性・35～44歳	660	53.6	55.6	56.7	40.5	35.5	37.4	30.3	33.0	27.6	20.3	26.1	18.3	25.2	19.5	19.8	1.7
	女性・45～54歳	813	58.5	60.4	60.5	43.4	38.4	39.9	33.7	38.0	31.0	24.6	25.1	19.9	23.5	15.0	16.0	1.6
	女性・55～64歳	701	60.5	57.5	54.8	49.4	42.4	46.5	35.9	39.7	34.2	27.7	21.1	21.3	23.4	16.8	16.0	0.9
	女性・65～74歳	832	63.9	54.0	40.9	56.7	47.8	55.4	40.5	38.6	32.3	30.2	20.9	22.1	18.9	16.7	13.7	1.3

全体+10%以上 全体+5%以上 全体-5%以下 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 3. 10年後の日本の財政の予測

Q11 あなたは10年後の日本の財政はどのように思いますか。あてはまるものをお選びください。（お答えは1つ）

- 10年後の日本の財政の予測は、いずれの性年代も「厳しい状態になる計」が「良い状態になる計」を大きく上回っている。
- 男性より女性で差が大きく、年代が高い程差が大きい。特に女性65～74歳で差が大きい。



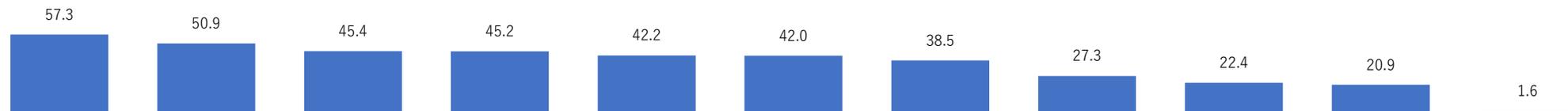
※1%未満の値は非表示

3-3性・年齢別の詳細 4. 10年後の日本の財政が厳しい状態になると思う理由

Q12あなたが10年後の日本の財政について厳しい状態になると思う理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

- 10年後の日本の財政が厳しい状態になると思う理由では、全体との比較で女性65～74歳は「少子高齢化で働く人の数が減って税収も減りそうだから」が、女性25～34歳は「日本経済は良くなさそうだから」が、男性65～74歳は「国の借金が増えそうだから」がそれぞれ高い。

Q11で「(今よりとても～今よりやや)厳しい状態になっている」回答者ベース



		n	少子高齢化で働く人の数が減って税収も減りそうだから	日本経済は良くなさそうだから	無駄な支出(歳出)を削減できなさそうだから	国の借金が增えそうだから	国の収入(税収)が減りそうだから	高齢者の増加が様々な影響を与えそうだから	国の支出(歳出)が増えそうだから	社会保障費の増加を抑える政策が進まなさそうだから	安定的な税収を得るための税制改革が進まなさそうだから	金利が上昇して経済に悪影響が出そうだから	その他
全体		6,837	57.3	50.9	45.4	45.2	42.2	42.0	38.5	27.3	22.4	20.9	1.6
性別	男性	3,274	56.5	50.2	46.3	45.3	44.0	40.6	41.4	30.4	23.4	21.4	2.0
	女性	3,563	58.1	51.6	44.5	45.1	40.5	43.3	35.9	24.4	21.5	20.4	1.2
年代別	18～24歳	573	49.6	53.2	33.3	34.7	37.2	33.5	30.5	20.1	21.6	18.5	1.2
	25～34歳	883	49.4	60.5	39.6	36.9	38.5	35.0	33.7	23.4	24.2	25.4	1.5
	35～44歳	1,151	51.5	55.1	41.4	40.9	38.0	37.6	36.4	28.8	21.5	24.5	2.0
	45～54歳	1,489	57.8	49.7	45.7	45.3	45.4	42.7	37.5	28.5	21.9	22.0	1.7
	55～64歳	1,248	61.7	48.0	48.1	48.6	43.9	47.4	40.1	30.0	24.5	19.9	1.3
	65～74歳	1,493	65.4	44.7	53.9	54.4	44.7	47.5	45.7	27.7	21.0	16.1	1.7
性別年代別	男性・18～24歳	284	51.1	52.8	36.3	35.6	40.8	36.3	30.6	23.6	24.3	20.4	1.8
	男性・25～34歳	409	51.1	59.2	42.8	39.9	43.0	34.5	38.4	27.1	25.2	26.7	2.4
	男性・35～44歳	541	49.0	55.8	42.7	40.9	39.9	37.2	42.1	32.9	20.7	24.2	2.4
	男性・45～54歳	730	57.9	49.9	45.1	44.5	48.5	40.8	38.4	32.3	23.0	23.3	1.9
	男性・55～64歳	605	60.2	45.6	48.3	46.8	45.6	44.5	43.3	32.2	24.8	19.8	1.2
	男性・65～74歳	705	62.8	43.7	54.8	55.3	42.7	45.0	48.4	29.4	23.1	15.9	2.4
	女性・18～24歳	289	48.1	53.6	30.4	33.9	33.6	30.8	30.4	16.6	19.0	16.6	0.7
	女性・25～34歳	474	47.9	61.6	36.9	34.4	34.6	35.4	29.7	20.3	23.4	24.3	0.6
	女性・35～44歳	610	53.8	54.4	40.3	41.0	36.2	38.0	31.3	25.1	22.1	24.8	1.6
	女性・45～54歳	759	57.7	49.5	46.2	46.0	42.4	44.5	36.6	24.9	20.8	20.8	1.4
	女性・55～64歳	643	63.1	50.2	47.9	50.4	42.3	50.2	37.0	27.8	24.3	19.9	1.4
	女性・65～74歳	788	67.6	45.6	53.0	53.6	46.6	49.7	43.4	26.1	19.0	16.2	1.0

全体+10%以上 全体+5%以上 全体-5%以下 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 5. 10年後の日本の財政が今と現状維持／良い状態になると思う理由

Q13あなたが10年後の日本の財政について今と変わらない／良い状態になると思う理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

- 10年後の日本の財政が現状維持または良い状態になると思う理由では、全体との比較で男性65～74歳は「日本経済が良くなりそうだから」「借金（国債）は日本国内で消化されていて、財政破綻の懸念は少なそうだから」が高い。

Q11で「(今よりとても～今よりやや)良い状態になっている」「今と変わらない」回答者ベース



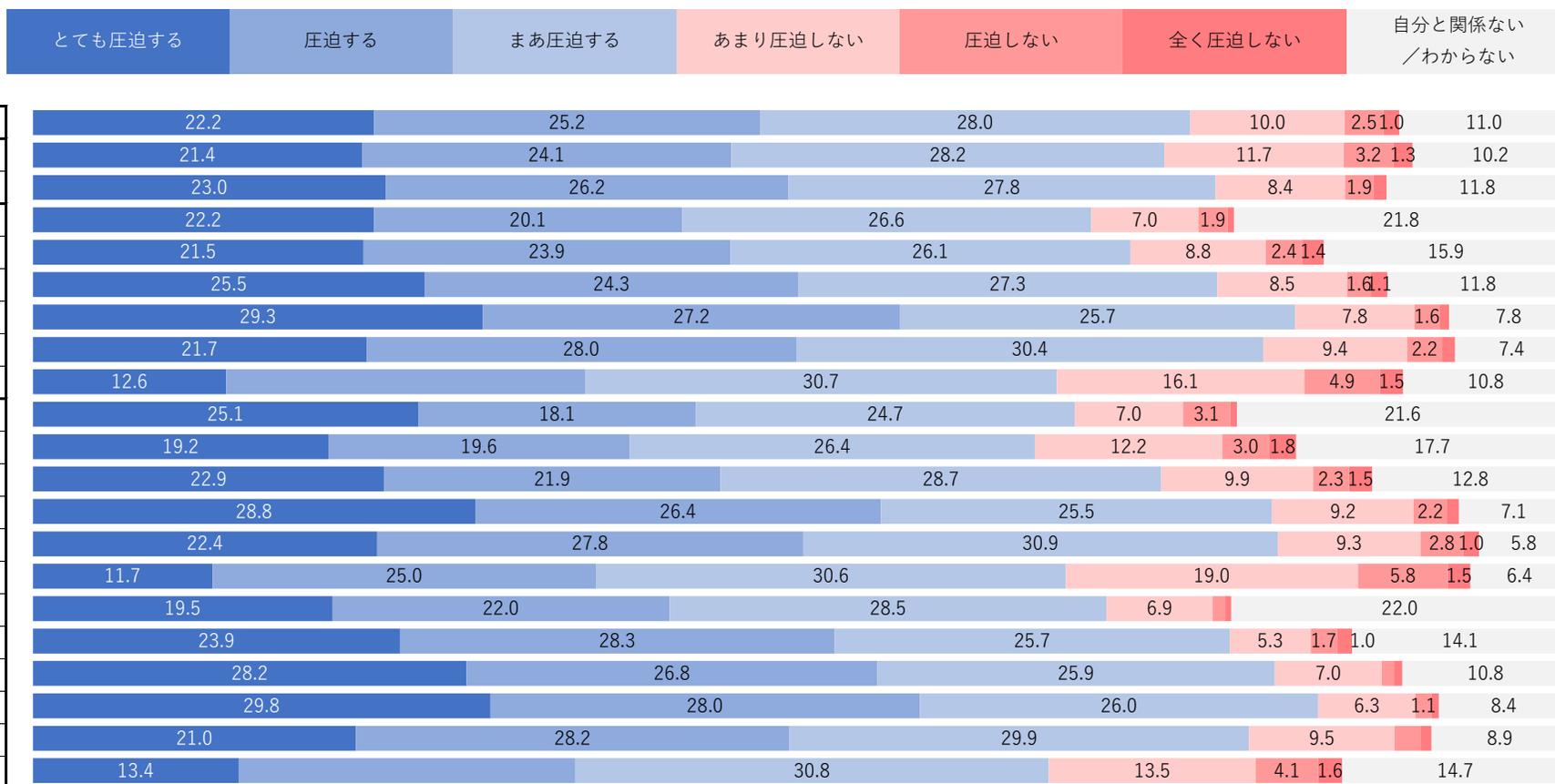
全体+10%以上 全体+5%以上 全体-5%以下 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 6.税と保険料の負担感 【所得税】

Q14 あなたは、あなたご自身または世帯にかかる税と保険料についてどの程度、負担に感じていますか。以下それぞれの税と保険料について、生活費を「とても圧迫する」から「全く圧迫しない」までの中であてはまるものをお選びください。（お答えはそれぞれ1つ）

- 所得税の負担感は、いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回っている。
- 男性より女性で差が大きい。特に女性35～54歳で差が大きい。

「高校生」「大学生／大学院生」以外の回答者



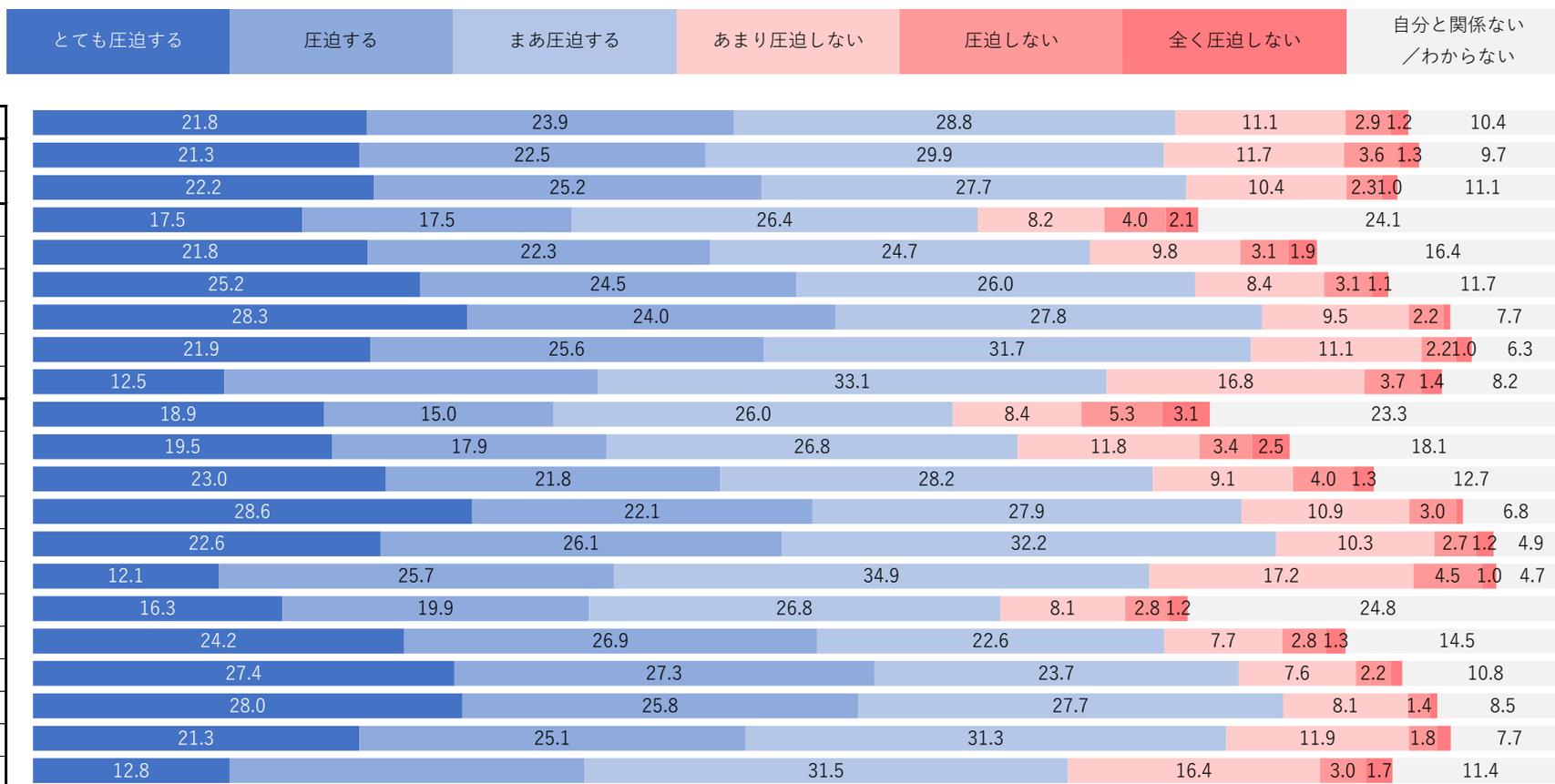
a.	b.	a-b
圧迫する計	圧迫しない計	
75.4	13.6	61.8
73.7	16.2	57.5
77.0	11.1	65.9
68.9	9.3	59.6
71.5	12.6	58.9
77.1	11.1	66.1
82.2	10.0	72.2
80.1	12.5	67.6
66.7	22.6	44.1
67.8	10.6	57.3
65.2	17.0	48.2
73.5	13.8	59.7
80.7	12.2	68.5
81.1	13.1	67.9
67.3	26.4	40.9
69.9	8.1	61.8
78.0	8.0	70.0
80.9	8.3	72.6
83.7	7.9	75.9
79.2	11.9	67.3
66.1	19.1	47.0

※1%未満の値は非表示

3-3性・年齢別の詳細 6.税と保険料の負担感 【住民税】

- ・ 住民税の負担感は、いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回っている。
- ・ 女性45～54歳でその差が大きい。

「高校生」「大学生／大学院生」以外の回答者

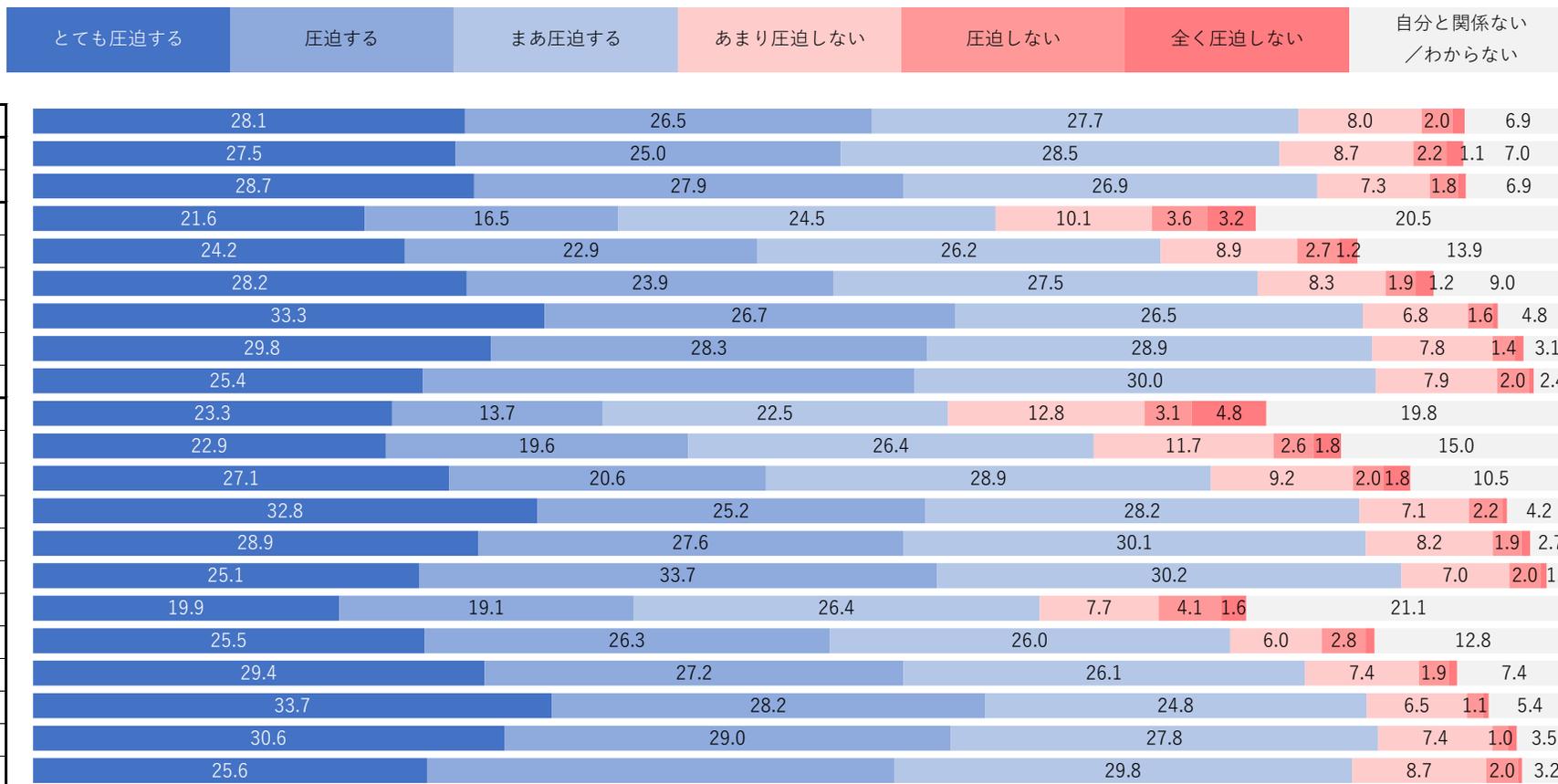


a. 圧迫する計	b. 圧迫しない計	a-b
74.4	15.2	59.2
73.7	16.6	57.0
75.1	13.8	61.3
61.5	14.4	47.1
68.8	14.8	54.0
75.7	12.6	63.1
80.1	12.3	67.8
79.3	14.4	64.9
69.9	21.9	48.1
59.9	16.7	43.2
64.1	17.7	46.4
72.9	14.4	58.5
78.7	14.4	64.3
81.0	14.2	66.8
72.7	22.6	50.1
63.0	12.2	50.8
73.7	11.8	61.9
78.5	10.7	67.8
81.4	10.1	71.4
77.7	14.6	63.1
67.4	21.1	46.3

※1%未満の値は非表示

- 健康保険料の負担感は、いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回っている。

「高校生」「大学生／大学院生」以外の回答者



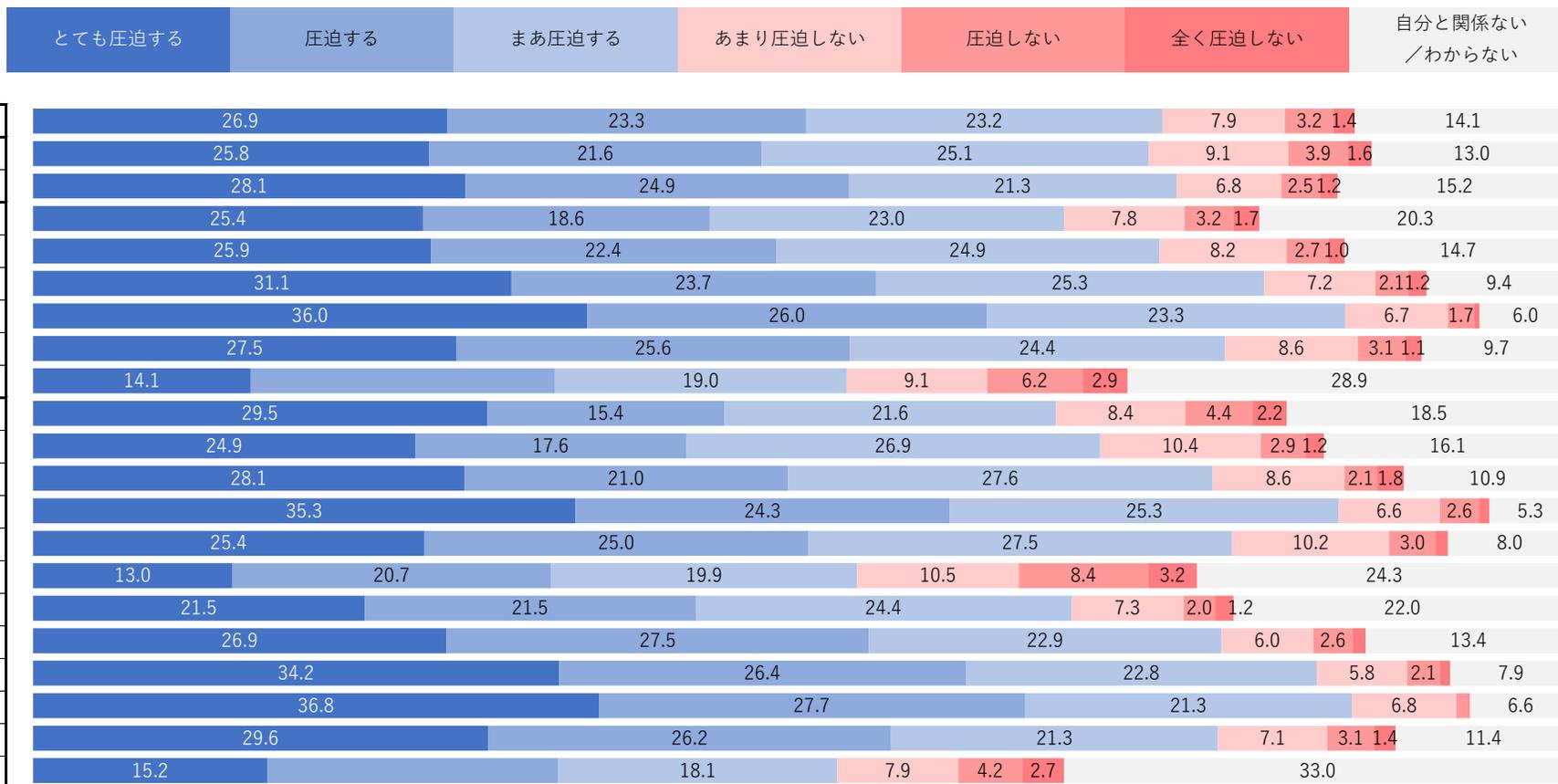
a. 圧迫する計	b. 圧迫しない計	a-b
82.3	10.8	71.5
81.0	12.0	69.1
83.5	9.7	73.8
62.6	16.9	45.7
73.3	12.8	60.5
79.6	11.5	68.1
86.5	8.8	77.7
87.0	9.9	77.2
87.3	10.3	77.0
59.5	20.7	38.8
69.0	16.1	52.9
76.6	13.0	63.6
86.2	9.6	76.6
86.6	10.7	76.0
88.9	9.5	79.5
65.4	13.4	52.0
77.8	9.4	68.4
82.7	9.9	72.8
86.7	8.0	78.7
87.4	9.0	78.4
85.7	11.1	74.7

※1%未満の値は非表示

3-3性・年齢別の詳細 6.税と保険料の負担感 【年金保険料】

- 年金保険料の負担感は、いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回っている。
- 年代別では45～54歳で差が大きく、女性は35～44歳も差が大きい。

「高校生」「大学生／大学院生」以外の回答者



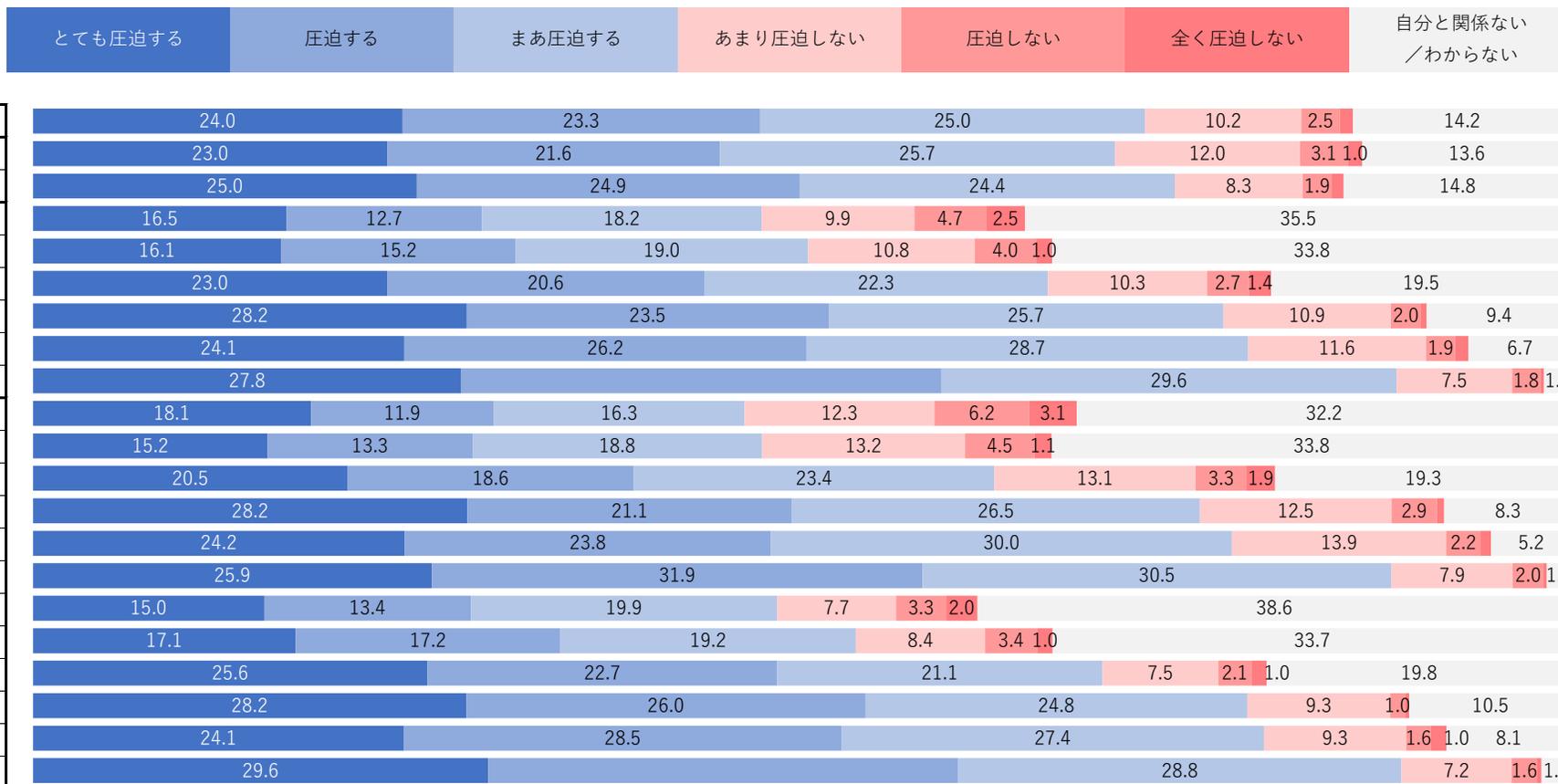
a. 圧迫する計	b. 圧迫しない計	a-b
73.4	12.5	60.9
72.5	14.5	58.0
74.3	10.5	63.8
67.0	12.7	54.3
73.2	12.0	61.2
80.0	10.6	69.5
85.3	8.7	76.6
77.5	12.8	64.7
52.9	18.3	34.6
66.5	15.0	51.5
69.4	14.6	54.8
76.7	12.4	64.2
84.9	9.8	75.1
77.9	14.1	63.9
53.6	22.1	31.5
67.5	10.6	56.9
77.2	9.4	67.9
83.5	8.7	74.8
85.7	7.7	78.1
77.0	11.5	65.5
52.3	14.7	37.5

※1%未満の値は非表示

3-3性・年齢別の詳細 6.税と保険料の負担感 【介護保険料】

- 介護保険料の負担感は、いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回っている。
- 男性より女性で差が大きく、年代別では65～74歳で差が大きい。

「高校生」「大学生／大学院生」以外の回答者



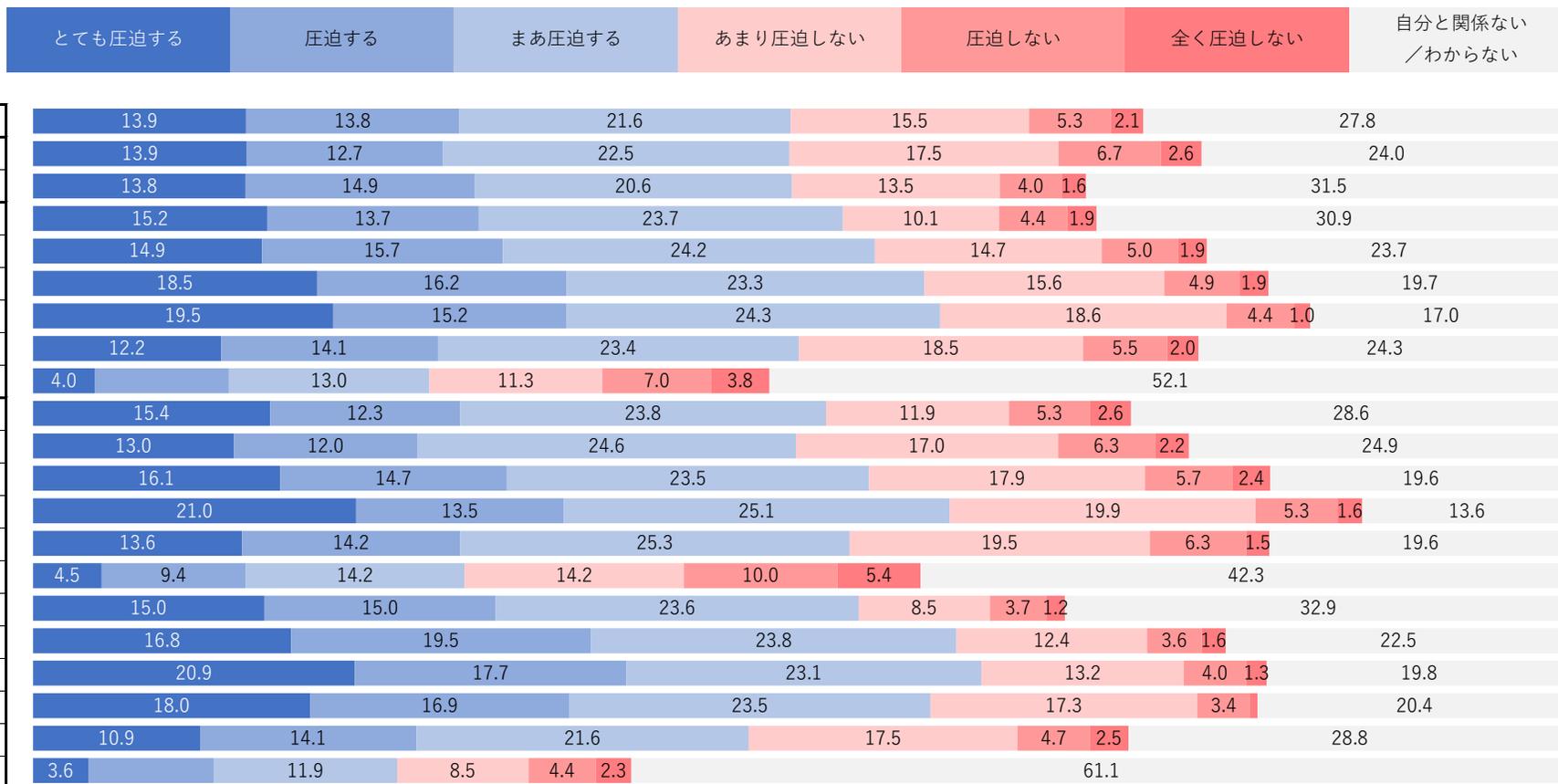
a.	b.	a-b
72.3	13.5	58.8
70.3	16.1	54.2
74.2	11.0	63.3
47.4	17.1	30.2
50.4	15.9	34.5
66.0	14.5	51.4
77.4	13.2	64.2
79.0	14.3	64.6
88.6	9.6	79.1
46.3	21.6	24.7
47.4	18.8	28.6
62.5	18.3	44.2
75.9	15.9	60.0
77.9	16.8	61.1
88.3	10.1	78.2
48.4	13.0	35.4
53.5	12.8	40.7
69.5	10.7	58.8
78.9	10.5	68.4
80.0	11.9	68.1
88.9	9.1	79.8

※1%未満の値は非表示

3-3性・年齢別の詳細 6.税と保険料の負担感 【雇用保険料】

- 雇用保険料の負担感は、男性65～74歳以外の性年代で「**圧倒する計**」が「**圧倒しない計**」を上回っている。
- 女性18～54歳でその差が大きい。

「高校生」「大学生／大学院生」以外の回答者



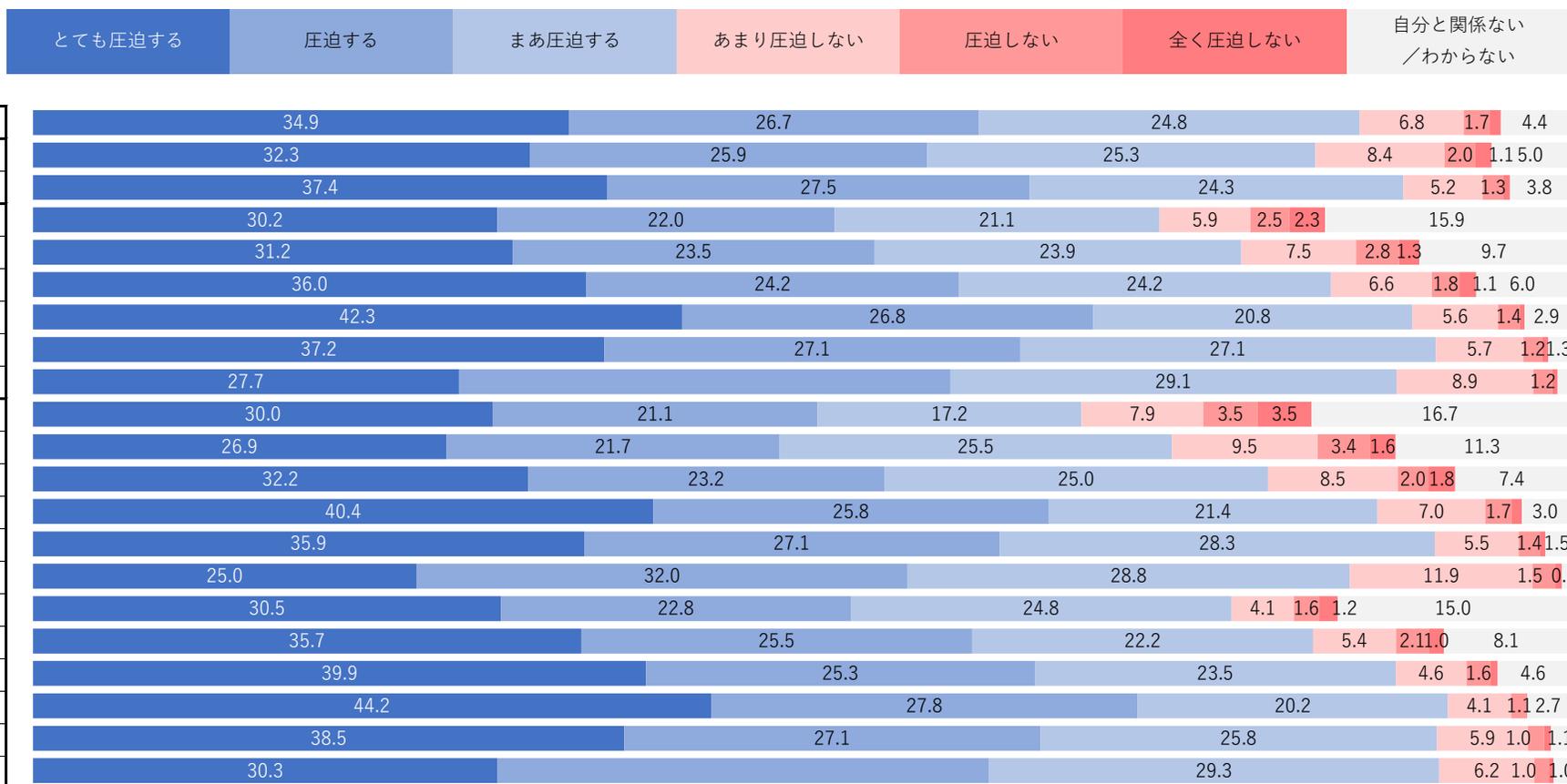
a.	b.	a-b
圧倒する計	圧倒しない計	
49.3	22.9	26.3
49.2	26.8	22.4
49.3	19.1	30.2
52.6	16.5	36.2
54.7	21.6	33.1
58.0	22.4	35.6
59.0	24.0	34.9
49.8	26.0	23.8
25.8	22.1	3.7
51.5	19.8	31.7
49.6	25.5	24.0
54.3	26.1	28.3
59.6	26.8	32.8
53.1	27.3	25.8
28.1	29.6	-1.6
53.7	13.4	40.2
60.0	17.5	42.5
61.6	18.6	43.1
58.3	21.3	37.1
46.5	24.7	21.8
23.7	15.2	8.4

※1%未満の値は非表示

3-3性・年齢別の詳細 6.税と保険料の負担感 【消費税】

- 消費税の負担感は、いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回っている。
- 男性より女性で差が大きく、年代別では55～64歳をピークに年代が上がるほど差が大きい。

「高校生」「大学生／大学院生」以外の回答者



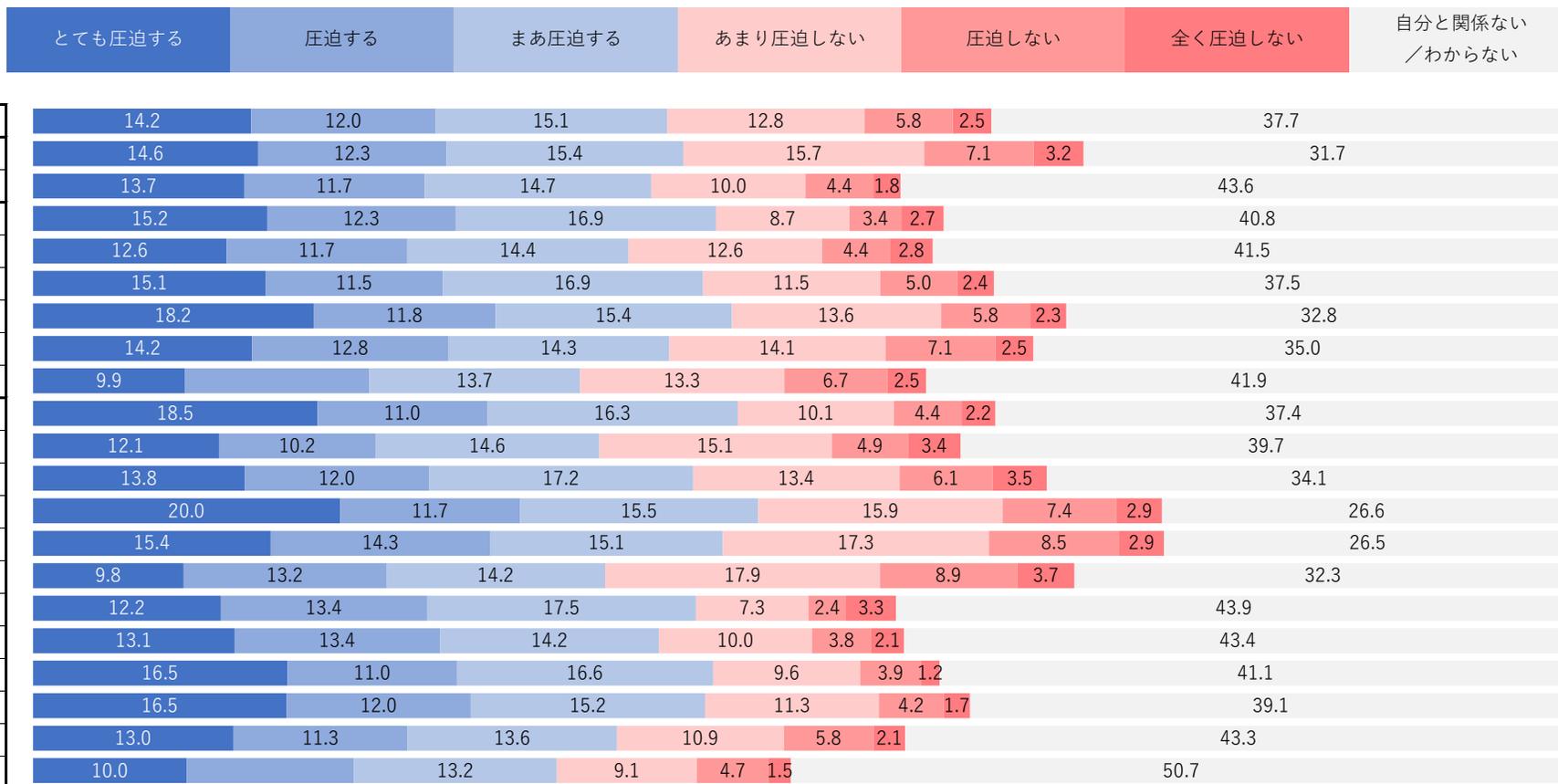
a.	b.	a-b
圧迫する計	圧迫しない計	
86.4	9.2	77.2
83.5	11.5	72.0
89.2	6.9	82.3
73.4	10.8	62.6
78.7	11.6	67.1
84.5	9.5	75.1
89.8	7.3	82.5
91.4	7.3	84.0
88.8	10.5	78.3
68.3	15.0	53.3
74.2	14.6	59.6
80.4	12.2	68.2
87.5	9.4	78.1
91.3	7.2	84.1
85.8	13.8	71.9
78.0	6.9	71.1
83.4	8.5	74.8
88.8	6.6	82.1
92.1	5.2	87.0
91.4	7.4	84.0
91.6	7.5	84.1

※1%未満の値は非表示

3-3性・年齢別の詳細 6.税と保険料の負担感 【相続税】

- ・ 相続税の負担感は、いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を上回っている。
- ・ 男性より女性で差が大きい。

「高校生」「大学生／大学院生」以外の回答者

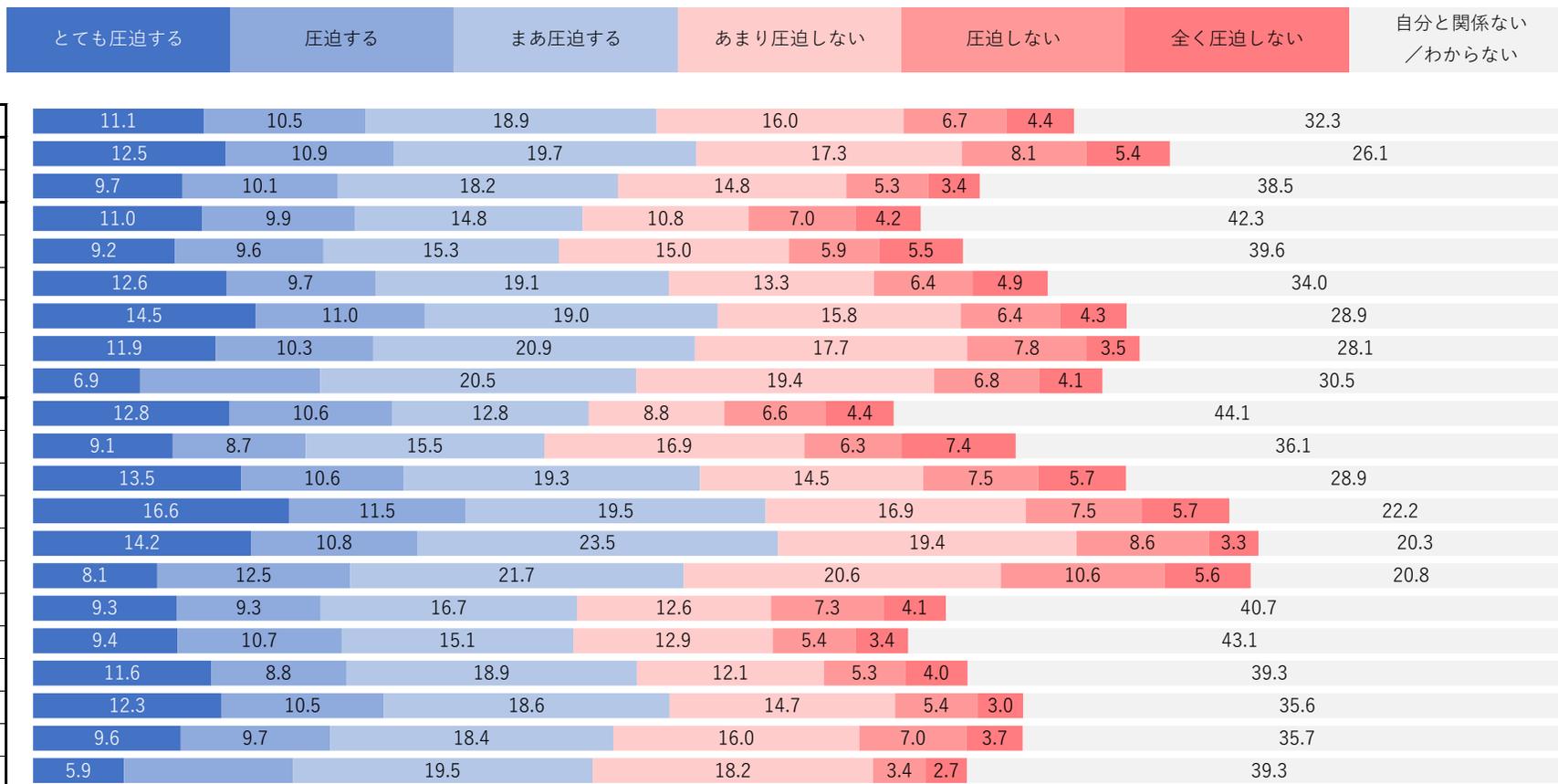


a.	b.	a-b
圧迫する計	圧迫しない計	
41.2	21.1	20.1
42.3	26.0	16.2
40.2	16.2	24.0
44.4	14.8	29.6
38.7	19.8	18.9
43.5	18.9	24.6
45.4	21.8	23.7
41.4	23.7	17.7
35.5	22.5	13.0
45.8	16.7	29.1
36.8	23.5	13.3
42.9	23.0	19.9
47.1	26.2	20.9
44.8	28.7	16.1
37.2	30.5	6.7
43.1	13.0	30.1
40.7	15.9	24.8
44.2	14.7	29.5
43.7	17.2	26.4
37.9	18.7	19.2
34.0	15.2	18.8

※1%未満の値は非表示

・ 酒税の負担感は、いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を上回っている。

「高校生」「大学生／大学院生」以外の回答者



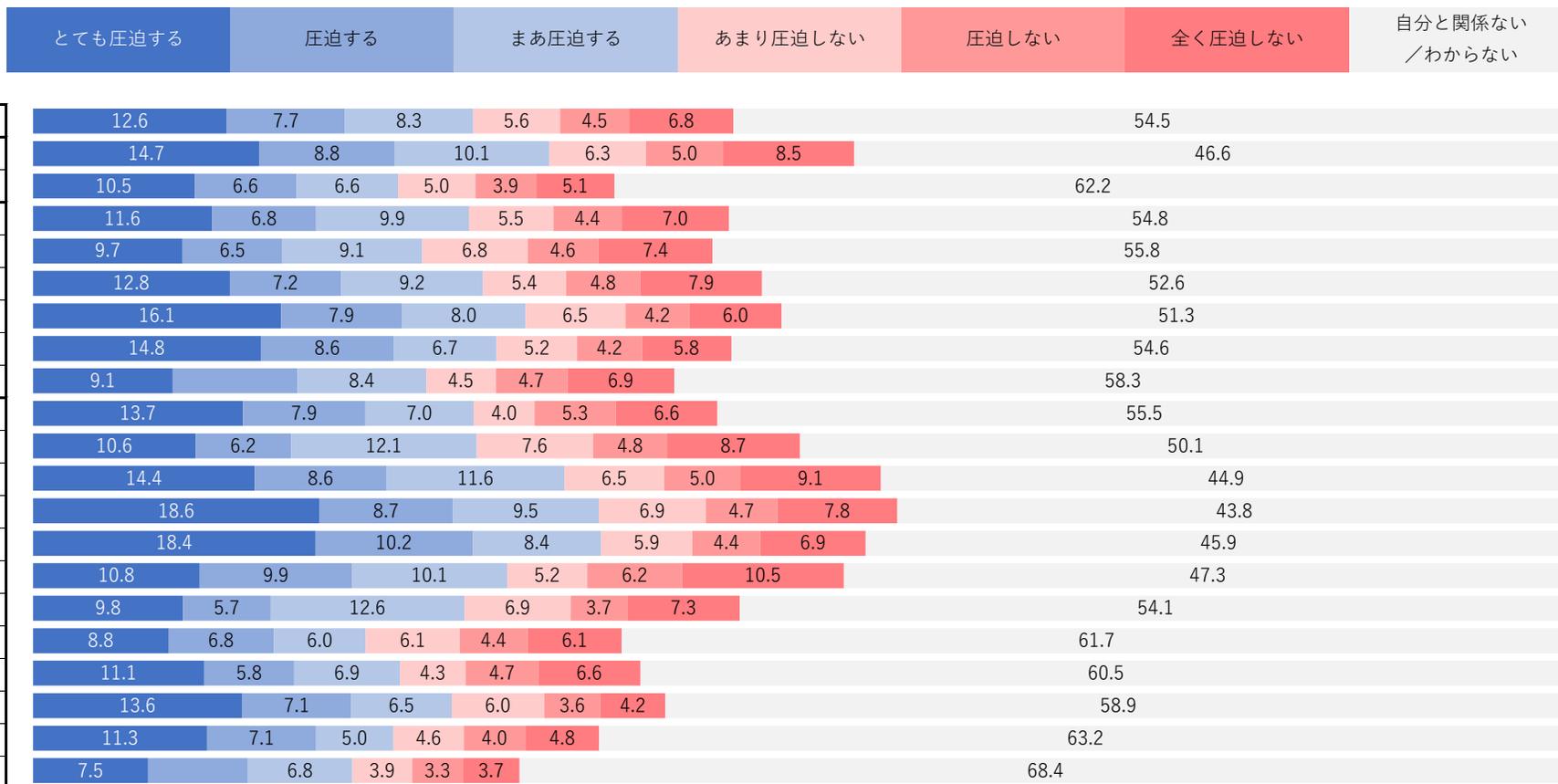
a. 圧迫する計	b. 圧迫しない計	a-b
40.5	27.1	13.4
43.1	30.8	12.3
38.0	23.5	14.5
35.7	22.0	13.7
34.2	26.3	7.9
41.3	24.6	16.7
44.5	26.6	17.9
43.0	28.9	14.1
39.2	30.3	8.9
36.1	19.8	16.3
33.2	30.6	2.6
43.3	27.7	15.6
47.6	30.1	17.5
48.4	31.2	17.2
42.3	36.9	5.4
35.4	24.0	11.4
35.1	21.8	13.4
39.3	21.5	17.8
41.4	23.0	18.4
37.7	26.6	11.1
36.4	24.3	12.0

※1%未満の値は非表示

3-3性・年齢別の詳細 6.税と保険料の負担感 【たばこ税】

- たばこ税の負担感は、いずれの性年代も「圧迫する計」が「圧迫しない計」を大きく上回っているが、「自分と関係ない／わからない」が半数以上を占める。

「高校生」「大学生／大学院生」以外の回答者



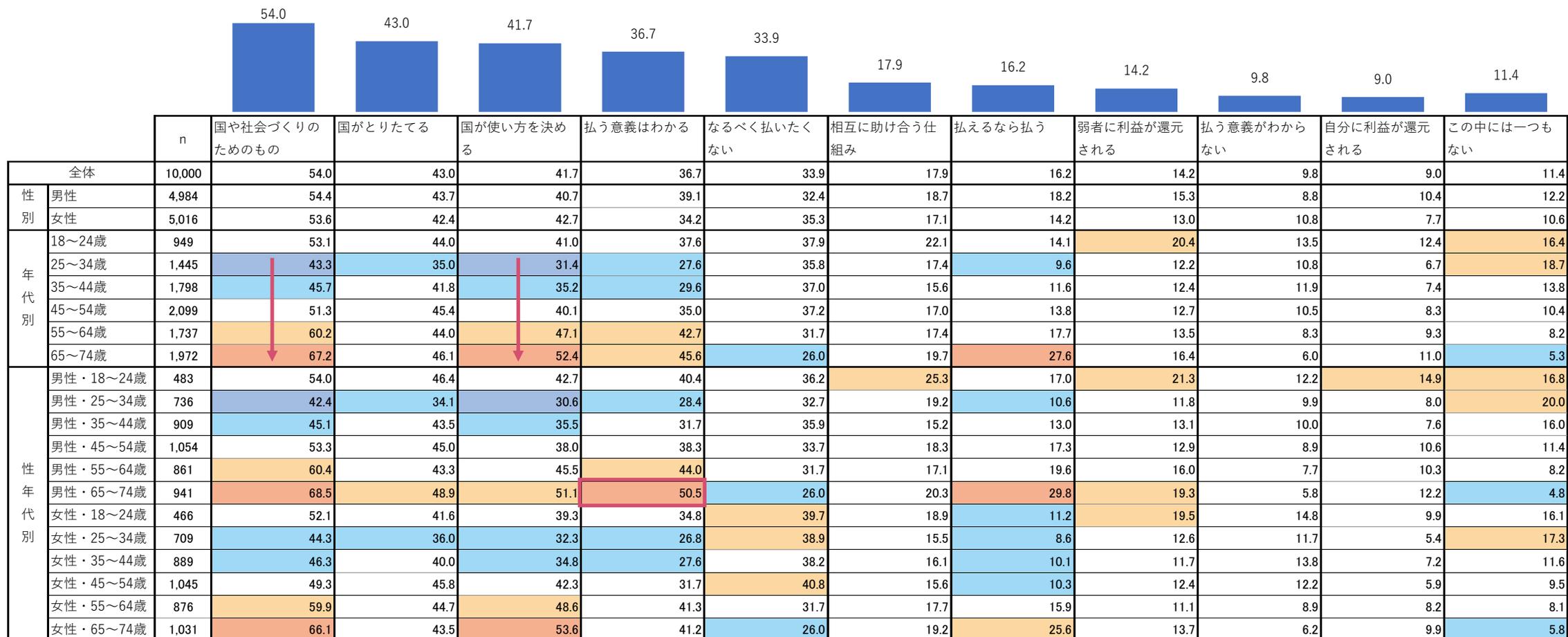
a. 圧迫する計	b. 圧迫しない計	a-b
28.6	16.9	11.7
33.6	19.8	13.8
23.7	14.1	9.6
28.3	16.9	11.4
25.3	18.9	6.4
29.3	18.1	11.1
32.0	16.7	15.4
30.1	15.3	14.9
25.6	16.1	9.4
28.6	15.9	12.8
28.8	21.0	7.8
34.5	20.6	14.0
36.8	19.4	17.4
36.9	17.2	19.7
30.8	21.9	8.9
28.0	17.9	10.2
21.6	16.6	5.0
23.8	15.6	8.2
27.2	13.9	13.3
23.4	13.4	10.1
20.8	10.9	9.9

※1%未満の値は非表示

3-3性・年齢別の詳細 7.国に納める税・保険料のイメージ 【税】

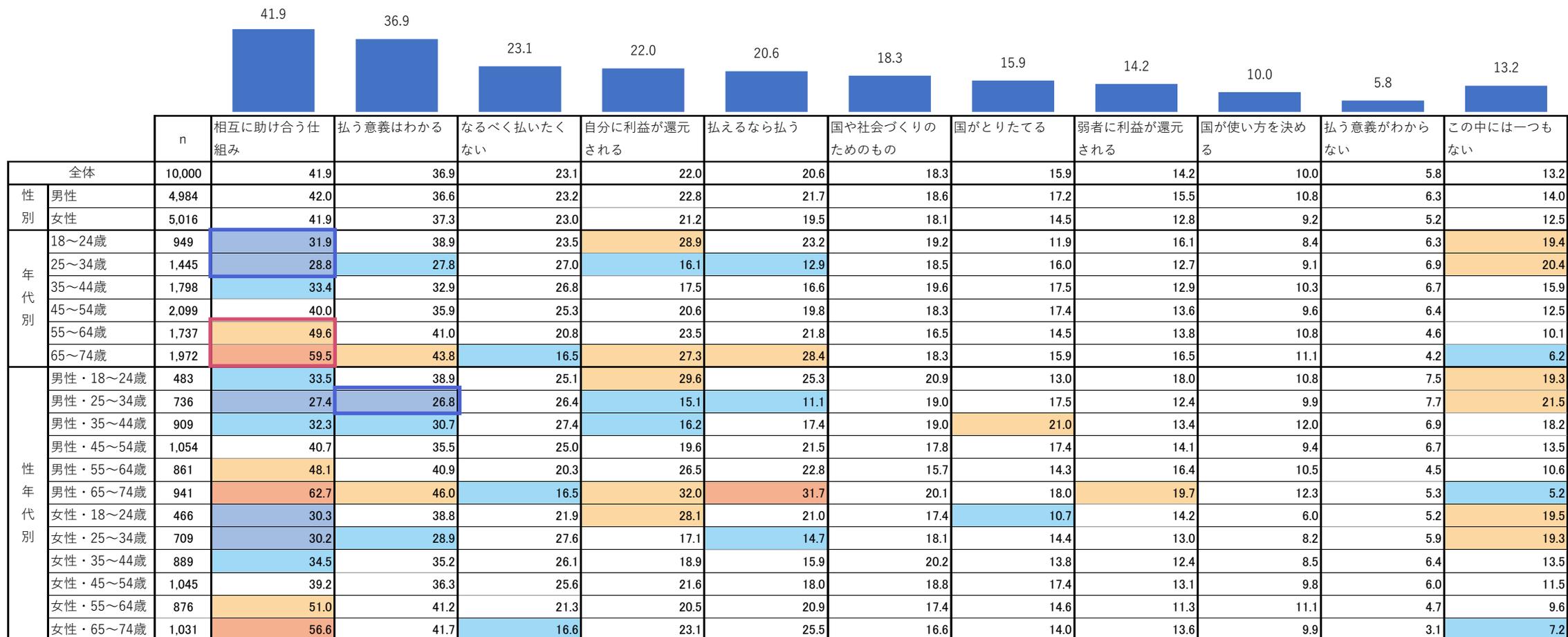
Q15 あなたは国に納める税と保険料について、どんなイメージを持っていますか。あてはまるものをすべてお答えください。（お答えはそれぞれいくつでも）

- ・ 国に納める税のイメージについて、「国や社会づくりのためのもの」「国が使い方を決める」は、25歳以上では年代が上がるほど高い。
- ・ また、男性65～74歳は「払う意義はわかる」も高い。



■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

- ・ 国に納める保険料のイメージは、全体で最も高い「相互に助け合う仕組み」が、年代別の55～74歳で高く18～44歳で低い。
- ・ 男性25～34歳は「払う意義はわかる」も低い。



■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 8.税が自分の生活に還元されていると感じる公共サービス 【実感するもの】

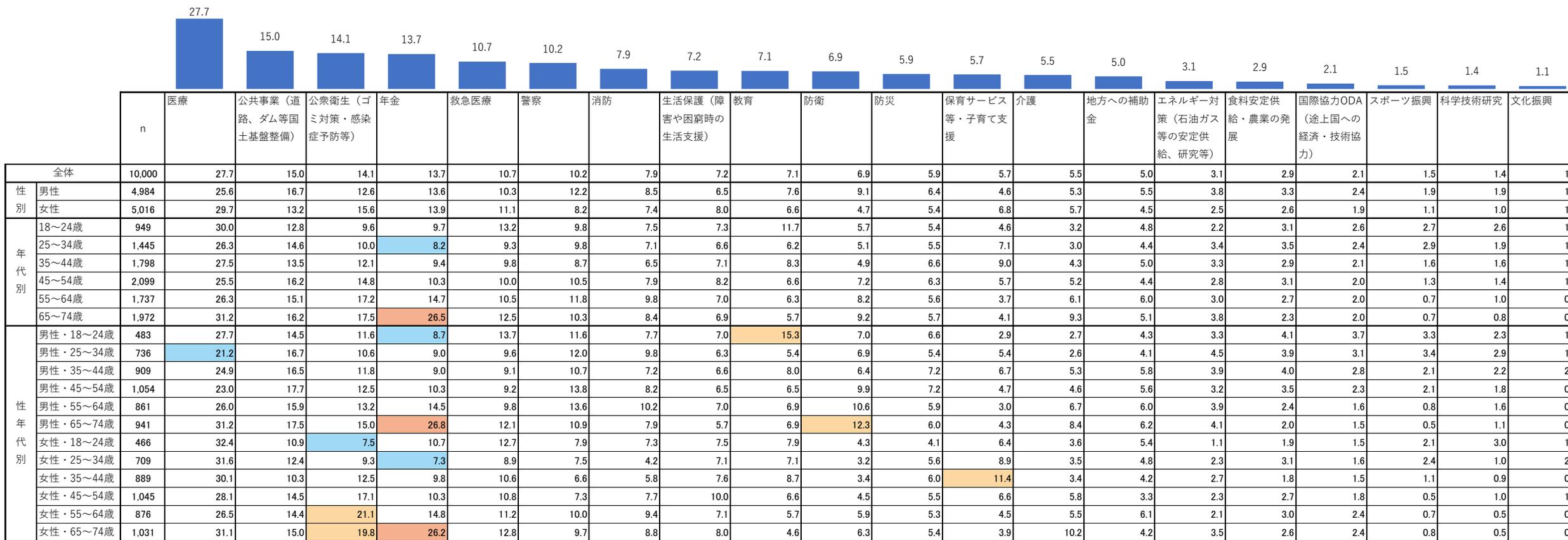
Q16 以下の項目の中から、税が自分の生活に還元されていると感じる公共サービスをすべてお選びください。（お答えはいくつでも） また、そのなかからあなたが強く実感するものを3つまでお選びください。（お答えは3つまで）

・ 税が生活に還元されていると実感する公共サービスは、全体的に65～74歳で高く25～44歳で低い。



3-3性・年齢別の詳細 8.税が自分の生活に還元されていると感じる公共サービス 【強く実感するもの】

- 強く実感するもので、性年代によって顕著な差が見られるのは「年金」だけで、「年金」は65～74歳で高い。

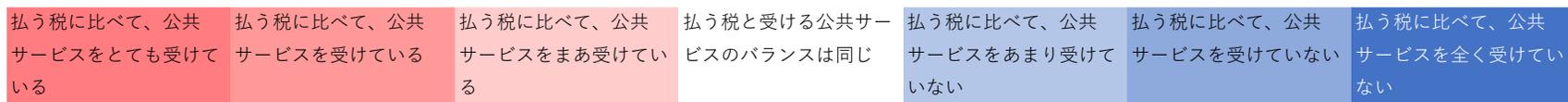


■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 9.払う税と受ける公共サービスのバランス感覚

Q17 支払われた税により、Q16の公共サービスは賄われています。あなたの感覚に近いものをお選びください。（お答えは1つ）

- 払う税と受ける公共サービスのバランス感覚は、いずれの性年代も「（払う税に比べて公共サービスを）受けていない計」が「受けている・バランスは同じ計」を上回っている。
- 年代別では55～64歳で差が大きく、特に女性55～64歳で差が大きい。



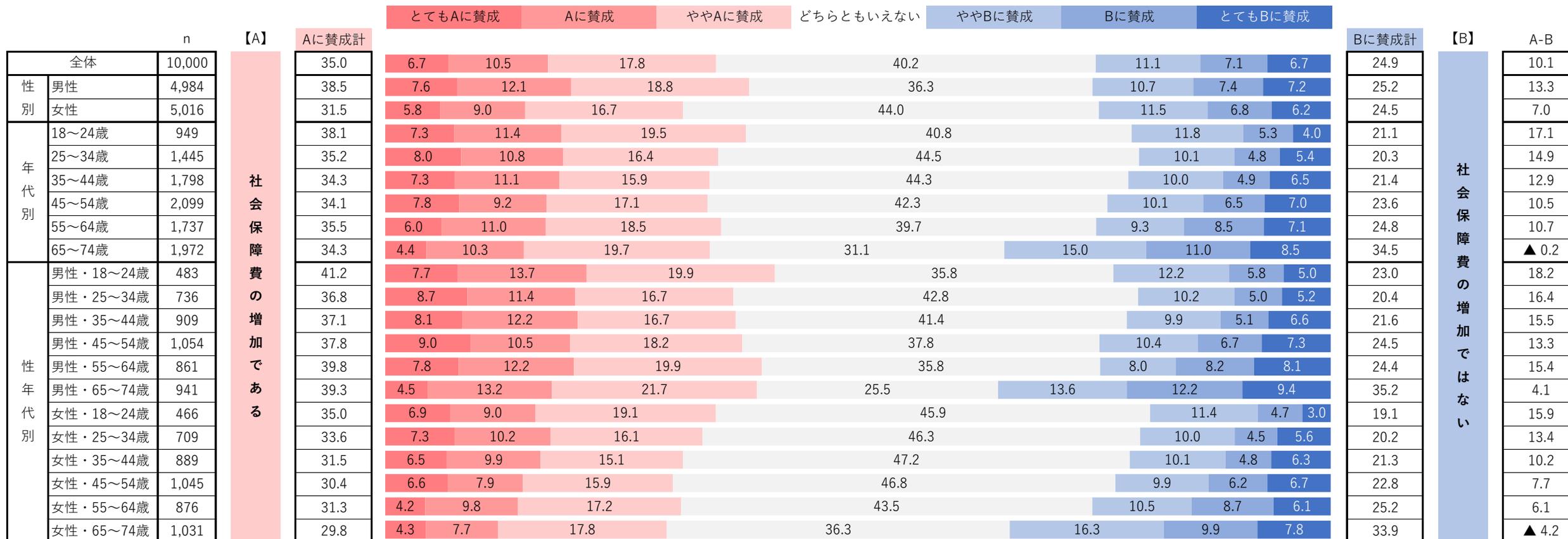
		n	払う税と受ける公共サービスのバランス感覚							a.公共サービスを受けている・バランスは同じ計	b.公共サービスを受けていない計	b-a
全体		10,000	2.4	4.4	10.9	19.5	31.2	15.5	16.1	17.7	66.2	48.4
性別	男性	4,984	2.9	5.1	12.0	21.0	28.0	14.8	16.2	19.9	63.8	43.9
	女性	5,016	2.0	3.7	9.9	18.1	34.3	16.1	16.0	15.6	68.4	52.9
年代別	18～24歳	949	4.1	5.4	13.3	25.9	26.8	11.7	12.9	22.8	64.4	41.6
	25～34歳	1,445	2.8	3.9	9.6	21.5	25.5	14.9	21.7	16.3	61.9	45.6
	35～44歳	1,798	2.6	4.4	9.5	19.5	26.9	15.2	21.9	16.5	61.6	45.1
	45～54歳	2,099	1.9	3.6	9.5	17.0	32.5	16.5	18.9	15.0	66.1	51.1
	55～64歳	1,737	2.1	3.6	8.9	16.2	35.9	19.1	14.2	14.6	71.2	56.6
	65～74歳	1,972	2.0	5.8	15.4	20.5	35.7	13.6	6.9	23.2	69.9	46.7
性年代別	男性・18～24歳	483	6.0	6.6	13.0	26.7	24.6	10.4	12.6	25.7	61.7	36.0
	男性・25～34歳	736	3.4	5.2	9.9	25.3	21.6	12.8	21.9	18.5	59.6	41.2
	男性・35～44歳	909	3.2	5.6	10.7	21.9	21.3	14.9	22.4	19.5	58.1	38.6
	男性・45～54歳	1,054	2.2	3.5	10.2	18.9	29.2	17.0	19.0	15.9	65.1	49.1
	男性・55～64歳	861	2.3	4.2	10.8	17.2	32.8	18.0	14.8	17.3	67.9	50.6
	男性・65～74歳	941	1.9	6.3	17.2	19.6	35.7	13.4	6.0	25.4	68.7	43.3
	女性・18～24歳	466	2.1	4.1	13.5	25.1	29.0	13.1	13.1	19.7	67.2	47.4
	女性・25～34歳	709	2.3	2.5	9.3	17.6	29.6	17.1	21.6	14.1	64.3	50.2
	女性・35～44歳	889	2.0	3.1	8.3	17.0	32.5	15.6	21.4	13.5	65.1	51.6
	女性・45～54歳	1,045	1.5	3.7	8.8	15.1	35.9	16.1	18.9	14.1	67.1	53.0
	女性・55～64歳	876	1.9	3.0	7.0	15.3	20.2	20.2	13.7	11.9	74.4	62.6
	女性・65～74歳	1,031	2.0	5.4	13.7	21.4	35.7	13.9	7.9	21.1	71.0	49.9

※1%未満の値は非表示

3-3性・年齢別の詳細 10.財政や税に関する意見 【日本の財政が苦しくなった主な理由】

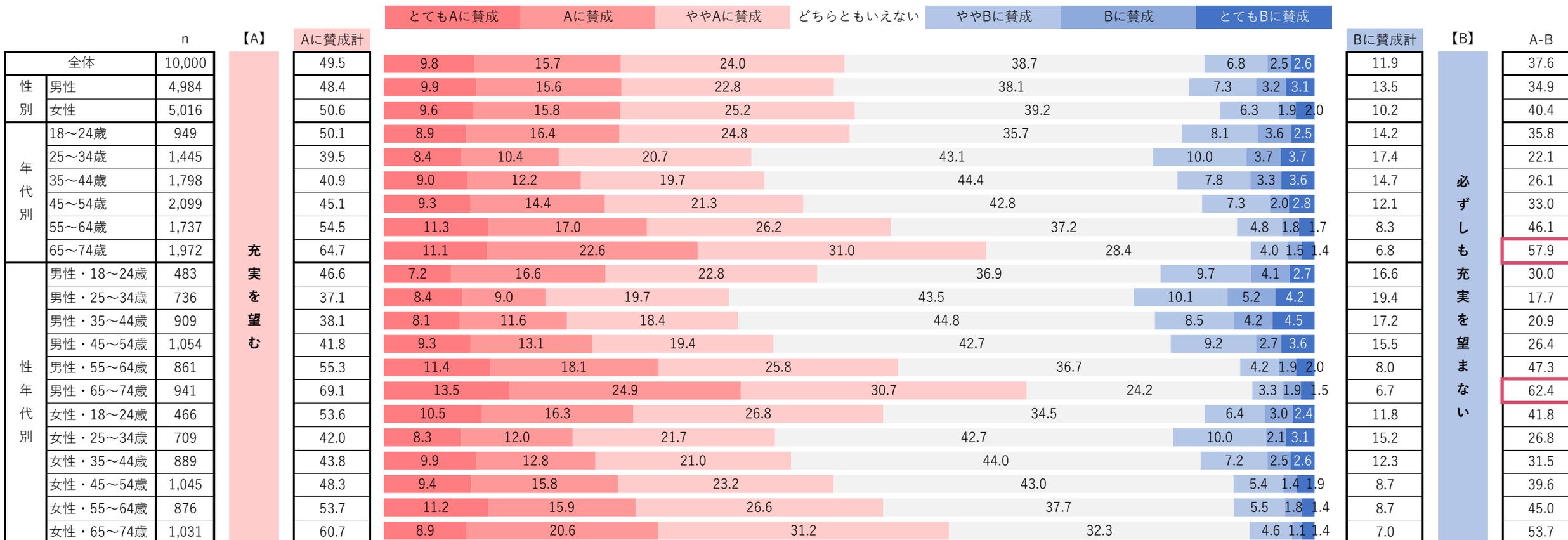
Q18 以下の5つの記述について、あなたの意見に近いものを選んでください。（お答えはそれぞれ1つ）

- 日本の財政が苦しくなった主な理由は、女性65～74歳以外の性年代で「社会保障費の増加である」が「社会保障費の増加ではない」を上回っている。

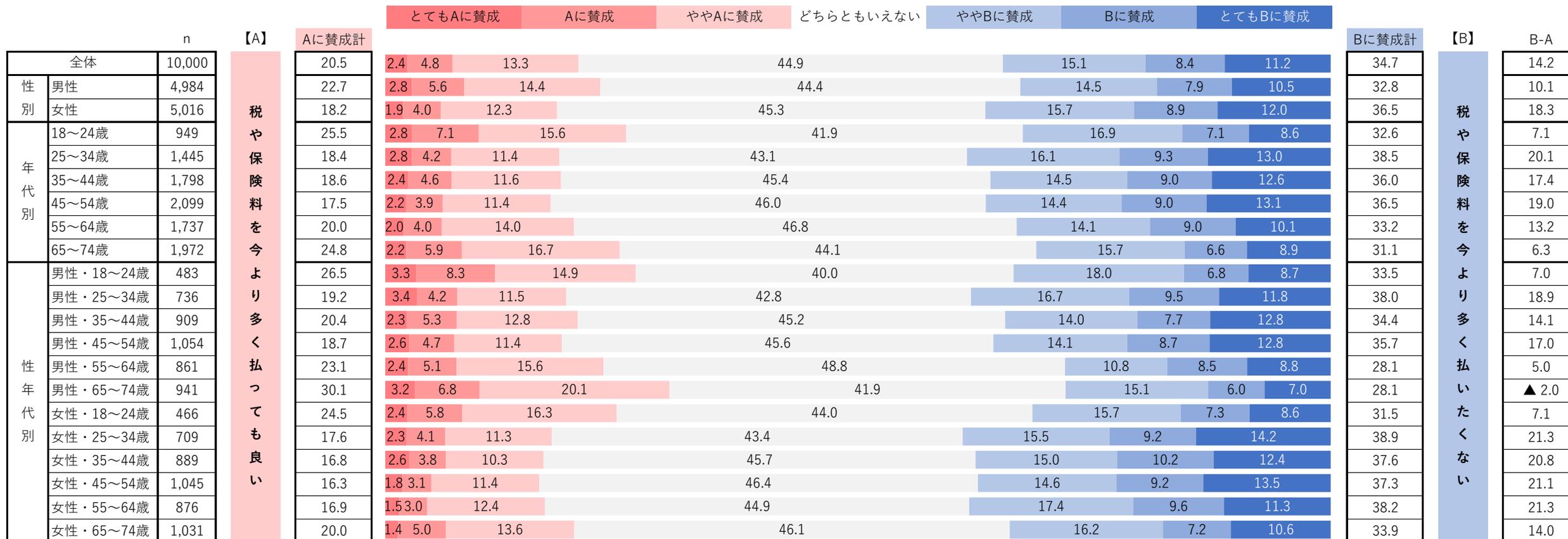


3-3性・年齢別の詳細 10.財政や税に関する意見 【社会保障制度の充実】

- 社会保障制度の充実は、いずれの性年代も「充実を望む」が「必ずしも充実を望まない」を大きく上回っている。
- 年代別では65～74歳で差が大きく、特に男性65～74歳で差が大きい。

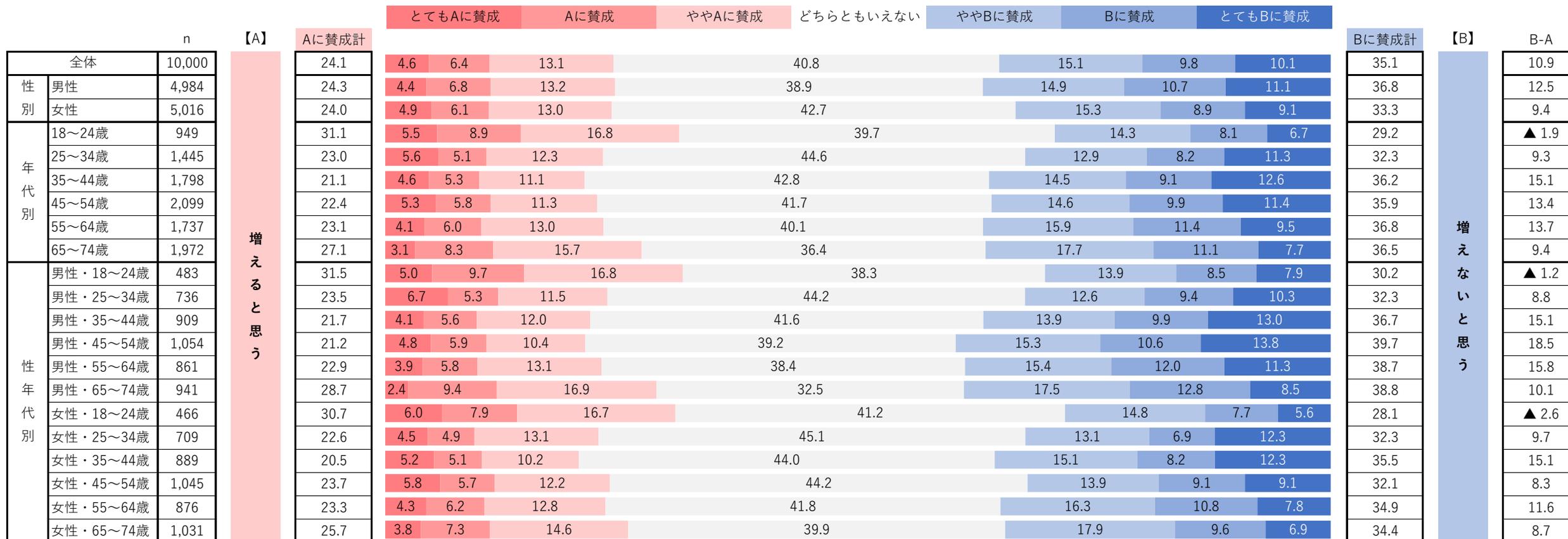


- ・ 社会保障か減税かについては、男性65～74歳以外の性年代で「税や保険料を今より多く払いたくない」が高く、社会保障の充実よりも減税を望んでいる。



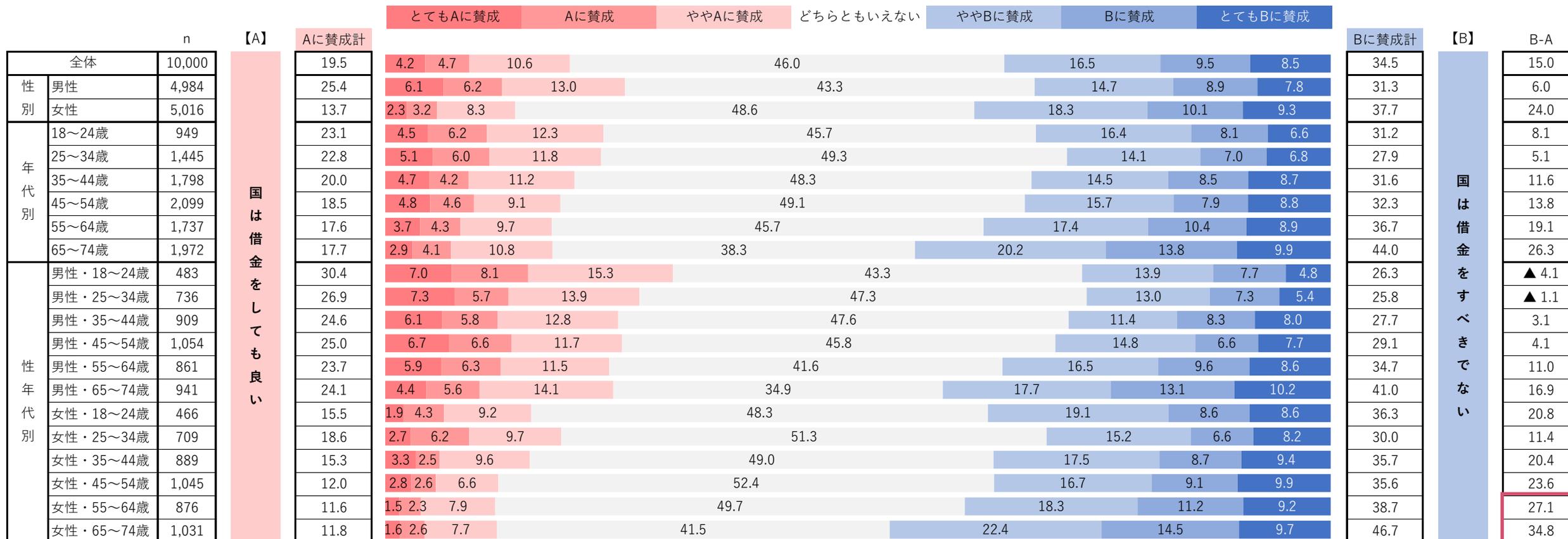
3-3性・年齢別の詳細 10.財政や税に関する意見 【経済成長によって税収は増えると思うか】

・ 経済成長によって税収は増えると思うかについては、男女18～24歳以外の性年代で「増えないと思う」が「増えると思う」を上回っている。



3-3性・年齢別の詳細 10.財政や税に関する意見 【財源を補うために国は借金をしても良いか】

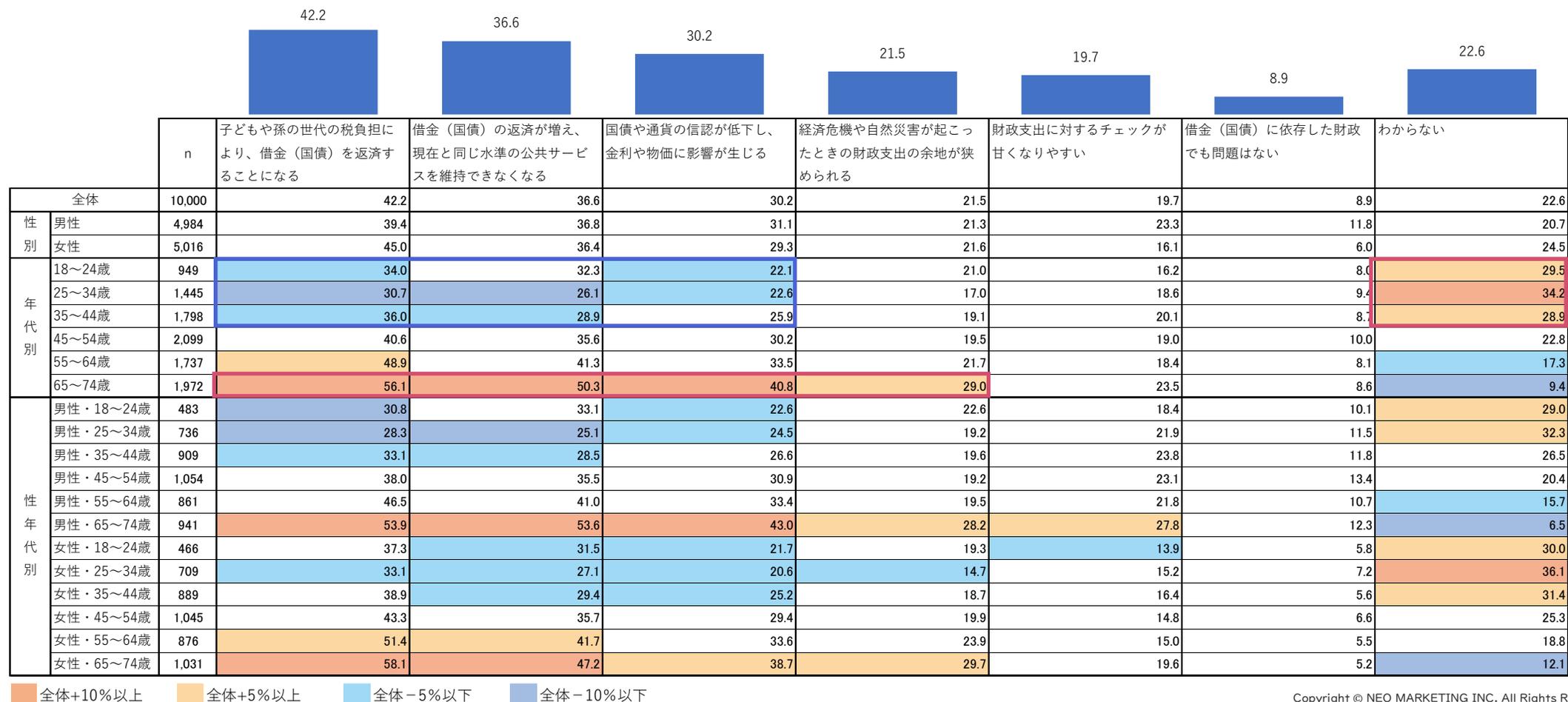
- 財源を補うために国は借金をしても良いかについては、男性18～34歳以外の性年代で「国は借金をすべきでない」が「国は借金をしても良い」を上回っている。
- 女性55～74歳でその差が大きい。



3-3性・年齢別の詳細 11.借金に依存した財政を続けた場合に将来生じると思われる問題

Q19 借金（国債）に依存した財政を続けた場合、将来、どのようなことが問題になりそうだと思いますか。（お答えはいくつでも）

- 借金に依存した財政を続けた場合に将来生じると思われる問題では、「子どもや孫の世代の税負担により、借金（国債）を返済することになる」をはじめ上位にあがっている項目は65～74歳で高く44歳以下で低い。
- また、44歳以下は「わからない」が高い。



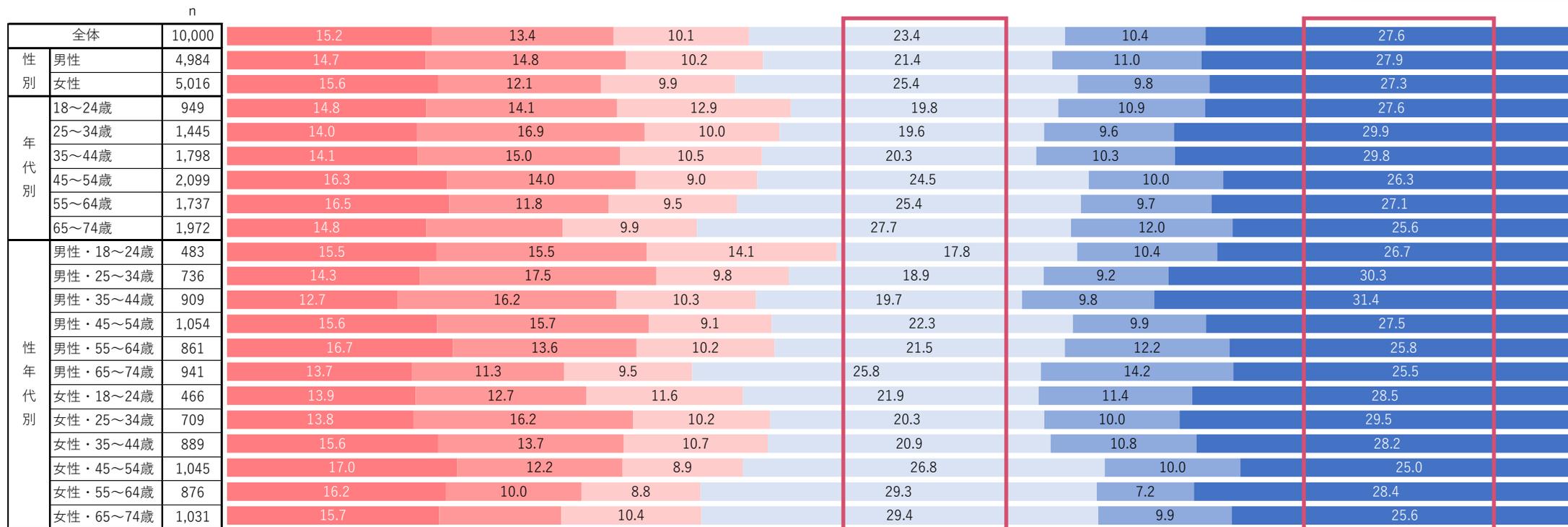
■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 12.今後の財政のあり方に対する考え方

Q20 今後の財政のあり方について、あなたの考え方にもっとも近いものを選んでください。（お答えは1つ）

- 今後の財政のあり方に対する考え方は、いずれの性年代も「財政状況をチェックするための客観的な指標に基づく財政運営を導入すべきだ」と「税や保険料の負担を増やさずに、社会保障の水準も含めて、歳出削減を行うことを優先すべきだ」が高い。

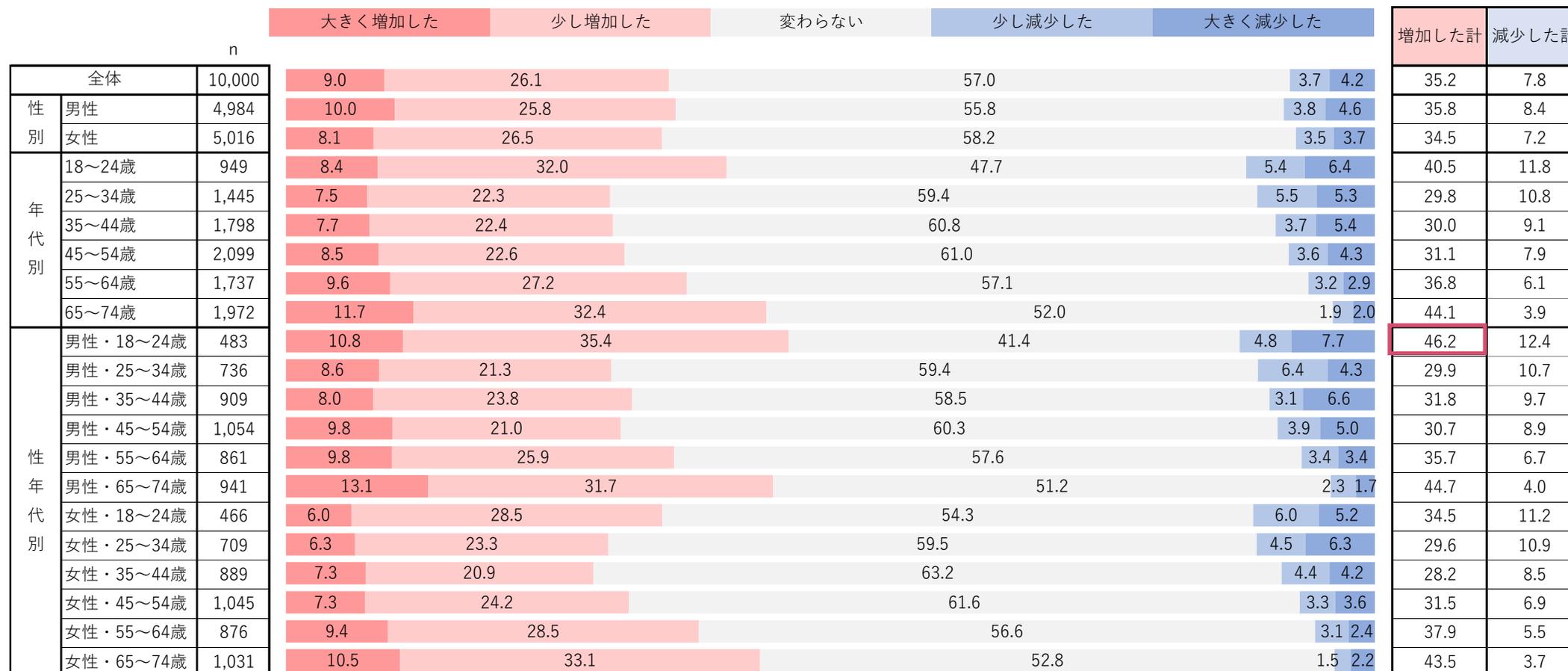
財政収支が赤字だから、財政による支援は、あくまでも必要な人に絞って届くようにすべきだ	個々の税の負担能力に応じて税を負担しているのだから、国債をさらに増加させてでも、財政による支援は、全員に公平に届くようにすべきだ	国債の増加は子どもや孫の世代に負担を先送りすることになるため、税や保険料の負担を増やして、財政による支援を手厚くすべきだ	税や保険料の負担を増やさずに、社会保障の水準も含めて、歳出削減を行うことを優先すべきだ	税や保険料の見直し、歳出削減、国債の増発を行わなくても、成長戦略に重点をおいて増収を増やすことで、財政状況は改善するはずだ	財政状況をチェックするための客観的な指標に基づく財政運営を導入すべきだ
--	--	--	---	---	-------------------------------------



3-3性・年齢別の詳細 13.この1年間での日本の財政への興味・関心度合いの変化

Q21 この1年間で、日本の財政への興味・関心の度合いに変化はありましたか。（お答えは1つ）

- この1年間での日本の財政への興味・関心度合いの変化は、いずれの性年代も「変わらない」が高いが、男性18～24歳は「増加した計」の方が高く、全体との比較でも「増加した計」が高い。

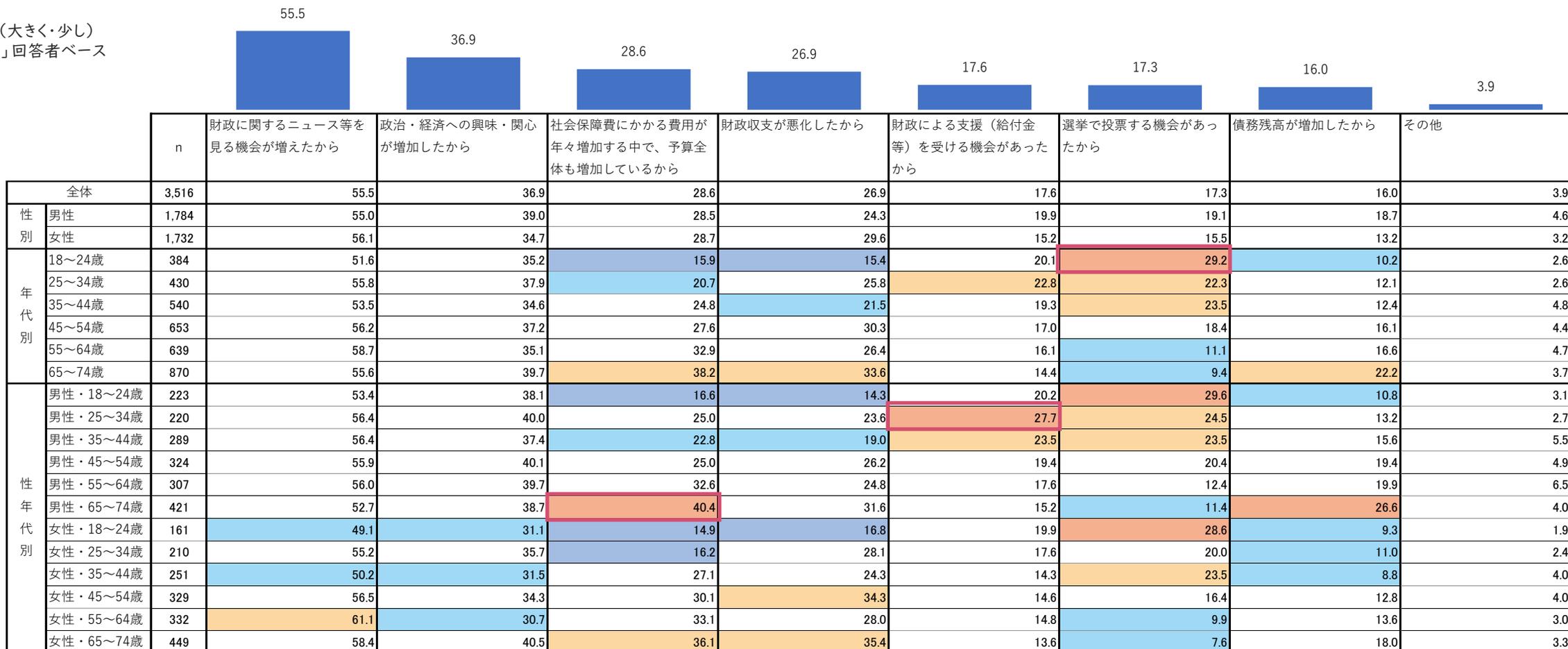


3-3性・年齢別の詳細 14.日本の財政への興味・関心が増加した理由

Q22 日本の財政への興味・関心が大きく増加した／少し増加した理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

- 日本の財政への興味・関心が増加した理由は、全体との比較で男性65～74歳は「社会保障費にかかる費用が年々増加する中で、予算全体も増加しているから」が、男性25～34歳は「財政による支援（給付金等）を受ける機会があったから」が高い。
- また、年代別では18～24歳は「選挙で投票する機会があったから」が高い。

Q21で「(大きく・少し)増加した」回答者ベース



■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 15.日本の財政への興味・関心が減少した理由

Q23 日本の財政への興味・関心が大きく減少した／少し減少した理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

- 日本の財政への興味・関心が減少した理由は、全体との比較で女性65～74歳は「政治・経済への興味・関心が薄れたから」が高く、男性18～24歳と女性25～34歳は「財政が悪くなっても、自分の生活には関係ないと思うから」が高い。

Q21で「(大きく・少し)減少した」回答者ベース



		n	政治・経済への興味・関心が薄れたから	財政が悪くなっても、自分の生活には関係ないと思うから	社会保障にかかる費用が年々増加している中、財政再建は無理だと思うから	財政に関するニュース等を見る機会が減ったから	財政問題より、社会保障(医療、年金、介護等)の更なる充実の方が重要だと思うから	財政収支が悪化した状況が長く続いていても、日本国債がデフォルトしていないから	財政問題より、新型コロナウイルス感染症対策や経済対策の方が重要だと思うから	その他
全体		780	26.7	24.6	22.9	15.4	14.7	14.4	13.7	5.6
性別	男性	417	29.0	26.9	21.3	15.3	14.1	13.9	13.4	4.6
	女性	363	24.0	22.0	24.8	15.4	15.4	14.9	14.0	6.9
年代別	18～24歳	112	18.8	33.9	18.8	15.2	9.8	14.3	13.4	4.5
	25～34歳	156	23.1	32.1	22.4	20.5	10.9	13.5	4.5	3.2
	35～44歳	164	26.8	29.3	26.2	16.5	16.5	17.1	13.4	2.4
	45～54歳	166	30.7	17.5	22.9	13.9	12.7	15.1	16.3	6.6
	55～64歳	106	26.4	19.8	21.7	15.1	21.7	14.2	17.9	7.5
	65～74歳	76	36.8	7.9	25.0	6.6	21.1	9.2	22.4	14.5
性年代別	男性・18～24歳	60	23.3	35.0	15.0	11.7	11.7	11.7	18.3	5.0
	男性・25～34歳	79	27.8	29.1	25.3	21.5	13.9	12.7	5.1	3.8
	男性・35～44歳	88	28.4	33.0	21.6	15.9	17.0	15.9	14.8	1.1
	男性・45～54歳	94	34.0	21.3	21.3	17.0	8.5	14.9	11.7	4.3
	男性・55～64歳	58	31.0	25.9	17.2	13.8	24.1	15.5	15.5	1.7
	男性・65～74歳	38	26.3	10.5	28.9	5.3	10.5	10.5	21.1	18.4
	女性・18～24歳	52	13.5	32.7	23.1	19.2	7.7	17.3	7.7	3.8
	女性・25～34歳	77	18.2	35.1	19.5	19.5	7.8	14.3	3.9	2.6
	女性・35～44歳	76	25.0	25.0	31.6	17.1	15.8	18.4	11.8	3.9
	女性・45～54歳	72	26.4	12.5	25.0	9.7	18.1	15.3	22.2	9.7
	女性・55～64歳	48	20.8	12.5	27.1	16.7	18.8	12.5	20.8	14.6
	女性・65～74歳	38	47.4	5.3	21.1	7.9	31.6	7.9	23.7	10.5

■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 16.利用している情報源 【普段利用する情報源】

Q24_1 あなたが普段利用する情報源をすべてお選びください。（お答えはいくつでも）その中で、「政治・経済、財政や社会保障等」について、利用する情報源をすべてお選びください。（お答えはいくつでも）また、その中で、「政治・経済、財政や社会保障等」について、最も利用する情報源をお選びください。（お答えは1つ）

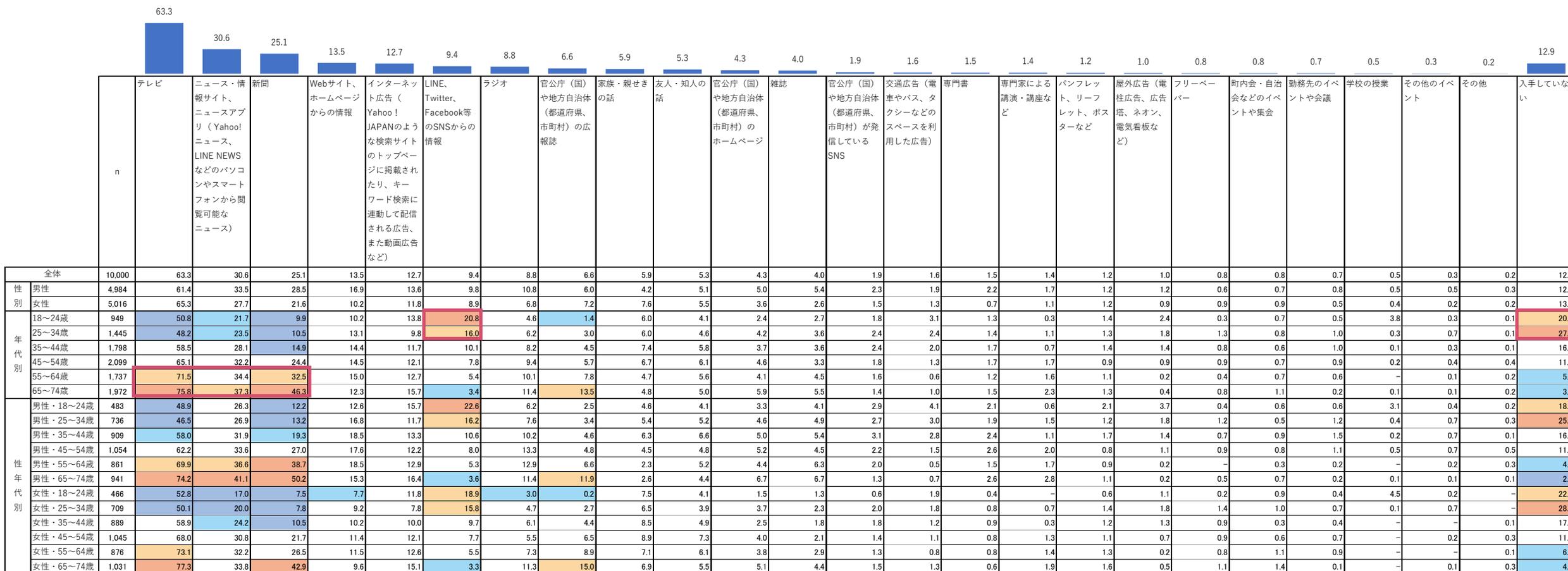
- 普段利用する情報源は、全体との比較で55～74歳は「テレビ」「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」「新聞」が高く、18～34歳は「LINE、Twitter、Facebook等のSNSからの情報」が高い。また、65～74歳は「官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）の広報誌」も高い。
- 「テレビ」と「ニュースサイト」は全年代で利用率が高いが、「新聞」と「SNS」は高齢層と若年層で大きく異なる。

		78.7	46.5	33.4	32.9	31.9	23.6	18.9	18.7	17.7	11.4	10.3	9.3	7.8	7.6	6.6	6.1	3.4	3.2	3.1	2.8	2.7	1.1	1.1	0.3	6.9	
		テレビ	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ（Yahoo! ニュース、LINE NEWSなどのパソコンやスマートフォンから閲覧可能なニュース）	新聞	インターネット広告（Yahoo! JAPANのような検索サイトのトップページに掲載されたり、キーワード検索に連動して配信される広告、また動画広告など）	Webサイト、ホームページからの情報	LINE、Twitter、Facebook等のSNSからの情報	友人・知人の話	家族・親せきの話	ラジオ	官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）の広報誌	雑誌	交通広告（電車やバス、タクシーなどのスペースを利用した広告）	屋外広告（電柱広告、広告塔、ネオン、電気看板など）	官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）のホームページ	フリーペーパー	パンフレット、リーフレット、ポスターなど	官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）が発信しているSNS	専門書	町内会・自治会などのイベントや集会	勤務先のイベントや会議	専門家による講演・講座など	学校の授業	その他のイベント	その他	入手していない	
全体	10,000	78.7	46.5	33.4	32.9	31.9	23.6	18.9	18.7	17.7	11.4	10.3	9.3	7.8	7.6	6.6	6.1	3.4	3.2	3.1	2.8	2.7	1.1	1.1	0.3	6.9	
性別	男性	4,984	76.2	46.8	36.8	32.2	34.0	21.1	15.7	13.6	20.3	10.5	11.3	9.1	7.6	8.5	4.5	5.3	3.7	4.6	2.6	3.5	3.2	1.1	1.3	0.3	7.4
	女性	5,016	81.3	46.2	30.0	33.5	29.8	26.0	22.1	23.7	15.1	12.2	9.3	9.6	7.9	6.8	8.7	6.9	3.1	1.8	3.5	2.0	2.3	1.1	0.9	0.2	6.4
年代別	18～24歳	949	65.6	32.8	15.1	31.5	24.0	46.3	18.2	9.3	2.8	6.2	13.4	8.6	3.8	1.8	3.4	3.2	3.0	1.6	2.0	1.3	8.3	1.4	0.2	11.8	
	25～34歳	1,445	64.2	36.6	15.8	27.3	32.2	36.7	18.0	19.2	11.7	9.8	11.7	9.7	6.8	5.7	4.9	4.0	3.9	2.7	3.5	2.2	0.9	1.5	0.3	15.3	
	35～44歳	1,798	73.7	42.5	21.0	29.3	33.5	26.8	20.1	21.6	16.2	7.2	9.1	9.9	8.6	6.3	6.5	5.9	4.2	3.3	2.5	3.7	2.2	0.4	1.4	0.2	9.8
	45～54歳	2,099	79.9	48.7	32.2	32.5	34.2	20.8	20.2	19.9	19.9	8.9	10.1	9.5	8.1	8.0	6.9	6.6	3.4	3.4	2.6	3.8	2.9	0.5	1.3	0.4	6.0
	55～64歳	1,737	87.2	52.7	43.8	35.8	34.1	15.7	16.2	22.2	14.3	34.1	12.0	7.9	7.8	8.1	6.1	2.9	3.2	3.2	2.4	2.8	0.2	0.7	0.3	3.2	2.2
	65～74歳	1,972	91.6	56.2	58.4	38.6	29.7	9.8	18.0	16.6	21.3	23.6	12.3	6.2	5.4	10.9	8.1	8.0	2.8	2.5	4.9	1.0	4.1	0.1	0.6	0.2	0.8
性別年代別	男性・18～24歳	483	63.6	35.8	17.2	30.8	25.3	41.0	13.9	14.7	10.1	4.1	6.6	13.5	9.5	4.6	2.3	4.1	4.6	4.6	1.9	2.7	2.1	7.2	1.4	0.4	11.8
	男性・25～34歳	736	61.7	38.7	19.6	27.4	35.1	32.5	15.9	15.6	14.1	6.1	11.3	11.7	9.8	7.2	5.2	4.8	4.6	5.3	2.0	3.8	2.6	0.8	1.6	0.4	14.5
	男性・35～44歳	909	69.9	43.0	24.8	29.2	36.2	24.3	17.8	16.6	19.5	7.9	11.0	11.3	9.8	7.9	4.6	5.6	4.5	4.5	2.6	5.3	2.9	0.4	2.0	0.2	11.0
	男性・45～54歳	1,054	76.7	47.5	34.6	32.1	35.9	19.4	16.3	15.8	23.9	7.4	11.0	9.7	8.0	8.5	4.3	5.4	3.9	4.6	2.8	5.1	3.0	0.8	1.5	0.5	7.0
	男性・55～64歳	861	85.5	52.1	48.8	33.9	35.8	12.2	15.8	9.4	25.8	11.8	12.7	5.9	6.2	8.5	5.3	5.0	2.6	4.9	2.7	2.3	3.3	0.3	0.8	0.5	2.7
	男性・65～74歳	941	91.2	57.0	63.2	38.2	32.0	8.9	13.7	9.8	22.3	21.8	13.0	4.8	3.7	12.1	4.7	6.2	2.3	4.0	2.9	1.3	4.7	0.1	0.5	0.1	0.9
	女性・18～24歳	466	67.8	29.6	12.9	32.2	22.7	51.7	19.3	21.9	8.4	1.5	5.8	13.3	7.7	3.0	1.3	2.6	1.7	1.3	1.3	1.3	0.4	9.4	1.3	-	11.8
	女性・25～34歳	709	66.9	34.4	12.0	27.1	29.3	41.2	20.2	23.0	9.2	4.8	8.3	11.7	9.6	6.3	6.3	5.1	3.4	2.4	3.4	3.2	1.8	1.0	1.4	0.1	16.1
	女性・35～44歳	889	77.7	42.1	17.2	29.4	30.8	29.4	22.4	26.7	12.8	6.5	7.2	8.4	7.3	4.6	8.4	6.2	3.8	2.0	2.4	2.1	1.5	0.3	0.8	0.1	8.5
	女性・45～54歳	1,045	83.2	50.0	29.8	33.0	32.4	22.3	24.2	23.9	15.8	10.3	9.2	9.3	8.1	7.4	9.6	7.8	2.9	2.1	2.4	2.4	2.7	0.2	1.1	0.3	5.0
女性・55～64歳	876	88.8	53.2	38.8	37.6	32.4	19.2	22.4	22.9	18.6	16.7	11.3	9.8	8.3	7.2	10.8	7.2	3.2	1.6	3.8	2.4	2.4	-	0.7	0.2	1.7	
女性・65～74歳	1,031	91.9	55.6	54.0	39.1	27.5	10.6	21.9	22.9	20.5	25.2	11.7	7.5	6.9	9.7	11.2	9.6	3.2	1.2	6.7	0.8	3.5	-	0.6	0.3	0.8	

■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 16.利用している情報源 【政治・経済、財政や社会保障等で利用する情報源】

- 政治・経済、財政や社会保障等で利用する情報源は、普段利用する情報源と同様の傾向で、「テレビ」と「ニュースサイト」は全年代で利用率が高いが、「新聞」と「SNS」は高齢層と若年層で大きく異なる。
- 55～74歳は「テレビ」「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」「新聞」が高く、18～34歳は「LINE、Twitter、Facebook等のSNSからの情報」が高い。また、18～34歳は「入手していない」が高い。



■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 16.利用している情報源 【政治・経済、財政や社会保障等で最も利用する情報源】

- 政治・経済、財政や社会保障等で最も利用する情報源は、全体との比較で女性55～64歳は「テレビ」が高く、男性65～74歳は「新聞」が高い。

		テレビ	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ（Yahoo! ニュース、LINE NEWS などのパソコンやスマートフォンから閲覧可能なニュース）	新聞	インターネット広告（Yahoo! JAPANのような検索サイトのトップページに掲載されたり、キーワード検索に連動して配信される広告、また動画広告など）	Webサイト、ホームページからの情報	LINE、Twitter、Facebook等のSNSからの情報	ラジオ	官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）の広報誌	友人・知人の話	家族・親せきの話	官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）のホームページ	雑誌	交通広告（電車やバス、タクシーなどのスペースを利用した広告）	専門家による講演・講座など	専門書	屋外広告（電柱広告、広告塔、ネオン、電気看板など）	官公庁（国）や地方自治体（都道府県、市町村）が発信しているSNS	学校の授業	勤務先のイベントや会議	町内会・自治会などのイベントや集会	その他のイベント	フリーバー	パンフレット、リーフレット、ポスターなど	その他	入手していない		
全体		10,000	43.9	13.7	10.1	4.3	4.0	3.8	1.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	12.9		
性別	男性	4,984	39.2	14.9	11.6	5.0	5.3	3.9	2.0	0.6	0.7	0.4	0.7	0.9	0.4	0.3	0.5	0.2	0.2	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	12.2	
	女性	5,016	48.5	12.4	8.7	3.6	2.6	3.8	1.5	1.0	0.7	1.0	0.6	0.3	0.4	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	-	0.1	13.5	
年代別	18～24歳	949	37.2	10.2	4.1	5.3	2.4	11.7	1.5	0.3	0.8	0.7	0.3	1.1	0.8	-	0.3	0.5	0.3	1.6	0.1	0.2	0.1	-	-	-	20.3	
	25～34歳	1,445	35.3	10.3	3.3	3.5	3.5	7.9	1.9	0.2	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	-	0.6	0.4	0.3	0.1	0.3	0.1	0.2	0.2	-	0.1	27.0	
	35～44歳	1,798	42.3	14.5	5.2	5.2	3.9	4.0	1.9	0.8	0.9	1.1	0.5	0.6	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	-	0.2	-	0.1	-	0.1	0.1	16.9	
	45～54歳	2,099	47.0	14.9	8.6	4.0	5.5	2.0	2.2	0.6	0.6	0.7	0.4	0.3	0.3	0.4	0.3	0.1	0.2	-	0.1	-	0.0	0.1	-	0.3	11.2	
	55～64歳	1,737	51.1	14.6	12.7	4.0	4.2	1.6	1.5	0.9	0.6	0.5	0.7	0.3	0.1	0.6	0.3	-	0.1	-	0.1	-	0.1	-	0.1	-	0.2	5.7
	65～74歳	1,972	45.1	15.0	21.8	4.3	3.3	0.8	1.4	1.5	0.5	0.3	1.0	0.6	-	0.6	0.2	-	0.1	0.1	-	0.2	-	-	0.1	0.1	3.3	
	75歳以上	1,000	43.9	13.7	10.1	4.3	4.0	3.8	1.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	12.9		
性年代別	男性・18～24歳	483	31.1	13.5	5.4	6.0	3.3	12.8	1.7	0.6	1.0	0.4	0.2	1.2	1.2	-	0.6	1.0	0.4	1.2	-	0.2	-	-	-	-	18.0	
	男性・25～34歳	736	32.6	11.5	3.4	3.9	5.0	7.6	2.3	0.4	1.0	0.7	1.1	1.4	1.0	-	0.8	0.3	0.1	-	0.7	-	0.3	0.1	-	0.3	25.5	
	男性・35～44歳	909	39.2	14.4	6.2	5.6	5.0	3.7	2.0	0.7	1.1	0.7	0.7	1.1	0.4	0.4	0.8	0.2	0.2	-	0.3	-	0.2	-	0.1	0.1	16.3	
	男性・45～54歳	1,054	41.8	16.0	9.9	4.6	7.1	2.0	3.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.1	0.3	-	0.1	-	0.1	0.1	-	0.5	11.4	
	男性・55～64歳	861	45.2	16.3	16.0	4.6	5.5	1.4	1.7	0.5	0.7	0.1	0.8	0.6	0.1	0.5	0.5	-	0.2	-	0.1	-	-	-	-	0.3	4.8	
	男性・65～74歳	941	40.4	16.5	24.1	5.4	4.3	0.9	1.1	1.0	0.5	-	1.2	1.0	-	0.4	0.3	-	0.1	0.1	-	-	-	-	0.1	0.1	2.7	
	女性・18～24歳	466	43.6	6.9	2.8	4.5	1.5	10.5	1.3	-	0.6	1.1	0.4	0.9	0.4	-	-	-	-	0.2	1.9	0.2	0.2	0.2	-	-	22.7	
	女性・25～34歳	709	38.1	9.0	3.2	3.0	2.0	8.2	1.6	-	1.0	1.3	0.8	0.6	0.7	-	0.3	0.6	0.6	0.1	-	0.1	0.1	0.3	-	-	28.5	
	女性・35～44歳	889	45.6	14.6	4.2	4.7	2.2	4.3	1.8	0.9	0.7	1.6	0.3	-	0.3	0.1	0.1	0.6	0.3	-	0.1	-	-	-	-	0.1	17.4	
	女性・45～54歳	1,045	52.2	13.8	7.4	3.4	3.8	2.0	1.4	0.9	0.9	1.0	0.5	0.3	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	-	0.2	-	0.1	-	-	0.2	11.1	
女性・55～64歳	876	56.8	13.0	9.4	3.4	3.0	1.8	1.3	1.3	0.5	0.9	0.6	0.1	0.1	0.8	0.1	-	-	-	0.1	-	-	0.1	-	0.1	6.6		
女性・65～74歳	1,031	49.5	13.6	19.7	3.2	2.4	0.8	1.6	2.0	0.5	0.6	0.9	0.2	-	0.7	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	0.1	4.0		

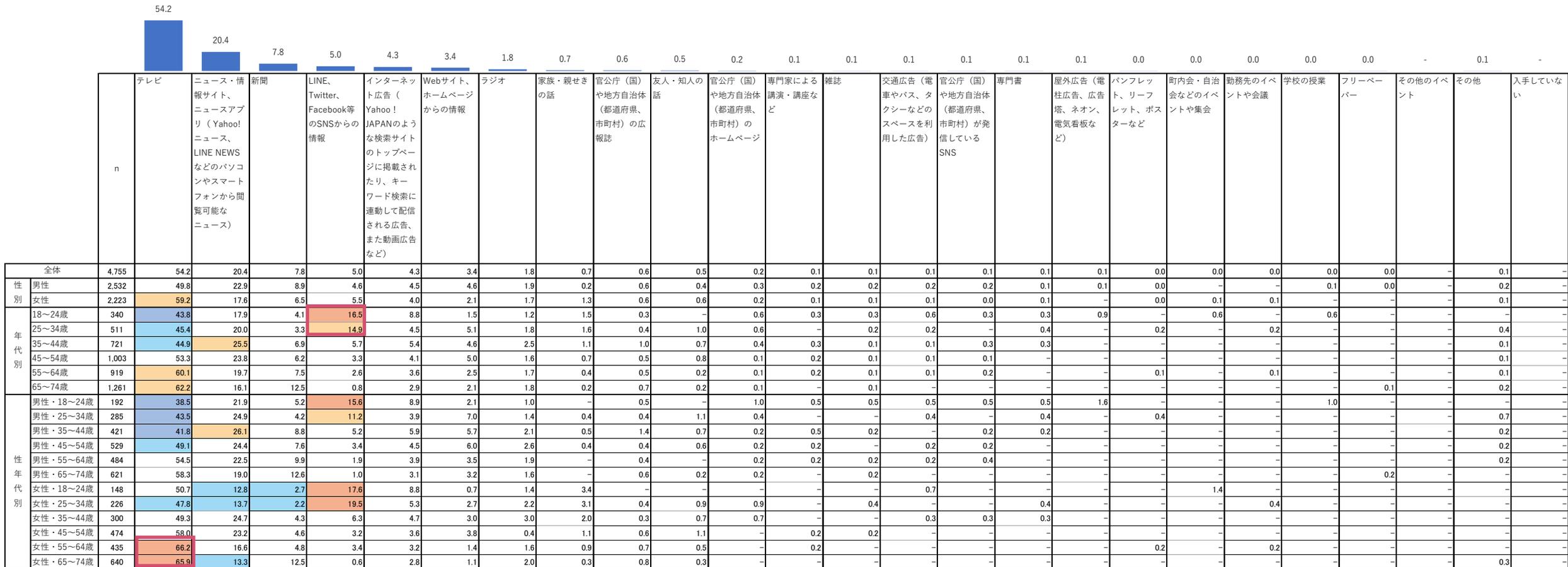
全体+10%以上
全体+5%以上
全体-5%以下
全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 17.政治・経済、財政や社会保障等で最初に知る情報源

Q24_2「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報源がある方におうかがいします。「政治・経済、財政や社会保障等」について、一番最初に知る情報源をお選びください。（お答えは1つ）また、「政治・経済、財政や社会保障等」について、より詳しく知るための情報源をお選びください。（お答えはいくつでも）

- 政治・経済、財政や社会保障等で最初に知る情報源は、全体との比較で女性55～74歳で「テレビ」が高く、年代別では18～34歳で「SNS」が高い。

「政治・経済、財政や社会保障等」に関して何らかの情報源を利用している人ベース



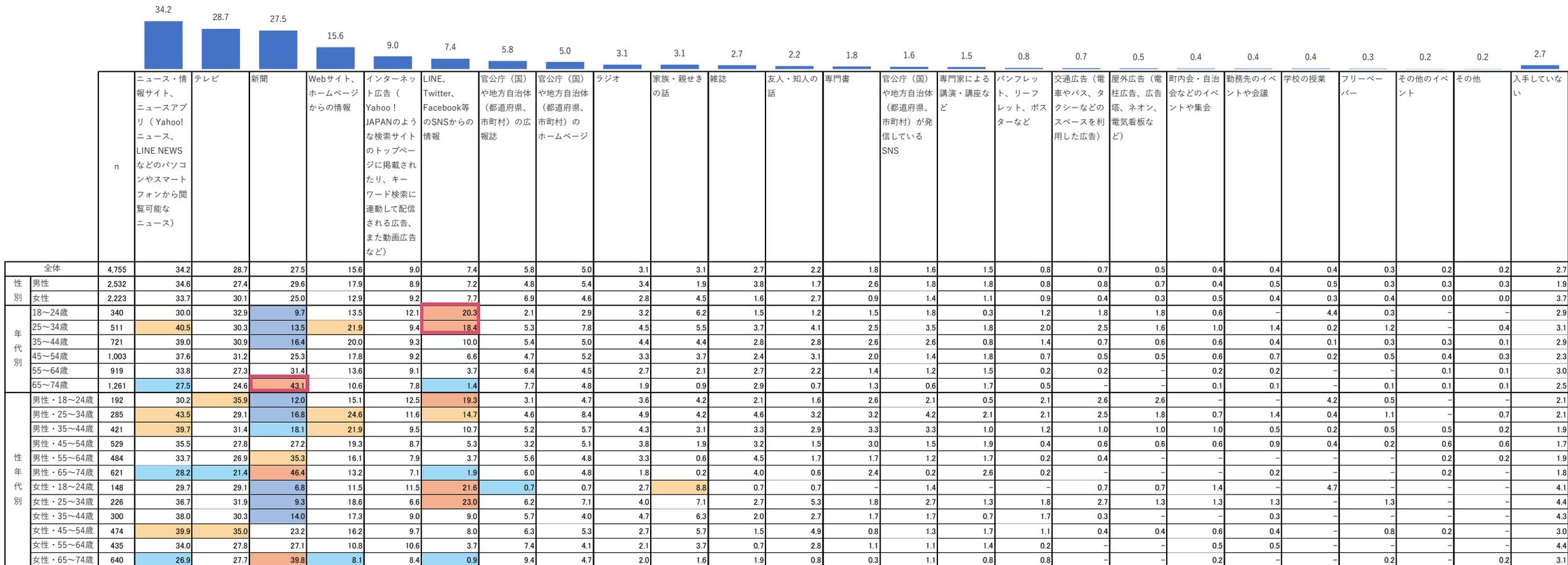
全体+10%以上 全体+5%以上 全体-5%以下 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 18.政治・経済、財政や社会保障等で詳しく知るための情報源

Q24_2「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報源がある方におうかがいします。「政治・経済、財政や社会保障等」について、一番最初に知る情報源をお選びください。（お答えは1つ）また、「政治・経済、財政や社会保障等」について、より詳しく知るための情報源をお選びください。（お答えはいくつでも）

● 政治・経済、財政や社会保障等で詳しく知るための情報源は、年代別では65～74歳で「新聞」が高く、18～34歳で「SNS」が高い。

「政治・経済、財政や社会保障等」に関して何らかの情報源を利用している人ベース



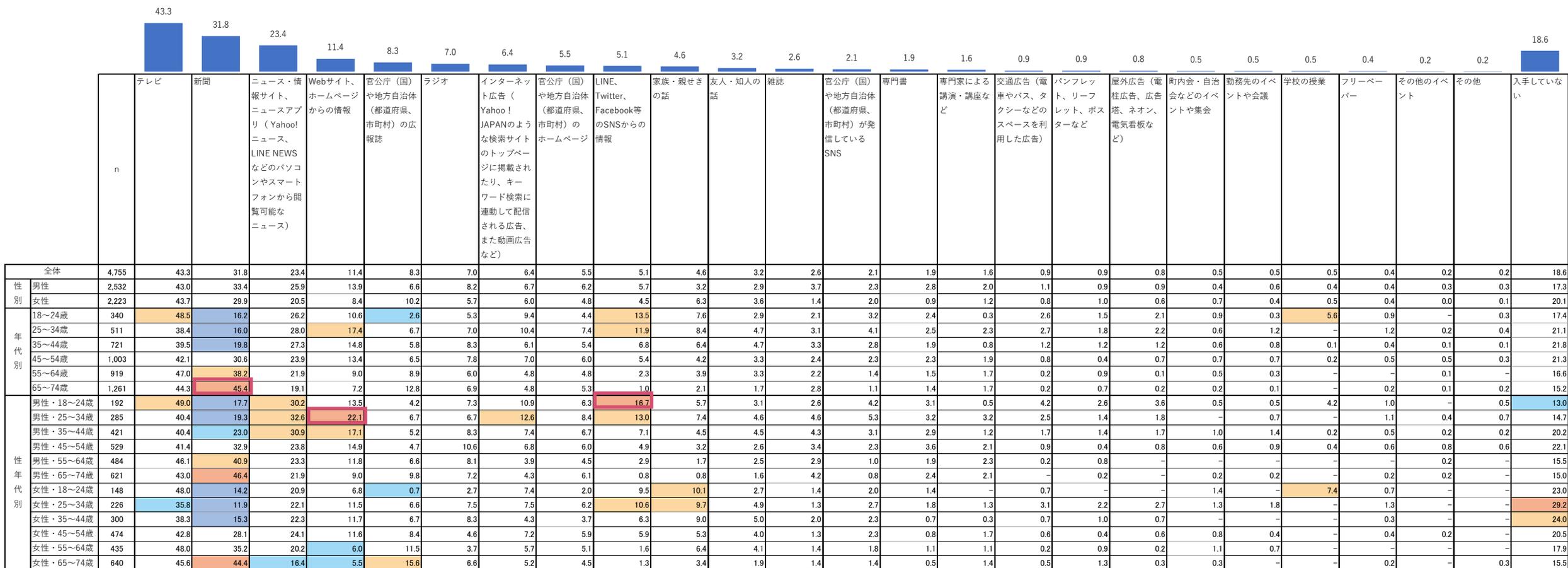
■ 全体+10%以上 ■ 全体+5%以上 ■ 全体-5%以下 ■ 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 19.政治・経済、財政や社会保障等で信用できる情報源 【信用できる】

Q24_3 引き続き、「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報源がある方におうかがいします。「政治・経済、財政や社会保障等」について、信用できる情報源をお選びください。（お答えはいくつでも）また、その中で、「政治・経済、財政や社会保障等」について、最も信用できる情報源をお選びください。（お答えは1つ）

- 政治・経済、財政や社会保障等で信用できる情報源は、年代別では65～74歳で「新聞」が高い。
- 男性25～34歳は「Webサイト、ホームページからの情報」が高く、男性18～24歳は「SNS」が高い。

「政治・経済、財政や社会保障等」に関して何らかの情報源を利用している人ベース



全体+10%以上 全体+5%以上 全体-5%以下 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 19.政治・経済、財政や社会保障等で信用できる情報源 【最も信用できる】

- 政治・経済、財政や社会保障等で最も信用できる情報源は、全体との比較で女性18~24歳は「テレビ」が高く、男性65~74歳は「新聞」が高い。

「政治・経済、財政や社会保障等」に関して何らかの情報源を利用している人ベース

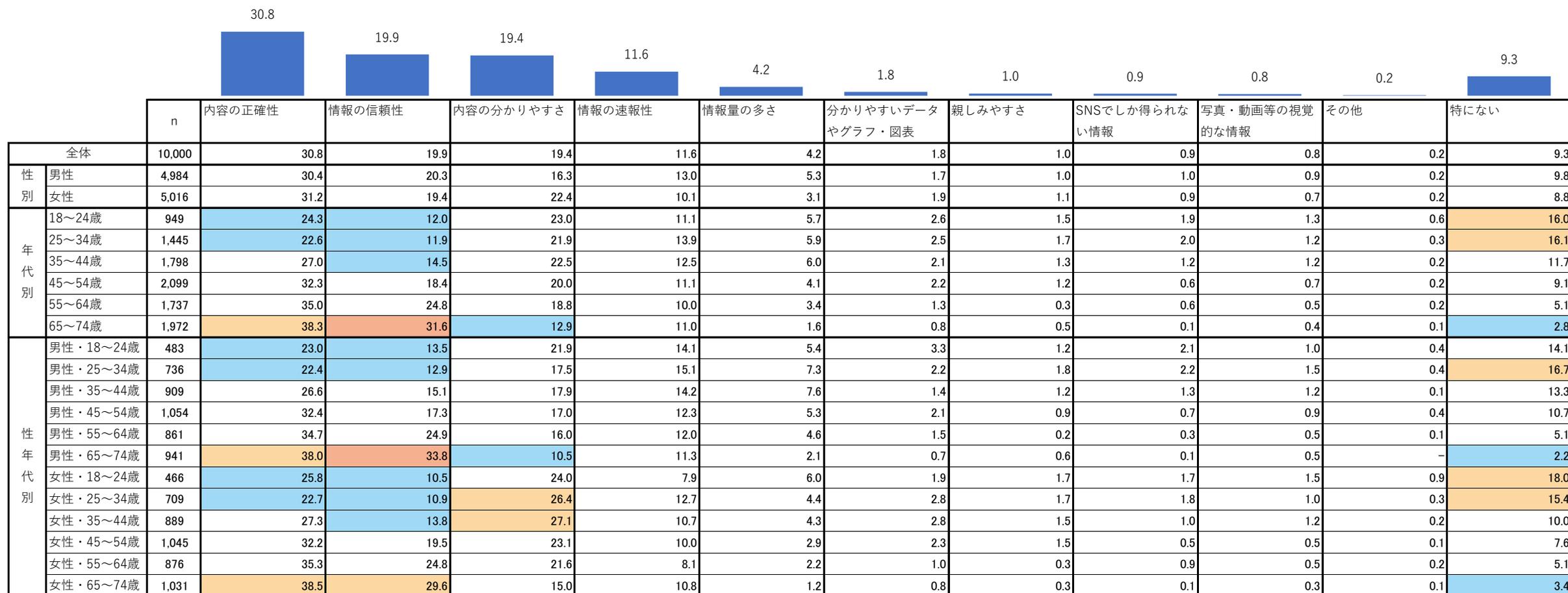
		テレビ	新聞	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ (Yahoo! ニュース、LINE NEWS などのパソコンやスマートフォンから閲覧可能なニュース)	Webサイト、ホームページからの情報	官公庁 (国) や地方自治体 (都道府県、市町村) の広報誌	官公庁 (国) や地方自治体 (都道府県、市町村) のホームページ	インターネット広告 (Yahoo! JAPANのような検索サイトのトップページに掲載されたり、キーワード検索に連動して配信される広告、また動画広告など)	LINE、Twitter、Facebook等のSNSからの情報	家族・親せきの話	ラジオ	専門書	友人・知人の話	専門家による講演・講座など	雑誌	官公庁 (国) や地方自治体 (都道府県、市町村) が発信しているSNS	学校の授業	交通広告 (電車やバス、タクシーなどのスペースを利用した広告)	パンフレット、リーフレット、ポスターなど	町内会・自治会などのイベントや集会	屋外広告 (電柱広告、広告塔、ネオン、電気看板など)	勤務先のイベントや会議	その他のイベント	フリーペーパー	その他	入手していない	
全体		4,755	25.0	21.4	10.4	5.3	3.6	2.9	2.5	2.3	2.0	1.5	1.0	0.8	0.7	0.5	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	-	0.2	18.6
性別	男性	2,532	23.0	22.4	11.7	6.4	2.4	3.2	3.0	2.2	1.1	1.9	1.6	0.9	0.8	0.8	0.4	0.2	0.3	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	-	0.2	17.3
	女性	2,223	27.4	20.3	9.0	4.1	4.9	2.7	1.9	2.4	3.1	1.1	0.4	0.7	0.4	0.0	0.5	0.4	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	-	-	0.1	20.1
年代別	18~24歳	340	33.5	8.5	11.2	3.2	0.6	2.1	4.4	6.8	2.4	1.2	2.1	0.3	0.6	0.9	3.5	0.3	-	0.6	0.3	-	-	-	-	-	17.4
	25~34歳	511	21.9	8.6	11.9	8.2	2.2	3.7	5.5	5.7	3.5	2.0	0.8	1.0	0.4	0.6	0.4	-	0.8	0.4	0.2	0.4	0.4	-	-	0.4	21.1
	35~44歳	721	24.3	11.4	14.7	7.2	2.1	2.9	2.5	2.2	3.5	2.1	1.2	1.5	0.3	0.6	0.7	-	0.3	0.3	0.1	0.3	-	-	-	0.1	21.8
	45~54歳	1,003	24.5	19.6	10.5	6.4	2.2	3.3	2.3	2.5	1.7	1.9	1.0	0.7	0.6	0.3	0.5	-	0.1	-	0.1	-	0.1	0.1	-	0.3	21.3
	55~64歳	919	27.4	27.1	8.8	4.4	4.4	2.7	1.3	1.0	1.7	1.3	0.7	0.9	1.1	0.3	0.3	-	0.1	-	-	-	0.1	-	-	-	16.6
	65~74歳	1,261	23.1	33.1	8.2	3.5	6.5	2.8	1.6	0.6	1.0	1.0	1.0	0.6	0.8	0.6	0.3	-	-	-	0.2	0.1	-	-	-	0.2	15.2
	75歳以上	192	32.3	8.3	14.1	5.2	1.0	3.1	5.2	7.3	1.0	1.0	3.1	-	0.5	1.0	0.5	2.1	0.5	-	0.5	-	-	-	-	-	13.0
性年代別	男性・18~24歳	285	20.4	10.5	15.1	9.5	1.8	3.9	6.7	5.6	2.5	2.1	1.4	1.1	0.4	1.1	0.7	-	1.1	0.4	-	-	0.7	-	-	0.7	14.7
	男性・25~34歳	421	24.0	12.6	14.3	8.3	1.2	3.8	3.6	1.9	1.7	1.7	1.9	3.6	0.5	0.7	0.7	-	0.2	0.2	0.2	0.5	-	-	-	0.2	20.2
	男性・35~44歳	529	21.7	20.2	11.0	6.6	1.5	3.2	2.5	1.9	1.1	3.4	1.7	0.6	0.4	0.6	0.4	-	0.2	-	-	-	0.2	0.2	-	0.6	22.1
	男性・45~54歳	484	24.2	29.1	10.1	6.0	3.5	2.5	1.7	0.8	0.8	1.4	0.6	1.0	1.4	0.6	0.4	-	0.2	-	-	-	-	-	-	-	15.5
	男性・55~64歳	621	20.8	35.3	9.3	4.0	3.9	2.9	1.6	0.6	0.3	1.1	1.8	0.6	1.3	1.1	0.2	-	-	0.2	-	-	-	-	-	-	15.0
	女性・18~24歳	148	35.1	8.8	7.4	0.7	-	0.7	3.4	6.1	4.1	1.4	0.7	-	-	-	1.4	5.4	-	-	1.4	-	-	-	-	-	23.0
	女性・25~34歳	226	23.9	6.2	8.0	6.6	2.7	3.5	4.0	5.8	4.9	1.8	-	0.9	0.4	-	-	-	0.4	0.4	0.4	0.4	0.9	-	-	-	29.2
	女性・35~44歳	300	24.7	9.7	15.3	5.7	3.3	1.7	1.0	2.7	6.0	2.7	0.7	1.0	-	0.3	0.7	-	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	24.0
	女性・45~54歳	474	27.6	19.0	9.9	6.1	3.0	3.4	2.1	3.2	2.3	0.2	0.2	0.8	-	0.6	-	-	-	-	0.2	-	-	-	-	-	20.5
	女性・55~64歳	435	31.0	24.8	7.4	2.5	4.6	3.0	1.1	1.1	2.8	1.1	0.7	0.7	0.7	-	0.2	-	-	-	-	-	0.2	-	-	-	17.9
女性・65~74歳	640	25.3	30.9	7.0	3.0	9.1	2.7	1.6	0.5	1.6	0.8	0.3	0.5	0.3	-	0.5	-	-	-	0.2	0.2	-	-	-	0.3	15.5	

■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 20.政治・経済、財政や社会保障等の情報取得時の重視点 【1位】

Q25 「政治・経済、財政や社会保障等」に関する情報を得る際に、重視することを、順位の高い順に3つまでお選びください。（お答えはそれぞれ1つ）

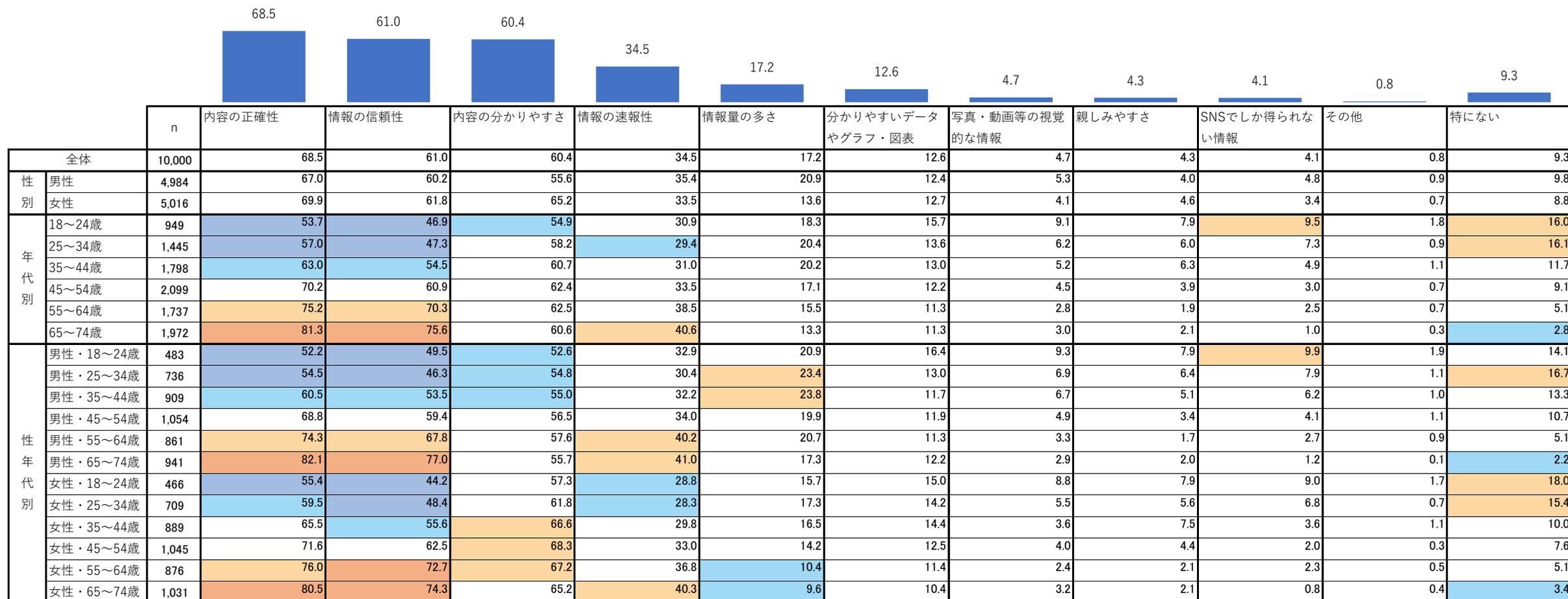
- 政治・経済、財政や社会保障等の情報取得時の重視点の1位は、全体との比較で男性65～74歳の「情報の信頼性」が高い。



全体+10%以上
全体+5%以上
全体-5%以下
全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 20.政治・経済、財政や社会保障等の情報取得時の重視点 【1～3位合計】

- 政治・経済、財政や社会保障等の情報取得時の重視点1～3位合計は、全体との比較で65～74歳の「内容の正確性」と「情報の信頼性」が高い。
- 「情報の信頼性」は女性55～64歳も高い。

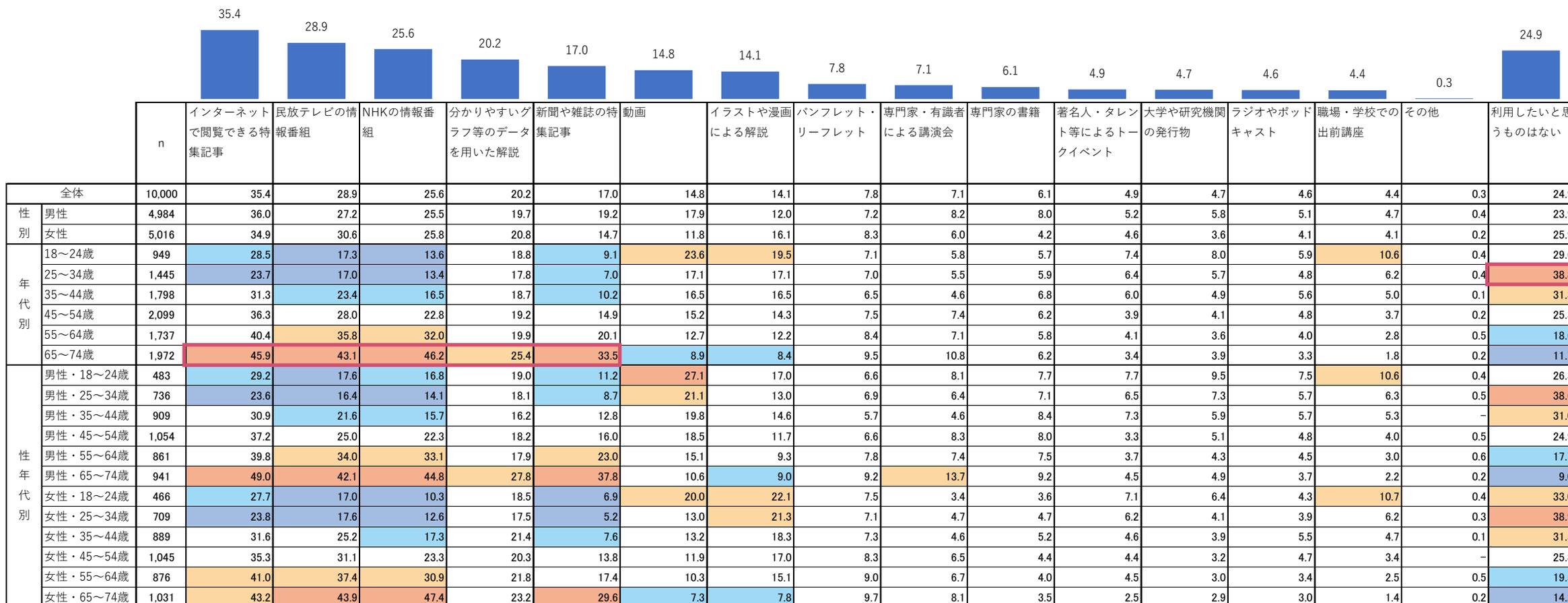


■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 21.政治・経済、財政や社会保障等の理解を深めるために利用したいツール

Q26 「政治・経済、財政や社会保障等」に関する理解を深めるために、どのようなツールであれば、利用したいと思いますか。（お答えはいくつでも）

- 政治・経済、財政や社会保障等の理解を深めるために利用したいツールは、年代別では「インターネットで閲覧できる特集記事」など上位の項目で65～74歳が高い。
- 25～34歳は「利用したいと思うものはない」が高い。



■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

Q27「政治・経済、財政や社会保障等」に関して、あなたが最近とった情報共有・拡散行動として、次のうち当てはまるものをお選びください。（お答えはいくつでも）

- 政治・経済、財政や社会保障等に関する情報共有・拡散行動の実態は、性年代で大きな差は見られないが、男性18～24歳は情報共有・拡散行動を取っている割合が他の年代に比べ高い（「情報共有・拡散行動はしていない」=64.2%）。

		n	家族や友人などの周囲の人へ伝えた	実際の人が集まる公共の場で発表した	インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた	情報共有・拡散行動はしていない
全体		10,000	14.1	5.2	5.9	77.7
性別	男性	4,984	15.1	6.4	7.8	74.6
	女性	5,016	13.1	4.0	4.1	80.8
年代別	18～24歳	949	15.2	9.3	9.3	70.2
	25～34歳	1,445	9.6	8.5	10.0	77.6
	35～44歳	1,798	12.5	6.6	6.3	78.3
	45～54歳	2,099	13.0	4.8	5.9	79.2
	55～64歳	1,737	14.1	3.0	3.9	80.6
	65～74歳	1,972	19.8	1.9	2.8	76.8
性年代別	男性・18～24歳	483	19.0	10.8	12.0	64.2
	男性・25～34歳	736	11.5	9.9	12.4	74.0
	男性・35～44歳	909	12.9	8.7	7.7	75.0
	男性・45～54歳	1,054	12.9	5.8	7.9	76.8
	男性・55～64歳	861	13.5	3.8	5.6	79.2
	男性・65～74歳	941	22.2	2.3	4.0	73.4
	女性・18～24歳	466	11.2	7.7	6.4	76.4
	女性・25～34歳	709	7.5	7.1	7.5	81.4
	女性・35～44歳	889	12.0	4.4	4.8	81.6
	女性・45～54歳	1,045	13.0	3.7	3.8	81.6
	女性・55～64歳	876	14.7	2.2	2.3	82.0
	女性・65～74歳	1,031	17.6	1.6	1.7	79.8

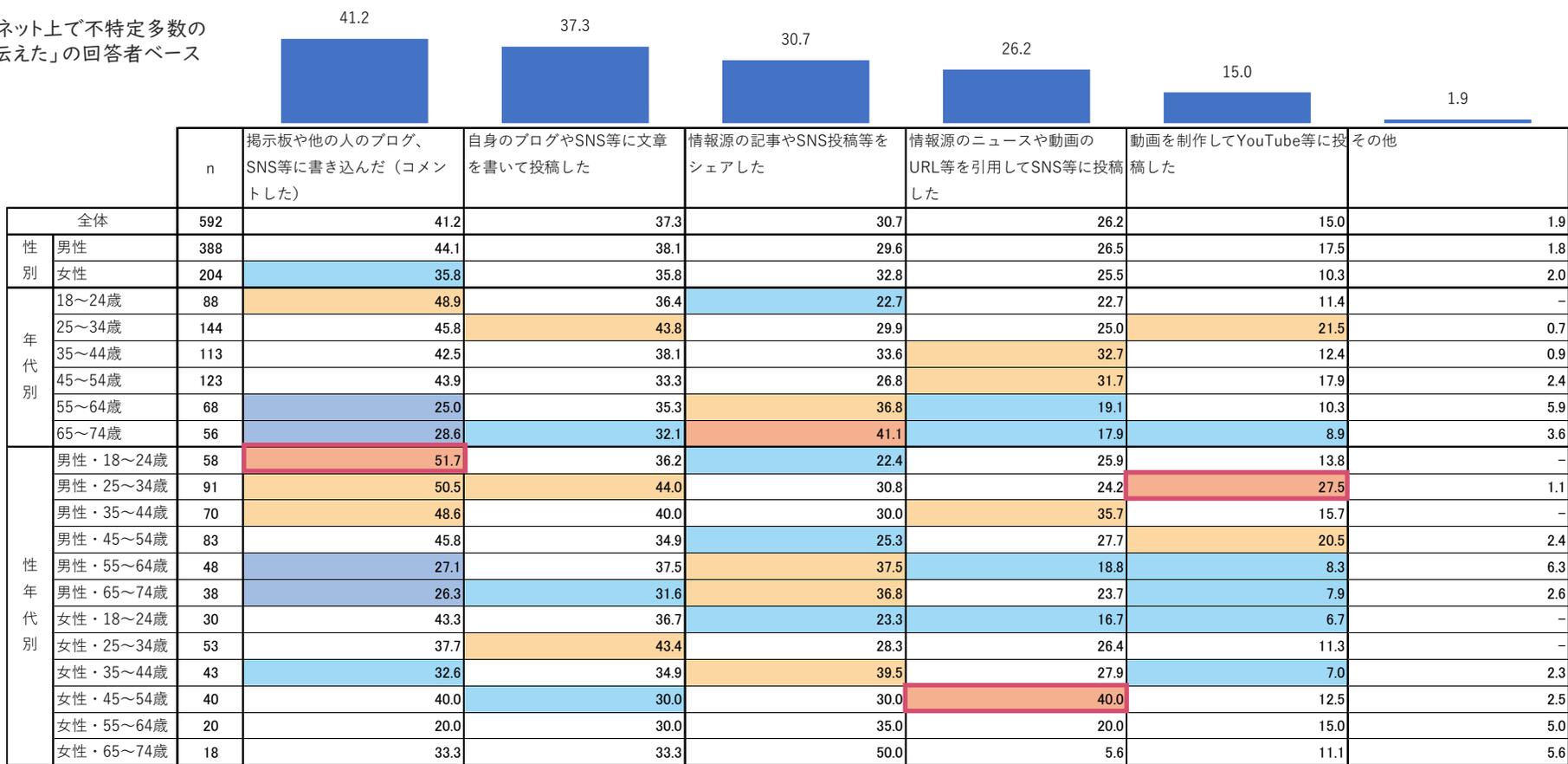
■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 23.インターネットでの第三者に対する情報共有・拡散の利用ツール

Q28「政治・経済、財政や社会保障等」に関して、あなたが最近とった情報共有・拡散行動として、「インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた」とお答えの方にお伺いします。どのようなツールを使って情報共有・拡散をしましたか。（お答えはいくつでも）

- インターネットでの第三者に対する情報共有・拡散の利用ツールは、全体との比較で男性18～24歳は「掲示板や他の人のブログ、SNS等へ書き込んだ」が高く、女性45～54歳は「情報源のニュースや動画のURL等を引用してSNS等に投稿した」が高く、男性25～34歳は「動画を制作してYouTube等に投稿した」が高い。

Q27で「インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた」の回答者ベース



■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

Q29「政治・経済、財政や社会保障等」の分野の中でも、特に「財政」に関して、あなたが最近とった行動として、次のうち当てはまるものをお選びください。（お答えはいくつでも）

- 財政に関する情報共有・拡散行動の実態は、男性65～74歳と女性55～74歳で「家族や友人などの周囲の人へ伝えた」が高く、男性25～34歳は「実際の人が集まる公共の場で発表した」「インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた」が高い。「実際の人が集まる公共の場で発表した」は男性35～44歳も高く、「インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた」は女性25～34歳も高い。

政治・経済、財政や社会保障等に関して、
情報共有・拡散行動をとった人ベース

		n	家族や友人などの周囲の人へ伝えた	実際の人が集まる公共の場で発表した	インターネット上で不特定多数の第三者に対して伝えた	情報共有・拡散行動はしていない
全体		2,229	56.3	20.5	20.1	14.1
性別	男性	1,265	54.6	24.3	22.0	12.6
	女性	964	58.5	15.6	17.5	16.1
年代別	18～24歳	283	53.0	24.0	25.8	9.5
	25～34歳	323	43.7	34.4	32.5	9.9
	35～44歳	391	47.3	26.3	26.6	14.6
	45～54歳	437	54.2	22.2	20.1	14.9
	55～64歳	337	61.1	14.8	11.0	18.4
	65～74歳	458	73.4	6.3	8.7	15.5
性年代別	男性・18～24歳	173	53.2	25.4	27.2	11.0
	男性・25～34歳	191	41.4	37.7	31.4	10.5
	男性・35～44歳	227	47.6	33.0	29.1	9.7
	男性・45～54歳	245	52.7	27.3	21.6	12.2
	男性・55～64歳	179	54.7	19.0	14.5	19.6
	男性・65～74歳	250	74.0	6.4	10.4	13.2
	女性・18～24歳	110	52.7	21.8	23.6	7.3
	女性・25～34歳	132	47.0	29.5	34.1	9.1
	女性・35～44歳	164	47.0	17.1	23.2	21.3
	女性・45～54歳	192	56.3	15.6	18.2	18.2
	女性・55～64歳	158	68.4	10.1	7.0	17.1
	女性・65～74歳	208	72.6	6.3	6.7	18.3

■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

Q30 「政治・経済、財政や社会保障等」に関して、著名人や、いわゆる動画をどの程度見ますか。（お答えは1つ）

- 政治・経済、財政や社会保障等での動画視聴実態は、男性18～24歳と男性65～74歳は視聴している割合が半数以上を占め（「全く視聴しない」=50%未満）、それ以外は「全く視聴しない」が半数以上を占める。

特定の著名人やYouTuber等の動画をチャンネル登録し、新しい動画が公開されるとすぐに視聴する	動画アプリ（YouTube等）を何気なく開くと、おすすめなどでそういった動画が良く出てきて、視聴する	興味がわいた時に、ときどき視聴する	まったく視聴しない
--	--	-------------------	-----------

		n	5.3	9.6	24.3	60.8	
性	全体	10,000	5.3	9.6	24.3	60.8	
別	男性	4,984	7.0	11.7	27.3	54.0	
	女性	5,016	3.6	7.6	21.3	67.5	
年	18～24歳	949	5.5	16.0	23.5	55.0	
	25～34歳	1,445	5.6	14.8	16.5	63.1	
	35～44歳	1,798	5.6	9.8	20.5	64.1	
	45～54歳	2,099	5.9	8.9	22.9	62.3	
	55～64歳	1,737	4.5	7.3	26.9	61.3	
	65～74歳	1,972	4.9		33.0	56.8	
性	男性・18～24歳	483	7.5	19.7	26.5	46.4	
	男性・25～34歳	736	7.6	16.7	19.3	56.4	
	男性・35～44歳	909	7.4	12.4	22.7	57.5	
	男性・45～54歳	1,054	8.0	11.4	24.5	56.2	
	男性・55～64歳	861	5.5	8.7	30.8	55.1	
	男性・65～74歳	941	6.5	6.1	38.3	49.2	
	年	女性・18～24歳	466	3.4	12.2	20.4	63.9
		女性・25～34歳	709	3.5	12.8	13.5	70.1
		女性・35～44歳	889	3.7	7.2	18.3	70.8
		女性・45～54歳	1,045	3.7	6.4	21.3	68.5
		女性・55～64歳	876	3.5	5.9	23.1	67.5
		女性・65～74歳	1,031	3.4		28.2	63.7

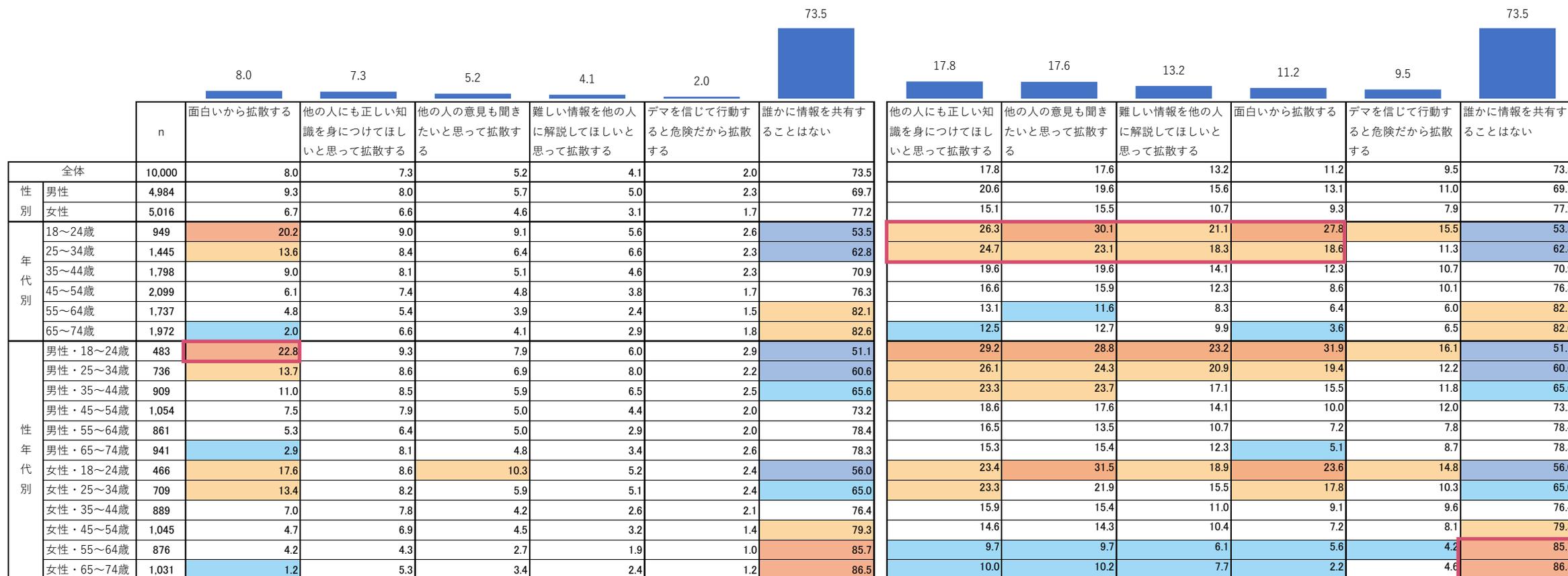
3-3性・年齢別の詳細 26.インターネット・SNS等で情報共有することが多いケース

Q32 次のうち、あなたが普段インターネットやSNS等で誰かに情報を共有するとき、どういったケースが多いですか。多い順に3つまでお選びください。（お答えはそれぞれ1つ）

- ・ インターネット・SNS等で情報共有することが多いケースの1位は、全体との比較で男性18～24歳は「面白いから拡散する」が高い。
- ・ 1～3位合計は、ほとんどのケースで若年層が高い傾向。
- ・ 女性55～74歳は「誰かに情報共有することがない」が他の年代より高い。

1位

1～3位合計



全体+10%以上 全体+5%以上 全体-5%以下 全体-10%以下

3-3性・年齢別の詳細 27.関心のある分野

Q33 以下の項目の中で、あなたの関心のある分野をお選びください。（お答えはいくつでも）

- 関心のある分野は、年代別では65～74歳が「年金・社会保障」「物価高対策」「新型コロナ感染症対策」「外交・安全保障」「防災・減災、国土強靱化の推進」の5項目で高い。若年層は「関心のある分野はない」が高い。
- 「年金・社会保障」は55～64歳も高い。

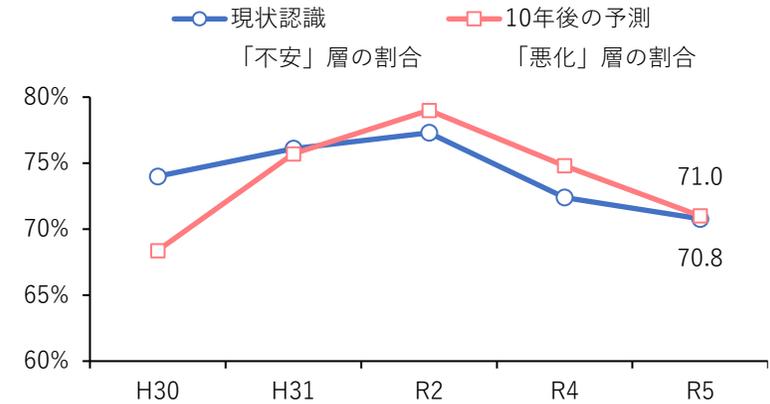


■ 全体+10%以上
 ■ 全体+5%以上
 ■ 全体-5%以下
 ■ 全体-10%以下

第4章 時系列推移の調査結果

■ 財政の現状認識と10年後の予測

- 日本の財政の現状認識と10年後の予測は類似の傾向が見られる。現状認識の「不安」層、10年後の予測の「悪化」層はともにR2年以降減少傾向にあり、いずれも7割前後。（右図参照）
- 現在の財政状況に不安を感じている理由は、「今後も消費税率引き上げなど、増税がありそうだから」が増加傾向。
- 10年後厳しい状態になっていると思う理由は、「日本経済は良くならなさそうだから」が増加傾向。R5年は「国の収入（税収）が減りそうだから」が高くなった。
- 今と変わらない／良い状態になっていると思う理由は、前年まで減少傾向にあった「日本経済が良くなりそうだから」「国の収入（税収）が増えそうだから」がR5年は高くなった。



■ 税の負担と受益の認識

- 10項目の税・保険料に対する負担感は、いずれもR5年は「圧迫しない計」が減少。（右表参照）
- ただし、所得税、住民税、健康保険料、年金保険料、介護保険料、雇用保険料、消費税の7項目で「とても圧迫する」が増加傾向にある。
- 国に納める税・保険料のイメージは、全体的に減少傾向にあり、「払う意義はわかる」は前年から10ポイント以上減少。
- 税については「国や社会づくりのためのもの」「国がとりたてる」が、R4年は前年から増加。
- 税が自分の生活に還元されていると感じる公共サービスは、全体的に減少傾向にあり、「医療」「警察」「教育」「介護」「保育サービス等、子育て支援」は前年から10ポイント以上減少。
- 払う税と受ける公共サービスのバランス感覚は、増加傾向にあった「（公共サービスを）受けている計」がR5年は前年から減少し「全く受けていない」が増加。

	税・保険料の負担感 「圧迫しない計」の割合		
	R4年	R5年	差分
所得税	20.4	13.6	▲ 6.8
住民税	18.3	15.2	▲ 3.1
健康保険料	15.6	10.8	▲ 4.8
年金保険料	17.0	12.5	▲ 4.5
介護保険料	20.7	13.5	▲ 7.2
雇用保険料	33.5	22.9	▲ 10.6
消費税	17.0	9.2	▲ 7.8
相続税	29.7	21.1	▲ 8.6
酒税	36.8	27.1	▲ 9.7
たばこ税	27.1	16.9	▲ 10.2

■ 財政に対する意見と興味・関心度

- 財政や税に関する5項目の意見は以下のとおり。
 - 日本の財政が苦しくなった主な理由：「（社会保障費の）増加である」【A】 > 【B】「増加ではない」／ R5年は前年に比べ【A】と【B】の差が大きくなった。
 - 社会保障制度の充実：「望む」【A】 > 【B】「必ずしも望まない」／ R5年は前年に比べ【A】と【B】の差が大きくなった。
 - 社会保障が減税か：「（税や保険料を今より多く）払っても良い」【A】 < 【B】「払いたくない」／ R5年は前年に比べ【B】と【A】の差は小さくなった。
 - 経済成長によって税収は増えると思うか：「増えると思う」【A】 < 【B】「増えないと思う」／ R5年は前年に比べ【B】と【A】の差は小さくなった。
 - 財源を補うために国は借金をしても良いか：「借金をしても良い」【A】 < 【B】「借金をすべきでない」／ R5年の【B】と【A】の差は前年とほぼ同率。
- 借金（国債）に依存した財政を続けた場合に生じる将来の問題としては、前年同様「子どもや孫の世代の税負担により、借金（国債）を返済することになる」が最多。
- 今後の財政のあり方に関する考え方は前年とほぼ同様の傾向で、「財政状況をチェックするための客観的な指標に基づく財政運営を導入すべきだ」と「税や保険料の負担を増やさずに、社会保障の水準も含めて、歳出削減を行うことを優先すべきだ」が高く、この2項目で半数を占める。
- この1年間での日本の財政への興味・関心度は、前年同様「変わらない」が半数以上を占めるが、R5年は「増加した計」が減少。
- 興味・関心度が増加した理由は、前年同様「財政に関するニュース等を見る機会が増えたから」が最も高く、前年に比べさらに増加。
- 前年トップだった「財政が悪くなっても、自分の生活には関係ないと思うから」に変わり「政治・経済への興味・関心が薄れたから」が最多。

4-2 時系列のプロフィール

■ 居住地（都道府県）

F3 あなたのお住まいの地域をお答えください。（お答えは1つ）

	n	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
R5年	10,000	4.2	0.9	0.9	2.3	0.7	0.7	1.2	1.6	1.1	1.0	6.3	4.9	13.8	8.3	1.2	0.9	0.9	0.5	0.4	0.9	1.4	2.4	6.7	1.4	0.9	2.0	7.3	4.4	1.2	0.4	0.5	0.4	1.5	2.4	0.9	0.6	0.7	1.1	0.4	4.4	0.4	0.8	1.5	1.0	0.8	1.0	1.1
R4年	10,000	4.6	0.8	0.4	1.6	0.5	0.6	0.8	1.3	1.0	1.0	6.6	5.4	16.5	10.1	1.3	0.5	0.7	0.4	0.4	0.8	0.8	2.5	6.8	0.9	0.8	2.5	9.5	4.7	1.1	0.4	0.3	0.3	1.0	2.0	0.7	0.2	0.4	0.7	0.4	4.1	0.4	0.8	1.0	0.7	0.6	0.7	1.0
R2年	6,000	4.3	1.0	0.9	1.9	0.8	0.9	1.5	2.3	1.6	1.6	5.9	5.0	11.1	7.4	1.8	0.8	0.9	0.6	0.7	1.6	1.6	2.9	5.8	1.5	1.1	2.1	7.0	4.3	1.1	0.8	0.4	0.5	1.5	2.2	1.1	0.6	0.7	1.1	0.5	4.0	0.6	1.1	1.3	0.9	0.8	1.2	1.1
H31年	6,000	4.3	1.0	0.9	1.9	0.9	0.8	1.5	2.3	1.7	1.6	5.9	5.0	11.3	7.3	1.7	0.8	0.9	0.6	0.7	1.6	1.6	2.9	5.9	1.4	1.1	2.1	7.0	4.3	1.1	0.8	0.4	0.6	1.4	2.3	1.0	0.6	0.7	1.0	0.6	3.9	0.7	1.1	1.3	0.9	0.9	1.2	1.1
H30年	6,000	4.3	1.0	0.9	1.9	0.9	0.8	1.5	2.3	1.7	1.6	5.9	5.0	11.3	7.3	1.7	0.8	0.9	0.6	0.7	1.6	1.6	2.9	5.9	1.4	1.1	2.1	7.0	4.3	1.1	0.8	0.4	0.5	1.5	2.2	1.1	0.6	0.7	1.1	0.5	4.0	0.6	1.1	1.3	0.9	0.8	1.2	1.1

■ 職業

Q1 あなた現在の職業をお答えください。（お答えは1つ）

	n	会社員（正社員）	公務員（正規職員）	（契約／嘱託／派遣社員）	会社員（非正規職員）	自営業／自由業	高校生	大学生／大学院生	パート／アルバイト	主婦・主夫	年金生活者・無職	その他
R5年	10,000	31.6	2.7	5.7	0.7	7.3	0.7	4.2	14.5	16.2	15.5	0.9
R4年	10,000	38.3	4.9	5.8	1.0	6.0	0.3	4.8	13.5	13.6	10.9	0.9
R2年	6,000	35.1	5.1	5.6	0.7	6.3	0.3	4.2	13.7	15.7	12.9	0.4
H31年	6,000	38.9	7.4	7.0	0.3	4.1	13.2	16.2	12.3	12.3	0.6	0.6
H30年	6,000	36.9	6.4	7.7	0.3	4.3	12.5	17.8	13.6	13.6	0.6	0.6

※ 選択肢について

R4年・R3年・R2年の選択肢は、
 「会社員（正社員）」 「会社員（契約／嘱託／派遣社員）」 「公務員（正規職員）」 「公務員（非正規職員）」

「自営業／自由業」 「高校生」 「大学生／大学院生」 「パート／アルバイト」 「主婦・主夫」 「年金生活者・無職」 「その他」

H31年・H30年の選択肢は、
 「会社員／公務員（正社員）」 「会社員／公務員（契約／嘱託／派遣社員）」

「自営業／自由業」 「高校生」 「大学生／大学院生」 「パート／アルバイト」 「主婦・主夫」 「年金生活者・無職」 「その他」

4-2 時系列のプロフィール

■ 職種 ※n=現役の生産労働人口に相当する人

Q3あなたの現在の職種をお答えください。（お答えは1つ）

	n	経営・管理職	専門・技術職	事務職	営業職	販売職	労務・技能職	その他
R5年	6,243	9.7	20.8	27.5	8.8	8.8	17.2	7.2
R4年	6,953	10.1	26.0	25.6	10.6	7.8	11.9	8.0
R2年	3,992	10.3	29.6	25.8	9.1	9.1	12.0	4.1
H31年	3,991	11.3	26.8	24.6	9.4	8.3	13.2	6.3
H30年	3,792	11.5	26.3	25.4	9.1	9.0	12.8	5.9

■ 未既婚

Q5あなたの婚姻状況をお答えください。（お答えは1つ）

	n	未婚	既婚（配偶者あり）	離婚（配偶者死別）
R5年	10,000	38.4	53.0	8.6
R4年	10,000	31.5	59.2	9.3
R2年	6,000	28.8	62.1	9.1
H31年	6,000	29.9	61.1	9.1
H30年	6,000	30.1	60.3	9.6

■ 最終学歴

Q4あなたの最終学歴をお答えください。（お答えは1つ）

	n	大学院	大学	短期大学、専門学校・高等課程	高等学校	小中学校	その他
R5年	9,506	3.8	41.5	21.2	30.6	2.7	0.1
R4年	9,494	5.3	43.3	23.0	26.2	2.0	0.2
R2年	5,729	5.0	40.1	23.5	29.3	2.1	0.0
H31年	5,736	4.8	39.1	24.0	29.8	2.3	0.0
H30年	5,722	4.5	39.8	22.4	30.8	2.5	0.0

■ 同居の家族

Q7あなたと同居しているご家族をすべてお答えください。（お答えは1つ）

	n	同居の家族はいない（一人暮らし）	配偶者	子ども	父親（配偶者の父親を含む）	母親（配偶者の母親を含む）	祖父母	孫	兄弟姉妹	その他
R5年	10,000	20.4	51.8	30.9	18.5	25.0	2.0	1.0	9.4	1.4
R4年	10,000	20.6	56.8	36.7	13.8	19.3	1.7	0.9	7.1	1.6
R2年	6,000	18.2	60.2	38.4	14.1	20.3	2.2	1.4	6.6	0.9
H31年	6,000	17.9	59.3	37.1	15.3	22.0	2.2	1.3	6.8	1.4
H30年	6,000	18.2	58.4	37.0	14.8	21.3	1.7	1.2	7.9	1.4

4-2 時系列のプロフィール

■ 同居の子供の年齢

Q7あなたが同居している子どもの年齢をすべてお答えください。（お答えは1つ）

	n	0 〜 2 歳	3 〜 6 歳	3 年 〜 5 年 （ 小 学 校 低 学 年 ）	6 年 〜 9 年 （ 小 学 校 高 学 年 ）	中 学 生	高 校 生	大 学 生	（ 1 8 歳 以 上 ） （ 社 会 人 年 齢 以 上 ）
R5年	3,089	11.2	15.2	14.1	15.1	14.7	15.1	12.4	39.1
R4年	3,671	18.3	18.4	16.3	15.2	14.9	14.8	11.7	32.3
R2年	2,303	19.6	20.1	15.5	13.9	13.7	13.8	10.0	34.5
H31年	2,226	20.0	18.6	15.9	14.0	11.9	13.7	10.2	36.1
H30年	2,217	20.5	19.9	14.5	12.4	11.8	11.6	10.6	37.2

■ 世帯年収

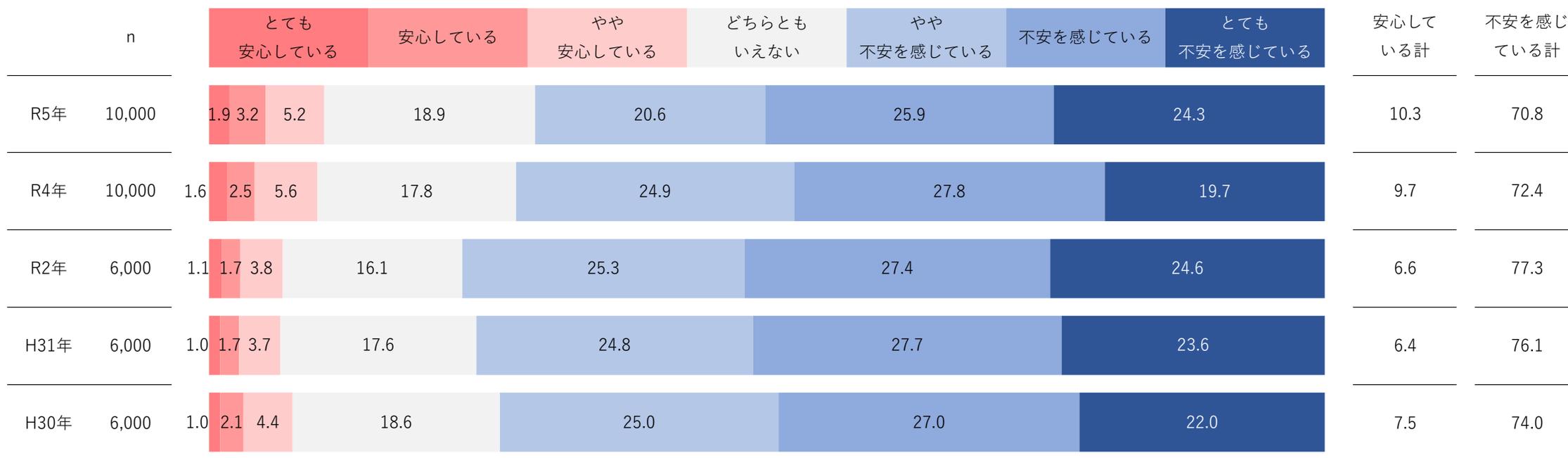
Q8 あなたの個人の年収をお答えください。（お答えは1つ）

	n	所 得 無 し	1 0 0 0 万 円 未 満	2 0 0 0 万 円 未 満	3 0 0 0 万 円 未 満	4 0 0 0 万 円 未 満	5 0 0 0 万 円 未 満	6 0 0 0 万 円 未 満	8 0 0 0 万 円 未 満	1 0 0 0 万 円 未 満	1 0 0 0 万 円 未 満	2 0 0 0 万 円 未 満	2 0 0 0 万 円 未 満	わ か ら な い	回 答 拒 否
R5年	10,000	2.7	4.2	6.9	9.5	11.0	10.3	8.4	11.8	8.1	6.7	1.2	1.1	18.1	
R4年	10,000	0.9	3.1	5.1	8.2	10.9	10.7	9.6	14.4	10.3	8.6	2.2	1.9	13.0	1.2
R2年	6,000	1.0	2.9	5.3	8.8	11.7	11.3	9.9	13.7	10.2	8.2	1.9	1.3	13.0	1.0
H31年	6,000	0.9	2.9	4.6	9.0	11.6	11.4	10.2	14.2	10.3	8.2	1.9	1.6	12.5	0.8
H30年	6,000	1.2	3.0	5.1	8.8	13.0	11.5	10.0	13.7	9.8	7.6	1.5	1.3	12.6	1.1

4-3 時系列結果の詳細 1.日本の財政の現状認識

Q9 日本の財政について質問します。国の収入と支出のバランスを「財政」と言います。あなたは現在の日本の財政状況について、どう感じていますか。あてはまるものをお選びください。
(お答えは1つ)

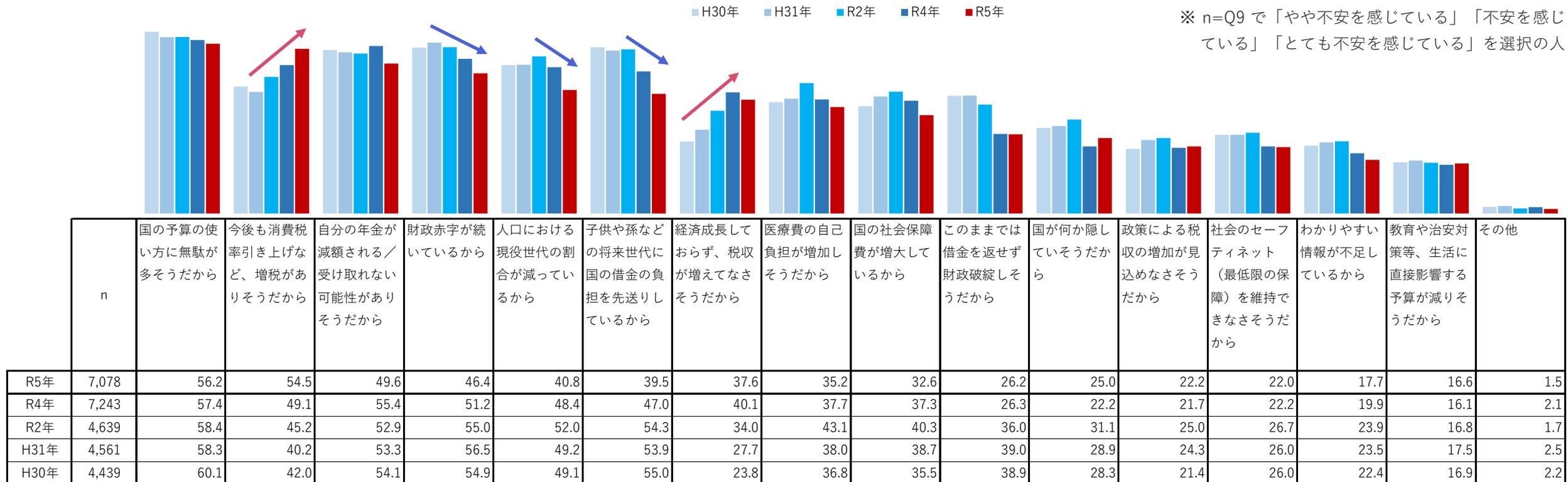
- ・ 「不安を感じている計」は、コロナ禍が始まったR2年をピークに減少傾向にありR5年は70.8%。
- ・ ただし「とても不安を感じている」は前年から増加（24.3%）。



4-3 時系列結果の詳細 2.現在の財政状況に不安を感じている理由

Q10 あなたが現在の財政状況に不安を感じている理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

- 「今後も消費税率引き上げなど、増税がありそうだから」が増加傾向。「経済成長しておらず、税収が増えてなさそうだから」も増加傾向にあるが、R5年は前年から減少。
- 「財政赤字が続いているから」が減少傾向。「人口における現役世代の割合が減っているから」「子供や孫などの将来世代に国の借金の負担を先送りしているから」もR2年以降減少傾向。



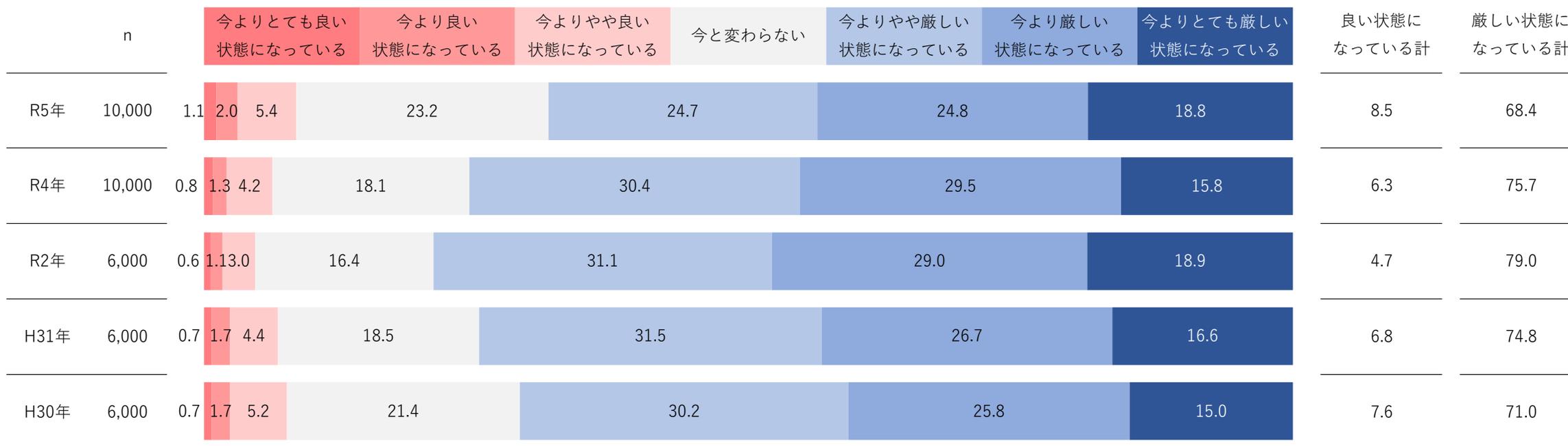
※ n=Q9 で「やや不安を感じている」「不安を感じている」「とても不安を感じている」を選択の人

※項目「今後も消費税率引き上げなど、増税がありそうだから」は、H31・H30年では「消費税率引き上げなど、増税がありそうだから」

4-3 時系列結果の詳細 3. 10年後の日本の財政の予測

Q11 あなたは10年後の日本の財政はどうなっていると思いますか。あてはまるものをお選びください。（お答えは1つ）

- 引き続き「今より厳しい状態になっている」の割合が大きいが、R2年以降は減少傾向にありR5年は68.4%。
- 財政の現状認識（不安を感じている）と類似の傾向が見られる。

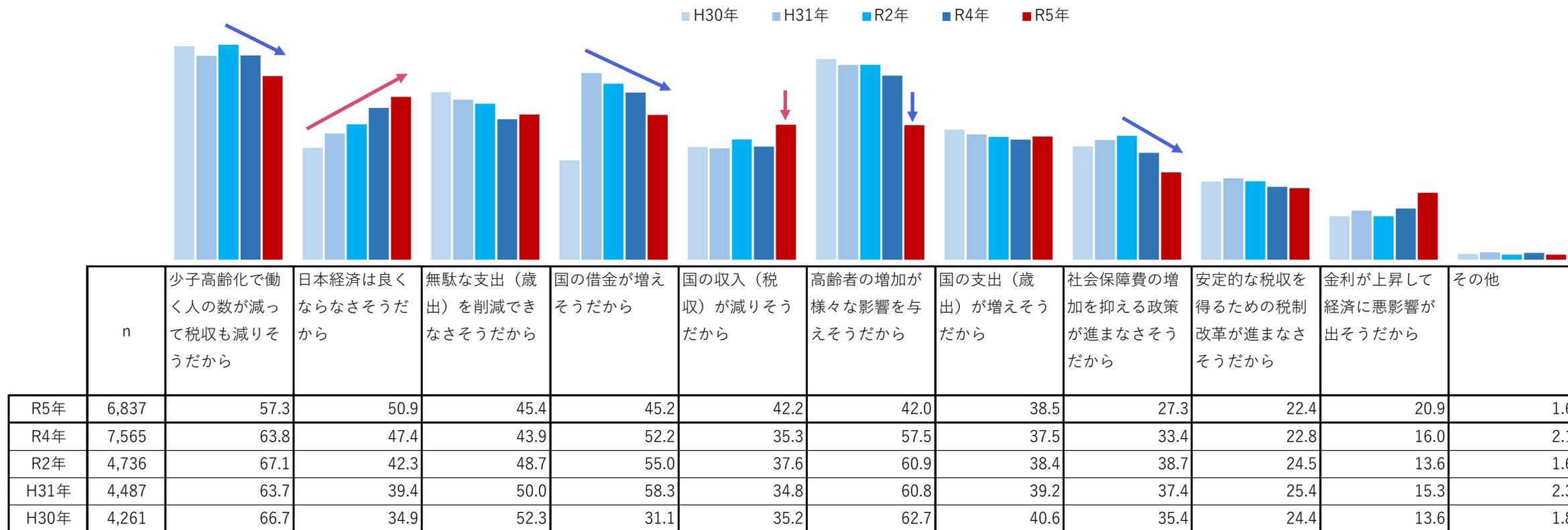


4-3 時系列結果の詳細 4. 厳しい状態になっていると思う理由

Q12 あなたが10年後の日本の財政について厳しい状態になると思う理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

- 「日本経済は良くなさそうだから」が増加傾向。R5年は「国の収入（税収）が減りそうだから」が高くなった。
- 「国の借金が増えそうだから」が減少傾向、「少子高齢化で働く人の数が減って税収も減りそうだから」「社会保障費の増加を抑える政策が進まなさそうだから」もR2年以降減少傾向。R5年は「高齢者の増加が様々な影響を与えそうだから」が低くなった。

※n=Q11で「今よりやや厳しい状態になっている」「今より厳しい状態になっている」「今よりとても厳しい状態になっている」を選択の人

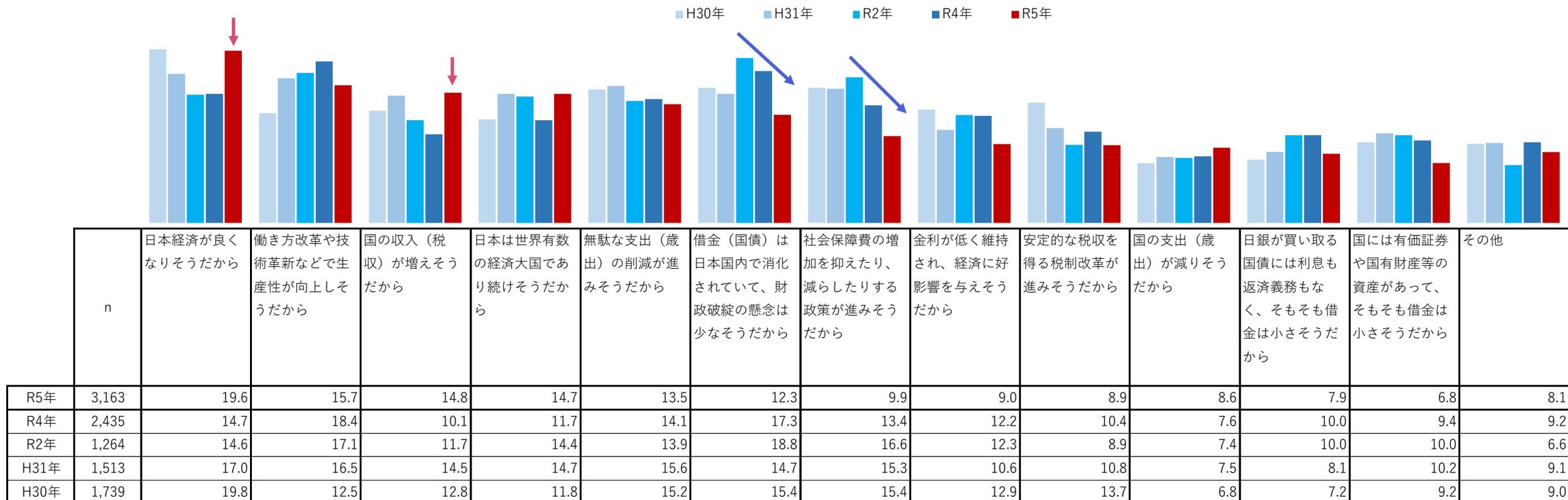


4-3 時系列結果の詳細 5.今と変わらない／良い状態になっていると思う理由

Q13 あなたが10年後の日本の財政について今と変わらない／良い状態になると思う理由をお選びください。（お答えはいくつでも）

- ・ 減少傾向にあった「日本経済が良くなりそうだから」「国の収入（税収）が増えそうだから」がR5年は高くなった。
- ・ 「借金（国債）は日本国内で消化されていて、財政破綻の懸念は少なそうだから」「社会保障費の増加を抑えたり、減らしたりする政策が進みそうだから」がR2年以降減少傾向。
- ・ 日本経済の行方や税収・社会保障費政策などの見方が、10年後の日本の財政が厳しい状態になっていると思う人と正反対である。

※n=Q14で「今よりとても良い状態になっている」「今より良い状態になっている」「今よりやや良い状態になっている」「今と変わらない」を選択の人

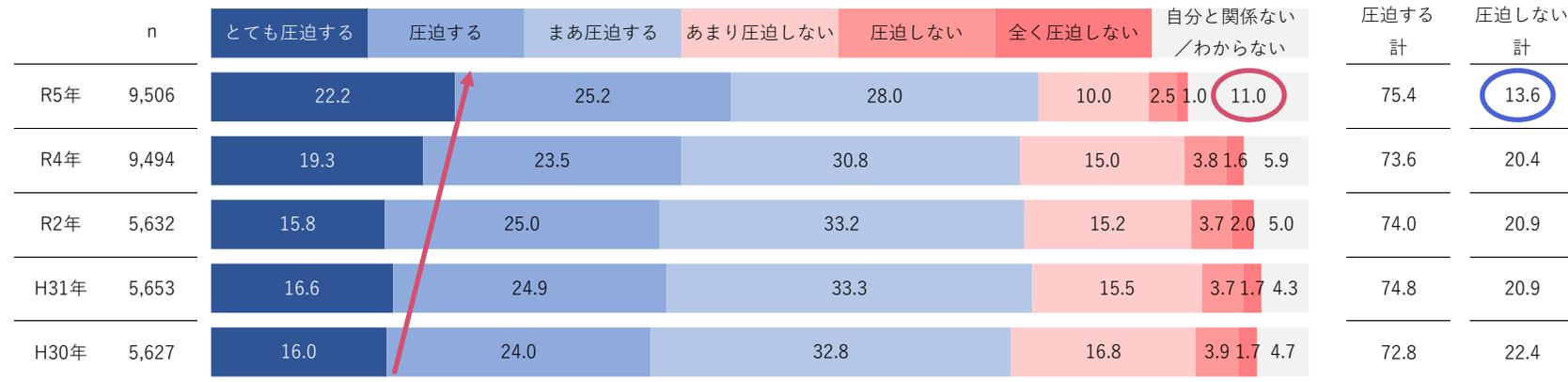


4-3 時系列結果の詳細 6.税と保険料の負担感

Q14 税の負担と受益についておうかがいします。あなたは、あなたご自身または世帯にかかる税と保険料についてどの程度、負担に感じていますか。それぞれの税と保険料について、生活費を「とても圧迫する」から「全く圧迫しない」までの中であてはまるものをお選びください。※未成年の方は酒税、たばこ税について「7.自分と関係ない／わからない」をお選びください。（お答えはそれぞれ1つ）

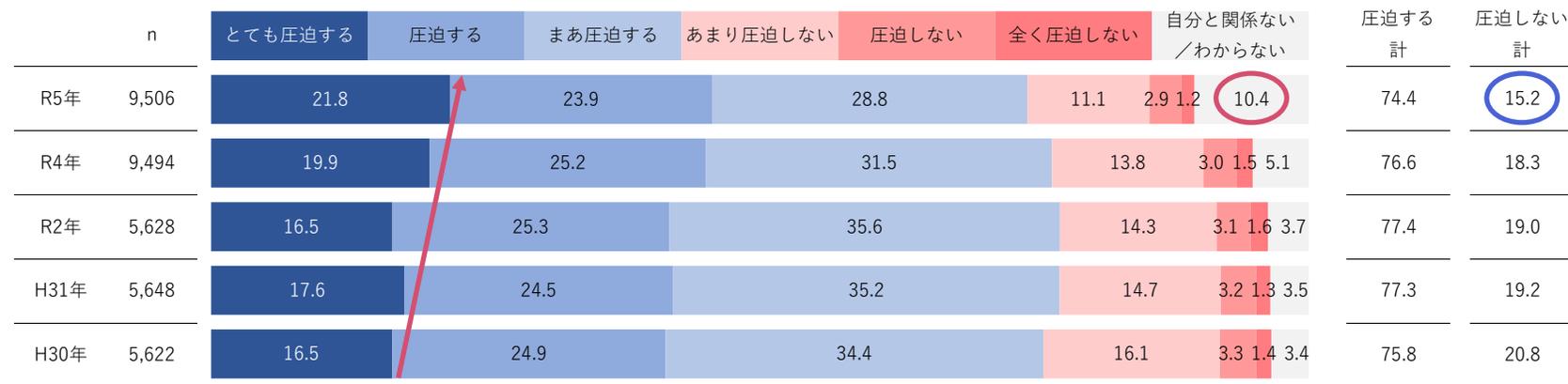
1. 所得税

- R5年は「圧迫しない計」が減少し「自分と関係ない／わからない」が増加。
- 「圧迫する計」に大きな変動はないが、「とても圧迫する」が増加傾向にある。



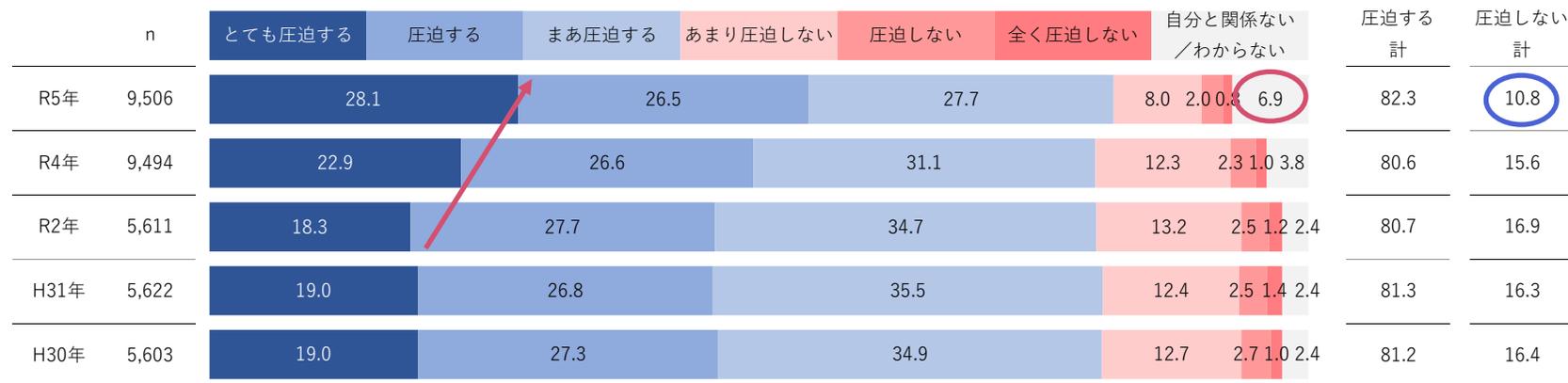
2. 住民税

- R5年は「圧迫しない計」がやや減少し「自分と関係ない／わからない」が増加。
- 「圧迫する計」に大きな変動はないが、「とても圧迫する」が増加傾向にある。



3. 健康保険料

- R5年は「**圧迫しない計**」が減少し「**自分と関係ない／わからない**」がやや増加。
- 「**圧迫する計**」に大きな変動はないが、「**とても圧迫する**」がR2年以降増加傾向。



4. 年金保険料

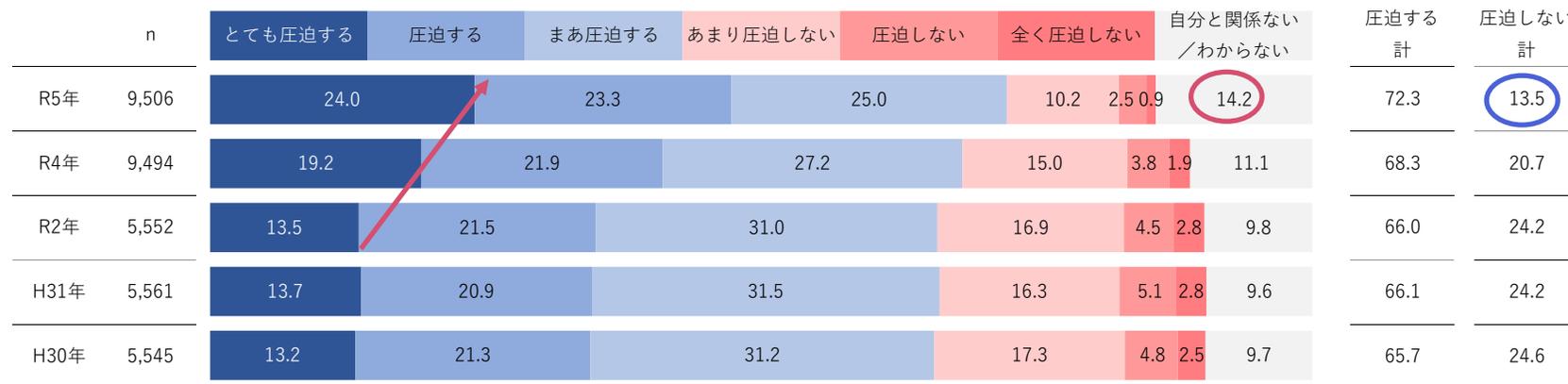
- R5年は「**圧迫しない計**」がやや減少し「**自分と関係ない／わからない**」がやや増加。
- 「**圧迫する計**」に大きな変動はないが、「**とても圧迫する**」がR2年以降増加傾向。



※n=高校生、大学生／大学院生以外

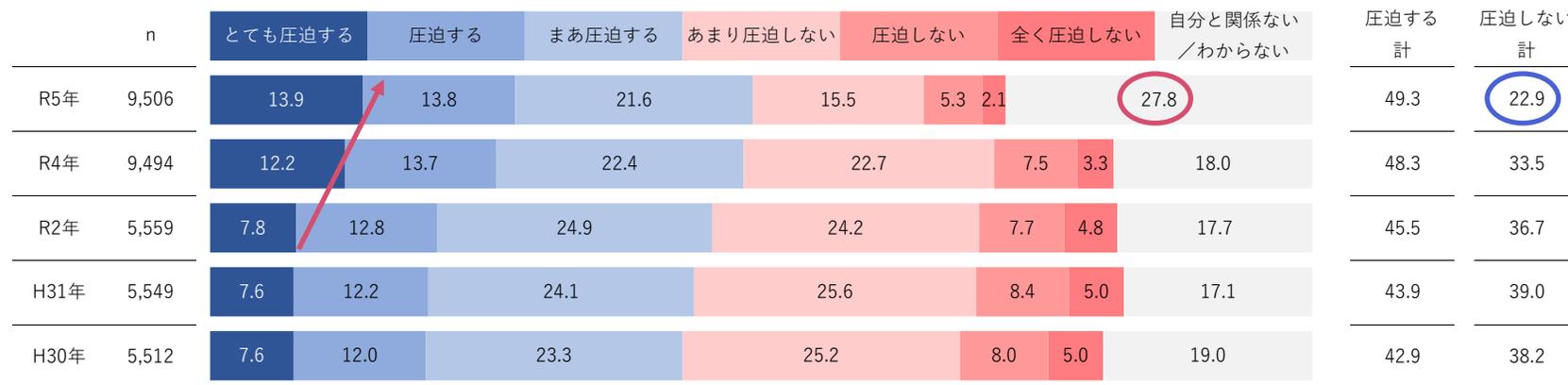
5. 介護保険料

- R5年は「圧迫しない計」が減少し「自分と関係ない／わからない」がやや増加。
- 「とても圧迫する」がR2年以降増加傾向。



6. 雇用保険料

- R5年は「圧迫しない計」が減少し「自分と関係ない／わからない」が増加。
- 「とても圧迫する」がR2年以降増加傾向。



※n=高校生、大学生／大学院生以外

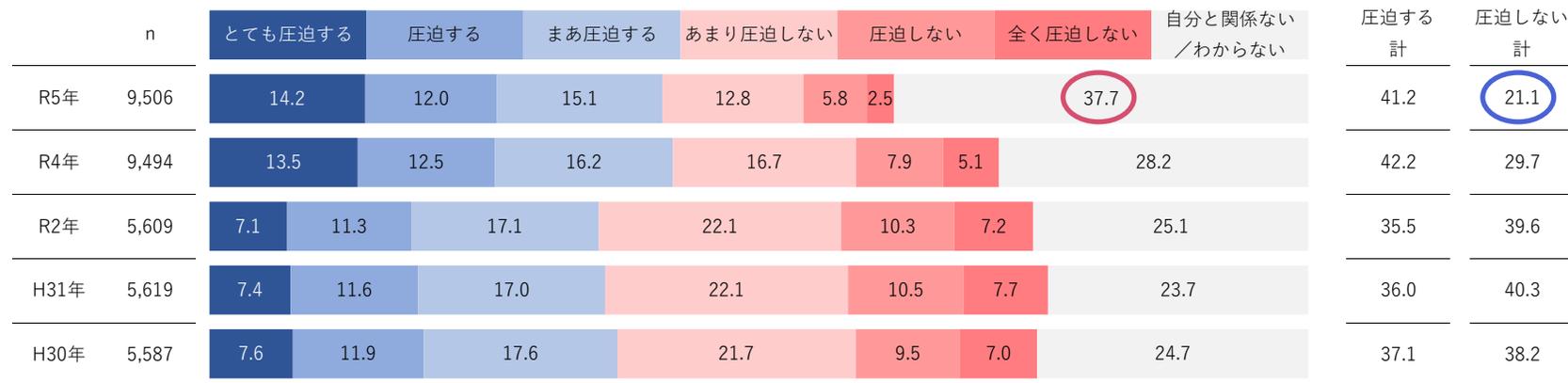
7. 消費税

- R4年は「圧迫しない計」が減少。
- 「とても圧迫する」がR2年以降増加傾向。



8. 相続税

- R5年は「圧迫しない計」が減少し「自分と関係ない／わからない」が増加。
- 「とても圧迫する」および「圧迫する計」は前年から大きな変動はない。



※n=高校生、大学生／大学院生以外

9. 酒税

- R5年は「圧迫しない計」が減少し「自分と関係ない／わからない」が増加。
- 「とても圧迫する」および「圧迫する計」は前年から大きな変動はない。

	n	とても圧迫する	圧迫する	まあ圧迫する	あまり圧迫しない	圧迫しない	全く圧迫しない	自分と関係ない／わからない	圧迫する計	圧迫しない計
R5年	9,506	11.1	10.5	18.9	16.0	6.7	4.4	32.3	40.5	27.1
R4年	9,494	10.3	11.0	17.3	19.0	9.5	8.3	24.5	38.6	36.8
R2年	5,592	5.9	9.4	20.4	23.9	10.7	10.7	19.1	35.7	45.3
H31年	5,597	6.2	10.0	20.0	24.3	10.5	10.8	18.3	36.2	45.6
H30年	5,583	6.8	9.7	21.0	22.5	10.5	8.8	20.8	37.5	41.8

10. たばこ税

- R5年は「圧迫しない計」が減少。「自分と関係ない／わからない」が増加し半数以上を占める。
- 「とても圧迫する」および「圧迫する計」は前年から大きな変動はない。

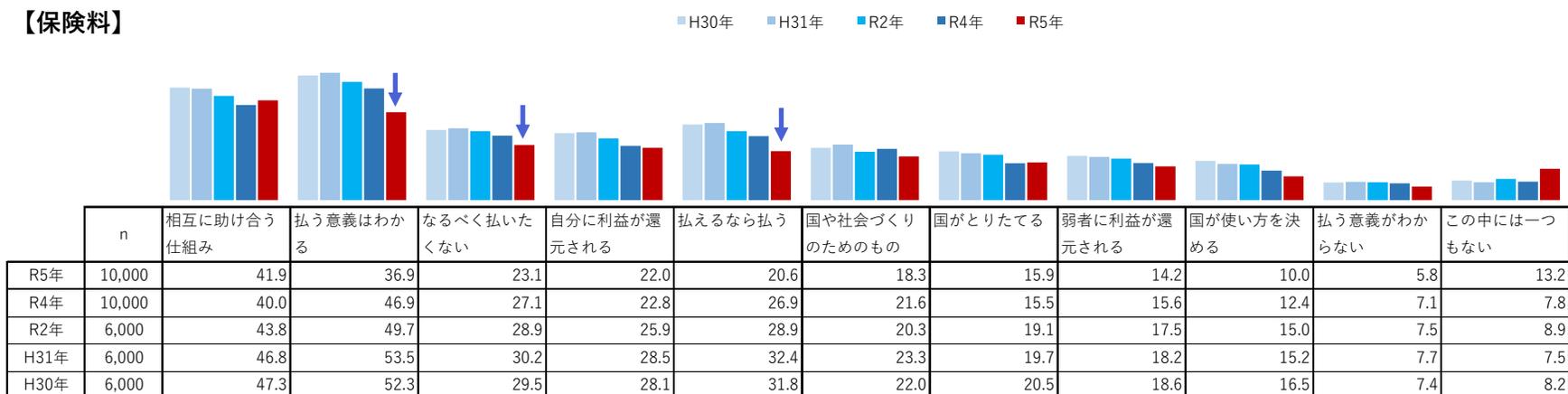
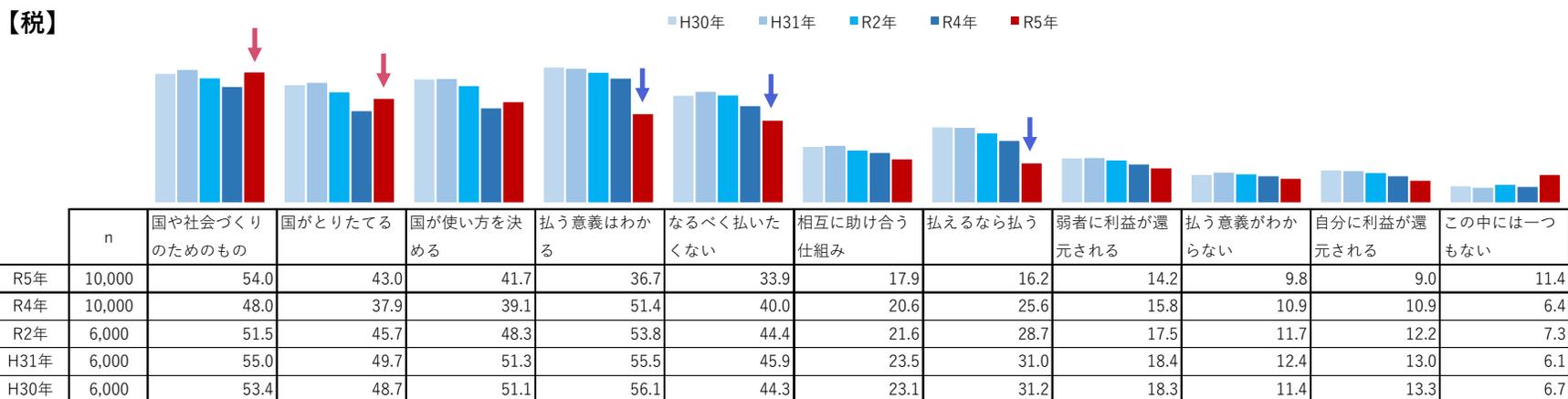
	n	とても圧迫する	圧迫する	まあ圧迫する	あまり圧迫しない	圧迫しない	全く圧迫しない	自分と関係ない／わからない	圧迫する計	圧迫しない計
R5年	9,506	12.6	7.7	8.3	5.6	4.5	6.8	54.5	28.6	16.9
R4年	9,494	10.9	8.0	8.8	9.2	6.6	11.3	45.1	27.7	27.1
R2年	5,598	6.6	7.8	10.9	9.8	8.3	15.9	40.8	25.3	34.0
H31年	5,618	7.9	7.9	10.0	9.3	7.1	17.2	40.7	25.8	33.6
H30年	5,604	7.9	8.6	10.8	8.8	6.3	13.2	44.3	27.3	28.3

※n=高校生、大学生／大学院生以外

4-3 時系列結果の詳細 7.国に納める税・保険料のイメージ

Q15 あなたは国に納める税と保険料について、どんなイメージを持っていますか。あてはまるものをすべてお答えください。（お答えはそれぞれいくつでも）

- 税・保険料ともに全体的に減少傾向にあり、「払う意義はわかる」は前年から10ポイント以上減少。「なるべく払いたくない」「払えるなら払う」も減少。
- 税については「国や社会づくりのためのもの」「国がとりたてる」は前年から増加。

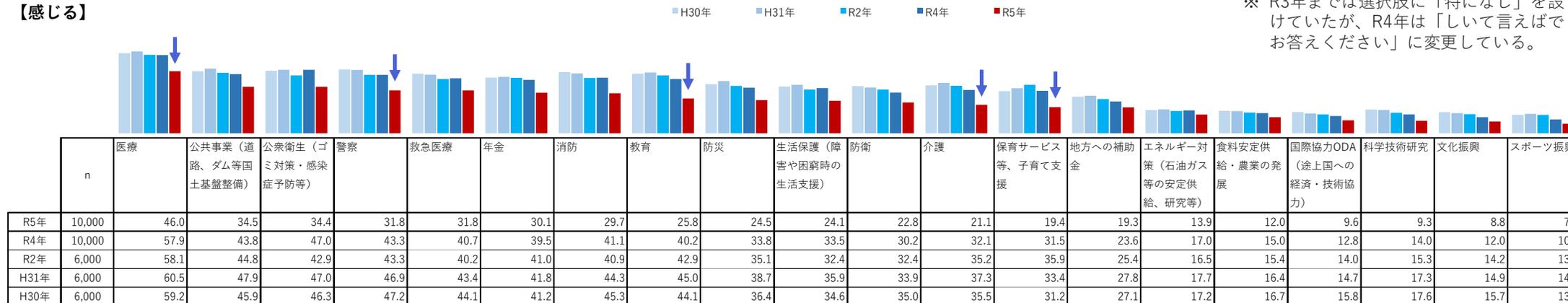


4-3 時系列結果の詳細 8.税が自分の生活に還元されていると感じる公共サービス

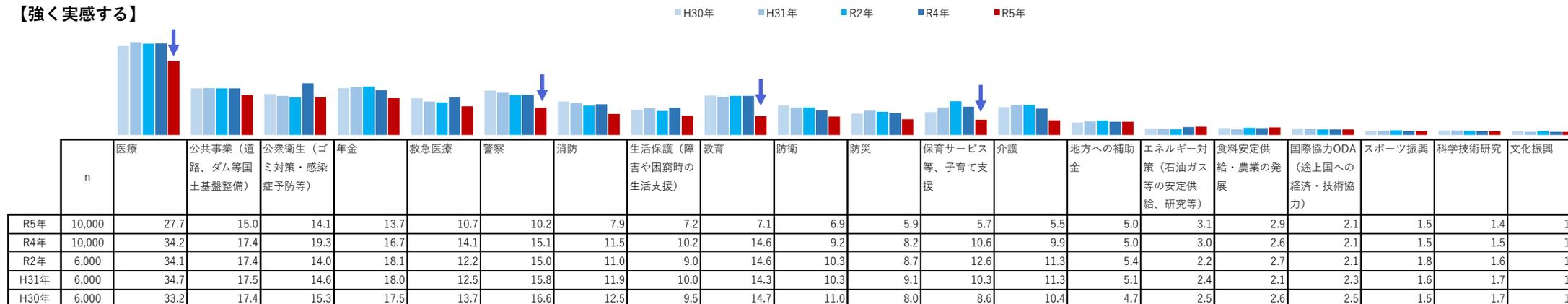
Q16 以下の項目の中から、税が自分の生活に還元されていると感じる公共サービスをすべてお選びください。（お答えはいくつでも）また、そのなかからあなたが強く実感するものを3つまでお選びください。（お答えは3つまで） ※当てはまるものがない方は、それぞれしいて言えばでお答えください。

- 全体的に減少傾向にあり、感じるものでは「医療」「警察」「教育」「介護」「保育サービス等、子育て支援」が前年から10ポイント以上減少。
- これら5項目のうち「介護」を除く4項目は、強く感じるでも約5ポイント以上減少。（「公衆衛生（ゴミ対策・感染症予防等）」も5ポイント以上減少しているが、これはR4年が高かったことによる）

【感じる】



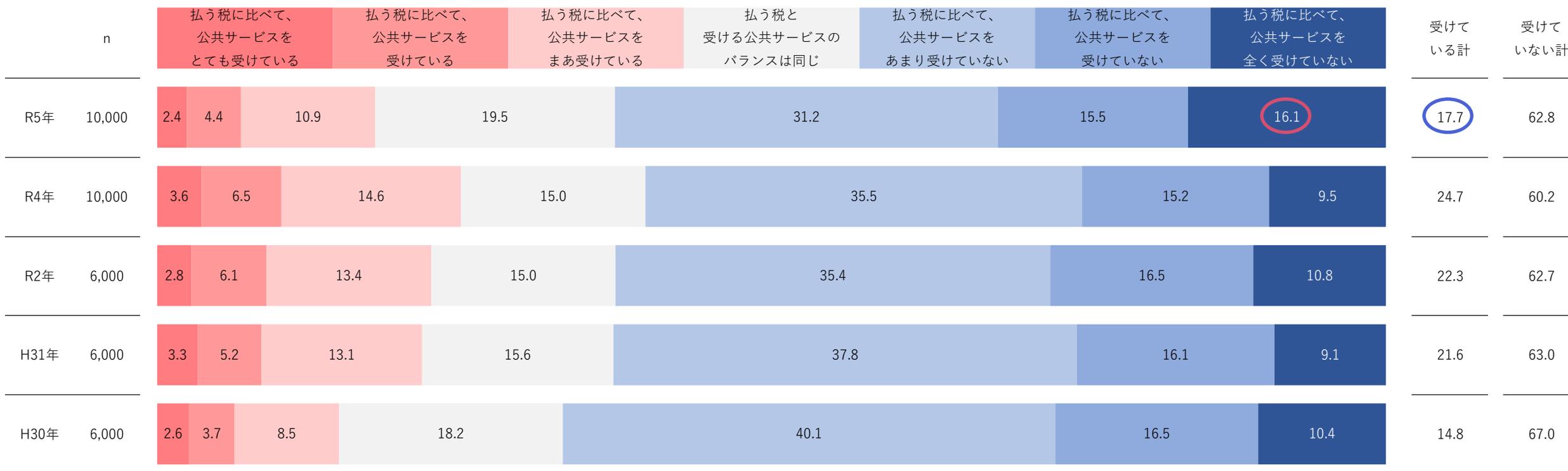
【強く実感する】



4-3 時系列結果の詳細 9.払う税と受ける公共サービスのバランス感覚

Q17 支払われた税により、Q16の公共サービスは賄われています。あなたの感覚に近いものをお選びください。（お答えは1つ）

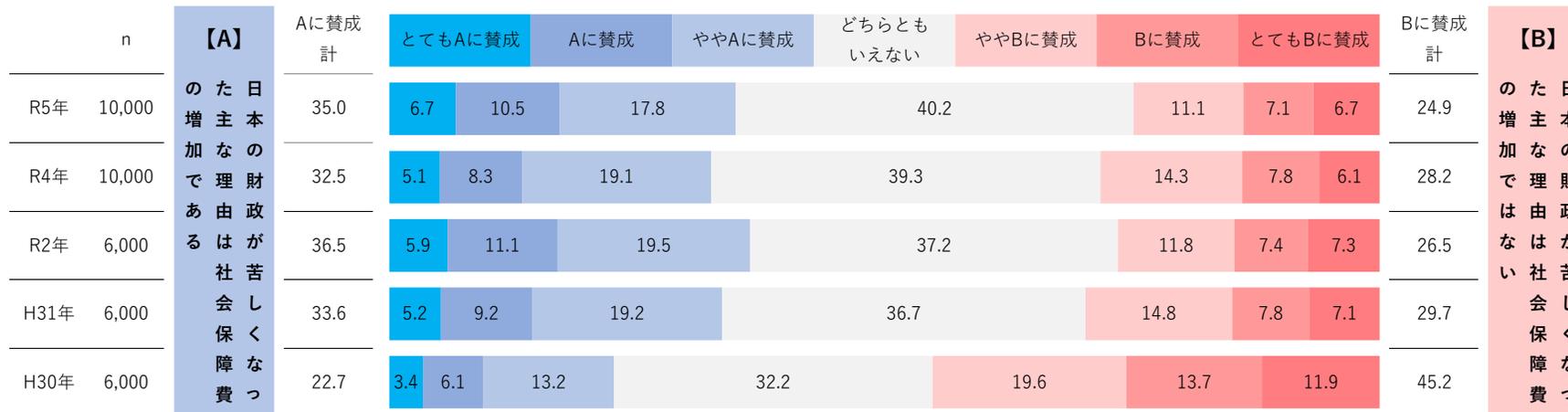
- 増加傾向にあった「受けている計」がR5年は前年から減少。
- 「受けていない計」に大きな変動はないが、「全く受けていない」が前年から増加。



Q18 以下の5つの記述について、あなたの意見に近いものを選んでください。（お答えはそれぞれ1つ）

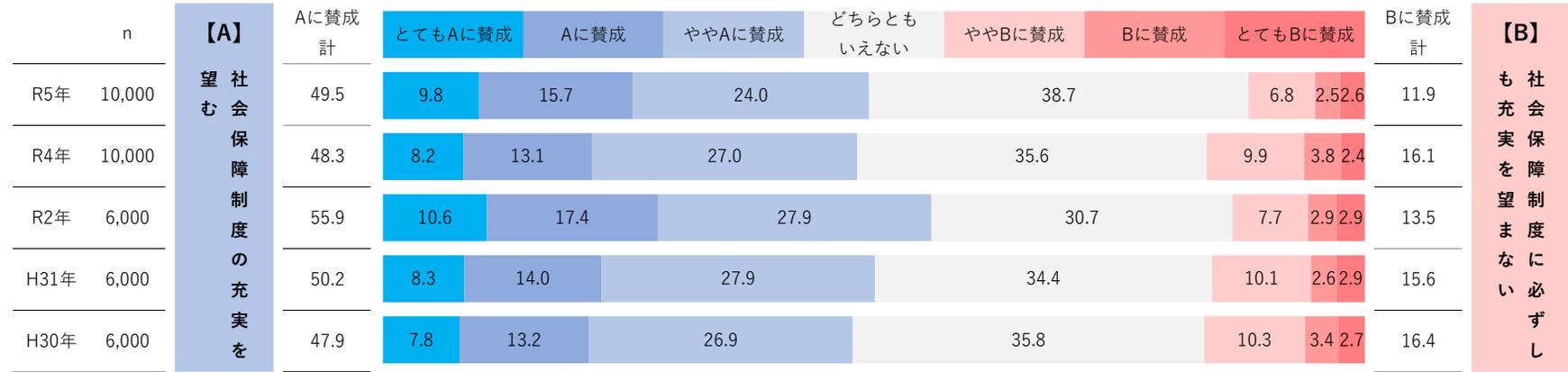
1. 日本の財政が苦しくなった主な理由

- H31年以降は「Aに賛成」（日本の財政が苦しくなった主な理由は社会保障費の増加である）が「Bに賛成」を上回っている。
- R5年は前年に比べその差が大きくなった。



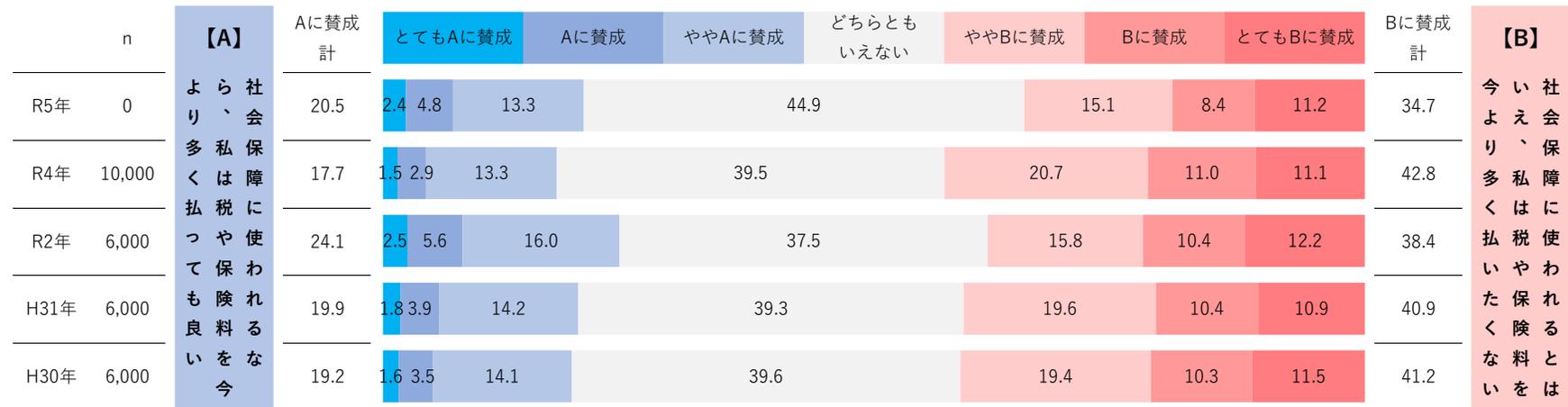
2. 社会保障制度の充実

- 引き続き「Aに賛成」（社会保障制度の充実を望む）が半数前後を占め、「Bに賛成」を大きく上回っている。
- R5年は前年に比べその差が大きくなった。



3. 社会保障か減税か

- 引き続き「Bに賛成」（社会保障に使われるとはいえ、私は税や保険料を今より多く払いたくない）が「Aに賛成」を上回っている。
- R5年も「Bに賛成」が10ポイント以上高いが、前年に比べるとその差は小さくなり「どちらともいえない」が増加。



4. 経済成長によって税収は増えると思うか

- 引き続き「Bに賛成」（今後、経済成長によって税収は増えないと思う）が「Aに賛成」を上回っている。
- R5年も「Bに賛成」が10ポイント以上高いが、前年に比べその差が小さくなり「どちらともいえない」が増加。

年	n	【A】	Aに賛成計	Aに賛成					Bに賛成			【B】
				とてもAに賛成	Aに賛成	ややAに賛成	どちらともいえない	ややBに賛成	Bに賛成	とてもBに賛成		
R5年	10,000	税収は増えると思うか	24.1	4.6	6.4	13.1	40.8	15.1	9.8	10.1	35.1	税収は増えないと思うか
R4年	10,000		22.1	3.6	5.2	13.3	34.4	20.4	13.8	9.3	43.5	
R2年	6,000		22.5	3.6	5.4	13.5	32.6	18.8	14.5	11.7	45.0	
H31年	6,000		21.6	2.7	4.5	14.4	34.6	21.3	12.8	9.8	43.9	
H30年	6,000		22.1	2.5	4.8	14.8	37.5	19.9	11.7	8.8	40.4	

5. 財源を補うために国は借金をしても良いか

- 引き続き「Bに賛成」（財源を補うためとはいえ、国は借金をすべきでない）が「Aに賛成」を上回っている。
- R5年も「Bに賛成」が10ポイント以上高いが、前年に比べ「どちらともいえない」が増加。

年	n	【A】	Aに賛成計	Aに賛成					Bに賛成			【B】
				とてもAに賛成	Aに賛成	ややAに賛成	どちらともいえない	ややBに賛成	Bに賛成	とてもBに賛成		
R5年	10,000	借金をしても良いか	19.5	4.2	4.7	10.6	46.0	16.5	9.5	8.5	34.5	財源を補うためとはいえ、国は借金をすべきでない
R4年	10,000		21.7	3.7	4.1	13.9	41.3	21.7	9.0	6.4	37.1	
R2年	6,000		19.0	2.7	4.5	11.8	36.6	21.9	12.0	10.5	44.4	
H31年	6,000		15.0	2.2	2.8	10.0	37.2	26.0	12.1	9.7	47.8	
H30年	6,000		12.9	1.6	2.5	8.8	37.9	26.1	13.4	9.8	49.3	

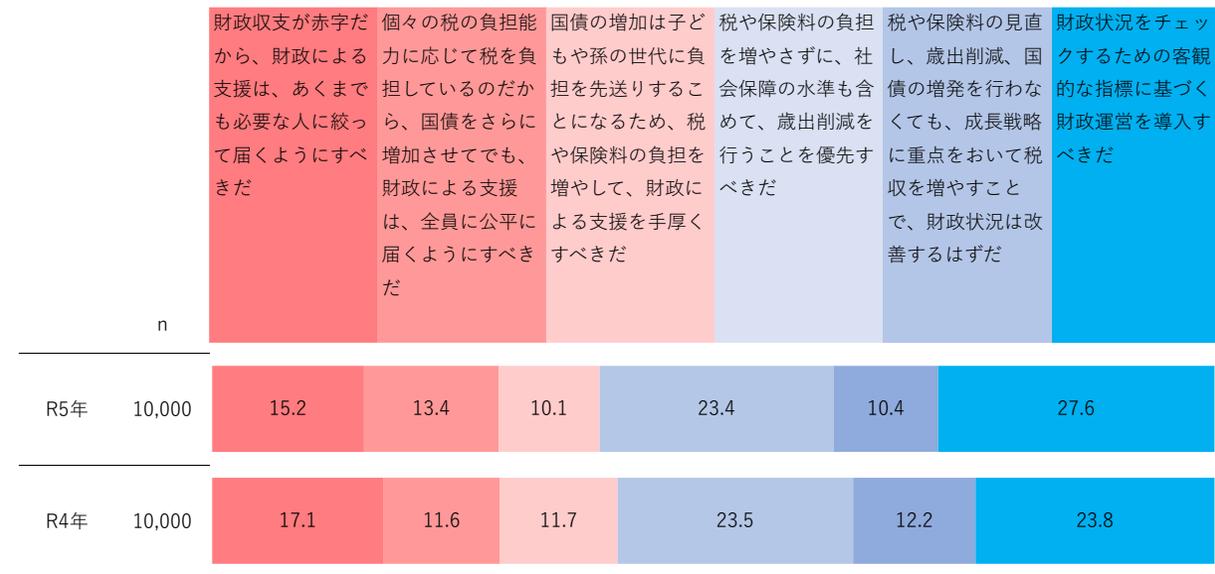
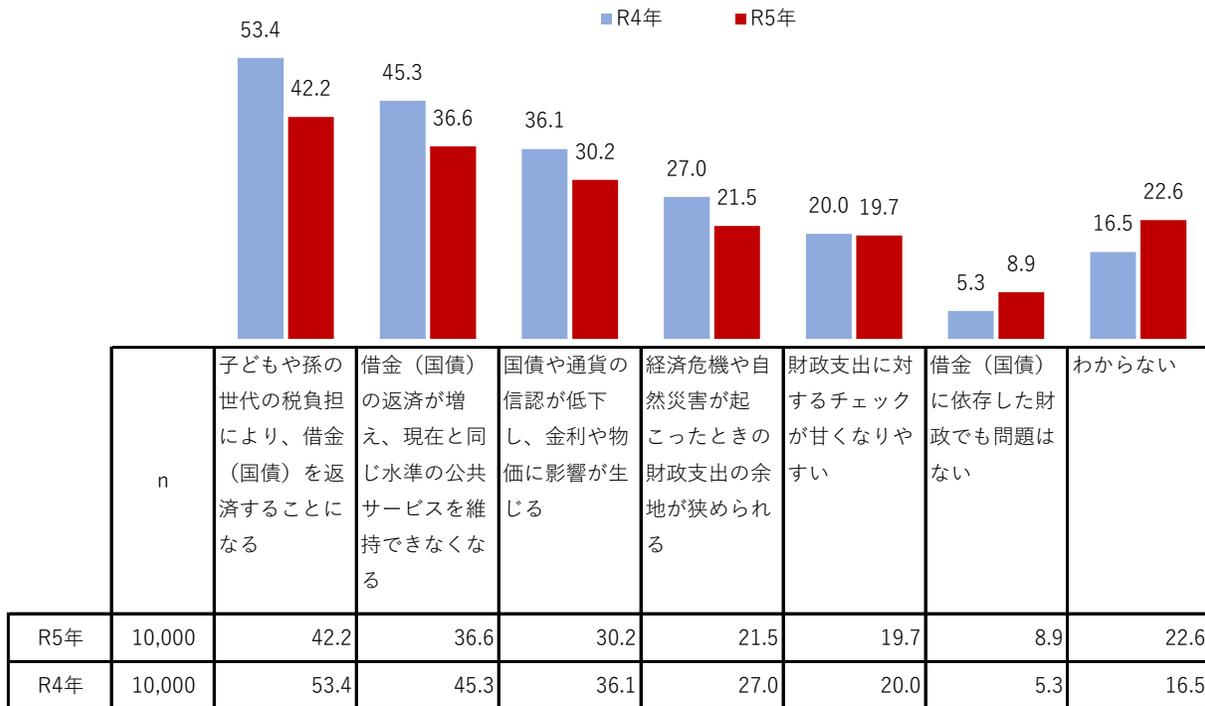
4-3 時系列結果の詳細 11.今後の財政について

Q19 借金（国債）に依存した財政を続けた場合、将来、どのようなことが問題になりそうだと思いますか。（お答えはいくつでも）

- 前年と順位は変わらず「子どもや孫の世代の税負担により、借金（国債）を返済することになる」が最多。
- ただし、上位4項目は前年に比べ減少しており、「借金（国債）に依存した財政でも問題はない」や「わからない」がやや増加。

Q20 今後の財政のあり方について、あなたの考え方にもっとも近いものを選んでください。（お答えは1つ）

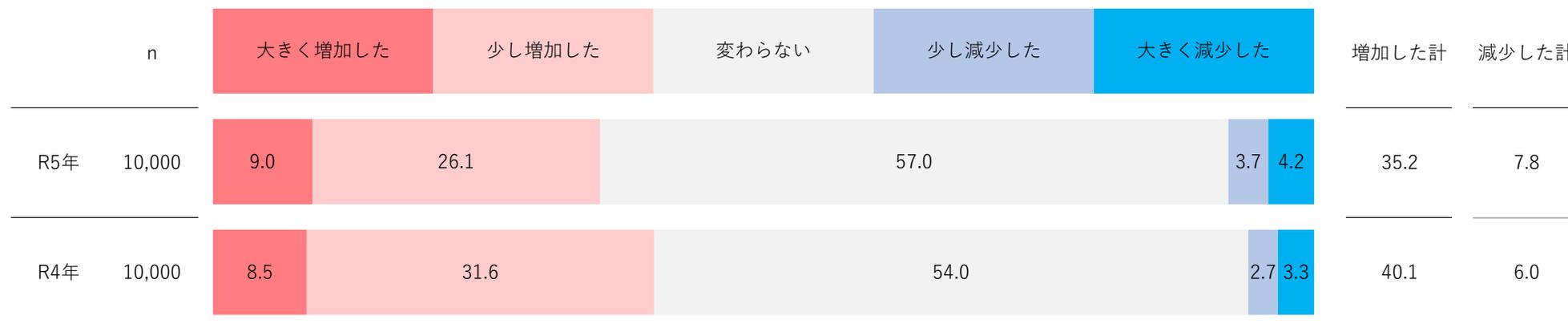
- 前年とほぼ同様の傾向で、「財政状況をチェックするための客観的な指標に基づく財政運営を導入すべきだ」と「税や保険料の負担を増やさずに、社会保障の水準も含めて、歳出削減を行うことを優先すべきだ」が高く、この2項目で半数を占める。



4-3 時系列結果の詳細 12.この1年間での日本の財政への興味・関心度合いの変化

Q21 この1年間で、日本の財政への興味・関心の度合いに変化はありましたか。（お答えは1つ）

- 前年同様「変わらない」が半数以上を占めるが、「増加した計」が減少。



4-3 時系列結果の詳細 13.日本の財政への興味・関心度合いの変化の理由

Q23 日本の財政への興味・関心が大きく増加した／少し増加した理由をお選びください。(お答えはいくつでも)

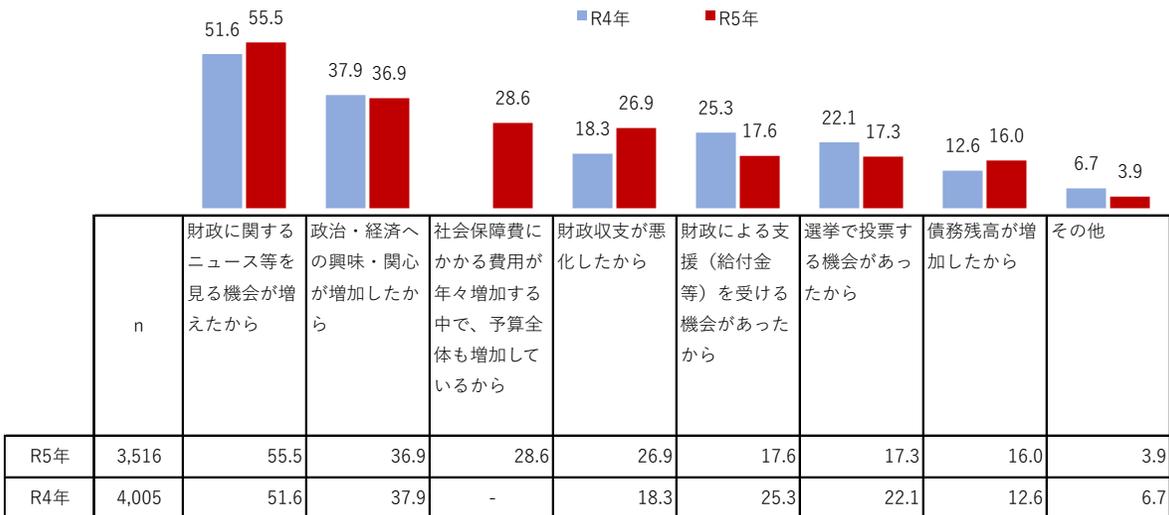
Q24 日本の財政への興味・関心が大きく減少した／少し減少した理由をお選びください。(お答えはいくつでも)

- 増加した理由は、前年同様「財政に関するニュース等を見る機会が増えたから」が最も高く、前年に比べさらに増加。
- 以下「政治・経済への興味・関心が増加したから」「社会保障費にかかる費用が年々増加する中で、予算全体も増加しているから」「財政収支が悪化したから」が上位。

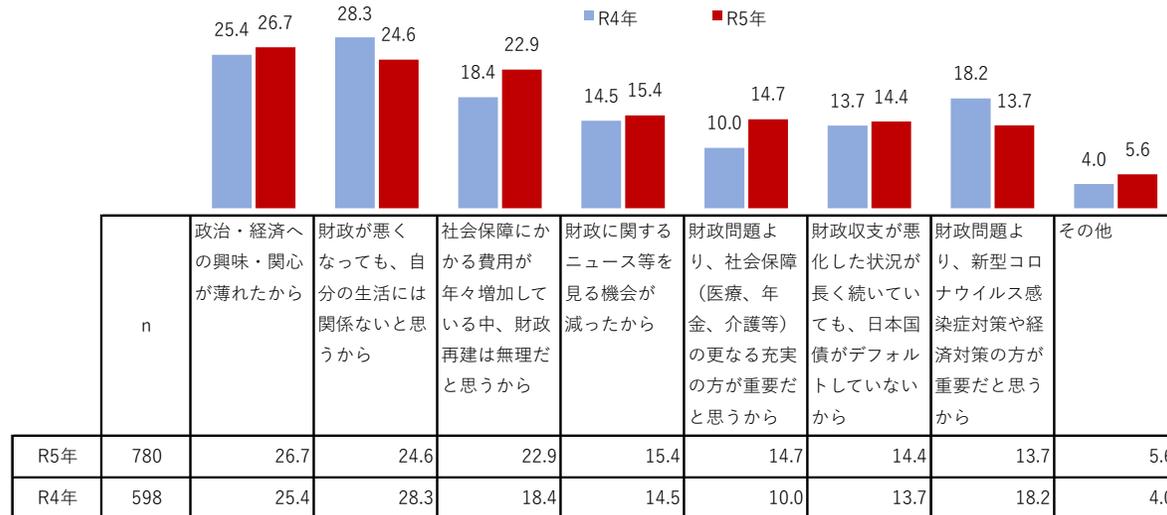
- 前年トップだった「財政が悪くなっても、自分の生活には関係ないと思うから」に変わり「政治・経済への興味・関心が薄れたから」が最多。
- 以下「財政が悪くなっても、自分の生活には関係ないと思うか」「社会保障にかかる費用が年々増加している中、財政再建は無理だと思うから」も僅差で続いている。

■ 増加した理由

※ R3年は「社会保障費にかかる費用が年々増加する中で、予算全体も増加しているから」の選択肢なし。



■ 減少した理由



第5章

総括

現状に対する「不安」層および10年後の状態に対する「悪化」層の減少トレンド継続が望まれる

- 日本の財政に対して、現在については不安を感じている人が多く、10年後については悲観的に思っている人が多い。
- 18～74歳までいずれの性年代も同様であるが、男性より女性で、また年代が高い程現状に対して不安を持っており、10年後は今より厳しい状態になると考える人が多い。
- ただし、現状認識の「不安」層および「不安」と「安心」との差、10年後の予測の「悪化」層および「悪化」と「良化」との差とはいずれもR2年以降減少傾向にある。（下表参照）
- 現在不安を感じている主な理由は、「国の予算の使い方に無駄が多そうだから」「今後も消費税率引き上げなど、増税がありそうだから」「自分の年金が減額される／受け取れない可能性がありそうだから」など。
- 高齢層では、「財政赤字が続いているから」「子供や孫などの将来世代に国の借金の負担を先送りしているから」などの理由が他の年代より高い。
- また、「今後も消費税率引き上げなど、増税がありそうだから」は、過去5年との比較で増加傾向にある。
- 10年後に厳しい状態になると思う主な理由は、「少子高齢化で働く人の数が減って税収も減りそうだから」57.3%が最多、次いで「日本経済は良くならなさそうだから」など。
- 高齢層では、「少子高齢化で働く人の数が減って税収も減りそうだから」「国の借金が増えそうだから」などの理由が他の年代より高い。
- また、「日本経済は良くならなさそうだから」は、過去5年との比較で増加傾向にあり、R5年は「国の収入（税収）が減りそうだから」も高くなった。

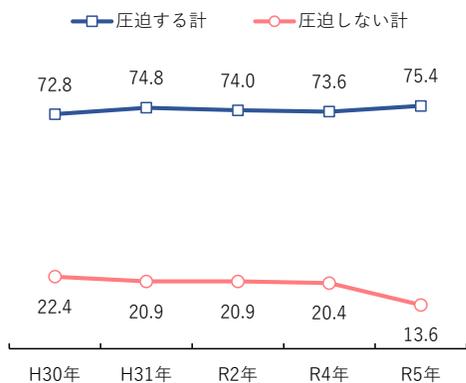
	現状の財政			10年後の財政		
	a.安心している計	b.不安を感じている計	b-a	a.良い状態になっている計	b.厳しい状態になっている計	b-a
R5年	10.3	70.8	60.5	8.5	68.4	59.9
R4年	9.7	72.4	62.7	6.3	75.7	69.4
R2年	6.6	77.3	70.7	4.7	79.0	74.3
H31年	6.4	76.1	69.7	6.8	74.8	68.0
H30年	7.5	74.0	66.5	7.6	71.0	63.4

物価上昇等の経済環境もあり、税・保険料に対する負担感は大きくなっている

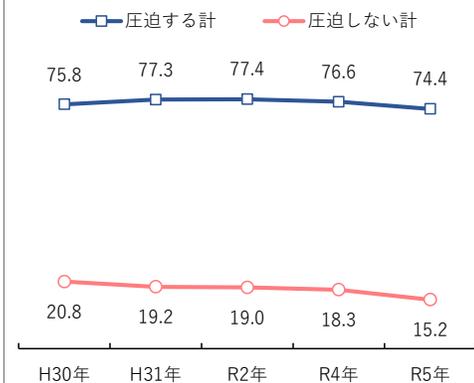
受益面の周知により、若年層中心に「国や社会づくり」「相互扶助」など税・保険料の意義の浸透が重要

- 10項目の税・保険料の負担感は、R5年はいずれも「圧迫する計」が「圧迫しない計」を上回っており、消費税、健康保険料、所得税、住民税、年金保険料、介護保険料の6項目は「圧迫する計」が7割以上を占め、「圧迫しない計」との差が特に大きい。
- このうち所得税、住民税、年金保険料は女性35～54歳で「圧迫する計」と「圧迫しない計」との差が大きい。
- また、介護保険料、消費税、相続税は、男性より女性で「圧迫する計」と「圧迫しない計」との差が大きい。
- いずれの税・保険料も、R4年は「圧迫しない計」が減少した。（次頁参照）
- また、所得税、住民税、健康保険料、年金保険料、介護保険料、雇用保険料、消費税の7項目で「とても圧迫する」との回答が過去5年との比較で増加傾向にあり、強い負担感を持つ人が増えている。
- 国に収める税のイメージは「国や社会づくりのためのもの」54.0%で最多、保険料のイメージは「相互に助け合う仕組み」41.9%で最多。
- 年代別で差が見られ、税の「国や社会づくりのためのもの」、保険料の「相互に助け合う仕組み」は、いずれも44歳以下で低く45歳以上で高い。ただし、18～24歳の税に対する「国や社会づくりのためのもの」とのイメージは低くない。
- R5年は前年に比べ「払う意義はわかる」が10ポイント以上減少したが、税については「国や社会づくりのためのもの」が増加した。
- 税と受益のバランスについては、いずれの年代も「（払う税に比べて公共サービスを）受けていない計」が「受けている・バランスは同じ計」を上回っており、特に55～64歳でその差が大きい。
- これまで「（公共サービスを）受けている計」は増加傾向にあったが、R4年は前年から減少し「全く受けていない」が増加。
- 税が生活に活かされていると実感するものは、「医療」「公共事業」「公衆衛生」などが比較的高い。
- ただし、全体的に実感する割合が減少傾向にあり、「医療」「警察」「教育」「介護」「保育サービス等、子育て支援」は前年から10ポイント以上減少。特に、25～44歳で税が還元されていると感じる公共サービスの割合が低い。

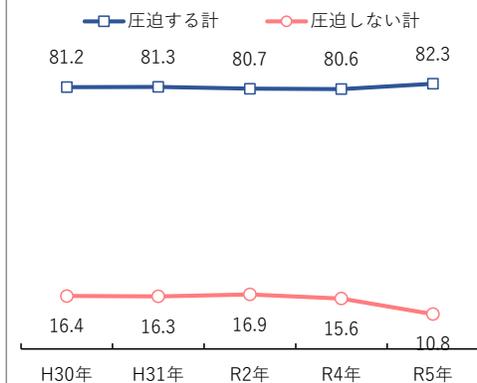
所得税の負担感



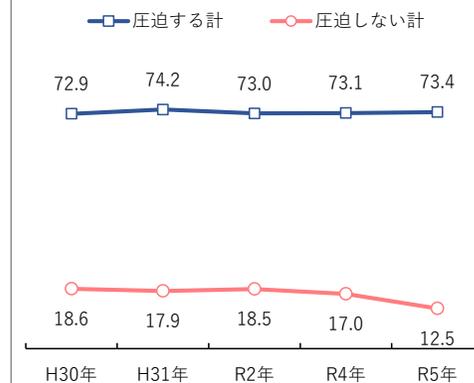
住民税の負担感



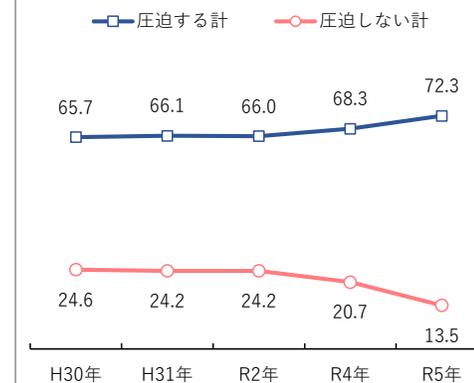
健康保険料の負担感



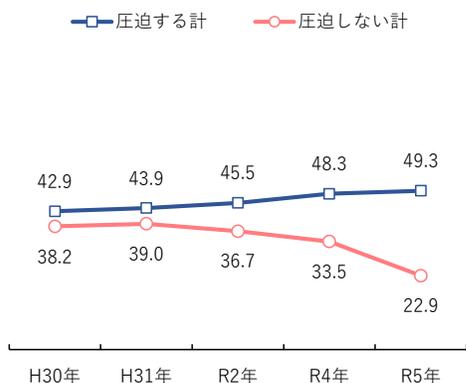
年金保険料の負担感



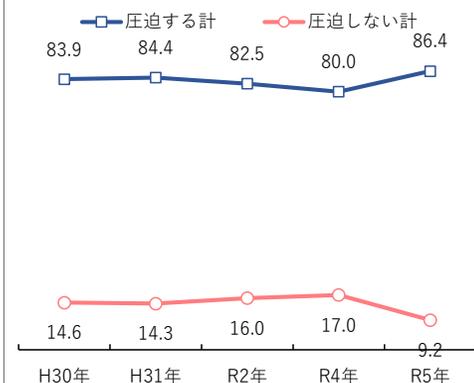
介護保険料の負担感



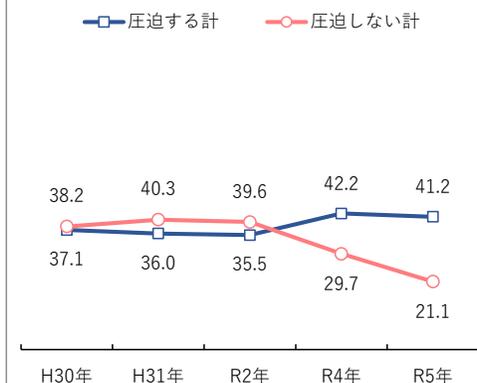
雇用保険料の負担感



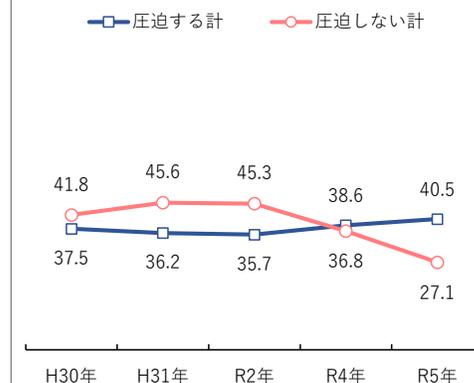
消費税の負担感



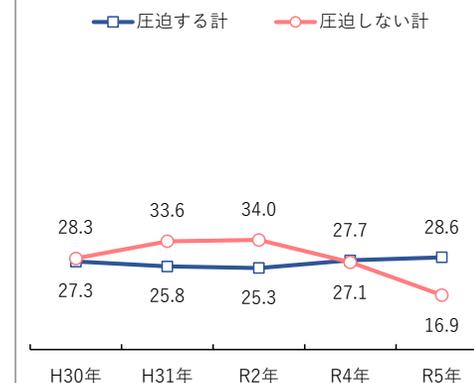
相続税の負担感



酒税の負担感



たばこ税の負担感

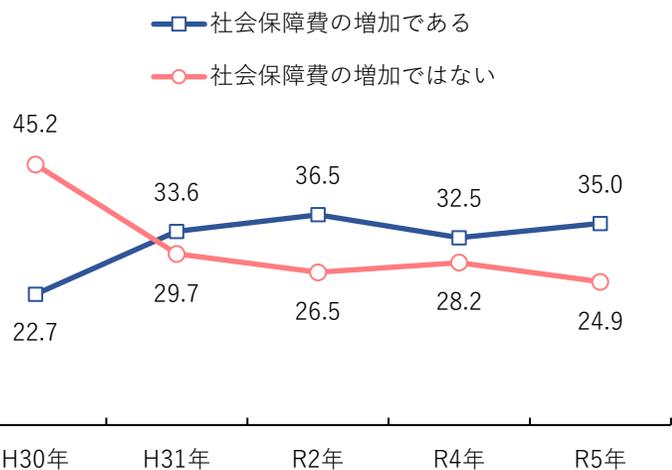


社会保障制度の充実を望む意見は多いが、一方で社会保障費の増加が日本の財政を苦しくしていると考えている。

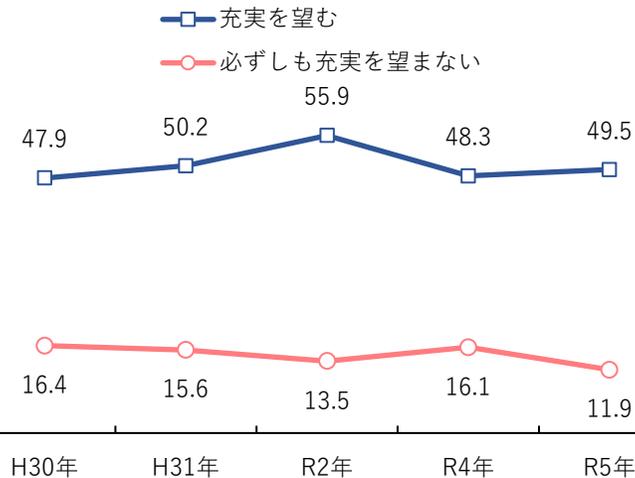
ニュース等の情報発信などで、若年層中心に財政と国民生活の密接な関係を周知していくことが重要

- 財政に関する5項目の意見は以下のとおり。（次頁参照）
 - 日本の財政が苦しくなった主な理由は、女性65～74歳以外の性年代で「社会保障費の増加である」が「社会保障費の増加ではない」を上回っており、R5年は前年に比べその差が大きくなった。
 - 社会保障制度の充実に対しては、いずれの性年代も「充実を望む」が「必ずしも充実を望まない」を大きく上回っており、R5年は前年に比べその差が大きくなった。
 - 社会保障か減税かについては、男性65～74歳以外の性年代で社会保障の充実よりも減税を望んでいるが、R5年は前年に比べその差は小さくなった。
 - 経済成長によって税収は増えると思うかについては、男女18～24歳以外の性年代で「増えないと思う」が「増えると思う」を上回っているが、R5年は前年に比べ【B】と【A】の差は小さくなった。
 - 財源を補うために国は借金をしても良いかについては、男性18～34歳以外の性年代で「国は借金をすべきでない」が「国は借金をしても良い」を上回っており、R5年はその差が前年とほぼ同率。
- この1年間での日本の財政への興味・関心度の変化は、「変わらない」が半数以上を占める。変化した人は「増加した計」が「減少した計」を大きく上回るが、R5年は「増加した計」が減少。
- この1年間で日本の財政への興味・関心が増加した人の理由は、「財政に関するニュース等を見る機会が増えたから」が最も多く半数以上が回答しており、R5年は前年に比べさらに増加。普段接触するメディアでのニュース等の情報発信が重要であることを物語っている。
- この1年間での日本の財政への興味・関心度は、いずれの性年代も「変わらない」人が多い。ただし、男性18～24歳は「増加した計」が他の年代より高く、その理由として「選挙で投票する機会があったから」が高い。
- 逆に、若年層で興味・関心度が減少した理由として「財政が悪くなっても、自分の生活には関係ないと思うから」が高い。

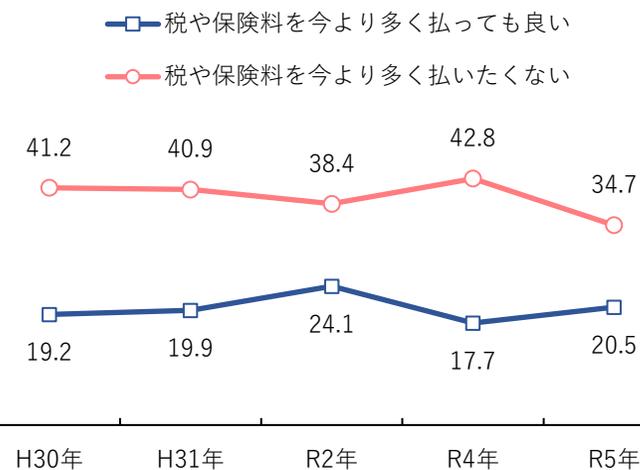
日本の財政が苦しくなった主な理由



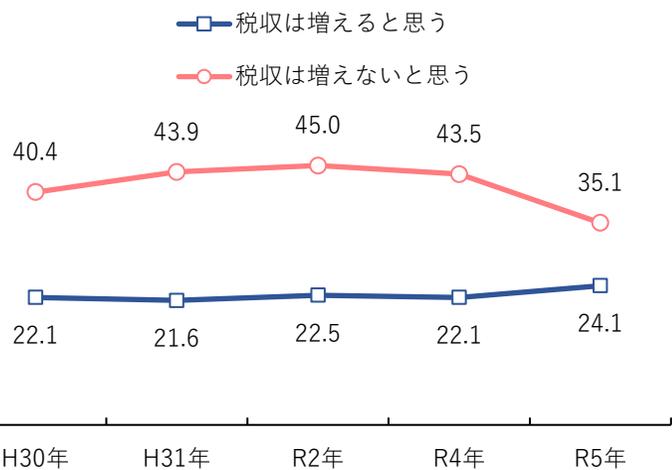
社会保障制度の充実



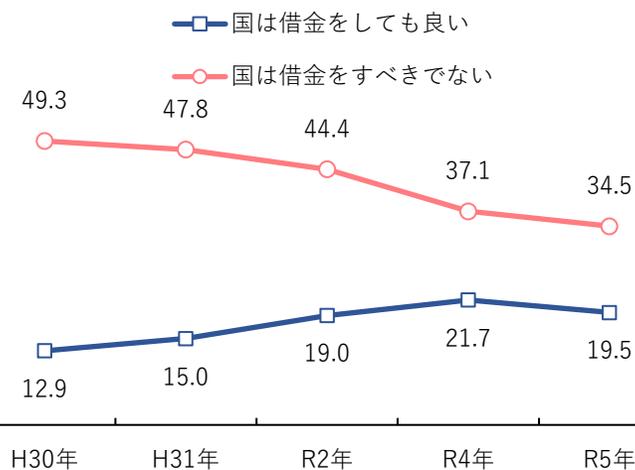
社会保障か税や保険料か



経済成長によって税収は増えると思うか



財源を補うために国は借金をしても良いか



政治・経済、財政や社会保障等の情報においても「テレビ」「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」は年代問わず重要な情報源である

それ以外の「新聞」や「SNS」などは、ターゲットの年代を考慮し使い分けることが重要

- 普段利用する情報源、政治・経済、財政や社会保障等に関して<利用する情報源><1番最初に知る情報源><より詳しく知るための情報源><信用できる情報源>のいずれも「テレビ」「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」「新聞」などが上位にあがっている。（次頁参照）
- いずれの年代も「テレビ」と「ニュースサイト」を利用媒体にしている人は多いが、高齢層は「新聞」が高く若年層は「SNS」が高いというように、高齢層と若年層で利用媒体は異なる。
- また、政治・経済、財政や社会保障等の情報に関して最初に知る情報源では、若年層は「SNS」が多く、55～74歳女性は「テレビ」が多い。
- 詳しく知るための情報源でも、若年層は「SNS」が多く、65～74歳は「新聞」が多い。信用できる情報源も、詳しく知るための情報源とほぼ同様の傾向である。
- 「テレビ」と「ニュースサイト」は年代問わず重要な情報源だが、それ以外の媒体に関しては年代別の特性を考慮し選定することが重要である。
- 政治・経済、財政や社会保障等の情報に対しては、「内容の正確性」「情報の信頼性」「内容の分かりやすさ」などが重視されている。特に高齢層は「内容の正確性」や「情報の信頼性」を重視する人が多い。
- 政治・経済、財政や社会保障等の理解を深めるために利用したいツールは、「インターネットで閲覧できる特集記事」「民放テレビの情報番組」「NHKの情報番組」などが多い。「インターネットで閲覧できる特集記事」は、65～74歳においても利用意向が持たれている。
- 政治・経済、財政や社会保障等のYouTuber等が解説する動画視聴実態は、現状では非視聴者が多いが、男性18～24歳と男性65～74歳は視聴者の割合が半数以上を占めており有効な媒体になりつつある。

回答者全体の情報源TOP5

(%)

普段利用する情報源		「政治・経済、財政や社会保障等」で 利用する 情報源		「政治・経済、財政や社会保障等」に関して 最初に知る 情報源		「政治・経済、財政や社会保障等」に関して より詳しく知る ための情報源		「政治・経済、財政や社会保障等」に関して 信用できる 情報源		
1	テレビ	78.7	テレビ	63.3	テレビ	54.2	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	34.2	テレビ	43.3
2	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	46.5	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	30.6	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	20.4	テレビ	28.7	新聞	31.8
3	新聞	33.4	新聞	25.1	新聞	7.8	新聞	27.5	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	23.4
4	インターネット広告	32.9	Webサイト、ホームページ	13.5	LINE、Twitter、Facebook等のSNS	5.0	Webサイト、ホームページ	15.6	Webサイト、ホームページ	11.4
5	Webサイト、ホームページ	31.9	インターネット広告	12.7	インターネット広告	4.3	インターネット広告	9.0	官公庁・地方自治体の広報誌	8.3

年代別の政治・経済、財政や社会保障等に関して利用する情報源TOP5

(%)

	18~24歳		25~34歳		35~44歳		45~54歳		55~64歳		65~74歳	
1	テレビ	50.8	テレビ	48.2	テレビ	58.5	テレビ	65.1	テレビ	71.5	テレビ	75.8
2	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	21.7	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	23.5	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	28.1	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	32.2	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	34.4	新聞	46.3
3	LINE、Twitter、Facebook等のSNS	20.8	LINE、Twitter、Facebook等のSNS	16.0	新聞	14.9	新聞	24.4	新聞	32.5	ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	37.3
4	インターネット広告	13.8	Webサイト、ホームページ	13.1	Webサイト、ホームページ	14.4	Webサイト、ホームページ	14.5	Webサイト、ホームページ	15.0	インターネット広告	15.7
5	Webサイト、ホームページ	10.2	新聞	10.5	インターネット広告	11.7	インターネット広告	12.1	インターネット広告	12.7	官公庁や地方自治体の広報誌	13.5

財政に関する広報活動の媒体としては、「テレビ」「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」をメインに、年代によって「新聞」や「SNS」などを使い分けることが重要

発信すべき情報内容としては、「財政が悪くなっても、自分の生活には関係ないと思うから」といった意識を持つ若年層中心に、財政と国民生活が密接に関係していることを周知していくことが重要

また、公共サービスが税・保険料によって成り立っており、国民生活において様々な受益がもたらされていることを周知させ、「国や社会づくり」「相互扶助」といった税・保険料の意義を、若年層中心に継続的に伝えていくことが重要

それらの広報活動により、日本の財政の現状に対する「不安」層の割合、10年後の財政の状態に対する「悪化」層の割合、これらの指標の減少トレンドを今後も継続していく広報活動が求められる